

# 団塊の世代に対する自転車の 意識調査等に関する調査報告書

平成 19 年 3 月

財団法人 自転車産業振興協会

**KEIRIN**



この調査は、競輪の補助金を受けて実施したものです。

<http://keirin.jp>



# 目次

## まえがき

I. 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査時期	1
3 調査設計	1
4 報告書の見方	2
II. 調査結果のまとめ	3
1 今後の自転車の利用頻度の変化と購入意向	3
2 日常生活の移動手段における自転車の利用状況と今後の意向	4
3 軽い運動・近所の散策における自転車の利用状況と今後の意向	6
4 サイクリング・ツーリングにおける自転車の利用状況と今後の意向	8
5 本格的なサイクルスポーツにおける自転車の利用状況と今後の意向	10
6 団塊の世代の意識・行動・健康状態	12
7 考察	16
III. 調査結果の詳細	17
1 対象者属性	17
2 自転車の利用状況	21
(1) 自転車利用の有無と目的	21
(2) 日常での移動における自転車の利用実態	22
(3) 日常での移動以外における自転車の利用実態	24
(4) 主に利用している自転車について	26
(5) 自転車を利用していない人の理由	32
3 自転車の利用意向	33
(1) 自転車利用目的別にみた利用意向	33
(2) 日常の移動における自転車の利用意向の詳細	35
(3) 軽い運動や近所の散策における自転車の利用意向の詳細	41
(4) サイクリング・ツーリングにおける自転車の利用意向の詳細	47
(5) 本格的なサイクルスポーツにおける自転車の利用意向の詳細	53
(6) 自転車利用目的別にみた購入意向	59
(7) 日常の移動を目的とした自転車の購入意向の詳細	65
(8) 軽い運動・近所の散策を目的とした自転車の購入意向の詳細	75
(9) サイクリング・ツーリングを目的とした自転車の購入意向の詳細	85
(10) 本格的なサイクルスポーツを目的とした自転車の購入意向の詳細	95
4 団塊の世代の意識・行動・健康状態	105
(1) 団塊の世代の活動状況	105
(2) 団塊の世代の健康状態	124
(3) 自転車活用促進のための環境整備	135

## 付帯資料

## まえがき

平成 12 年 6 月に我が国の自転車産業活性化を図る目的で、「自転車産業活性化対策研究会」が発足し、その専門部会である「需要拡大部会」において、過去に自転車の需要拡大等に関する調査等を実施してまいりました。

平成 18 年度においては、2007 年（平成 19 年）より 2009 年（平成 21 年）にかけて大量に退職が始まる団塊の世代（1947～1949 年生誕）の退職後における余暇活動で日本経済に多大な消費経済効果をもたらすことが期待されるために、当該世代が退職後に利用する新たな車種の開発、将来的な消費動向の参考とすべくその利用実態や今後の購入意向等、自転車に関する意識調査を実施いたしました。

また、併せて団塊の世代より以前に既に退職していると推測される 1945 年から 1946 年生誕の世代に対しても団塊世代と比較の側面より同時に調査を実施しております。

近年、日本における社会情勢等の変化により、自転車業界においても自転車を取巻く環境、自転車利用に関するライフスタイルの変遷等、自転車も単に生活用移動手段としてのツールに留まらずスポーツ、レジャー及び健康維持・増進の道具として多岐にわたり利用されている現状を鑑み、団塊の世代が自転車に対してどのような意識を持っているか等の実態を調査の上、把握することは極めて意義のあることと思われます。

なお、今回実施しました調査結果を基に 2007 年より始まる団塊の世代に対する新たな消費効果に期待し、業界において団塊世代に向けた新しい車種の開発、利用促進の一助となり、新たな需要促進開発の基礎資料となれば幸いに存じます。

最後に調査に当たって、ご協力を戴きました有識者、関係各位、並びに調査を実施いたしました株式会社インテージの方々に対して、深く感謝の意を表す次第です。

平成 19 年 3 月吉日

財団法人自転車産業振興協会  
会長 阿部 毅一郎

# I. 調査概要

## 1 調査目的

2007年より2009年において団塊の世代(1947～49年生誕)の大量退職が始まるが、本世代の退職後における消費経済効果が期待されるため、この点を踏まえて団塊の世代に対する自転車の意識調査を行い、本世代が余暇活動等に使用する新たな車種の開発、利用促進の基礎資料となるべく調査を実施する。また、併せて、既に退職している世代(1945～46年生誕)に対しても現状の動向を把握するために実際の自転車利用者に対して同等の調査を実施する。

## 2 調査時期

平成18年12月15日～19日

## 3 調査設計

(1) 調査地域 全国

(2) 調査対象 1945～49年に生誕した男女(57～61歳)

(3) 標本設計 男女および年齢別の回収目標数は以下の通り

	57歳 (1949年)	58歳 (1948年)	59歳 (1947年)	60歳 (1946年)	61歳 (1945年)	TOTAL
男性	508	507	482	358	384	2,239
女性	510	510	483	363	395	2,261
TOTAL	1018	1017	965	721	779	4,500

全国を10ブロック(北海道、東北、北関東、京浜：一都三県、北陸、東海、京阪神、中国、四国、九州)に分け、各ブロックにおいて国勢調査に準拠した人口構成比で抽出。

(4) 調査方法 Web調査法

(5) 調査項目 自転車の利用状況、自転車の利用意向、団塊の世代の意識・行動・健康状態、対象者属性等

(6) 有効回収数

	57歳 (1949年)	58歳 (1948年)	59歳 (1947年)	60歳 (1946年)	61歳 (1945年)	TOTAL
男性	578	589	565	361	380	2,473
女性	573	556	454	282	210	2,075
TOTAL	1151	1145	1019	643	590	4,548

## 4 報告書の見方

- 調査結果の数値は、回答率（%：パーセント）で表示している。%の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数はnもしくはサンプル数で示している。
- %の数値は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示している。このため各回答の数値の合計が必ずしも100%とならない場合がある。
- 回答は、単数回答（○は1つ）と複数回答（○はいくつでも等）の2種類がある。複数回答設問の場合、その回答割合（%）の合計は100%を超えることがありうる。
- 棒グラフ等の数表に○や△の印がある。コメント内に特記されない限り、TOTALと比較して統計的に有意な差があることを示している（○は割合が大きい、△は割合が小さい）。

※標本誤差（SE）は下式によって求められる。「ある質問の回答者数が4,548人で、その質問中の選択肢の回答比率が50%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±1.5%である」という意味である。

$$SE=1.96 \times \sqrt{P(100-P) / n}$$

P：調査結果のパーセント n：調査対象者数（基数） SE：標本誤差

回答の比率 (P) 基数 (n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
総数 (4,548)	±0.9	±1.2	±1.3	±1.4	±1.5
男性計 (2,473)	±1.2	±1.6	±1.8	±1.9	±2.0
女性計 (2,075)	±1.3	±1.7	±2.0	±2.1	±2.2

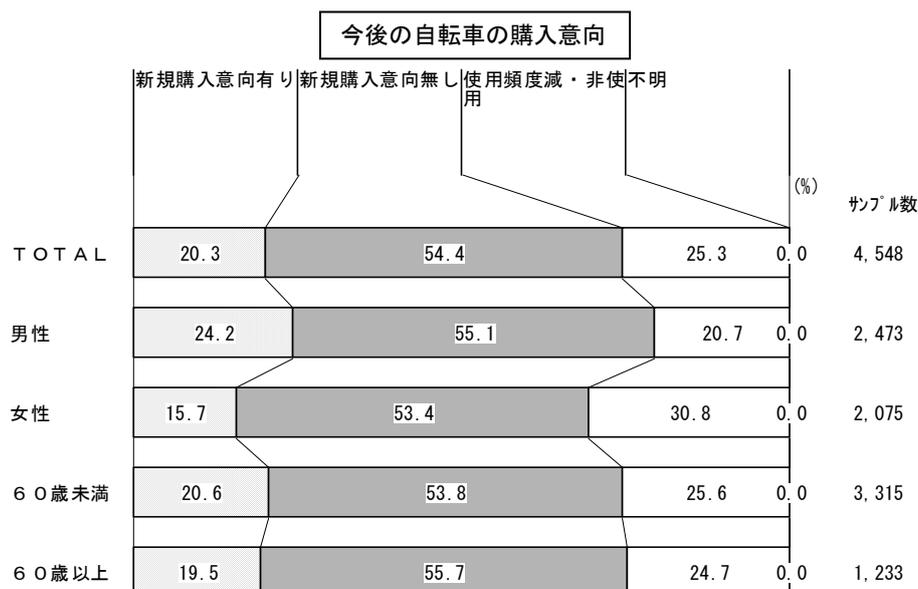
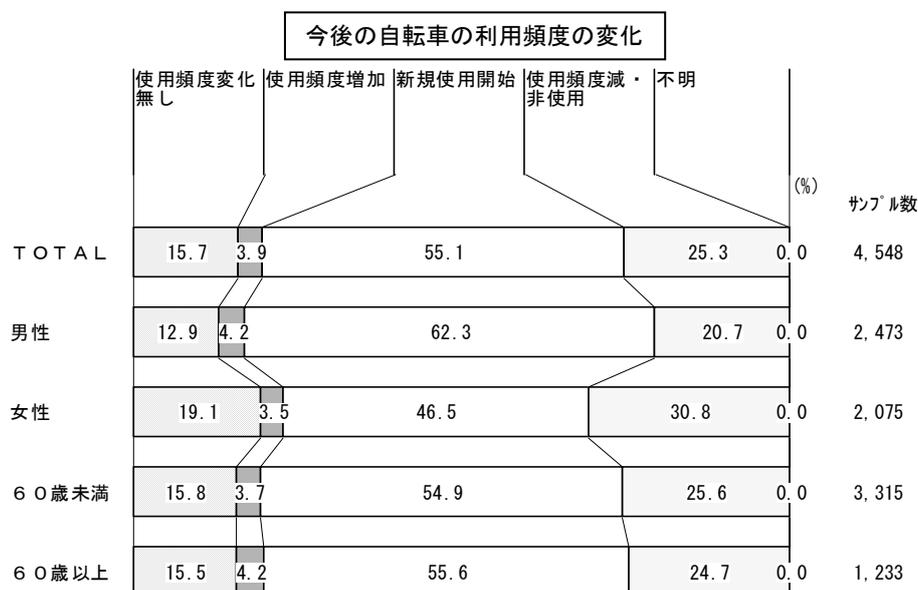
- 今回の調査結果においては、サンプル数が20未満の層については分析の対象外としている。
- 図表やコメント部分での回答の選択肢は、簡略化して表現している場合がある。正式な回答の選択肢は、資料編の調査票を参照のこと。

## Ⅱ. 調査結果のまとめ

### 1 今後の自転車の利用頻度の変化と購入意向

今後いずれかの目的で新たに自転車を使い始めたいと考えているのは55.1%、また、新たに使い始めることは考えていないがいずれかの目的で自転車の使用頻度を増やしたいと考えているのは3.9%で、今後自転車の使用頻度が減少する、または使用しないと考えているのは25.3%である。特に男性では新たに自転車を使い始めたい人が62.3%と6割を超えている。

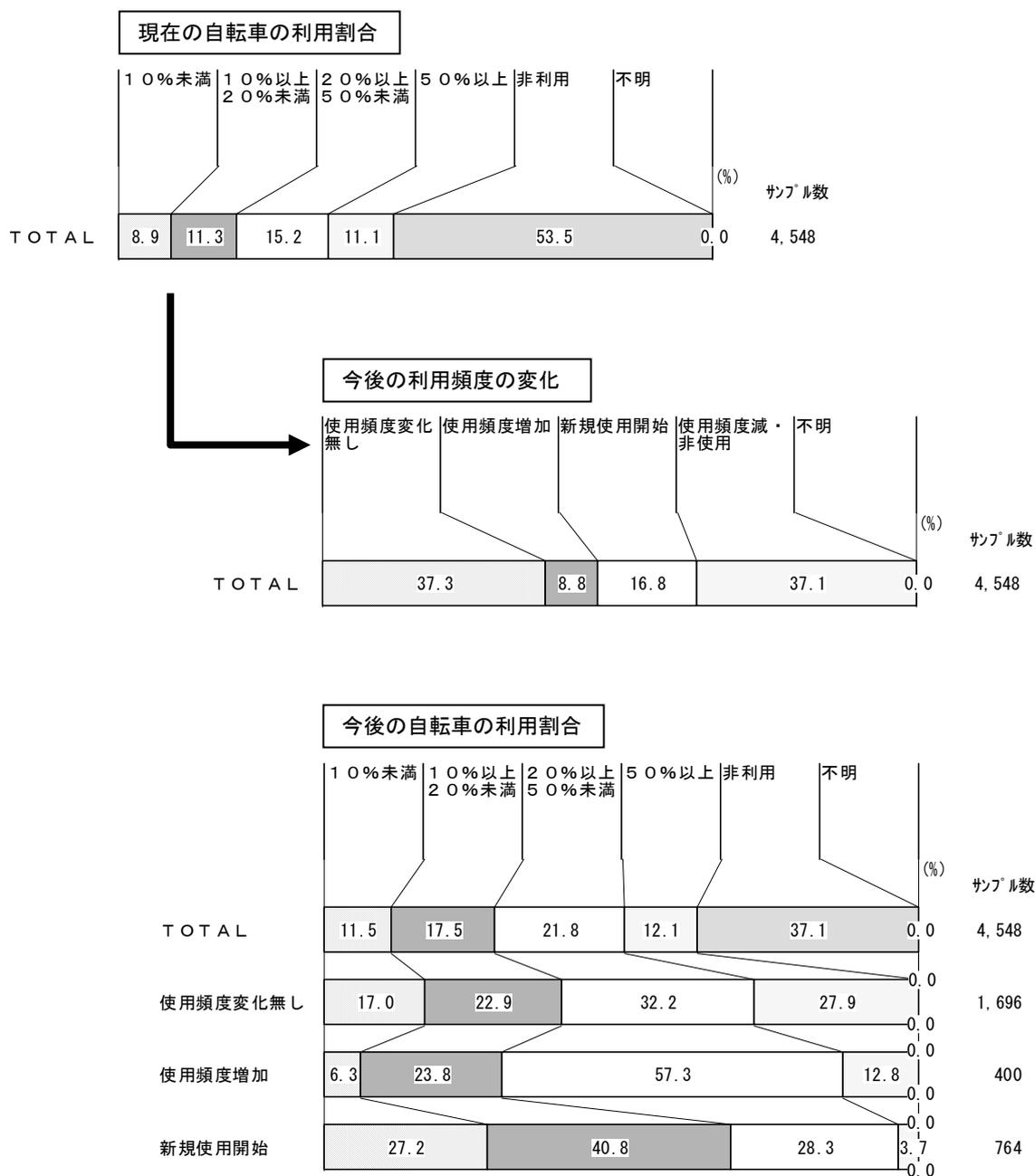
また、今後いずれかの目的で自転車の購入を考えているのは20.3%であり、男性(24.2%)は女性(15.7%)よりも購入意向が高い。



## 2 日常生活の移動手段における自転車の利用状況と今後の意向

現時点では46.5%が自転車を日常生活の移動手段として利用しているが、今後は62.9%が利用を考えている。現状では女性で多く使われているが、今後は男性において新規使用開始がより多く見込まれる。(P. 21、22、35 参照)

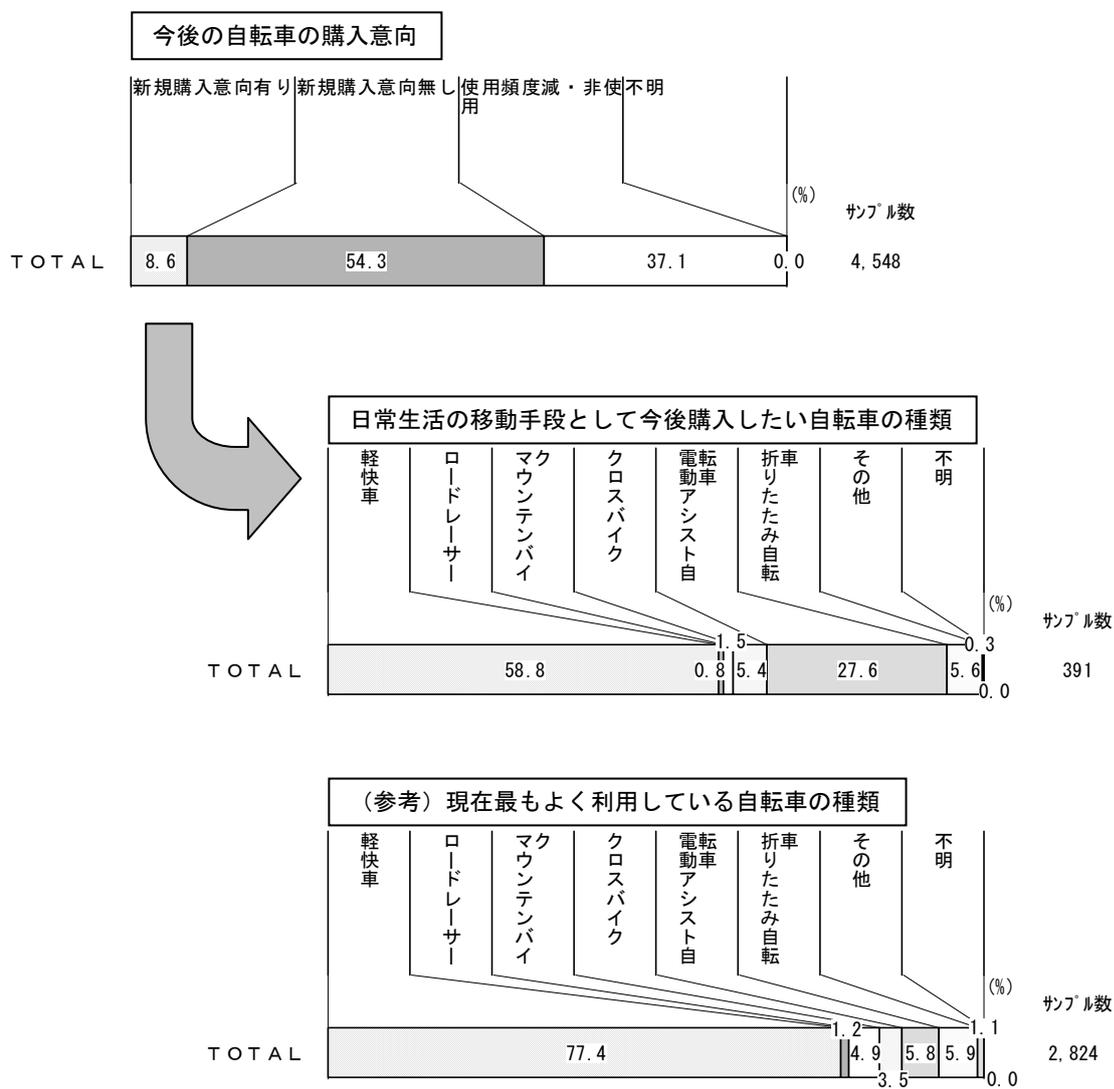
利用増加もしくは新規利用開始の理由としては、健康維持・増進効果への期待と手軽に使用できることが中心である。(P. 36 参照)



日常生活の移動手段としての自転車を新規購入する予定があるのは 8.6%。車種としては、現在最もよく利用されている軽快車が半数を超えているが、電動アシスト自転車の購入意向も 3 割近くあり、男性よりも女性の希望が一層高い。(P. 65、66 参照)

購入時の重視点は運転のしやすさ、価格、乗り心地のよさが多く挙げられている。購入ルートとしては、男性はホームセンター、女性は自転車専門店の希望が高く、電動アシスト自転車では自転車専門店が 5 割を超えている。(P. 68、71 参照)

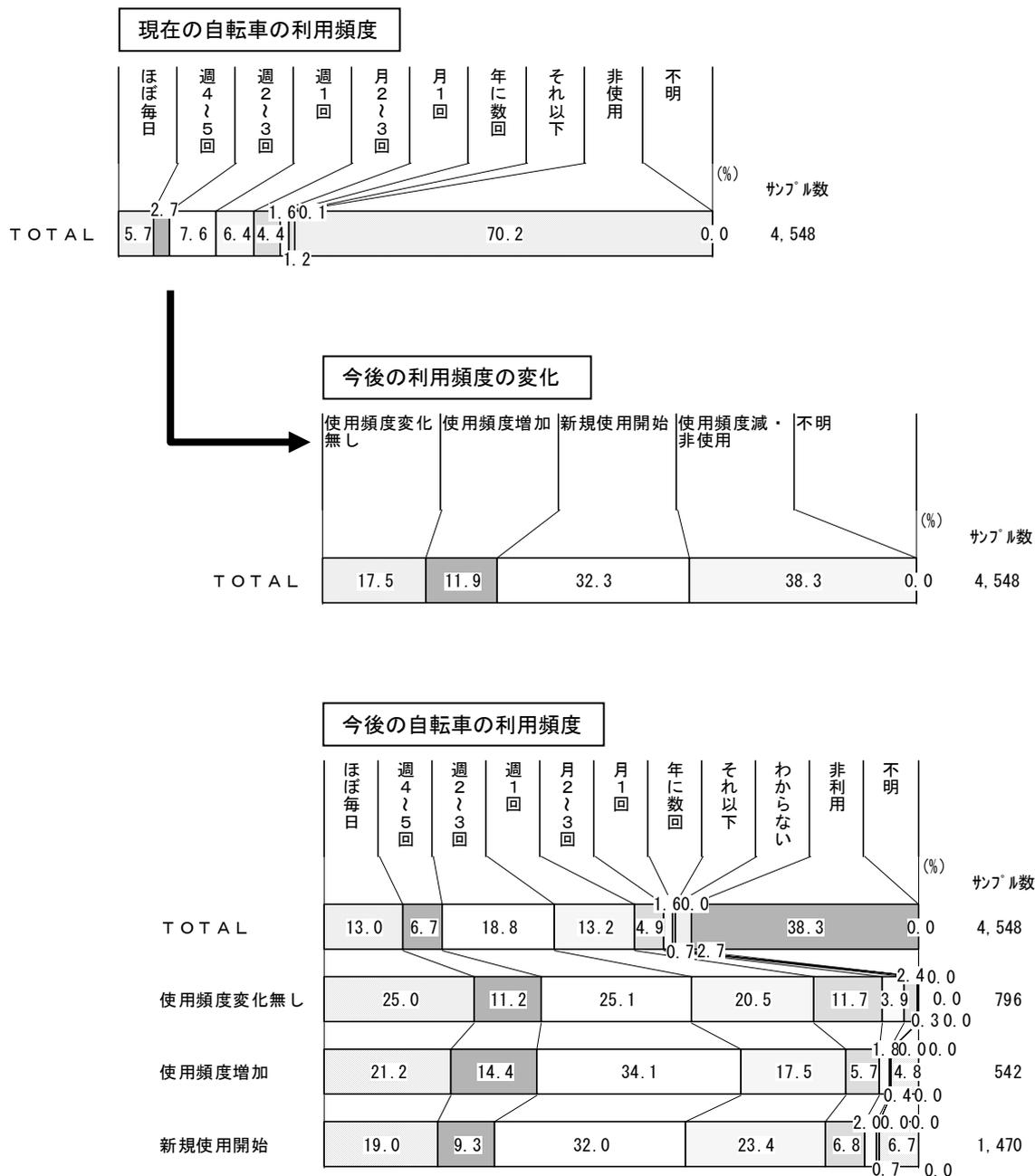
購入額としては、2 万円未満を希望しているのが 6 割以上であるが、女性の 2 割近くが 5 万円以上の支出を見込んでいる。また、購入車種として電動アシスト自転車を選択していると 3 割以上が 5 万円以上の支出を見込んでいる。(P. 73、74 参照)



### 3 軽い運動・近所の散策における自転車の利用状況と今後の意向

現時点では29.8%が軽い運動・近所の散策に自転車を利用しているが、今後は61.7%が利用を考えている。現状では男性の利用者数が多いが利用頻度は女性のほうが多い。今後は男性において利用増加がより多く見込まれる。(P. 21、24、41 参照)

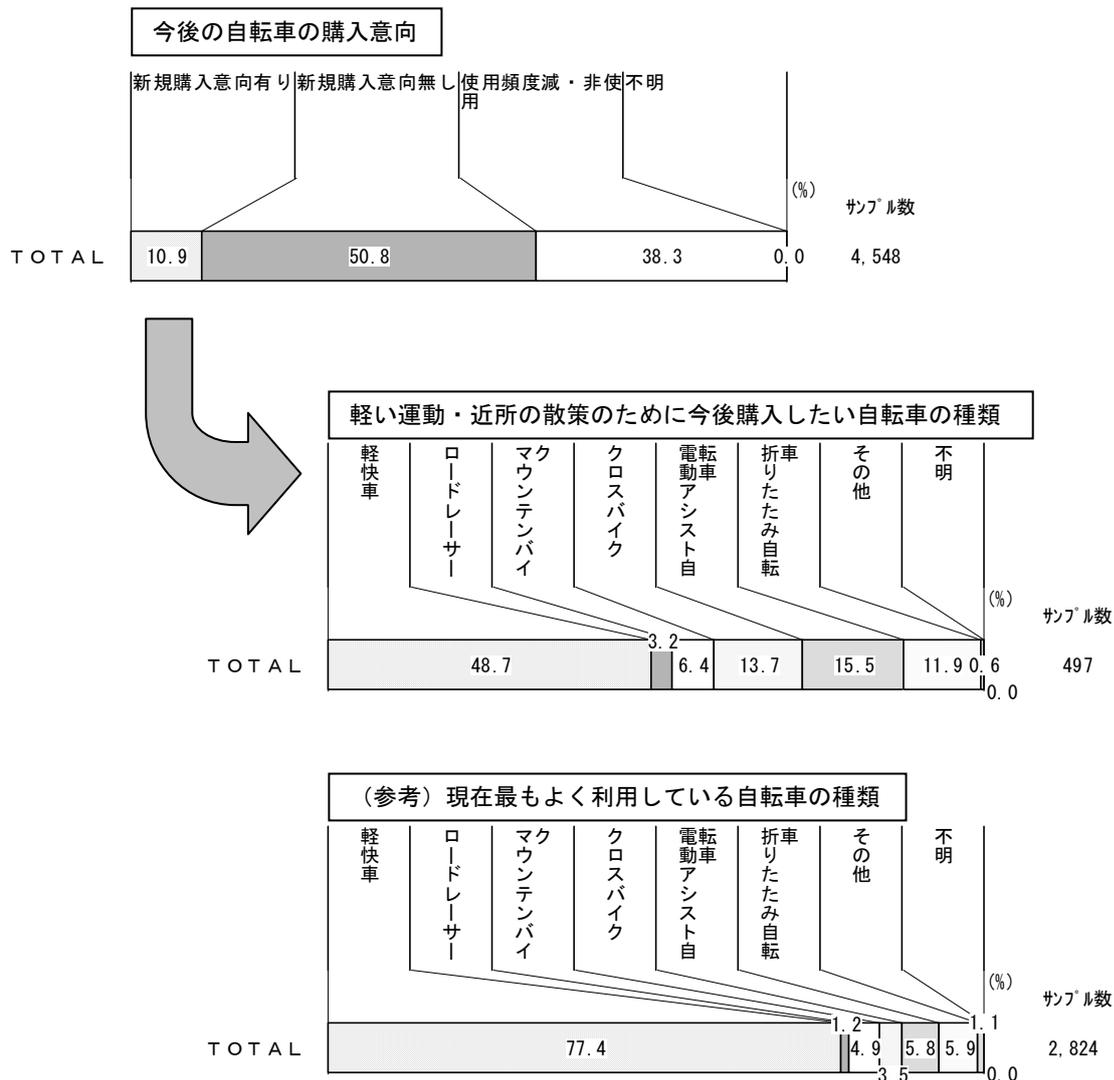
新規利用開始の理由としては、手ごろな運動量、健康維持・増進効果への期待と手軽に開始できることが中心である。また、7割以上が一人で楽しむケースを想定しており、一緒に楽しむ人としては3割以上が配偶者を挙げている。(P. 42、45 参照)



軽い運動・近所の散策のために自転車を新規購入する予定があるのは10.9%で、男性において購入意向がより高い。車種としては、現在最もよく利用されている軽快車が半数近くであるが、男性ではクロスバイク・女性では電動アシスト自転車の購入意向が2割を超えている。(P. 75、76 参照)

購入時の重視点は運転のしやすさ、乗り心地のよさ、重量の軽さが多く挙げられているが、最重視点では疲れずに長時間乗ることができることも大きなポイントである。購入ルートとしては、自転車専門店とホームセンターで7割を超えている。(P. 78、81 参照)

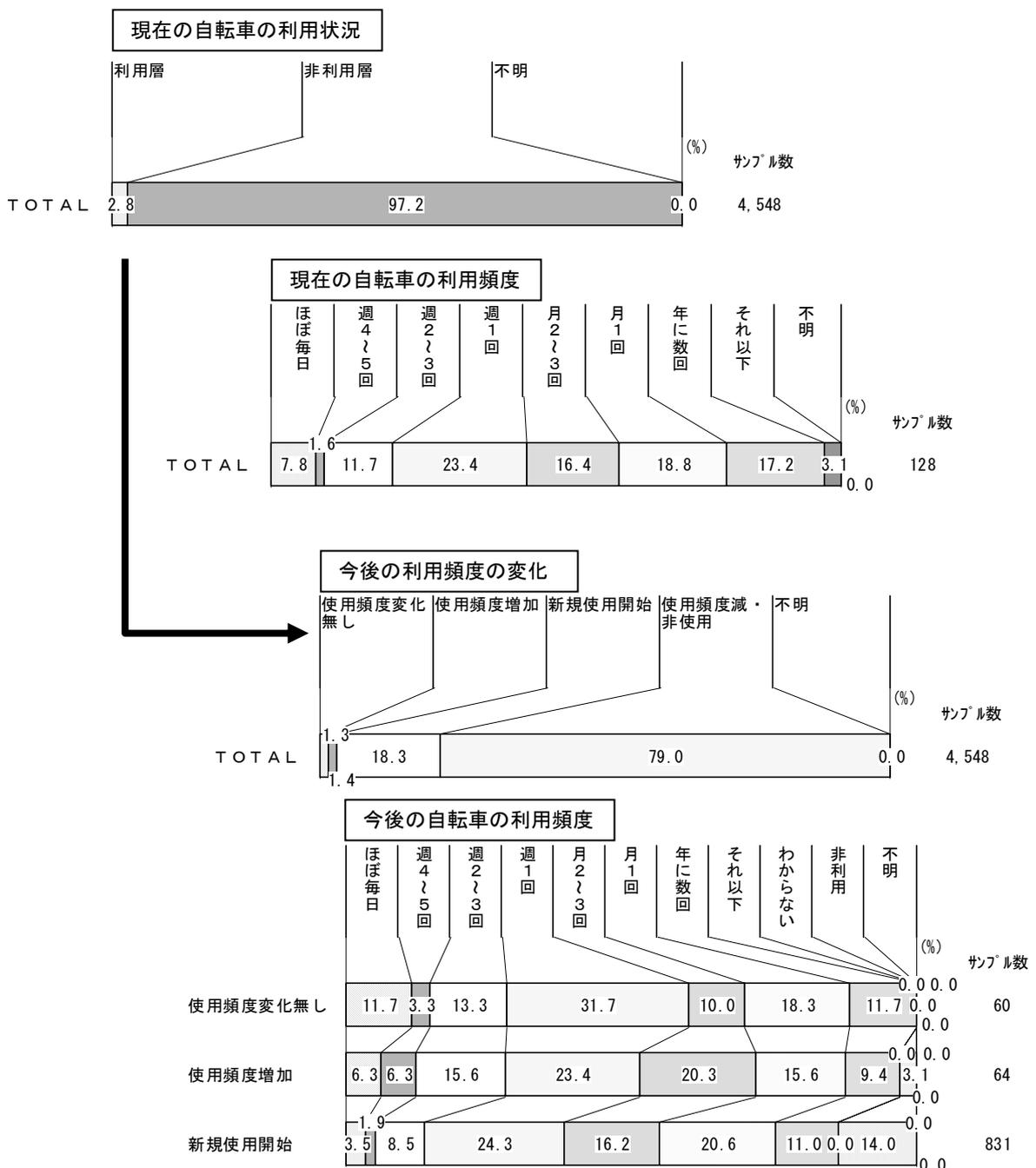
購入額としては、2万円未満を希望しているのが半数以上である。(P. 83 参照)



#### 4 サイクリング・ツーリングにおける自転車の利用状況と今後の意向

現時点では 2.8%がサイクリング・ツーリングに自転車を利用しているが、今後は 21.0%が利用を考えている。新規利用開始者としては男性がより多く見込まれる。(P. 21、47 参照)

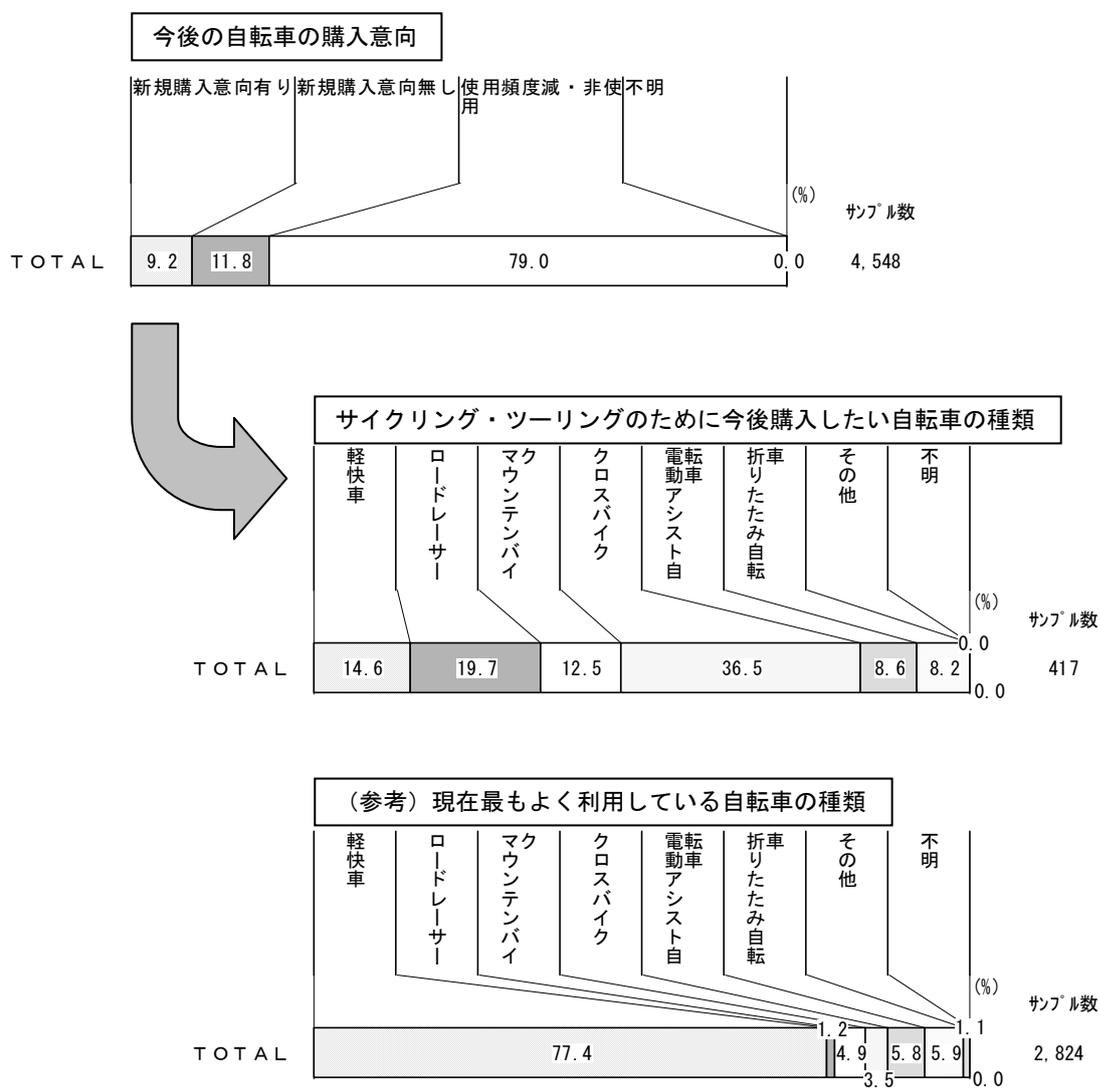
新規利用開始の理由としては、健康維持・増進効果への期待、手軽に開始できること、乗ることが楽しそうなことが中心であり、以前からやってみたくと思っていた人も3割近くいる。男性では健康維持・増進効果への期待が、女性では手軽に開始できること、乗ることが楽しそうなことがより多く挙げられている。また、一人で楽しむケースと配偶者と楽しむケースは両方とも4割以上で同程度である。男性では一人で楽しむケースを、女性では配偶者もしくは友人・知人と一緒に楽しむケースをより多く想定している。(P. 48、51 参照)



サイクリング・ツーリングのために自転車を新規購入する予定があるのは 9.2%で、男性において購入意向がより高い。車種としては、クロスバイクが4割近いが、軽快車も1割以上見られる。男性ではクロスバイクが、女性では軽快車、電動アシスト自転車、折りたたみ自転車をより多く挙げられている。(P. 85、86 参照)

購入時の重視点は疲れずに長時間乗ることができること、運転のしやすさ、乗り心地のよさ、重量の軽さが多く挙げられている。購入ルートとしては、自転車専門店が6割を超えている。(P. 88、91 参照)

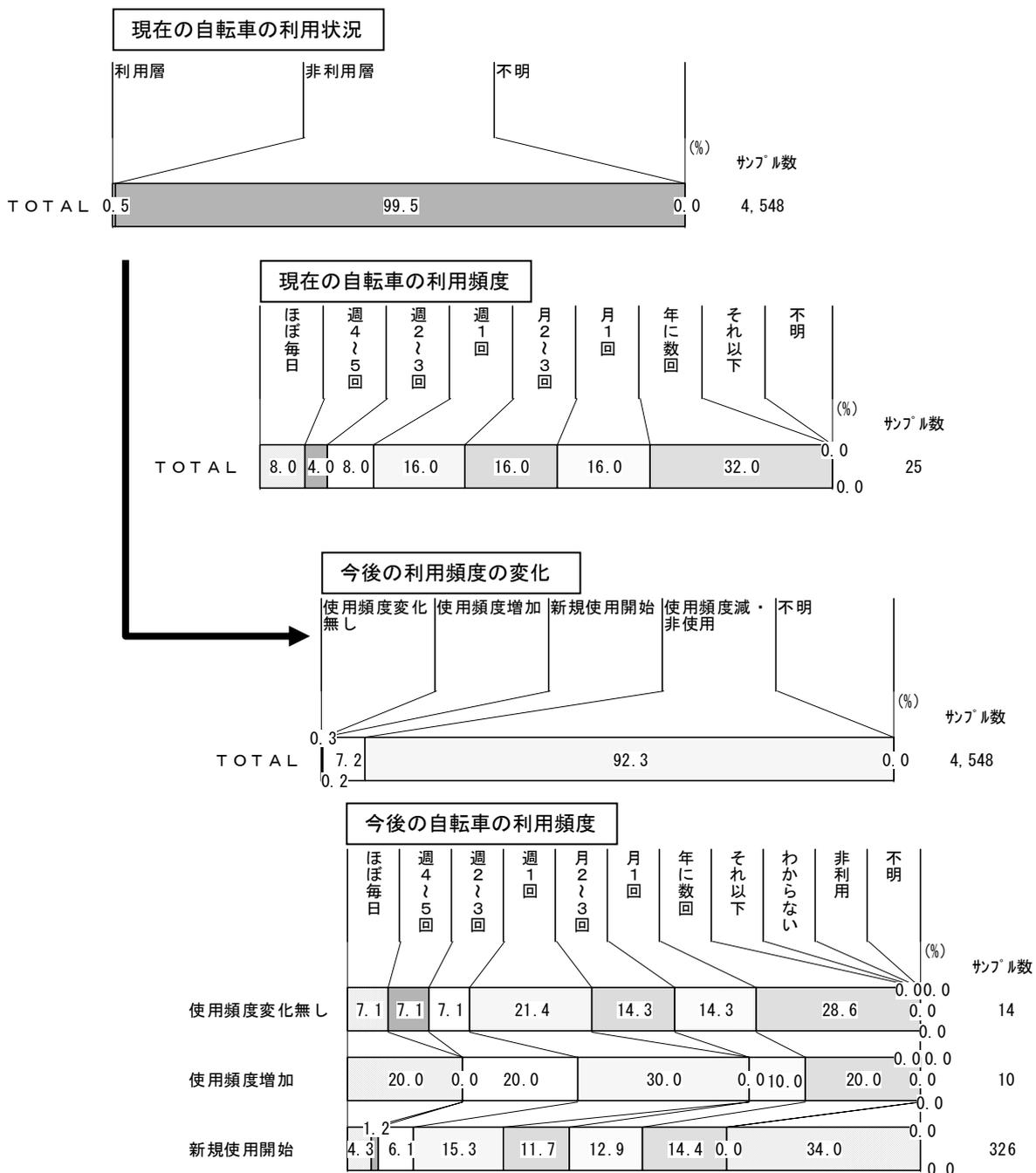
購入額としては、3万円以上5万円未満を希望しているのが3割以上であるが、女性では3万円未満が6割近い。(P. 93 参照)



## 5 本格的なサイクリスポーツにおける自転車の利用状況と今後の意向

現時点では0.5%が本格的なサイクリスポーツに自転車を利用しているが、今後は7.7%が利用を考えている。新規利用開始者としては男性がより多く見込まれる。(P.21、53 参照)

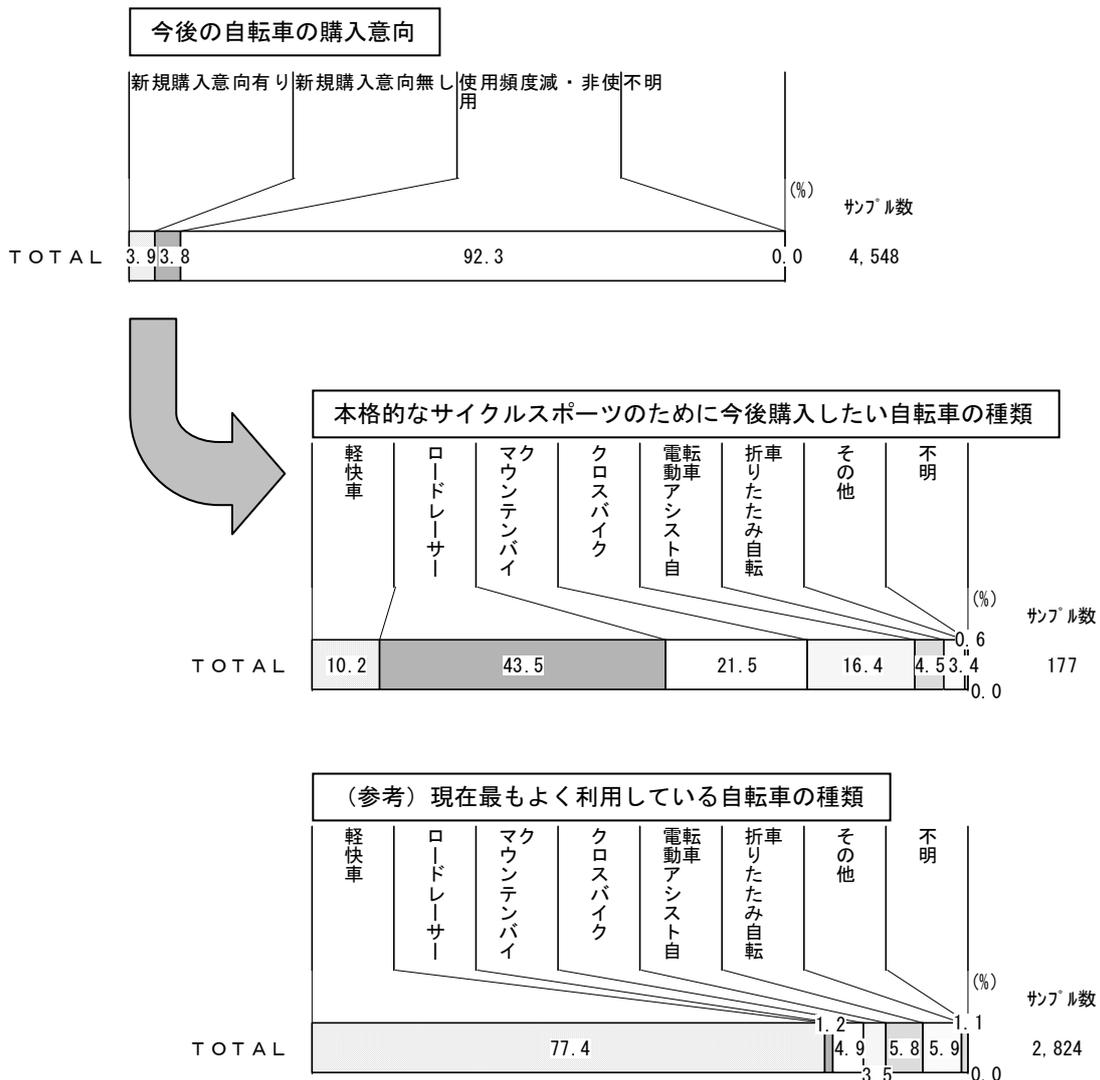
新規利用開始の理由としては、健康維持・増進効果への期待、時間的な余裕の確保、以前からやってみたいと思っていたこと、自分の力を試してみたかったことが中心である。また、5割近くが一人で楽しむケースを想定しており、一緒に楽しむ人としては2割以上が配偶者を挙げている。特に女性では配偶者と一緒に楽しむケースをより多く想定している。(P.54、57 参照)



本格的なサイクリスポートのために自転車を新規購入する予定があるのは 3.9%で、男性において購入意向がより高い。車種としては、ロードレーサーが4割を、マウンテンバイクが2割を超えている。(P. 95、96 参照)

購入時の重視点は運転のしやすさ、疲れずに長時間乗ることができること、乗り心地のよさ、重量の軽さが多く挙げられている。購入ルートとしては、自転車専門店が7割を超えている。(P. 98、101 参照)

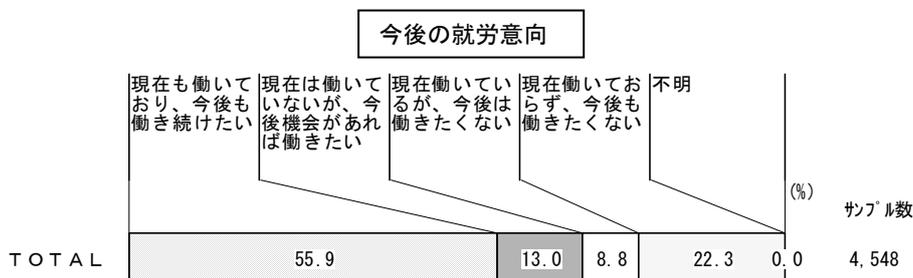
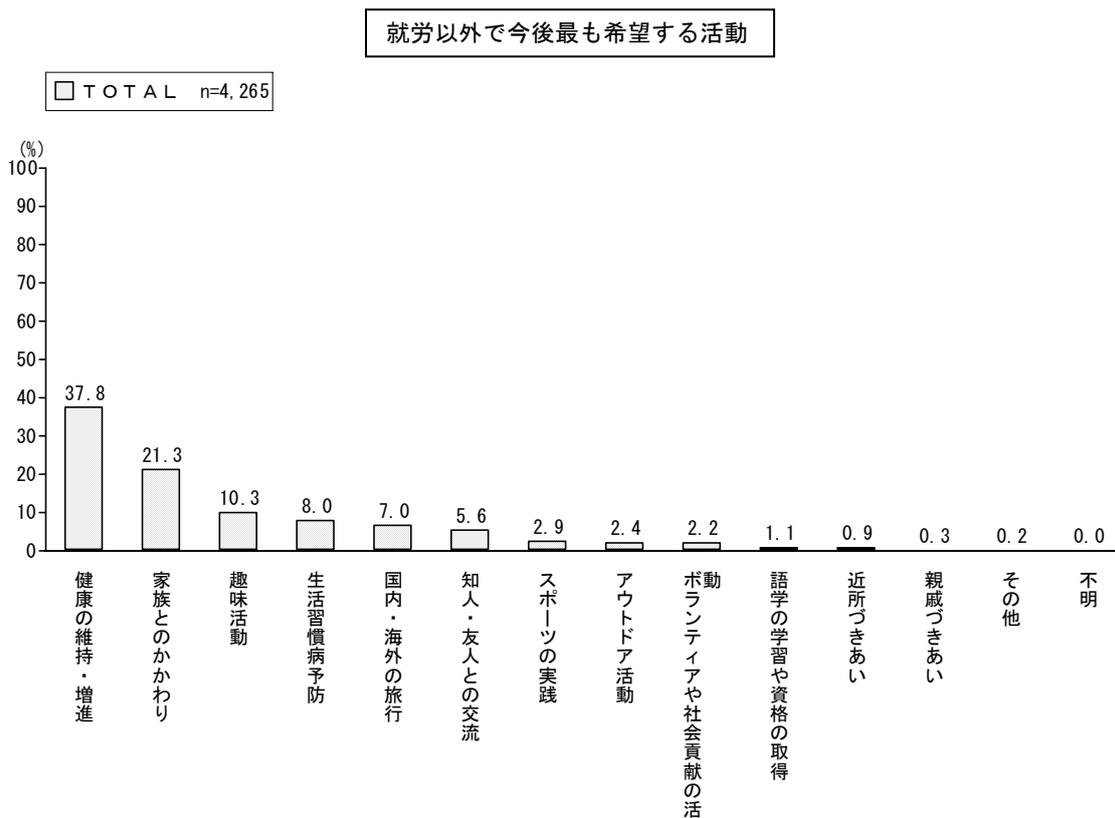
購入額としては、3万円以上5万円未満と5万円以上10万円未満を希望しているのがともに3割近くであるが、女性では2万円以上3万円未満も3割近い。(P. 103 参照)



## 6 団塊の世代の意識・行動・健康状態

就労以外で今後最も希望する活動としては、健康の維持・増進、家族とのかかわり、趣味活動が多く挙げられており、日常生活での移動手手段および軽い運動・近所の散策において、今後使用頻度が増加すると考える層は、他の層より健康の維持・増進を希望する割合が高い。(P. 105、107、109 参照)

就労意向を持っている人は約7割で、男性では8割を超える。(P. 122 参照)

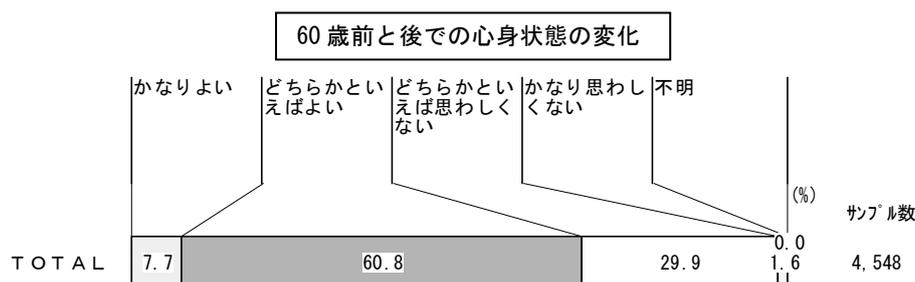
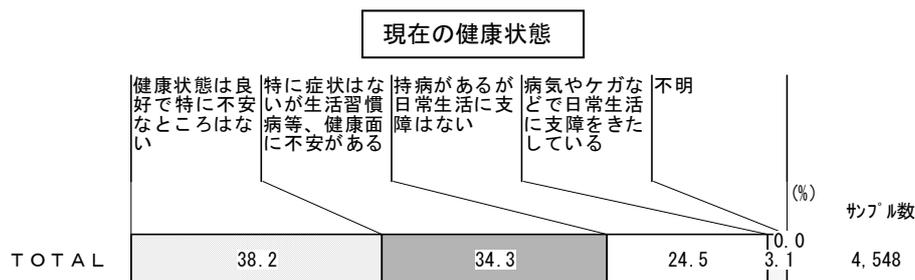


現在の健康状態としては、「健康状態は良好で特に不安なところはない」層が約4割、「持病があるが日常生活に支障はない」層が2割以上で、「特に症状はないが生活習慣病等、健康面に不安がある」層と合わせると、6割近くが日常生活に支障はないまでも健康面への不安や持病を持っている状況である。女性よりも男性のほうが、また、60歳以上よりも60歳未満のほうが健康に不安を抱く割合は高く、日常生活での移動手段および軽い運動・近所の散策において、今後使用頻度が増加すると考える層も、他の層より健康に不安を抱く割合が高い。(P. 124、125 参照)

60歳前と後での心身状態の変化については、約7割がポジティブな変化(よい)を想定しているが、60歳以上では約6割に減少しており、健康状態への不安が高いほどポジティブな変化を想定する割合が低くなっている。(P. 126、128 参照)

ポジティブな変化を想定した理由としては、自分のやりたいことをやれる時間・機会が増えること、趣味や生きがいにかかる時間が増えることが多く挙げられており、日常生活での移動手段および軽い運動・近所の散策において、今後使用頻度が増加すると考える層は、上位の項目に関して他の層よりも高い割合となっている。(P. 129、130 照)

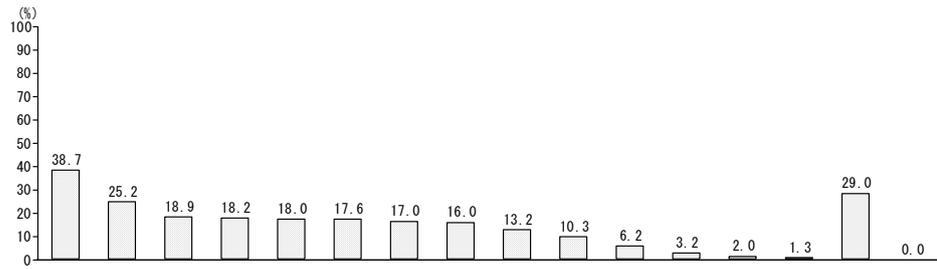
ネガティブな変化を想定した理由としては、経済的に苦しくなること、スポーツや運動を定期的に行う習慣がないこと、外出する機会が減ることが多く挙げられている。(P. 132 参照)



今後の自転車活用に必要環境や情報としては、一般道における自転車専用レーンの設置、自分に適した自転車の選び方についての情報が多く挙げられており、日常生活での移動手段および軽い運動・近所の散策において、今後使用頻度が増加すると考える層は多くの項目で他の層よりも割合が高く、今後使用頻度が減少するまたは使用しないと考える層はほとんどの項目で他の層よりも割合が低い。(P.135、136 参照)

今後の自転車活用に必要環境や情報（複数回答）

□ TOTAL n=4,548

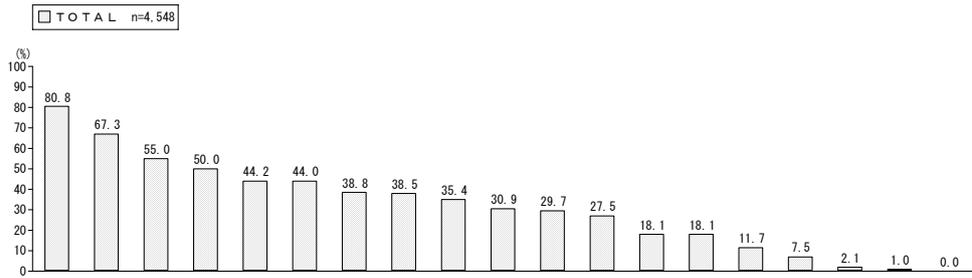


移動手段	日常生活での	* 使用目的別今後の自転車の利用意向 (使用頻度の変化)		(1) 日常生活での移動手段															
		n	0	1	2	5	10	4	12	3	8	6	13	9	7	14	15	16	
		4,548	38.7	25.2	18.9	18.2	18.0	17.6	17.0	16.0	13.2	10.3	6.2	3.2	2.0	1.3	29.0	0.0	
	1 使用頻度変化無し	1,696	42.9	28.2	23.2	20.5	18.8	19.9	19.7	16.7	16.3	12.6	7.1	3.7	2.3	0.9	22.3	0.0	
	2 使用頻度増加	400	47.5	35.0	29.8	23.3	24.5	25.0	24.3	23.8	20.0	16.0	10.3	5.5	4.3	1.3	13.0	0.0	
	3 新規使用開始	764	46.3	28.4	21.9	21.6	20.2	19.0	19.9	19.1	11.8	11.6	6.5	3.5	1.8	1.0	19.1	0.0	
	4 使用頻度減・非使用	1,688	29.0	18.4	10.7	13.2	14.7	12.9	11.1	12.1	9.0	6.0	4.2	2.1	1.2	1.8	43.9	0.0	

移動手段	軽い運動・近所の散策	* 使用目的別今後の自転車の利用意向 (使用頻度の変化)		(1) 日常生活での移動手段															
		n	0	1	2	5	10	4	12	3	8	6	13	9	7	14	15	16	
		4,548	38.7	25.2	18.9	18.2	18.0	17.6	17.0	16.0	13.2	10.3	6.2	3.2	2.0	1.3	29.0	0.0	
	1 使用頻度変化無し	796	46.7	27.6	24.5	23.1	22.6	20.9	23.2	20.0	17.5	13.9	7.7	3.5	3.1	0.9	19.1	0.0	
	2 使用頻度増加	542	54.6	35.2	30.1	29.7	28.2	24.4	27.7	29.7	14.4	16.1	12.4	4.4	4.4	0.9	9.8	0.0	
	3 新規使用開始	1,470	42.0	29.7	22.0	21.0	18.5	20.3	18.0	17.1	14.8	12.3	6.5	4.1	1.8	1.0	19.9	0.0	
	4 使用頻度減・非使用	1,740	27.4	17.1	10.3	9.9	12.2	11.7	9.9	9.0	9.5	5.1	3.4	2.0	0.9	1.9	47.1	0.0	

自転車に対して抱かれているイメージとしては、誰にでも手軽に使えること、健康維持・増進に手ごろな運動であること、CO2を出さずに環境にやさしいこと、免許もいらず、車やバイクに比べて制限が少ないことが多く挙げられており、今後使用頻度が減少するまたは使用しないと考える層は上位項目で他の層より割合が低く、坂道などが多いと乗りたくないことや歩いていると危ないと感じることがあることにおいて、他の層よりも割合が高い。(P. 138、139 参照)

自転車に対するイメージ (複数回答)



移動手段	日常生活での	* 使用目的別今後の自転車の利用意向 (使用頻度の変化) (1) 日常生活での移動手段		イメージ項目																		
		n		2	3	5	1	13	10	12	14	16	4	15	11	17	7	6	8	9	18	19
0	TOTAL	4,548		80.8	67.3	55.0	50.0	44.2	44.0	38.8	38.5	35.4	30.9	29.7	27.5	18.1	18.1	11.7	7.5	2.1	1.0	0.0
1	使用頻度変化無し	1,696	88.4	69.8	59.4	59.4	41.9	40.6	30.7	37.6	37.4	34.7	26.8	25.4	19.0	17.6	11.8	9.1	0.8	0.8	0.0	
2	使用頻度増加	400	81.5	85.3	66.0	53.3	47.8	46.5	34.8	38.0	33.3	48.3	27.8	30.5	17.8	26.8	20.5	13.5	0.3	0.5	0.0	
3	新規使用開始	764	79.7	80.5	56.9	45.5	45.4	48.4	37.2	37.3	33.8	33.9	27.7	28.9	19.0	19.6	12.7	9.6	1.3	1.0	0.0	
4	使用頻度減・非使用	1,688	73.6	54.5	47.2	41.9	45.1	44.8	48.8	39.9	34.6	21.6	34.0	28.1	17.0	15.9	8.9	3.5	4.3	1.4	0.0	

移動手段	近所の散策・	軽い運動	* 使用目的別今後の自転車の利用意向 (使用頻度の変化) (1) 近所の散策・軽い運動		イメージ項目																		
			n		2	3	5	1	13	10	12	14	16	4	15	11	17	7	6	8	9	18	19
0	TOTAL	4,548		80.8	67.3	55.0	50.0	44.2	44.0	38.8	38.5	35.4	30.9	29.7	27.5	18.1	18.1	11.7	7.5	2.1	1.0	0.0	
1	使用頻度変化無し	796	85.3	79.9	60.9	58.3	44.8	42.0	31.0	39.6	39.3	44.3	28.9	26.5	18.7	24.3	15.3	12.3	0.3	1.1	0.0		
2	使用頻度増加	542	80.3	89.3	63.3	49.6	50.3	47.0	32.8	39.1	34.9	49.3	27.9	26.9	19.6	28.0	21.3	15.5	0.2	1.3	0.0		
3	新規使用開始	1,470	82.7	75.1	56.9	50.5	42.0	43.3	35.6	33.4	33.1	31.2	24.8	25.3	15.4	16.2	10.9	6.9	1.3	0.5	0.0		
4	使用頻度減・非使用	1,740	77.2	48.1	48.3	46.0	43.8	44.6	46.8	42.0	35.7	18.7	34.8	29.9	19.8	13.9	7.6	3.3	4.3	1.4	0.0		

## 7 考察

今回の結果から、団塊の世代の今後の自転車に対する意識や利用像について考察した。

最初に、今後自転車の使用頻度が減少する、または自転車を使用しないと想定している人に対して、自転車の利用拡大の可能性を検討した。

まず、就労以外で今後積極的に行おうと考えている活動については、他の層よりも「健康の維持・増進」や「アウトドア活動」などを積極的に行いたいと考えている割合が低い傾向にあった。

また、自転車活用に必要環境や情報については、「一般道における自転車専用レーンの設置」、「自分に適した自転車の選び方についての情報」、「修理やメンテナンス方法についての情報」等をはじめとして、多くの項目で他の層よりも必要としている割合が低く、自転車に対するイメージについても、「健康維持・増進に手ごろな運動である」、「CO<sub>2</sub>を出さず環境にやさしい」、「乗ると心身ともに爽快になる」をはじめとした、好意的なイメージ項目を挙げる割合が他の層よりも低かった。

このように、今後自転車の使用頻度が減少する、または自転車を使用しないと想定している人は、全般的な傾向として活動することに消極的で、自転車への興味・関心自体も高くないことが伺えるため、今回の結果からは、自転車の利用拡大につながる方向性を見出すことができなかった。よって、今後も自転車の利用を想定している人に対するアプローチが、団塊の世代における自転車の利用拡大への近道と考えられる。

そこで、今後自転車の利用を想定している人の利用意向や購入意向に着目して分析した。

その結果、いずれの利用目的においても、新しく自転車を使い始める理由としては健康維持・増進効果への期待が高く、手軽さも大きな魅力であることがわかった。

そのような団塊の世代における自転車の利用拡大のパターンとしては、以下の2つが想定される。

ひとつめとしては、「日常生活の移動手段」に「軽い運動・近所の散策」が加わることで普段の生活で利用機会が増加していく形での利用拡大である。車種としてはこれまでと同様に軽快車を使い続ける可能性が最も高いが、特に女性においては電動アシスト自転車への切り替えが行われるケースも相当数見込めるであろう。

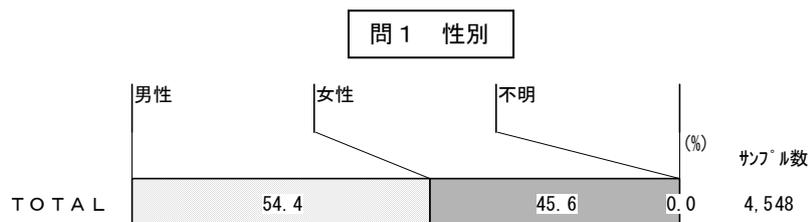
もうひとつとしては、「軽い運動・近所の散策」から開始して、「サイクリング・ツーリング」等のサイクルスポーツへ広がっていく形での利用拡大である。この場合は男性が自主的にサイクルスポーツを始め、女性については配偶者等の身近な人の影響で始めるようになるという、男性主導で拡大する可能性が高いと考えられる。また、これまで軽快車を利用している人がサイクルスポーツを開始するに至るまでには、自転車の買い替え時にクロスバイク等、軽快車以外の車種が選択肢に挙がる必要があると思われ、軽快車ユーザーに対してクロスバイク等の車種を自転車買い替えの対象にしてもらおうべく、啓発を進めていくことが有効であると考えられる。

### Ⅲ. 調査結果の詳細

#### 1 対象者属性

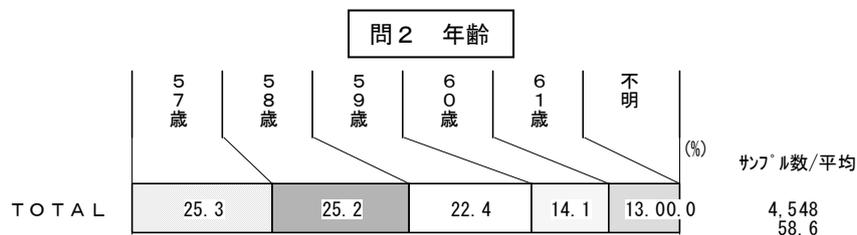
##### 問1 性別

回答者の性別は、「男性」が54.4%、「女性」が45.6%と、男性が10ポイント程度多い構成となっている。



##### 問2 年齢

回答者の年齢は、若いほど多い構成となっており、「57歳」(25.3%)、「58歳」(25.2%)で半数を占める。分析中に使用している「60歳未満」は57歳～59歳の合計で約7割(72.9%)、「60歳以上」は60歳～61歳の合計で3割弱(27.1%)である。



### 問 34 職業

回答者の職業は、「専業主婦」が 23.3%、「無職、定年退職」が 12.0%で、両者を合わせると 35.3%と、就労していない人が 3分の 1 強を占める。就労者のうち最も多いのは「会社員（管理職以外）」（13.3%）で、以下「自営業」（12.0%）、「パート・アルバイト・フリー」（10.2%）、「会社員（管理職）」（9.3%）もそれぞれ約 1 割みられる。

#### 問 34 職業

REPORT. NO:0103	TOTAL	1 会社員（管理職以外の社員）	2 会社員（管理職）	3 会社役員・経営者	4 派遣・契約社員	5 公務員・非営利団体職員	6 教職員講師	7 開業医、勤務医
1 段目 度数 2 段目 権%								
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】								
0) TOTAL	4,548 100.0	603 13.3	421 9.3	231 5.1	120 2.6	165 3.6	77 1.7	15 0.3

REPORT. NO:0103	TOTAL	8 看護師	9 薬剤師	10 その他医療関係者	11 弁護士、弁理士、行政書士	12 会計士、税理士	13 農林漁業	14 自営業（農林漁業を除く）
1 段目 度数 2 段目 権%								
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】								
0) TOTAL	4,548 100.0	10 0.2	13 0.3	29 0.6	13 0.3	1 0.0	24 0.5	546 12.0

REPORT. NO:0103	TOTAL	15 SOHO	16 パート・アルバイト・フリーター	17 内職	18 専業主婦	19 大学生、大学院生、専門学生、短大生、予備校生	20 無職、定年退職	21 その他の職業
1 段目 度数 2 段目 権%								
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】								
0) TOTAL	4,548 100.0	53 1.2	465 10.2	6 0.1	1,058 23.3	0 0.0	548 12.0	150 3.3

### 問 35 業種

有職者（パート・アルバイト・内職を除く）の業種については、下図のとおりである。

#### 問 35 業種（パート・アルバイト、内職除く）

REPORT. NO:0104	TOTAL	1 土木・建設・不動産・建物サービス	2 飲料	3 食品・食品加工	4 化粧品	5 トイレットリ製品・ヘアケア製品	6 たばこ	7 繊維・衣類	8 紙・パルプ、木材	9 日用雑貨・文具・事務用品	10 医薬品・健康食品
1 段目 度数 2 段目 権%											
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】											
0) TOTAL	2,471 100.0	316 12.8	6 0.2	43 1.7	3 0.1	1 0.0	3 0.1	33 1.3	9 0.4	3 0.1	26 1.1

REPORT. NO:0104	TOTAL	11 薬品	12 家電製品	13 化学・石油化学	14 鉄鋼・非鉄金属・金属・硝子・窯業・土石	15 自動車	16 その他製造業	17 出版・印刷関連	18 新聞・放送業	19 卸売・商社	20 デパート・スーパー
1 段目 度数 2 段目 権%											
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】											
0) TOTAL	2,471 100.0	2 0.1	40 1.6	29 1.2	36 1.5	49 2.0	210 8.5	33 1.3	1 0.0	84 3.4	16 0.6

REPORT. NO:0104	TOTAL	21 コンビニエンスストア	22 その他小売	23 運輸・倉庫・物流関連	24 電気・ガス・熱供給・水道	25 電気通信業	26 ソフトウェア、情報処理、その他の情報サービス業	27 マスコミ・広告	28 市場調査	29 銀行、信託、信金、信組、政府系金融	30 信販、消費金融、その他金融
1 段目 度数 2 段目 権%											
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】											
0) TOTAL	2,471 100.0	5 0.2	99 4.0	99 4.0	35 1.4	39 1.6	103 4.2	0 0.0	0 0.0	23 0.9	10 0.4

REPORT. NO:0104	TOTAL	31 証券、商品取引	32 生命保険、損害保険	33 レジャー関連サービス	34 外食・飲食サービス	35 教育	36 医療・福祉	37 理容室・美容室	38 その他サービス	39 自由業、フリーランス	40 その他
1 段目 度数 2 段目 権%											
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】											
0) TOTAL	2,471 100.0	14 0.6	55 2.2	29 1.2	62 2.5	163 6.6	120 4.9	30 1.2	283 11.5	109 4.4	250 10.1

### 問 36 年収（税込み）

回答者の年収については、全体の約5割（47.2%）を300万円未満の人が占める。

性別にみると、男性では「(200万円以上)300万円未満」から「(400万円以上)500万円未満」の層が最も多く、200万円以上500万円未満の人が3分の1強（35.7%）を占める。一方、女性では「0円」「100万円未満」「(100万円以上)200万円未満」の層が最も多く、200万円未満の人が3分の2近く（63.5%）を占める。

年齢別にみると、60歳未満で「0円」や「わからない・答えたくない」が若干多くなっているものの、年齢による顕著な差はみられない。

問 36 年収（税込み）＜性別・年齢別＞

REPORT. NO:0105 1 段目 度数 2 段目 横%	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8
		0円	100万円未満	200万円未満	300万円未満	400万円未満	500万円未満	600万円未満	700万円未満
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】									
0) TOTAL	4,548 100.0	614 13.5	573 12.6	471 10.4	488 10.7	400 8.8	329 7.2	229 5.0	180 4.0
1) 男性	2,473 100.0	54 2.2	102 4.1	185 7.5	323 13.1	295 11.9	265 10.7	193 7.8	154 6.2
2) 女性	2,075 100.0	560 27.0	471 22.7	286 13.8	165 8.0	105 5.1	64 3.1	36 1.7	26 1.3
3) 60歳未満	3,315 100.0	503 15.2	398 12.0	329 9.9	315 9.5	268 8.1	218 6.6	159 4.8	132 4.0
4) 60歳以上	1,233 100.0	111 9.0	175 14.2	142 11.5	173 14.0	132 10.7	111 9.0	70 5.7	48 3.9

REPORT. NO:0105 1 段目 度数 2 段目 横%	TOTAL	9	10	11	12	13	14	15	16
		800万円未満	900万円未満	1000万円未満	1200万円未満	1500万円未満	2000万円未満	2000万円以上	わからない・答えたくない
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】									
0) TOTAL	4,548 100.0	200 4.4	136 3.0	165 3.6	126 2.8	62 1.4	34 0.7	17 0.4	524 11.5
1) 男性	2,473 100.0	174 7.0	128 5.2	151 6.1	116 4.7	54 2.2	31 1.3	13 0.5	235 9.5
2) 女性	2,075 100.0	26 1.3	8 0.4	14 0.7	10 0.5	8 0.4	3 0.1	4 0.2	289 13.9
3) 60歳未満	3,315 100.0	158 4.8	106 3.2	139 4.2	101 3.0	48 1.4	30 0.9	11 0.3	400 12.1
4) 60歳以上	1,233 100.0	42 3.4	30 2.4	26 2.1	25 2.0	14 1.1	4 0.3	6 0.5	124 10.1

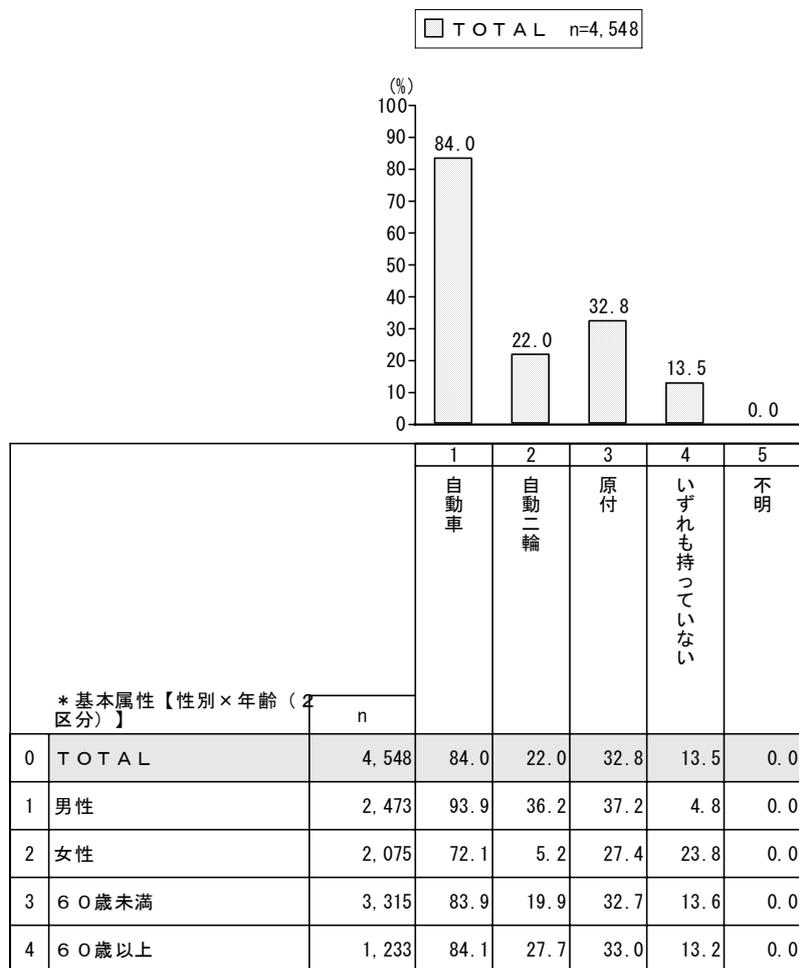
### 問 37 免許の取得状況（複数回答）

運転免許の取得率については、「自動車」が 84.0%、「原付」が 32.8%などとなっており、全体の 9 割近くの人がいずれかの運転免許を所有している。

性別にみると、所有率はいずれも女性の方が 10～30 ポイント低くなっており、「いずれも持っていない」(23.8%) 人も約 4 分の 1 みられる。一方、男性では「自動車」免許の取得率が 93.9% にのぼり、「いずれも持っていない」人は 4.8%にとどまる。

年齢別にみると、「自動二輪」の取得率において、60 歳以上が高い（60 歳未満：19.9%、60 歳以上：27.7%）という差はみられるものの、両年齢層とも「いずれも持っていない」（60 歳未満：13.6%、60 歳以上：13.2%）割合は約 13%と、年齢による顕著な差はみられない。

問 37 免許の取得状況（複数回答）＜性別・年齢別＞



## 2 自転車の利用状況

### (1) 自転車利用の有無と目的

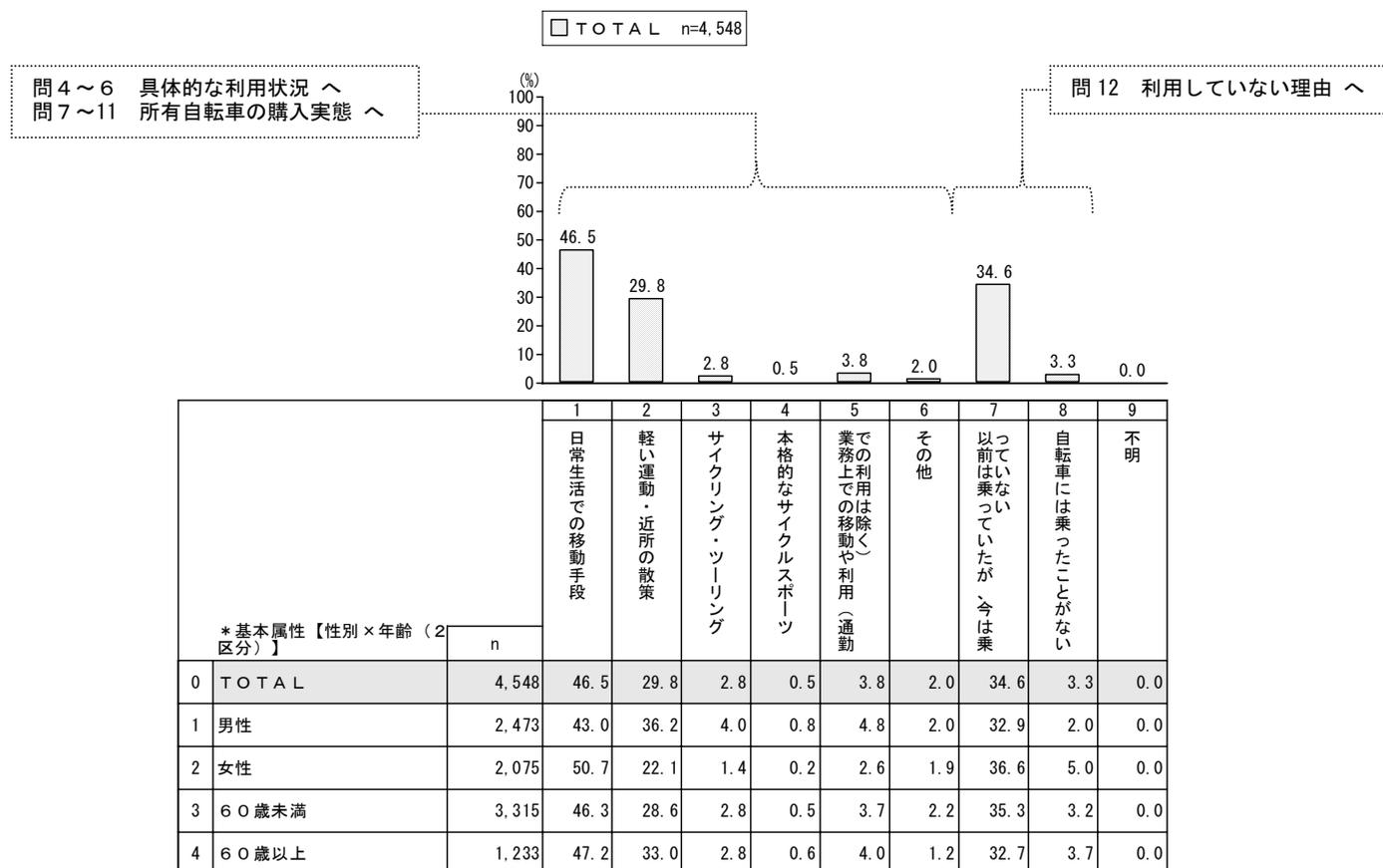
#### 問3 自転車の利用目的（複数回答）

現在、どのような目的で自転車を利用しているかを聞いたところ、「日常生活での移動手段」が46.5%で最も多く、団塊世代の約半数が日常生活において自転車を利用している。以下、「軽い運動・近所の散策」(29.8%)が約3割、「業務上での移動や利用」(3.8%)、「サイクリング・ツーリング」(2.8%)は3~4%となっている。一方、「以前は乗っていたが、今は乗っていない」(34.6%)、「自転車には乗ったことがない」(3.3%)といった、自転車を利用しない人も4割近く(37.9%)みられる。

性別にみると、女性では「日常生活での移動手段」(50.7%)としての利用は5割を超え、男性(43.0%)に比べて多くなっているものの、「軽い運動・近所の散策」(22.1%)は2割にとどまるなど、日常の移動手段以外の目的での利用は男性に比べて少ない。また、自転車を利用しない人も4割以上みられる(「以前は乗っていたが、今は乗っていない」「自転車には乗ったことがない」の合計41.6%)。一方、男性では「日常生活での移動手段」(43.0%)、「軽い運動・近所の散策」(36.2%)、「業務上での移動や利用(通勤での利用は除く)」(4.8%)、「サイクリング・ツーリング」(4.0%)となっており、自転車利用の目的が女性に比べて多様となっている。

年齢別にみると、2位の「軽い運動・近所の散策」として利用する人は、60歳以上では33.0%と、3人に1人にのぼり、60歳未満に比べて多くなっている。

問3 自転車の利用目的（複数回答）＜性別・年齢別＞



## (2) 日常での移動における自転車の利用実態

### 問4 日常の移動における各移動手段の利用割合

【母数：日常生活での移動手段として自転車を利用している人（問3参照）】

問3で、日常生活での移動手段として自転車を利用しているという2,117人に、日常での移動に占める各移動手段の<sup>⑩</sup>利用割合を聞いた。その結果を平均値で見ると、「自転車」を利用する割合は平均28.1%と、「自動車」(28.4%)と並んで最も高く、次いで「徒歩」が24.9%となっている。

(⑩日常生活における移動を100%とした場合の、下図の6手段の利用割合)

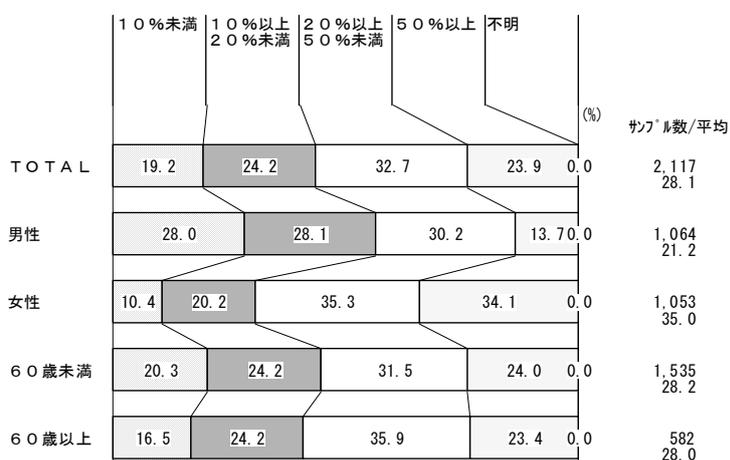
性別による違いがみられるのは「自動車」と「自転車」で、男性では「自動車」が32.6%を占めて最も高く、「自転車」(21.2%)は「徒歩」(24.8%)よりも低いのに対し、女性では「自転車」が35.0%を占めて最も高く、次いで「徒歩」(24.9%)、「自動車」(24.3%)がいずれも24%台となっており、女性では自転車を主たる移動手段とする人が一層多い。

年齢別にみると、「自転車」の利用割合は、60歳未満、60歳以上ともに3割近く(60歳未満：28.2%、60歳以上：28.0%)を占め、顕著な差はみられないが、「自転車」と並んで利用割合が高いのは、60歳未満では「自動車」(29.1%)、60歳以上では「徒歩」(27.7%)となっている。

問4 日常の移動における各移動手段の利用割合 平均値<性別・年齢別>

		4	2	1	5	3	6	
		自動車 ( <small>自家用車、 仕事用の</small> )	自転車	徒歩	公共交通機関 ( <small>電車、バス、 タクシー等</small> )	スクーター、 バイク	その他の移動手段	
*基本属性【性別×年齢(区分)】		n						
0	TOTAL	2,117	28.4	28.1	24.9	16.5	1.9	0.2
1	男性	1,064	32.6	21.2	24.8	19.0	2.2	0.2
2	女性	1,053	24.3	35.0	24.9	14.0	1.6	0.1
3	60歳未満	1,535	29.1	28.2	23.8	16.7	2.1	0.1
4	60歳以上	582	26.7	28.0	27.7	16.0	1.4	0.3

問4 日常の移動における自転車の利用割合<性別・年齢別>



### 問5 日常の移動での自転車の利用目的（複数回答）

【母数：日常生活での移動手段として自転車を利用している人（問3参照）】

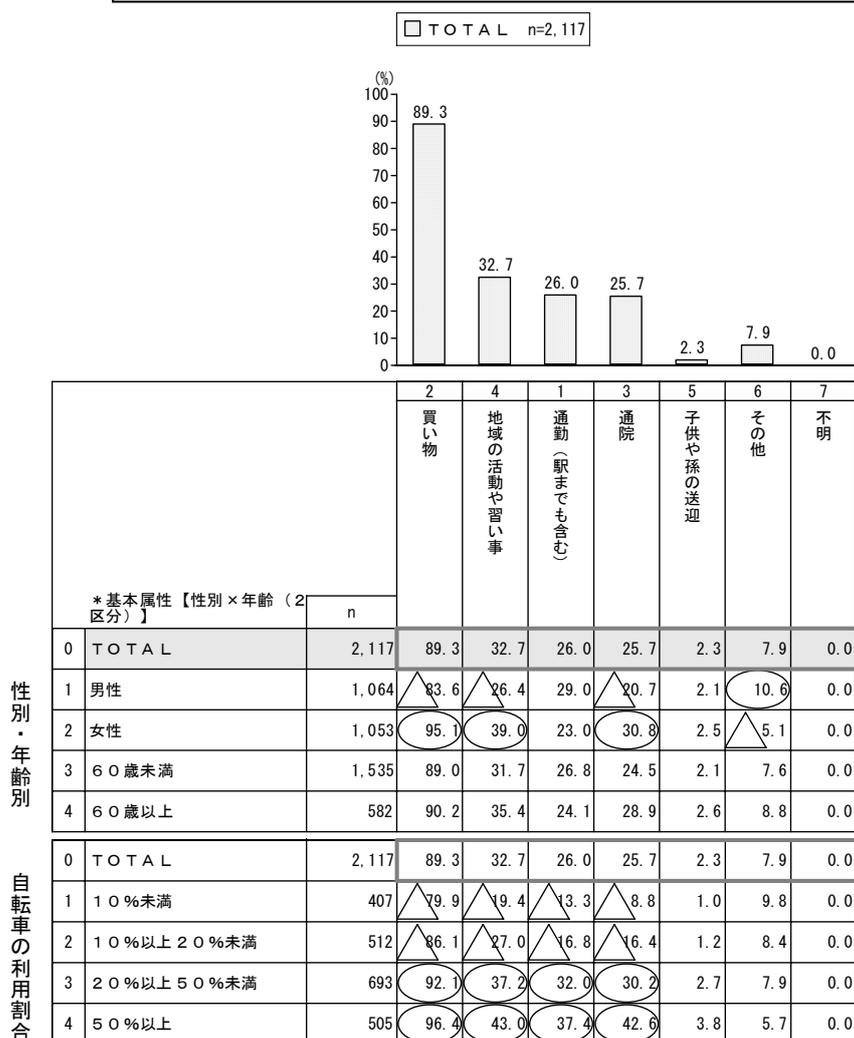
問3で、日常生活での移動手段として自転車を利用しているという2,117人に、具体的な利用目的を聞いたところ、「買い物」が89.3%にのぼって特に高く、以下「地域の活動や習い事」(32.7%)、「通勤（駅までも含む）」(26.0%)、「通院」(25.7%)が2～3割で続いている。

性別にみると、女性では「買い物」が95.1%と一層高くなっているほか、「地域の活動や習い事」(39.0%)や「通院」(30.0%)での利用も3～4割にのぼっている。一方、男性では「買い物」(83.6%)に次いで「通勤（駅までも含む）」が29.0%となっている。

年齢別にみると、60歳以上では「地域の活動や習い事」(35.4%)や「通院」(28.9%)のための利用が60歳未満に比べて若干高くなっている。

また、日常の移動における自転車の利用割合別（問4）にみると、利用割合による差が特に大きいのは「通院」で、日常の移動のうち自転車利用率〔50%以上〕という層では「通院」(42.6%)のための利用が4割を超えている。

問5 日常の移動での自転車の利用目的（複数回答）  
 <性別・年齢別・問4 日常の移動における自転車の利用割合別>



### (3) 日常での移動以外における自転車の利用実態

#### 問6 日常の移動以外での利用頻度

【母数：日常生活での移動以外の目的で自転車を利用している人（問3参照）】

問3で、「軽い運動・近所の散策」〔サイクリング・ツーリング〕〔本格的なサイクルスポーツ〕を目的に自転車を利用しているという人（軽い運動・近所の散策では1,355人、サイクリング・ツーリングでは128人、本格的なサイクルスポーツでは25人）にその頻度を聞いた。

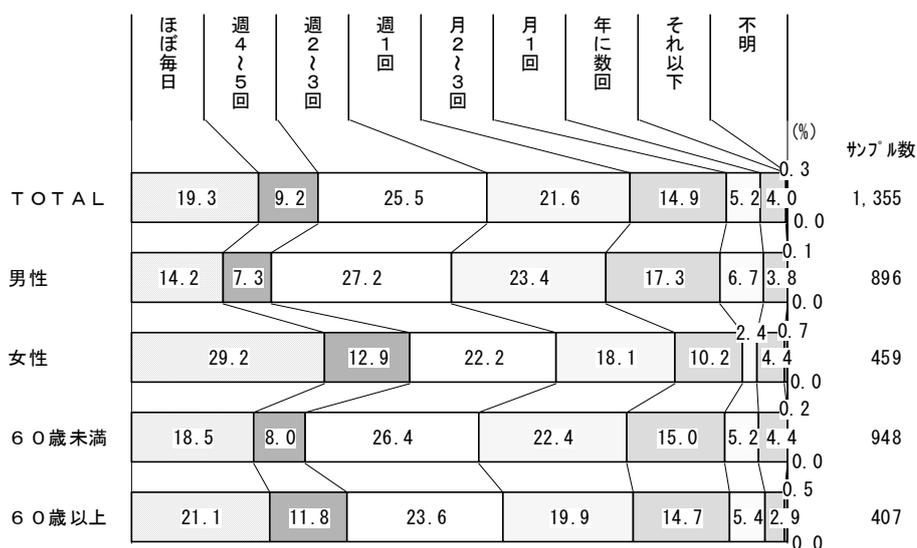
##### ①軽い運動・近所の散策

〔軽い運動・近所の散策〕では、「ほぼ毎日」（19.3%）や「週4～5回」（9.2%）など、2日に1回以上利用する人は約3割（28.5%）である。最も多いのは「週2～3回」（25.5%）や「週1回」（21.6%）といった週1～3回という人で、約半数（47.1%）を占める。

性別にみると、女性では「ほぼ毎日」（29.2%）や「週4～5回」（12.9%）など、2日に1回以上利用する人が42.1%を占める。一方、男性では「週2～3回」（27.2%）や「週1回」（23.4%）といった週1～3回という人が約半数（50.6%）を占めて最も多くなっており、女性に比べて若干頻度が低くなっている。

年齢別による差は、性別による差ほど顕著ではないが、60歳以上では、「ほぼ毎日」（21.1%）、「週4～5回」（11.8%）など2日に1回以上の利用者が32.9%と、60歳未満に比べて多い。一方、60歳未満では、「週2～3回」（26.4%）、「週1回」（22.4%）といった週1～3回という利用者が48.8%にのぼっており、高齢層の方が頻度の高い人が若干多くなっている。

問6 軽い運動・近所の散策での自転車の利用頻度＜性別・年齢別＞



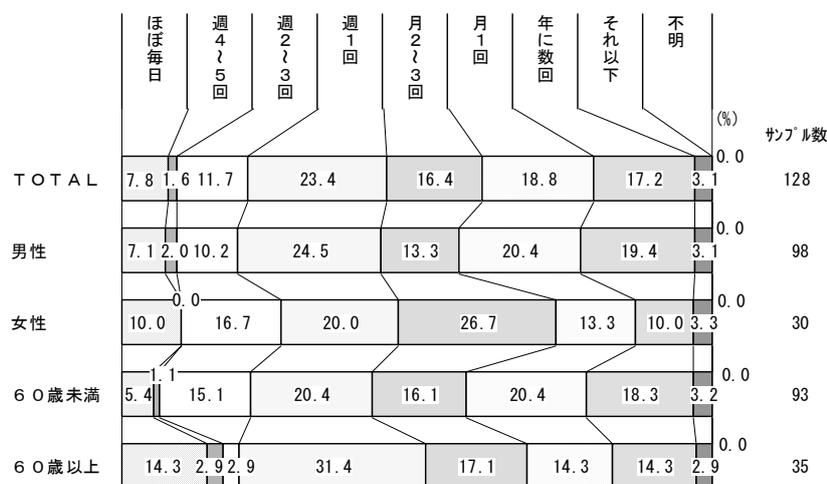
## ②サイクリング・ツーリング

「週1回」という人が23.4%で最も多く、これに「月2～3回」(16.4%)、「月1回」(18.8%)を合わせると58.6%と、月1回～週1回という人が約6割を占める。

性別にみると、男性では「月1回」(20.4%)や「年に数回」(19.4%)にとどまる人(39.8%)が女性に比べて多く、[軽い運度・近所の散策]と同様、女性の方が頻度の高い人が多い。

年齢別にみると、60歳以上では、「ほぼ毎日」(14.3%)や「週1回」(31.4%)という人が60歳未満に比べて多く、週1回以上の割合でみると、60歳未満では42.0%であるのに対し、60歳以上では51.5%と半数を超え、[軽い運度・近所の散策]と同様、高齢層の方が頻度の高い人が多くなっている。

問6 サイクリング・ツーリングでの自転車の利用頻度<性別・年齢別>

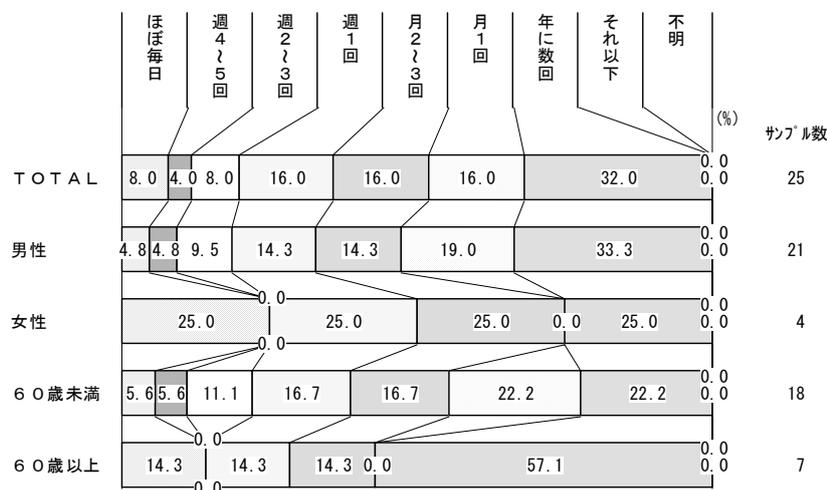


## ③本格的なサイクルスポーツ

他の目的に比べて利用頻度に偏りがなく、週1回以上(「ほぼ毎日」～「週1回」までの合計36.0%)、週1回未満月1回以上(「月2～3回」と「月1回」の合計32.0%)、年数回以下(32.0%)の人がそれぞれ3分の1ずつに分散している。

(性別及び年齢別については、サンプル数が少ないため分析からはずしている。)

問6 本格的なサイクルスポーツでの自転車の利用頻度<性別・年齢別>



#### (4) 主に利用している自転車について

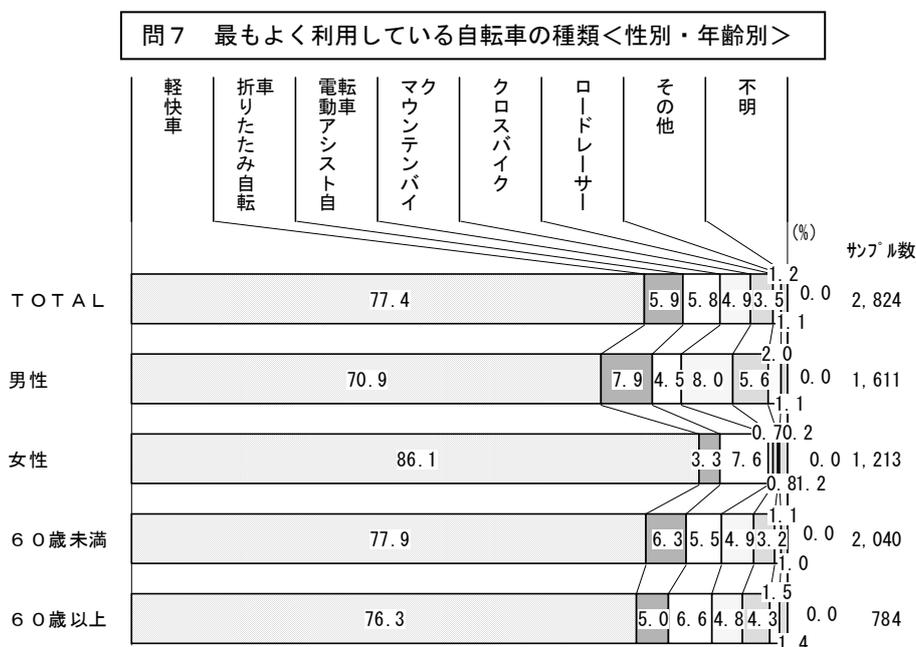
##### 問7 最もよく利用している自転車の種類

【母数：現在自転車を利用している人（問3参照）】

問3で、なんらかの目的で自転車を利用しているとすする 2,824 人に、最もよく利用している自転車の種類を聞いた結果、「軽快車」が 77.4%と、全体の4分の3以上を占め、以下、「折りたたみ自転車」(5.9%)、「電動アシスト自転車」(5.8%)、「マウンテンバイク」(4.9%)がいずれも5～6%となっている。

性別にみると、女性では「軽快車」が 86.1%を占めて一層高く、次いで「電動アシスト自転車」が 7.6%、男性では「軽快車」(70.9%)に次いで「マウンテンバイク」(8.0%)や「折りたたみ自転車」(7.9%)が1割弱となっている。

なお、年齢別による顕著な差はみられない。



## 問8 最もよく利用している自転車の購入先

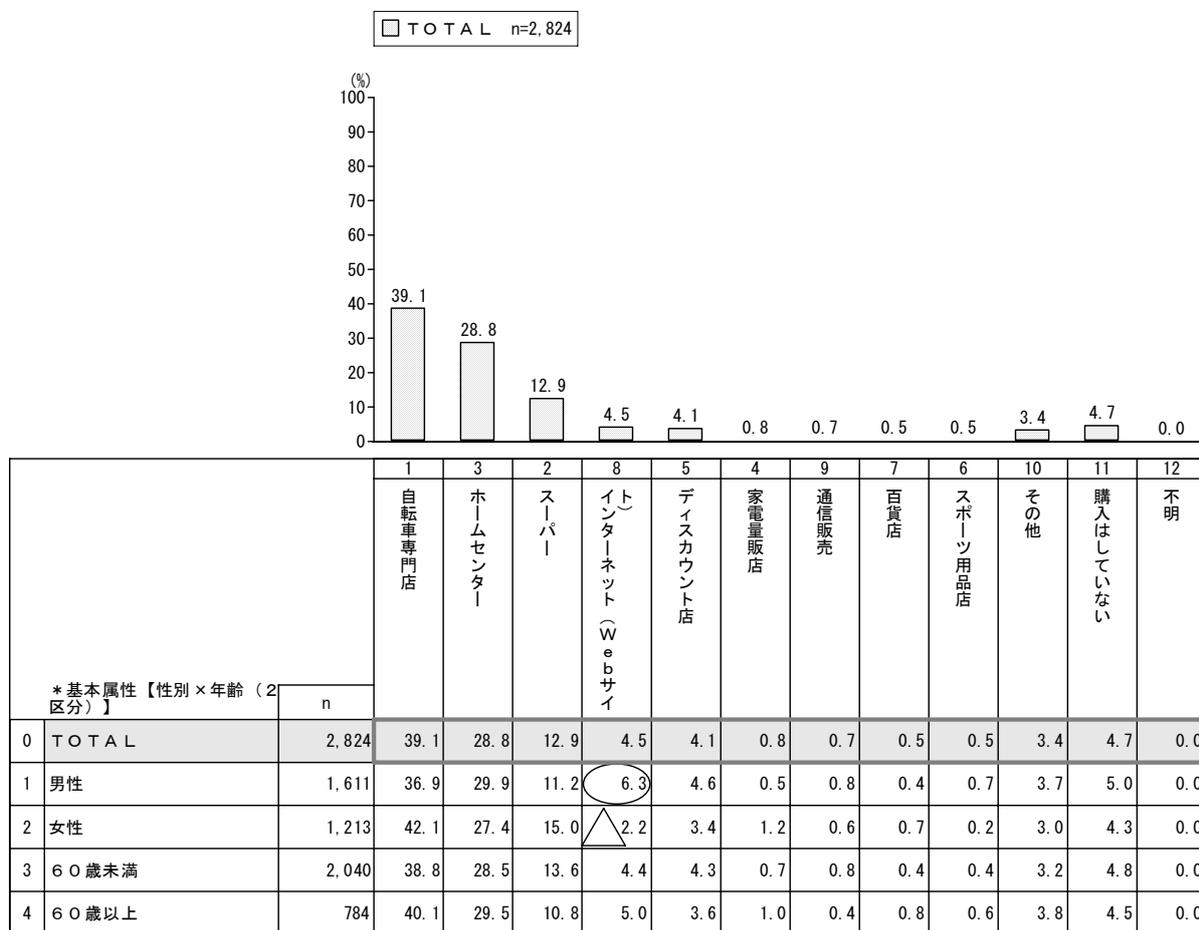
【母数：現在自転車を利用している人（問3参照）】

問3で、なんらかの目的で自転車を利用しているとすする2,824人に、問7で回答された自転車の購入先を聞いた結果、「自転車専門店」（39.1%）が約4割を占めて最も多く、以下「ホームセンター」（28.8%）、「スーパー」（12.9%）と続いている。

性別にみると、購入先として多い順には顕著な違いはみられないが、「自転車専門店」（男性：36.9%、女性：42.1%）と「スーパー」（男性：11.2%、女性：15.0%）は女性の方が若干高く、「インターネット WEB サイト」（男性：6.3%、女性：2.2%）は、男性の方が若干高くなっている。

なお、年齢別による顕著な差はみられない。

問8 最もよく利用している自転車の購入先<性別・年齢別>



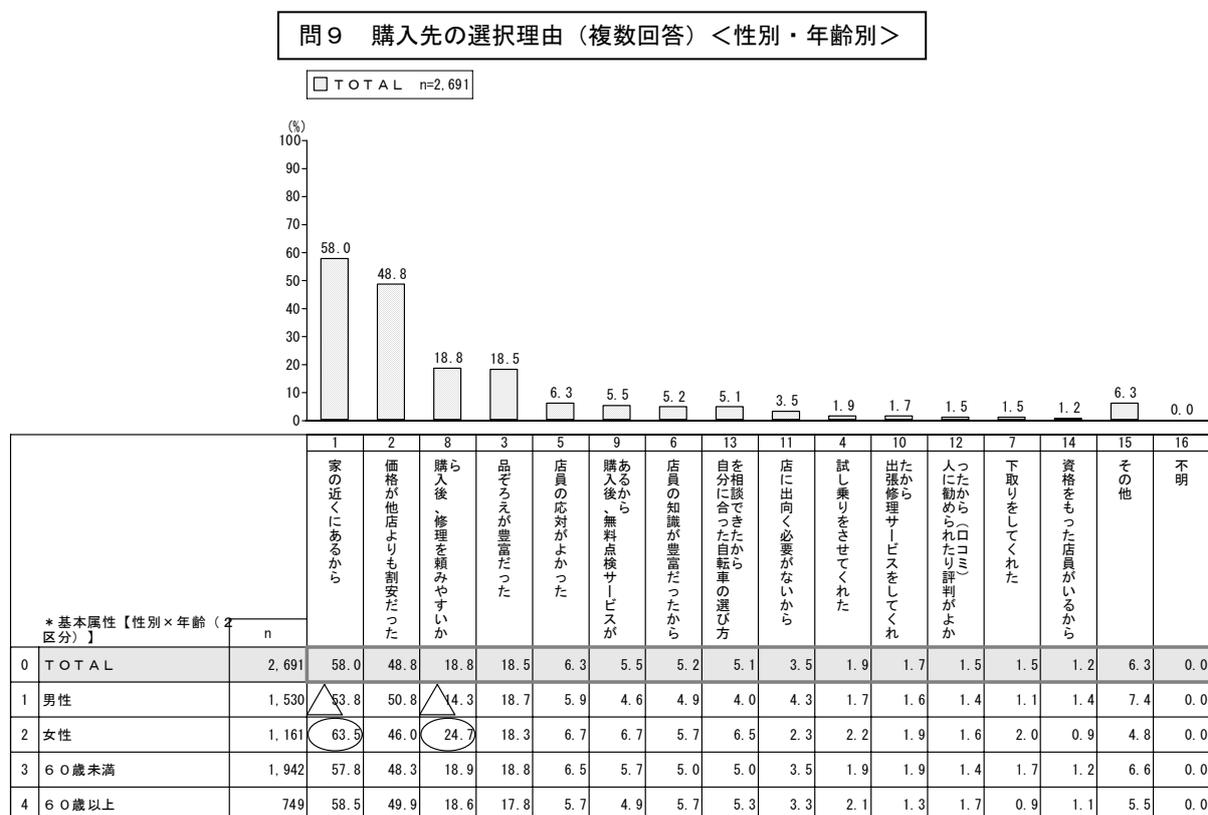
### 問9 購入先の選択理由（複数回答）

【母数：今利用している自転車を購入により入手した人（問8参照）】

問8で、現在利用している自転車を購入したという2,691人に、そこで購入した理由を聞いた結果、「家の近くにあるから」が58.0%で最も多く、これに「価格が他店よりも割安だった」(48.8%)が続いており、立地と価格に関しては、半数前後の人にとって決定理由のひとつとなっている。以下、1割を超えているのは「購入後、修理を頼みやすいから」(18.8%)と「品ぞろえが豊富だった」(18.5%)である。

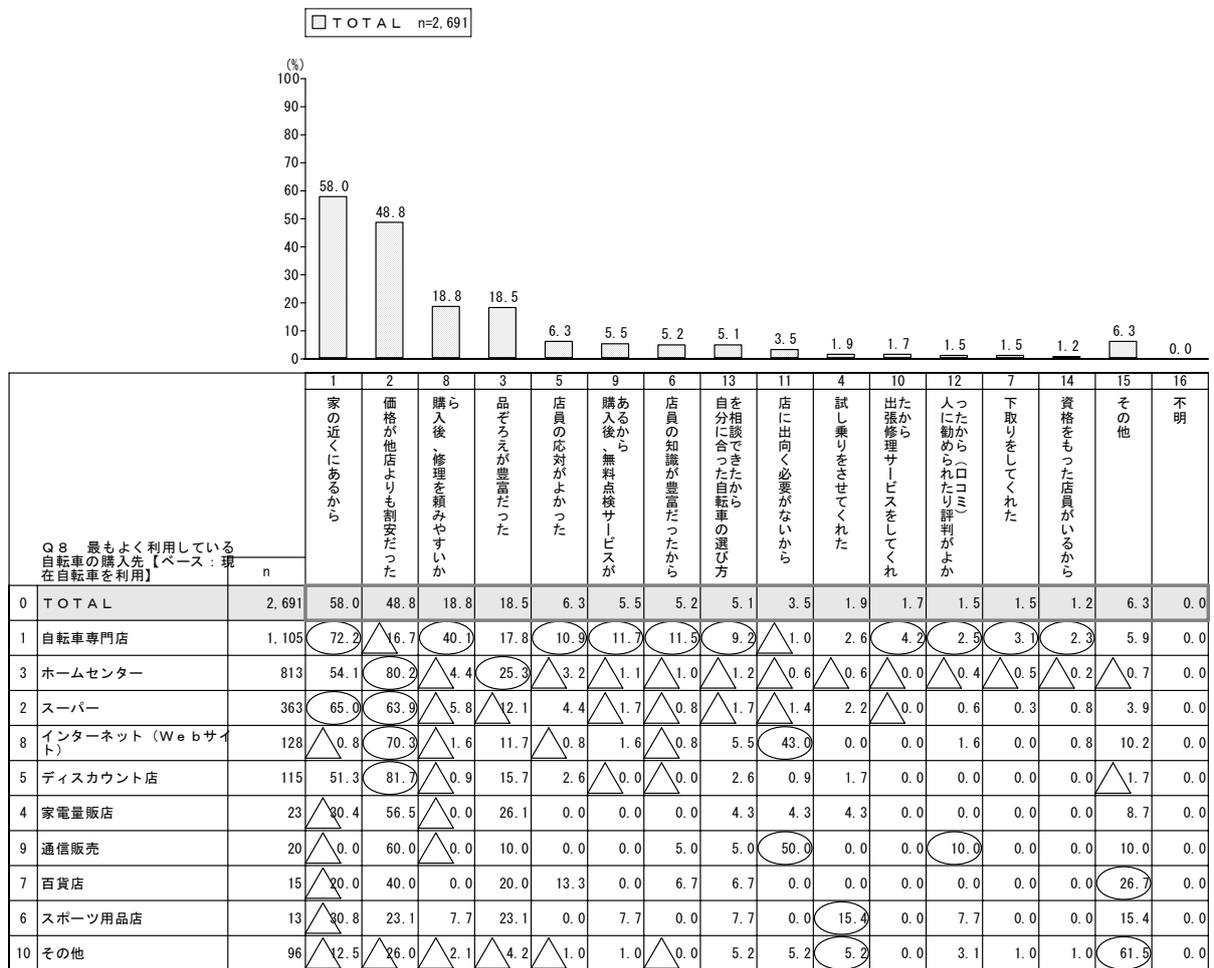
性別にみると、女性では「家の近くにあるから」が63.5%と、男性(53.8%)に比べて一層高くなっているほか、「購入後、修理を頼みやすいから」(女性：24.7%、男性：14.3%)や「購入後、無料点検サービスがあるから」(女性：6.7%、男性：4.6%)といった、アフターサービスの有無を選択の理由とする人が男性に比べて多くなっている。

なお、年齢別による顕著な差はみられない。



自転車の購入先別（問8）にみると、〔自転車専門店〕で購入した人では、「家の近くにあるから」（72.2%）が最も多く、これに「購入後、修理を頼みやすいから」（40.1%）が続いているほか、「購入後、無料点検サービスがあるから」（11.7%）、「店員の知識が豊富だったから」（11.5%）「店員の対応がよかった」（10.9%）、「自分に合った自転車の選び方を相談できたから」（9.2%）などをその理由とする人も約1割にのぼり、他店に比べて複数の選択理由をあげる人が多い。一方、〔ホームセンター〕で購入した人では、「価格が他店よりも割安だった」（80.2%）が最も多く、「品ぞろえが豊富だった」（25.3%）を理由とする人が他店に比べて多い。また、〔スーパー〕で購入した人は「家の近くにあるから」（65.0%）と「価格が他店よりも割安だった」（63.9%）の2点のみが6割を超えて顕著に高く、〔ディスカウント店〕や〔インターネット〕で購入した人は、「価格が他店よりも割安だった」（ディスカウント：81.7%、インターネット：70.3%）が最も高い。

問9 購入先の選択理由（複数回答）＜問8 自転車の購入先別＞

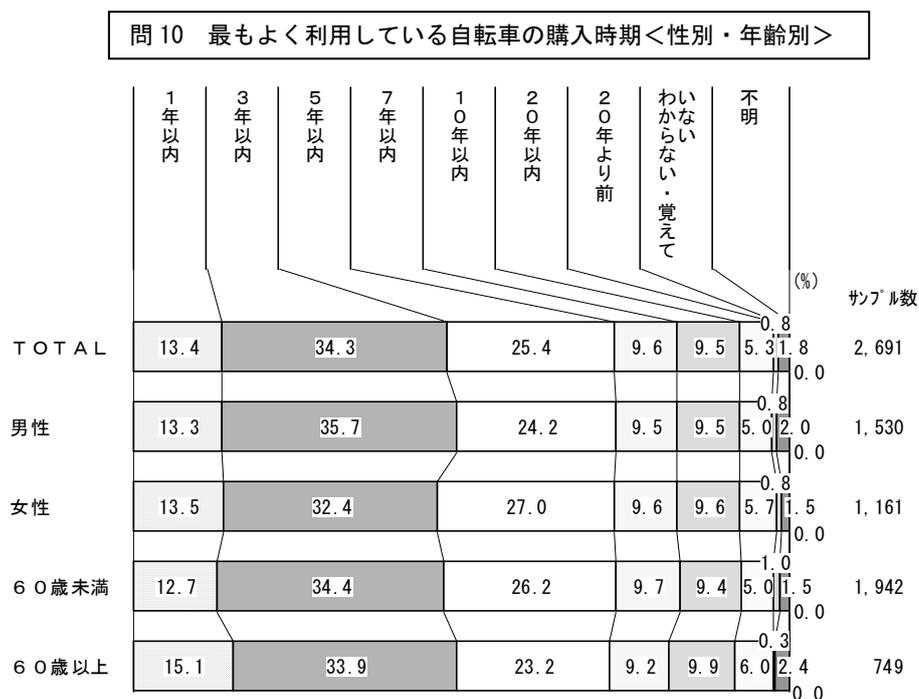


### 問10 最もよく利用している自転車の購入時期

【母数：今利用している自転車を購入により入手した人（問8参照）】

問8で、現在利用している自転車を購入したという2,691人に、購入した時期を聞いた結果、「(1～)3年以内」が34.3%を占めて最も多く、これに「1年以内」(13.4%)をあわせると47.7%と、約5割の自転車が購入3年以内である。

なお、性別や年齢別による顕著な差はみられない。



### 問 11 最もよく利用している自転車の購入価格

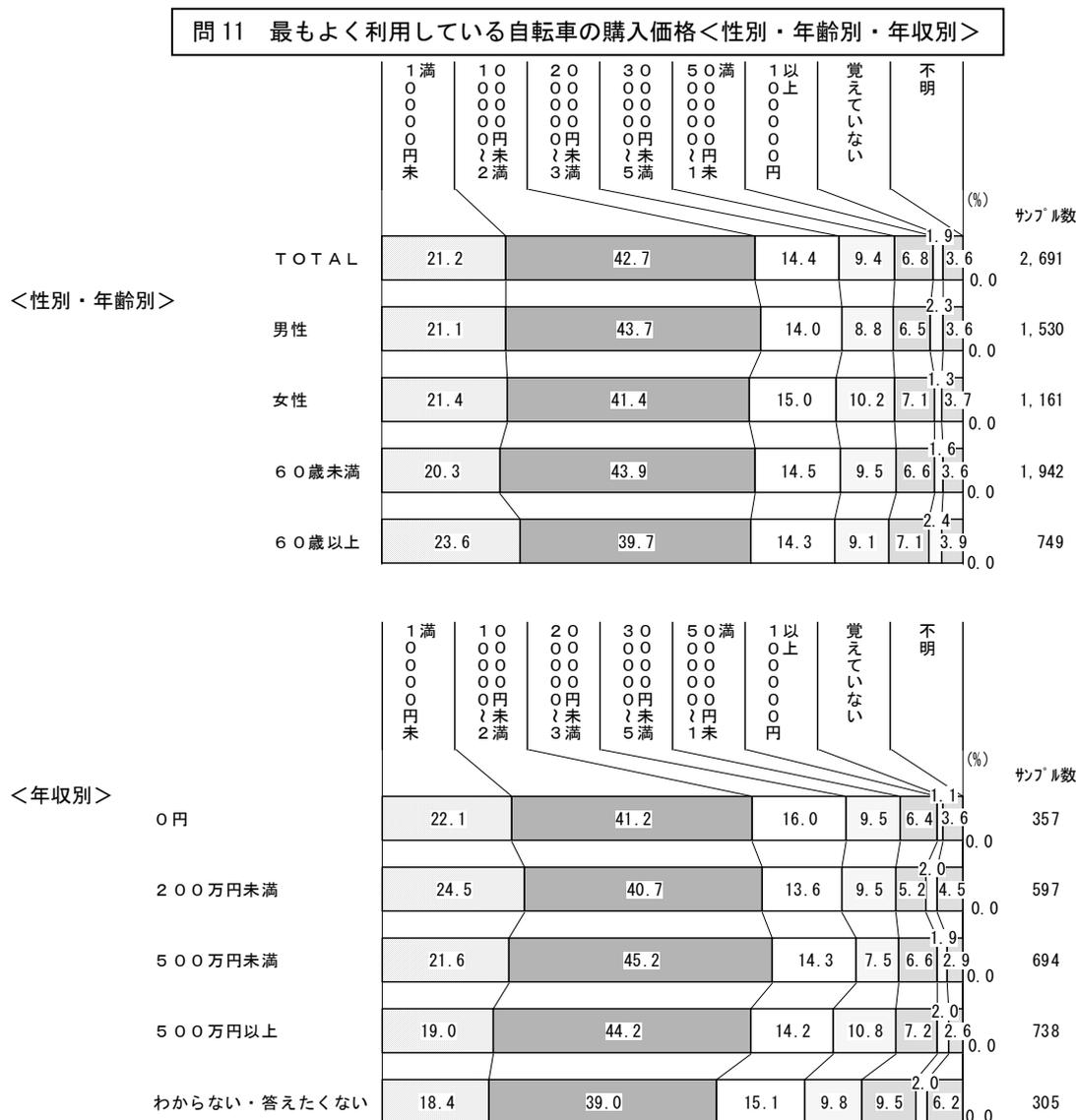
【母数：今利用している自転車を購入により入手した人（問 8 参照）】

問 8 で、現在利用している自転車を購入したという 2,691 人に、購入価格を聞いた結果、最も多いのは「10,000～20,000 円未満」の 42.7%で、次いで「10,000 円未満」（21.2%）となっており、両者を合わせると 63.9%と、20,000 円未満での購入が全体の約 3 分の 2 を占める。

性別による顕著な差はみられない。

年齢別にみると、60 歳以上では、60 歳未満に比べて「10,000 円未満」（60 歳以上：23.6%、60 歳未満：20.3%）での購入が若干多く、代わって「10,000～20,000 円未満」（60 歳以上：39.7%、60 歳未満：43.9%）での購入が若干少なくなっており、高齢層の方が一層安価な自転車を選択する人がやや多い傾向がみられる。

年収別にみると、年収が高い層ほど「10,000 円未満」の購入は少なくなり、「10,000～20,000 円未満」の購入が増えるという傾向が若干みられるものの、20,000 円以上の購入率に関しては、年収による顕著な差はみられない。



## (5) 自転車を利用していない人の理由

### 問 12 現在、自転車を利用していない理由（複数回答）

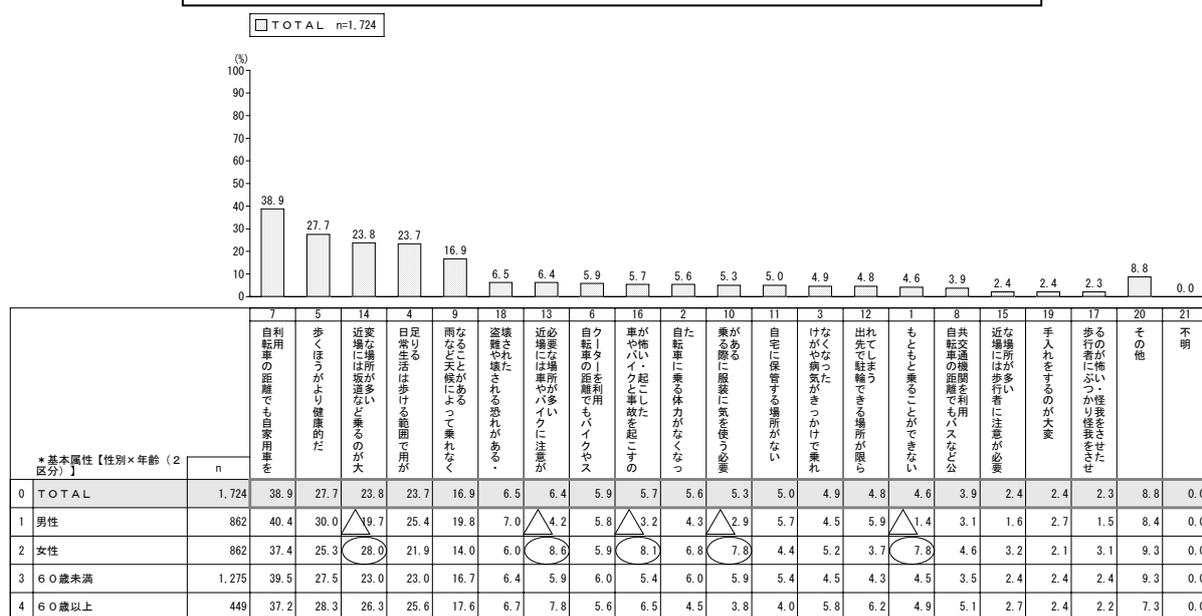
【母数：現在自転車を利用していない人（問3参照）】

問3で、「以前は乗っていたが、今は乗っていない」や「自転車には乗ったことがない」と回答している1,724人に自転車を利用していない理由を聞いた。「自転車の距離でも自家用車を利用」(38.9%)が最も高く、次いで「歩くほうがより健康的だ」(27.7%)となっており、自転車以外の移動手段を選択している人が多い。一方、環境的な要因の中では、「近場には坂道など乗るのが大変な場所が多い」が23.8%で最も高い。

性別にみると、男性では、「自転車の距離でも自家用車を利用」(40.4%)、「歩くほうがより健康的だ」(30.0%)、「日常生活は歩ける範囲で用が足りる」(25.4%)といった、自転車以外の移動手段を選択している人が若干多い。一方、女性では、「近場には坂道など乗るのが大変な場所が多い」(28.0%)、「近場には車やバイクに注意が必要な場所が多い」(8.6%)、「車やバイクと事故を起こすのが怖い・起こした」(8.1%)といった、道路事情などの環境を理由とする人が若干多い。

年齢別による顕著な差はみられない。

問 12 現在、自転車を利用していない理由（複数回答）＜性別・年齢別＞



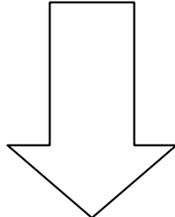
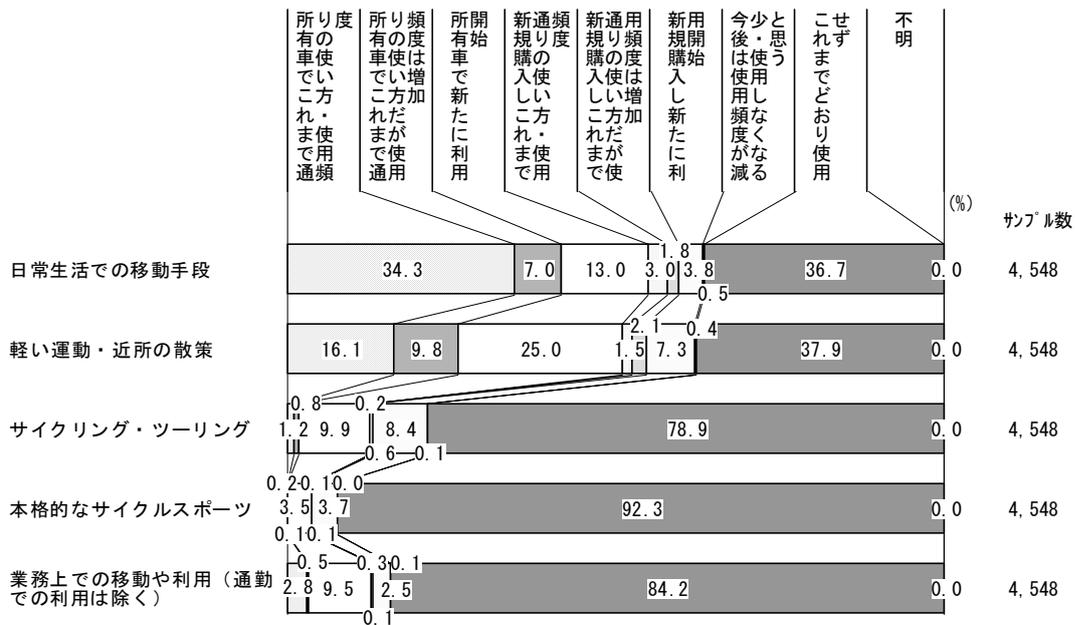
### 3 自転車の利用意向

#### (1) 自転車利用目的別にみた利用意向

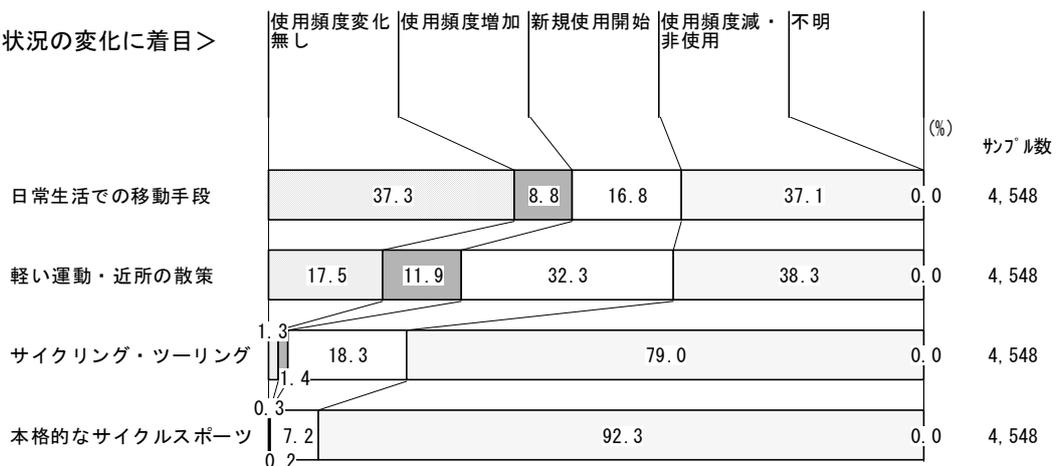
##### 問 13 今後の自転車の利用意向

自転車の利用目的別に今後の利用意向を尋ねた。

問 13 今後の自転車の利用意向<自転車の利用目的別比較>



<使用状況の変化に着目>



### ①現在利用していない人の今後の意向

「新規使用開始」（「所有車で新たに利用開始」と「新規購入し新たに利用開始」との合計）が最も高いのは〔軽い運動・近所の散策〕で、32.3%と全体の約3分の1、現在利用していない人の半数近く（「これまでどおり使用せず」という人は37.9%であることから）が、今後、軽い運動・近所の散策に自転車を利用したいと考えている。なお、〔サイクリング・ツーリング〕や〔本格的なサイクルスポーツ〕における新規利用開始は、〔サイクリング・ツーリング〕では全体の約2割（18.3%）みられるが、〔本格的なサイクルスポーツ〕では全体の1割弱（7.2%）にとどまり、「これまでどおり使用せず」（92.3%）という人が9割以上を占める。

また、「所有車で新たに利用開始」と「新規購入し新たに利用開始」を比較し、利用開始にあたり新規購入を伴う割合に着目すると、〔日常生活での移動手段〕と〔軽い運動・近所の散策〕では「所有車で新たに利用開始」が「新規購入し新たに利用開始」を大きく上回っており、所有車で新規開始が大多数を占めている。

一方、〔サイクリング・ツーリング〕や〔本格的なサイクルスポーツ〕における「新規購入し新たに利用開始」とする割合は、〔サイクリング・ツーリング〕では全体の8.4%、〔本格的なサイクルスポーツ〕では全体の3.7%と、いずれも新規利用開始者のうち約半数が新規購入を予定している。（「所有車で新たに利用開始」は、〔サイクリング・ツーリング〕で9.9%、〔本格的なサイクルスポーツ〕で3.5%であることから）

### ②現在利用している人の今後の意向

「使用頻度増加」（「所有車でこれまで通りの使い方だが使用頻度は増加」と「新規購入しこれまで通りの使い方だが使用頻度は増加」との合計）は、〔日常生活での移動手段〕と〔軽い運動・近所の散策〕では全体の約1割（日常：8.8%、散策：11.9%）となっている。しかし、現状における利用率は〔日常生活での移動手段〕の方が高いことを考慮すると、現状における利用者に占める使用頻度の増加を希望する割合は、〔日常生活での移動手段〕では約2割、〔軽い運動・近所の散策〕では約4割と、〔軽い運動・近所の散策〕の方が利用頻度の増加を希望する割合が高くなっている。（「所有車でこれまで通りの使い方・使用頻度」「新規購入しこれまで通りの使い方・使用頻度」の合計は、〔日常生活での移動手段〕で37.3%、〔軽い運動・近所の散策〕で17.6%であることから）

一方、〔サイクリング・ツーリング〕や〔本格的なサイクルスポーツ〕においては、〔サイクリング・ツーリング〕で1.4%、〔本格的なサイクルスポーツ〕では0.2%と、いずれも現在利用者の約半数が現在の利用頻度を増加したいと考えている。（「所有車でこれまで通りの使い方・使用頻度」「新規購入しこれまで通りの使い方・使用頻度」の合計は、〔サイクリング・ツーリング〕で1.4%、〔本格的なサイクルスポーツ〕で0.3%であることから）

## (2) 日常の移動における自転車の利用意向の詳細

### 問 13 日常の移動における今後の使用状況

日常の移動において自転車の「新規使用開始」を想定している人は全体の 16.8%、「使用頻度増加」を想定している人は全体の約 1 割 (8.8%)、「使用頻度変化無し」と想定する人は全体の 4 割弱 (37.3%) を占める。

性別にみると、「新規使用開始」は、男性では 21.3%と、女性 (11.4%) に比べて約 10 ポイント高い。また、現状における利用率は女性の方が高いにもかかわらず (問 3 参照)、「使用頻度増加」は、男性 (9.6%) の方が女性 (7.9%) に比べて若干高く、「使用頻度変化無し」は、女性 (42.2%) の方が男性 (33.2%) に比べて高くなっており、日常の移動における自転車利用の拡大の可能性は男性の方が高い。

年齢別では顕著な違いはみられない。

現状における利用割合別 (問 4) にみると、下表に示した矢印のとおり、使用頻度増加の意向は、現状における自転車利用の割合が低い層ほど高くなっている。

問 13 日常の移動における今後の使用状況  
 <性別・年齢別・問 4 自転車の利用割合別>

		1 使用頻度変化無し	2 使用頻度増加	3 新規使用開始	4 使用頻度減・非使用	5 不明	
* 基本属性【性別×年齢 (2 区分)】		n					
<性別・年齢別>	0 TOTAL	4,548	37.3	8.8	16.8	37.1	0.0
	1 男性	2,473	△33.2	9.6	○21.3	35.9	0.0
	2 女性	2,075	○42.2	7.9	△11.4	38.5	0.0
	3 60歳未満	3,315	37.1	8.7	16.3	37.9	0.0
	4 60歳以上	1,233	37.7	9.2	18.0	35.1	0.0
<自転車の利用割合>	0 TOTAL	4,548	37.3	8.8	16.8	37.1	0.0
	1 10%未満	407	○70.8	↑28.7	△0.0	△0.5	0.0
	2 10%以上20%未満	512	○76.0	○22.5	△0.0	△1.6	0.0
	3 20%以上50%未満	693	○78.8	○20.1	△0.0	△1.2	0.0
	4 50%以上	505	○93.7	△5.7	△0.0	△0.6	0.0
	5 非利用	2,431	△0.0	△0.0	○31.4	○68.6	0.0

### 問 14 日常の移動における利用増加や利用開始の理由（複数回答）

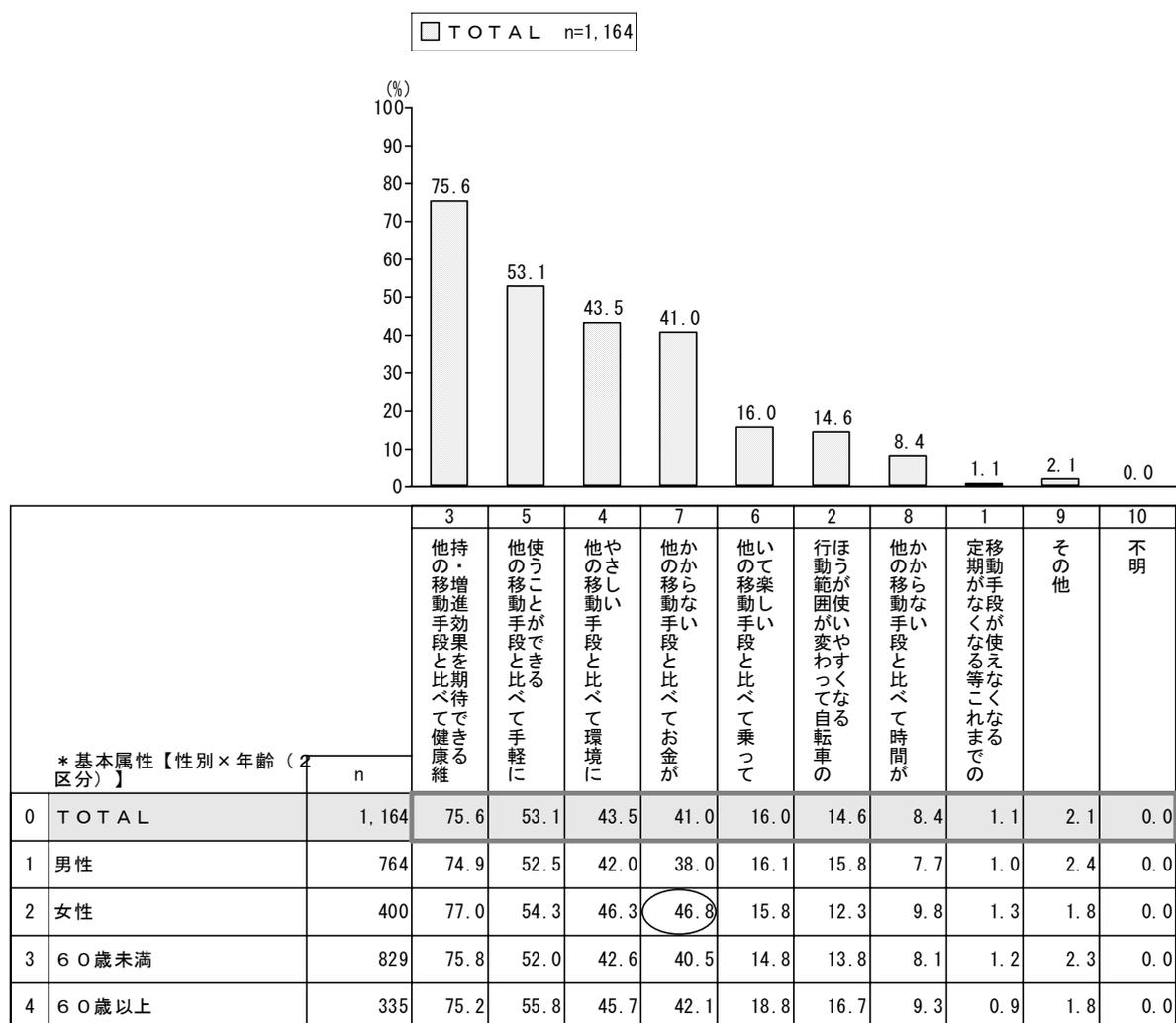
【母数：日常の移動における利用頻度を拡大、または新たに利用を開始する人（問 13 参照）】

日常の移動手段として自転車利用を新規に開始もしくは使用頻度の増加を希望している 1,164 人にその理由を聞いた結果、最も回答が高かったのは「他の移動手段と比べて健康維持・増進効果を期待できる」の 75.6%で4分の3にのぼる。以下、「他の移動手段と比べて手軽に使うことができる」(53.1%) が5割強、「他の移動手段と比べて環境にやさしい」(43.5%)、「他の移動手段と比べてお金がかからない」(41.0%) が4割強で続いている。

性別にみると、女性では「他の移動手段と比べてお金がかからない」が46.8%にのぼり、全体で3位の「他の移動手段と比べて環境にやさしい」(46.3%) を若干上回って3位を占める。

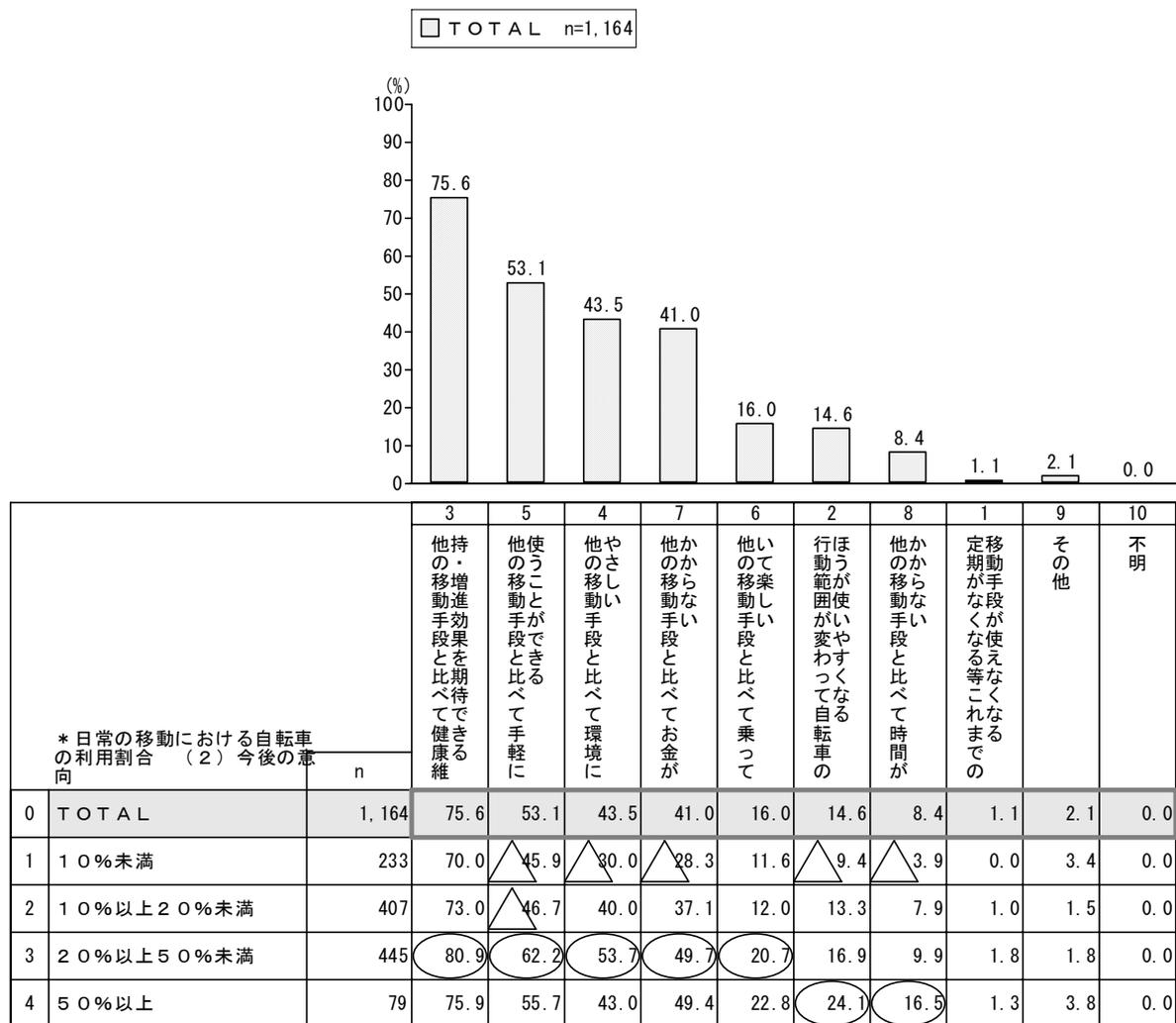
年齢別による顕著な差はみられない。

問 14 日常の移動における利用増加や利用開始の理由（複数回答）＜性別・年齢別＞



今後の利用割合別（問 15）にみると、回答の高い順においては顕著な差はみられないが、今後の利用割合〔20%以上 50%未満〕の層では、上位 5 項目が他の層に比べて一層高くなっており、自転車の魅力を多方面から捉える人が多い。なお、今後の利用割合〔50%以上〕の層では、「行動範囲が変わって自転車のほうが使いやすくなる」（24.1%）や「他の移動手段と比べて時間がかからない」（16.5%）といった理由も 2 割前後みられる。

問 14 日常の移動における利用増加や利用開始の理由（複数回答）＜問 15 今後の利用割合別＞



## 問 15 日常の移動における今後の利用割合

【母数：日常の移動における利用頻度を拡大・現状維持、または新たに利用を開始する人（問 13 参照）】

今後、日常の移動手段として自転車を利用するという 2,860 人（新規開始・使用頻度増加・使用頻度現状維持の人）に今後の日常の移動に占める各移動手段の<sup>\*</sup>利用割合を聞いた。その結果を平均値で見ると、「自転車」を利用する割合は平均 25.8%と、「自動車」(32.8%) に次いで 2 番目に高い。（\*日常生活における移動を 100%とした場合の、下表の 6 手段の利用割合）

なお、現状における利用割合（問 4 参照 「自転車」 28.1%、「自動車」 28.4%）と比較すると、「自動車」の割合が高くなり、「自転車」の割合が低くなっているが、多くの男性新規利用者が加わったことも影響していると推測される。

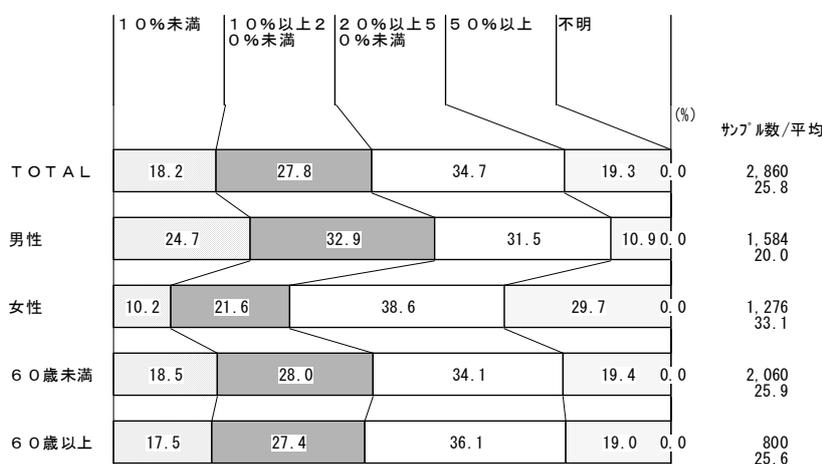
性別にみると、男性では自転車の利用率が「10%未満」（24.7%）や「10～20%未満」（32.9%）という人が多く、利用率 20%未満にとどまる人が 6 割近く（57.6%）を占める。平均値で見ても「自転車」は 20.0%と、「自動車」（37.3%）、「徒歩」（23.3%）に次いで 3 番目となっている。一方、女性では「自転車」の平均利用割合は 33.1%にのぼり、「自動車」（27.1%）、「徒歩」（24.1%）を上回って最も高い。

年齢別では顕著な差はみられない。

問 15 日常の移動における今後の各移動手段の利用割合 平均値<性別・年齢別>

* 基本属性【性別×年齢（2区分）】	n	4	2	1	5	3	6
		自転車 （自家用車、 仕事用の 自転車）	自転車	徒歩	公共交通機関 （電車、バス、 タクシー等）	スクーター バイク	その他の移動手段
0 TOTAL	2,860	32.8	25.8	23.6	15.3	2.3	0.2
1 男性	1,584	37.3	20.0	23.3	16.7	2.5	0.2
2 女性	1,276	27.1	33.1	24.1	13.6	2.0	0.1
3 60歳未満	2,060	33.0	25.9	22.8	15.5	2.5	0.2
4 60歳以上	800	32.0	25.6	25.8	14.8	1.7	0.2

問 15 日常の移動における今後の自転車の利用割合 <性別・年齢別>



## 問 16 日常の移動における利用増加や利用開始の目的（複数回答）

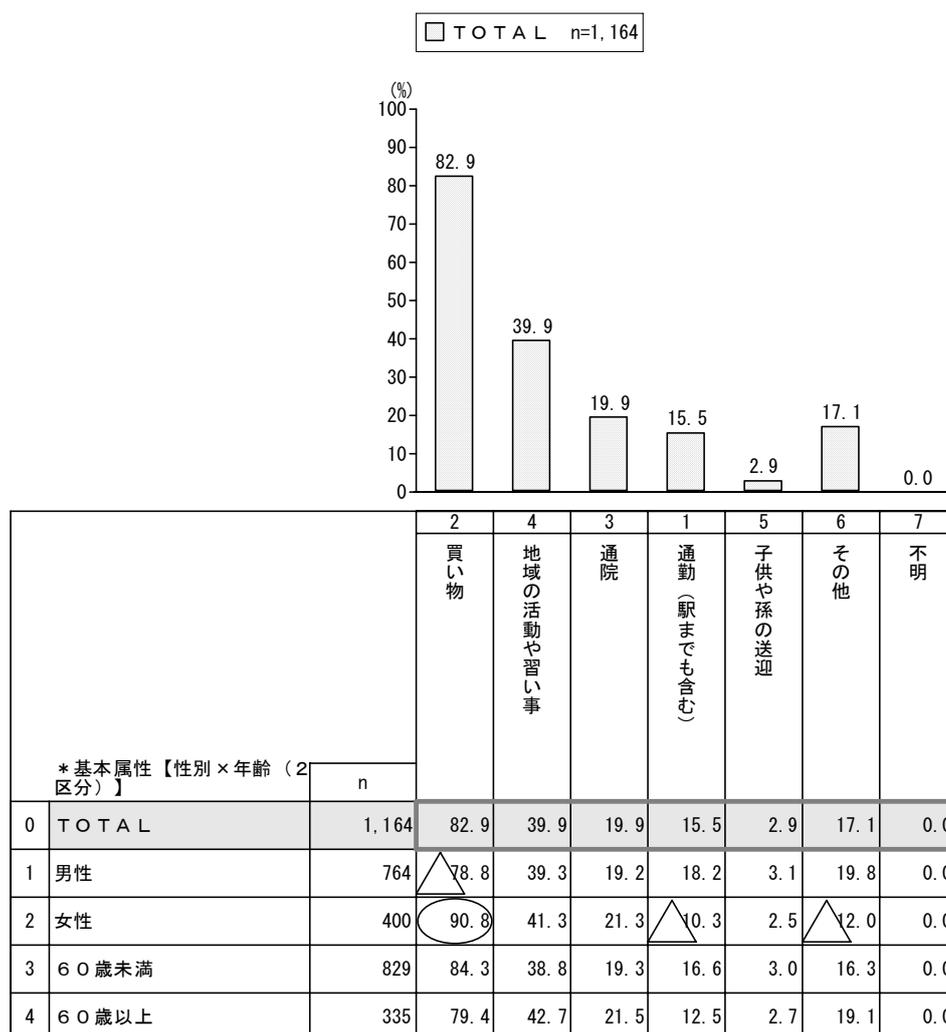
【母数：日常の移動における利用頻度を拡大、または新たに利用を開始する人（問 13 参照）】

日常の移動手段として自転車利用を新規に開始もしくは使用頻度を増加するという 1,164 人に利用目的を聞いたところ、「買い物」が 82.9%で特に高く、以下「地域の活動や習い事」（39.9%）、「通院」（19.9%）、「通勤（駅までも含む）」（15.5%）となっている。現状における利用目的（問 5 参照）と比べて高いのは「地域の活動や習い事」（現状では 32.7%）のみである。

性別にみると、女性では、「買い物」（90.8%）に次いで「地域の活動や習い事」（41.3%）、「通院」（21.3%）となっており、現状での利用目的（問 5 参照）と比べると、「通院」が 10 ポイント低くなっているものの、大きな変化はみられない。男性でも「買い物」（78.8%）、「地域の活動や習い事」（39.3%）、「通院」（19.2%）となっており、現状では 2 番目に高かった「通勤（駅までも含む）」（現状では 29.0%）は約 10 ポイント低くなり、代わって、「地域の活動や習い事」（現状では 26.4%）が 10 ポイント以上高くなっている。

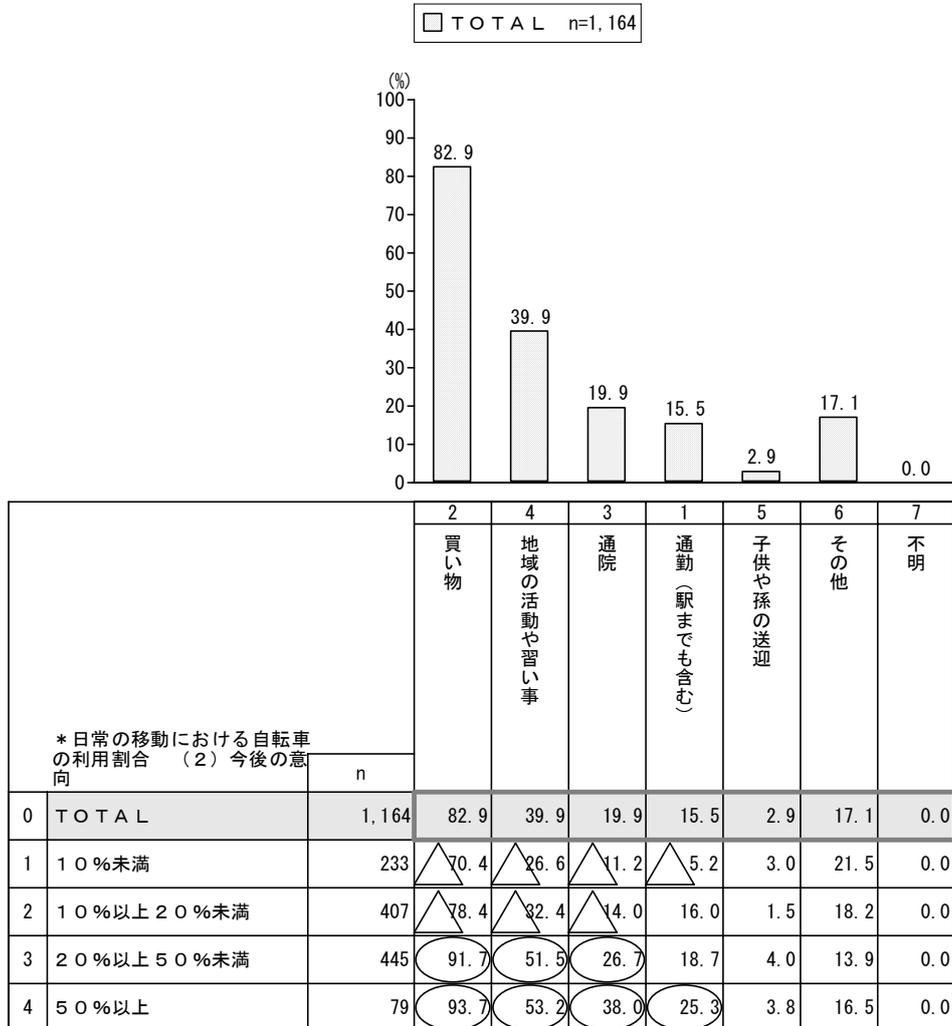
年齢別にみると、現状での利用目的（問 5 参照）と同様、「地域の活動や習い事」（60 歳以上：42.7%、60 歳未満：38.8%）や「通院」（60 歳以上：21.5%、60 歳未満：19.3%）のための利用は、60 歳以上の方が若干高くなっている。

問 16 日常の移動における利用増加や利用開始の目的（複数回答）＜性別・年齢別＞



今後の利用割合別（問 15）にみると、「買い物」「地域の活動や習い事」「通院」「通院」「通勤（駅までも含む）」のすべてにおいて、利用割合が高い層ほど回答も顕著に高くなっており、頻度が高い層ほど複数の目的に自転車を利用しようという状況がうかがえる。

問 16 日常の移動における利用増加や利用開始の目的（複数回答）＜問 15 今後の利用割合＞



### (3) 軽い運動や近所の散策における自転車の利用意向の詳細

#### 問 13 軽い運動や近所の散策における今後の使用状況

軽い運動や近所の散策において自転車の「新規使用開始」を想定している人は全体の 32.3%、「使用頻度増加」を想定している人は全体の約 1 割 (11.9%)、「使用頻度変化無し」と想定する人は全体の 2 割弱 (17.6%) を占める。

性別にみると、「新規使用開始」は、男女とも約 3 割である。しかし、「使用頻度減・非使用」は、女性では 47.2% であるのに対し、男性では 30.7% となり、現状での利用者も含めた今後の利用率は男性では約 7 割と、女性に比べて高い。また、「使用頻度増加」の割合は、男性が女性の約 2 倍となっており (男性 : 15.4%、女性 : 7.7%)、軽い運動や近所の散策における自転車利用の拡大の可能性は男性の方が高い。

年齢別による顕著な差はみられない。

現状における利用頻度別 (問 6) にみると、下表に示した矢印のとおり、使用頻度増加の意向は現状における頻度が低い層ほど高く、使用頻度現状維持の意向は現状における頻度が高い層ほど高くなっている。

問 13 軽い運動や近所の散策における今後の使用状況  
 <性別・年齢別・問 6 利用頻度別>

		1	2	3	4	5	
		使用頻度変化無し	使用頻度増加	新規使用開始	使用頻度減・非使用	不明	
* 基本属性【性別×年齢 (2区分)】		n					
<性別・年齢別>	0 TOTAL	4,548	17.5	11.9	32.3	38.3	0.0
	1 男性	2,473	20.5	15.4	33.4	30.7	0.0
	2 女性	2,075	14.0	7.7	31.1	47.2	0.0
	3 60歳未満	3,315	16.6	11.7	33.0	38.7	0.0
	4 60歳以上	1,233	20.0	12.4	30.4	37.1	0.0
<自転車の利用頻度別>	0 TOTAL	4,548	17.5	11.9	32.3	38.3	0.0
	1 ほぼ毎日	261	76.2	23.4	0.0	0.4	0.0
	2 週4～5回	124	71.8	27.4	0.0	0.8	0.0
	3 週2～3回	346	57.8	40.5	0.0	1.7	0.0
	4 週1回	293	55.6	44.0	0.0	0.3	0.0
	5 月2～3回	202	46.0	52.0	0.0	2.0	0.0
	6 月1回	71	43.7	54.9	0.0	1.4	0.0
	7 年に数回	54	35.2	59.3	0.0	5.6	0.0
	8 それ以下	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	9 非使用	3,193	0.0	0.0	46.0	54.0	0.0

### 問 17 軽い運動や近所の散策における利用開始の理由（複数回答）

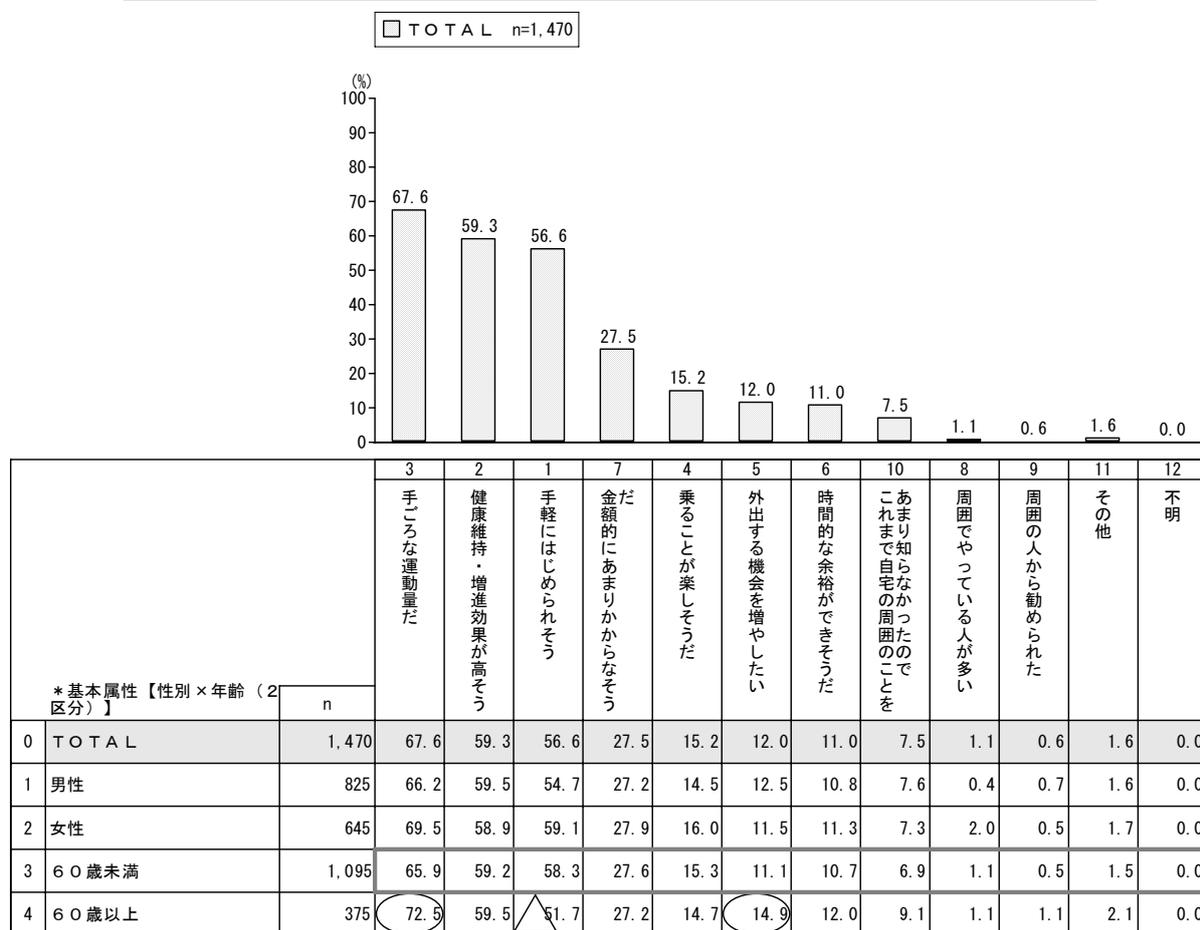
【母数：軽い運動や近所の散策において自転車の利用を新たに開始する人（問 13 参照）】

軽い運動や近所の散策における新規利用を希望している 1,470 人にその理由を聞いた結果、「手ごろな運動量だ」が 67.6%で最も高く、以下「健康維持・増進効果が高そう」（59.3%）、「手軽にはじめられそう」（56.6%）がいずれも 6 割弱で続いており、健康維持・増進のために気軽にはじめられる運動として魅力を感じている人が多い。

性別による顕著な差はみられない。

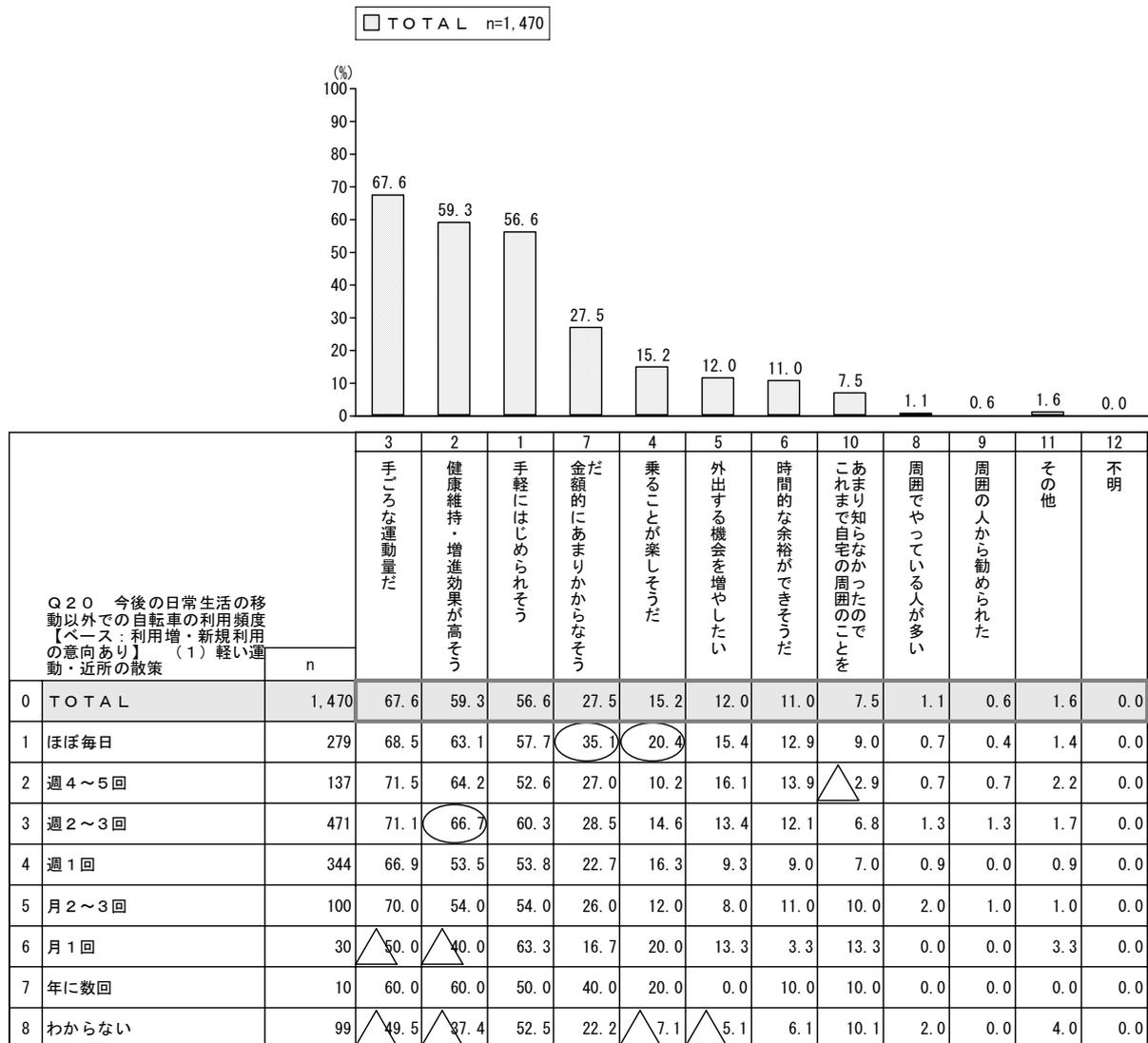
年齢別にみると、60 歳未満では「手軽にはじめられそう」が 58.3%と、60 歳以上（51.7%）に比べて高く、身近なチャレンジと捉える人が多い。一方、60 歳以上では「手ごろな運動量だ」が 72.5%と、一層高いほか、「外出する機会を増やしたい」（14.9%）や「これまで自宅の周辺のことをあまり知らなかったので」（9.1%）など健康面以外の利点を感じる人が若干多い。

問 17 軽い運動や近所の散策における利用開始の理由（複数回答）＜性別・年齢別＞



今後の利用頻度別（問 20）にみると、上位3項目「手ごろな運動量だ」「健康維持・増進効果が高そう」「手軽にはじめられそう」は、〔週2～3回〕において特に高く、気軽な運動として考える人が一層多い。一方、〔ほぼ毎日〕では、「金額的にあまりかからなそうだ」（35.1%）、「乗ることが楽しそうだ」（20.4%）を理由とする人が他の層に比べて多い。

問 17 軽い運動や近所の散策における利用開始の理由（複数回答）＜問 20 今後の利用頻度別＞



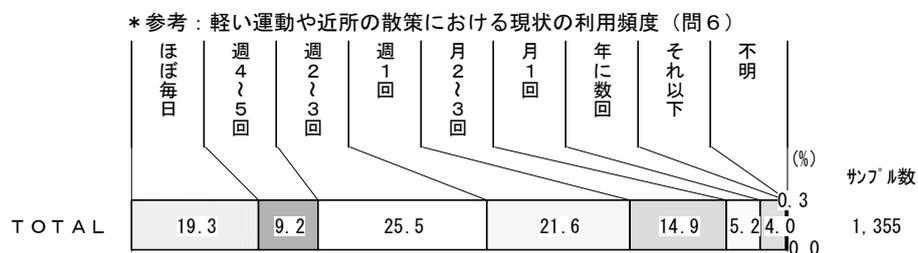
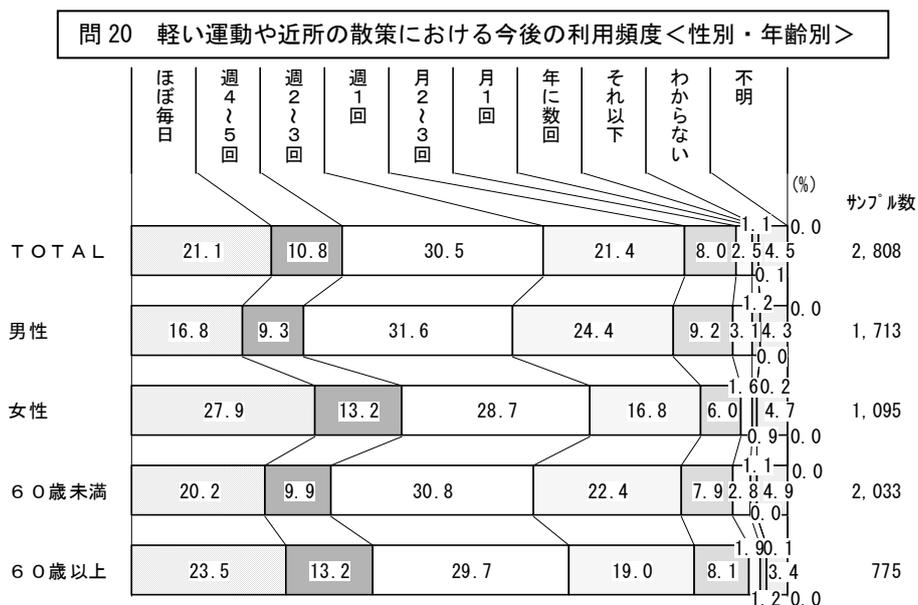
## 問 20 軽い運動や近所の散策における今後の利用頻度

【母数：軽い運動や近所の散策における利用頻度を拡大・現状維持、新規に開始する人（問 13 参照）】

今後、軽い運動や近所の散策に自転車を利用するという 2,808 人（新規開始・使用頻度増加・使用頻度現状維持の人）に今後の利用頻度を聞いた。「ほぼ毎日」（21.1%）や「週 4～5 回」（10.8%）など、2 日に 1 回以上利用する人は約 3 割（31.9%）である。最も多いのは「週 2～3 回」（30.5%）で、これに「週 1 回」（21.4%）を合わせると、週 1～3 回という人で約半数（51.9%）を占める。また、現状における利用頻度（問 6 参照）と比較すると、最も増えているのは「週 2～3 回」（25.5% → 30.5%）とする人である。

性別にみると、女性では「ほぼ毎日」（27.9%）や「週 4～5 回」（13.2%）など、2 日に 1 回以上利用する人が 41.1%を占める。一方、男性では「週 2～3 回」（31.6%）や「週 1 回」（24.4%）といった週 1～3 回という人が 6 割近く（56.0%）を占めて最も多く、女性に比べて頻度が低い。

年齢別にみると、60 歳以上では、「ほぼ毎日」（23.5%）、「週 4～5 回」（13.2%）など 2 日に 1 回以上の利用者が 36.7%と、60 歳未満（30.1%）に比べて若干多い。



## 問 21 軽い運動や近所の散策の同行者（複数回答）

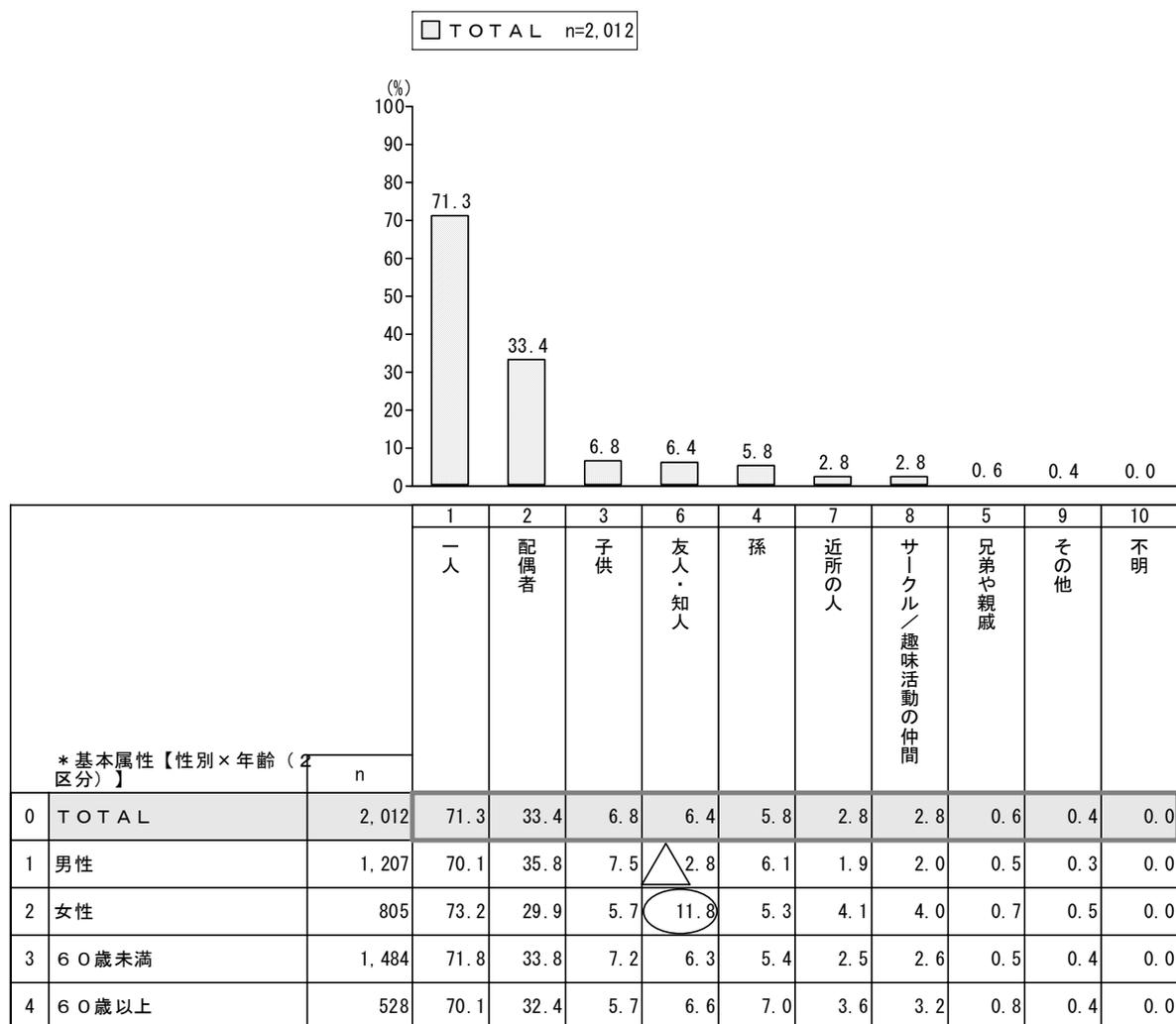
【母数：軽い運動や近所の散策における利用頻度を拡大、または新たに利用を開始する人（問 13 参照）】

軽い運動や近所の散策で自転車利用を新規に開始もしくは使用頻度を増加するという 2,012 人に誰と一緒に楽しみたいと思うかを聞いたところ、「一人」が 71.3%で最も高く、これに「配偶者」が 33.4%で続いており、特に「一人」は 3つの利用目的の中でも最も高くなっている。

性別にみると、女性では「友人・知人」が 11.8%にのぼり、「子供」（5.7%）を上回って 3位を占めているほか、「近所の人」（男性：1.9%、女性：4.1%）、「サークル／趣味活動の仲間」（男性：2.0%、女性：4.0%）なども男性に比べて若干高く、知人や友人と楽しみたいと思う人が男性に比べて多い。一方、男性では「配偶者」（35.8%）、「子供」（7.5%）、「孫」（6.1%）と家族との楽しみと考える人が多くなっており、「友人・知人」は 2.8%と女性に比べ下回っている。

年齢別による顕著な差はみられない。

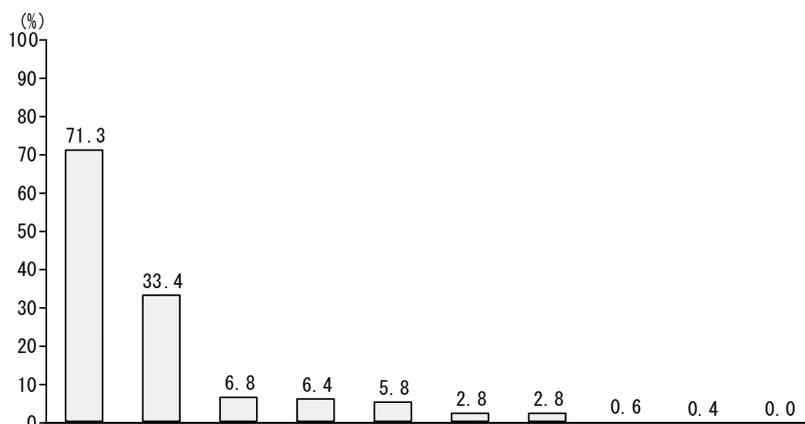
問 21 軽い運動や近所の散策の同行者（複数回答）＜性別・年齢別＞



今後の利用頻度別（問 20）による顕著な違いはみられない。

問 21 軽い運動や近所の散策の同行者（複数回答）＜問 20 今後の利用頻度別＞

□ TOTAL n=2,012



Q 20 今後の日常生活の移動以外での自転車の利用頻度 【ベース：利用増・新規利用の意向あり】 (1) 軽い運動・近所の散策		n	1	2	3	6	4	7	8	5	9	10
			一人	配偶者	子供	友人・知人	孫	近所の人	サークル/趣味活動の仲間	兄弟や親戚	その他	不明
0	TOTAL	2,012	71.3	33.4	6.8	6.4	5.8	2.8	2.8	0.6	0.4	0.0
1	ほぼ毎日	394	71.6	33.2	6.6	9.9	6.6	4.6	4.6	1.3	0.8	0.0
2	週4～5回	215	71.6	32.6	8.4	7.0	6.5	2.3	3.3	0.5	0.0	0.0
3	週2～3回	656	72.4	34.1	6.1	5.6	5.5	3.0	2.0	0.6	0.6	0.0
4	週1回	439	71.3	33.3	7.1	3.6	5.0	1.4	2.5	0.2	0.2	0.0
5	月2～3回	131	65.6	35.1	8.4	8.4	5.3	0.8	1.5	0.8	0.0	0.0
6	月1回	40	67.5	30.0	5.0	5.0	7.5	2.5	2.5	0.0	0.0	0.0
7	年に数回	12	50.0	41.7	8.3	16.7	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0
8	わからない	125	73.6	31.2	6.4	5.6	6.4	3.2	2.4	0.0	0.0	0.0

\* 参考：利用目的別にみた同行者

REPORT NO:0059	TOTAL	1	2	3	6	4	7	8	5	9	10
1 段目 度数		一人	配偶者	子供	友人・知人	孫	近所の人	サークル/趣味活動の仲間	兄弟や親戚	その他	不明
2 段目 確率%											
0014:Q 2 1 -G T表-											
1) 軽い運動・近所の散策	2,012 100.0	1,435 71.3	673 33.4	137 6.8	129 6.4	117 5.8	56 2.8	56 2.8	12 0.6	8 0.4	0 0.0
2) サイクリング・ツーリング	895 100.0	391 43.7	373 41.7	88 9.8	160 17.9	50 5.6	18 2.0	81 9.1	11 1.2	11 1.2	0 0.0
3) 本格的なサイクリススポーツ	336 100.0	167 49.7	74 22.0	23 6.8	50 14.9	10 3.0	10 3.0	47 14.0	6 1.8	11 3.3	0 0.0

#### (4) サイクリング・ツーリングにおける自転車の利用意向の詳細

##### 問 13 サイクリング・ツーリングにおける今後の使用状況

サイクリング・ツーリングにおいて自転車の「新規使用開始」を想定する人は全体の 18.3%、「使用頻度増加」を想定している人は全体の 1.4%、「使用頻度変化無し」を想定する人は全体の 1.3%を占める。

性別にみると、「新規使用開始」は、男性では 22.6%と、2 割以上の人が新規開始意向を持っている一方、女性では「使用頻度減・非使用」が 85.4%を占める。

年齢別による顕著な差はみられない。

現状における利用頻度別（問 6）にみると、各層のサンプルが少ないため詳細の比較は困難であるが、〔月 2～3 回〕〔月 1 回〕〔年に数回〕など利用頻度が低い層において、今後の使用頻度増加の意向が高くなっている。

問 13 サイクリング・ツーリングにおける今後の使用状況  
 <性別・年齢別・問 6 利用頻度別>

		1	2	3	4	5	
		使用頻度変化無し	使用頻度増加	新規使用開始	使用頻度減・非使用	不明	
* 基本属性【性別×年齢（2 区分）】		n					
<性別・年齢別>	0 TOTAL	4,548	1.3	1.4	18.3	79.0	0.0
	1 男性	2,473	1.8	2.1	22.6	73.6	0.0
	2 女性	2,075	0.8	0.6	13.2	85.4	0.0
	3 60歳未満	3,315	1.2	1.5	17.6	79.6	0.0
	4 60歳以上	1,233	1.5	1.2	20.0	77.3	0.0
<自転車の利用頻度別>	0 TOTAL	4,548	1.3	1.4	18.3	79.0	0.0
	1 ほぼ毎日	10	70.0	30.0	0.0	0.0	0.0
	2 週 4～5 回	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3 週 2～3 回	15	53.3	46.7	0.0	0.0	0.0
	4 週 1 回	30	63.3	36.7	0.0	0.0	0.0
	5 月 2～3 回	21	28.6	71.4	0.0	0.0	0.0
	6 月 1 回	24	45.8	50.0	0.0	4.2	0.0
	7 年に数回	22	31.8	68.2	0.0	0.0	0.0
	8 それ以下	4	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0
	9 非使用	4,420	0.0	0.0	18.8	81.2	0.0

### 問 18 サイクリング・ツーリングにおける利用開始の理由（複数回答）

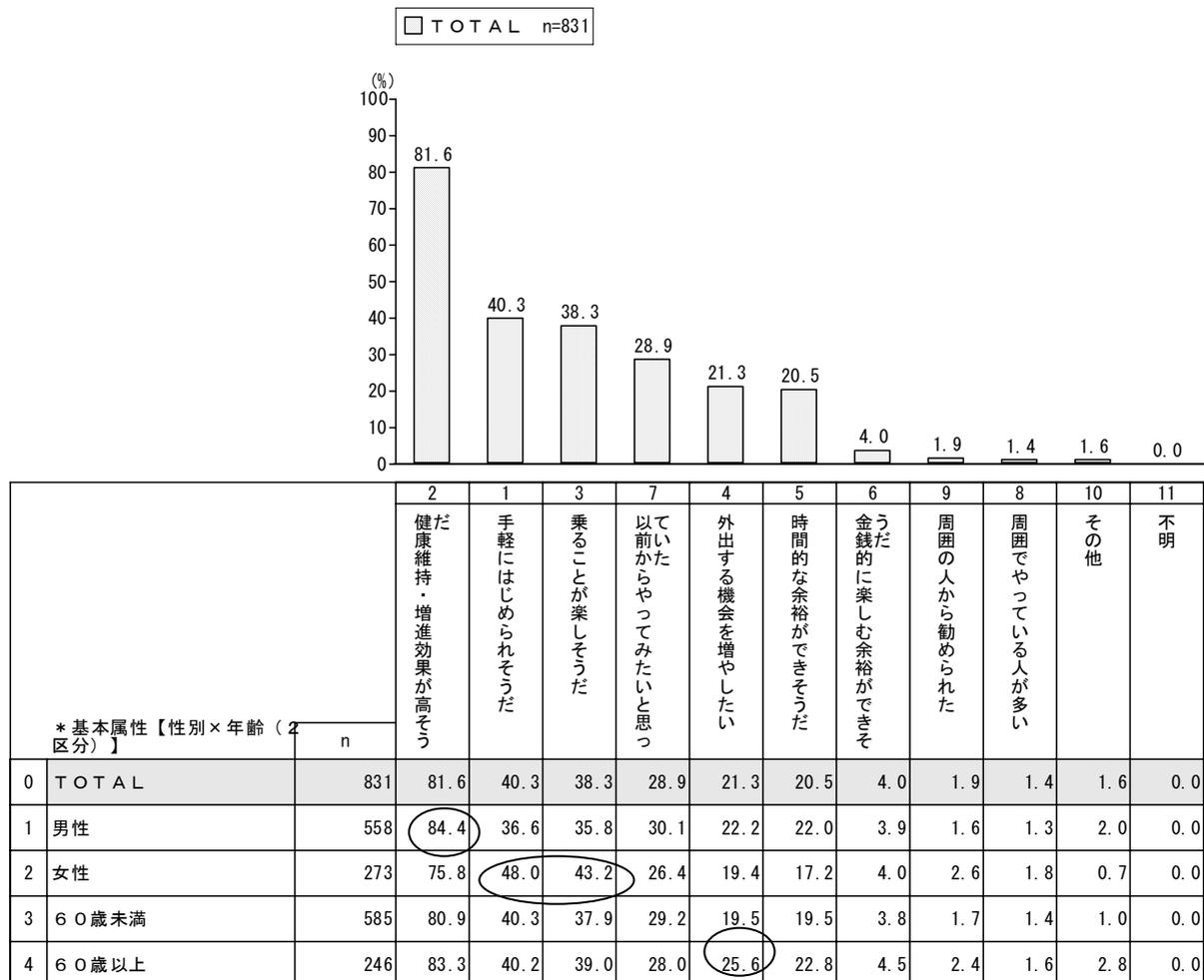
【母数：サイクリング・ツーリングにおける利用を新たに開始する人（問 13 参照）】

サイクリング・ツーリングにおける新規利用を希望している 831 人にその理由を聞いた結果、「健康維持・増進効果が高そうだ」が 81.6%で最も高く、以下「手軽にはじめられそうだ」(40.3%)、「乗ることが楽しそうだ」(38.3%) がいずれも約 4 割、「以前からやってみたくて思っていた」(28.9%) が約 3 割で続いている。健康維持・増進のためといった理由だけでなく、趣味として関心を持っている人も多い。

性別にみると、全体で 2 位、3 位の「手軽にはじめられそうだ」(男性：36.6%、女性：48.0%) と「乗ることが楽しそうだ」(男性 35.8%、女性：43.2%) は、女性の方が一層高い。

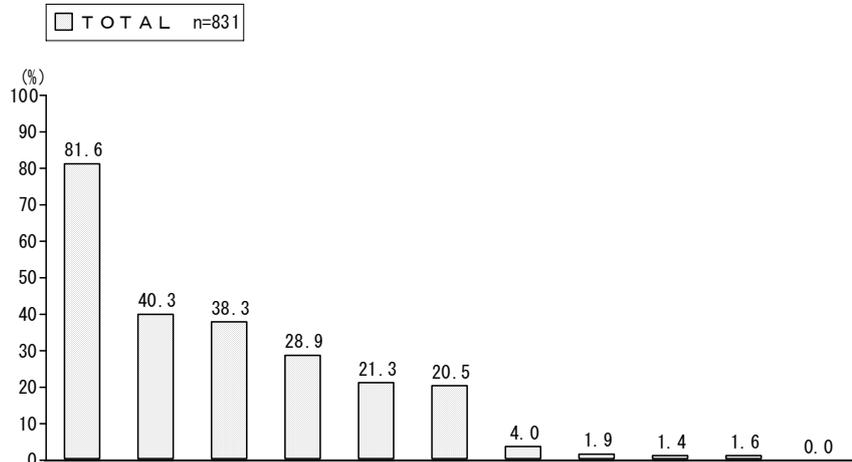
年齢別にみると、60 歳以上では「外出する機会を増やしたい」(25.6%) や「時間的な余裕ができそうだ」(22.8%) も 2 割を超えており、60 歳未満に比べてやや高い。

問 18 サイクリング・ツーリングにおける利用開始の理由（複数回答）＜性別・年齢別＞



今後の利用頻度別（問 20）にみると、回答の高い順位に関しては顕著な差はみられないが、全体で2位、3位の「手軽にはじめられそうだ」「乗ることが楽しそうだ」は、〔ほぼ毎日〕（順に55.2%、51.7%）の層で高く、全体で1位の「健康維持・増進効果が高そうだ」は、〔週4～5回〕（87.5%）、〔週2～3回〕（90.1%）、〔週1回〕（88.1%）の層で一層高くなっている。

問 18 サイクリング・ツーリングにおける利用開始の理由（複数回答）＜問 20 今後の利用頻度別＞



Q 20 今後の日常生活の移動以外での自転車の利用頻度【ベース：利用増・新規利用の意向あり】（2）サイクリング・ツーリング	n	2	1	3	7	4	5	6	9	8	10	11
		健康維持・増進効果が高そう	手軽にはじめられそう	乗ることが楽しそう	以前からやってみたくて	外出する機会を増やしたい	時間的な余裕ができそう	金銭的に楽しむ余裕ができそう	周囲の人から勧められた	周囲でやっている人が多い	その他	不明
0 TOTAL	831	81.6	40.3	38.3	28.9	21.3	20.5	4.0	1.9	1.4	1.6	0.0
1 ほぼ毎日	29	79.3	55.2	51.7	37.9	27.6	10.3	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0
2 週4～5回	16	87.5	37.5	31.3	25.0	12.5	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0
3 週2～3回	71	90.1	43.7	38.0	31.0	21.1	26.8	7.0	1.4	2.8	0.0	0.0
4 週1回	202	88.1	41.6	36.6	31.2	22.3	21.8	3.5	1.5	0.5	1.0	0.0
5 月2～3回	135	84.4	40.7	40.7	30.4	23.7	19.3	3.0	1.5	1.5	2.2	0.0
6 月1回	171	77.2	36.3	38.0	27.5	20.5	19.3	4.1	3.5	1.2	0.0	0.0
7 年に数回	91	76.9	39.6	49.5	28.6	22.0	25.3	7.7	2.2	4.4	4.4	0.0
8 わからない	116	71.6	38.8	27.6	22.4	17.2	18.1	1.7	1.7	0.9	2.6	0.0

## 問 20 サイクリング・ツーリングにおける今後の利用頻度

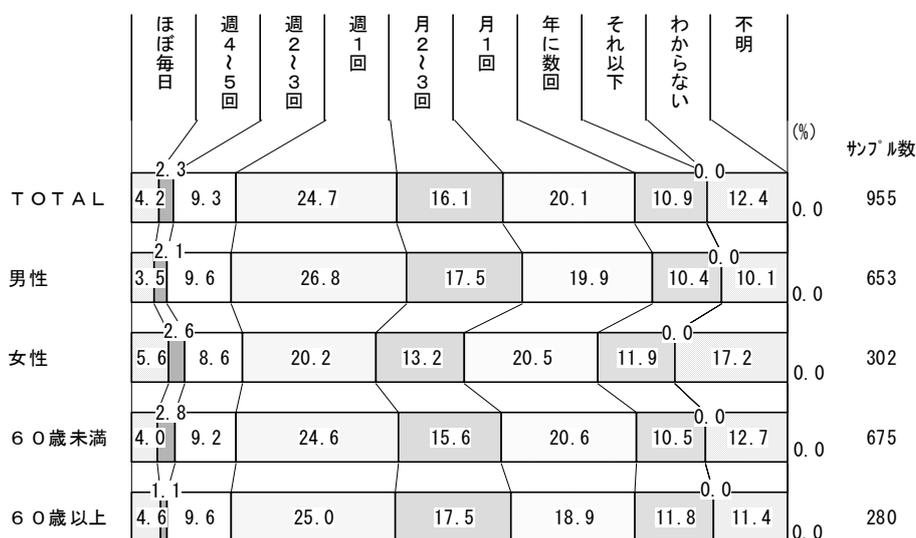
【母数：サイクリング・ツーリングにおける利用頻度を拡大・現状維持、新規開始の人（問 13 参照）】

今後、サイクリング・ツーリングに自転車を利用するという 955 人（新規開始・使用頻度増加・使用頻度現状維持の人）に、今後の利用頻度を聞いた。「週 1 回」という人が 24.7%で最も多く、これに「月 2～3 回」（16.1%）、「月 1 回」（20.1%）を合わせると 60.9%と、月 1～4 回という人が約 6 割を占め、現状における頻度（問 6 参照）と大きな違いはみられない。

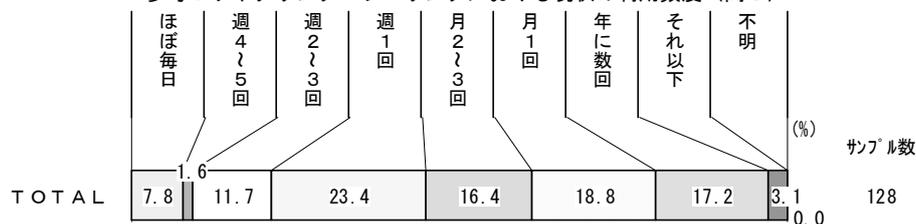
性別にみると、男性では「週 1 回」（26.8%）、「月 2～3 回」（17.5%）、「月 1 回」（19.9%）を合わせると 64.2%と、月 1～4 回の頻度を想定する人が約 3 分の 2 を占めているが、女性では 5 割程度である。

年齢別による顕著な差はみられない。

問 20 サイクリング・ツーリングにおける今後の利用頻度＜性別・年齢別＞



\* 参考：サイクリング・ツーリングにおける現状の利用頻度（問 6）



## 問 21 サイクリング・ツーリングの同行者（複数回答）

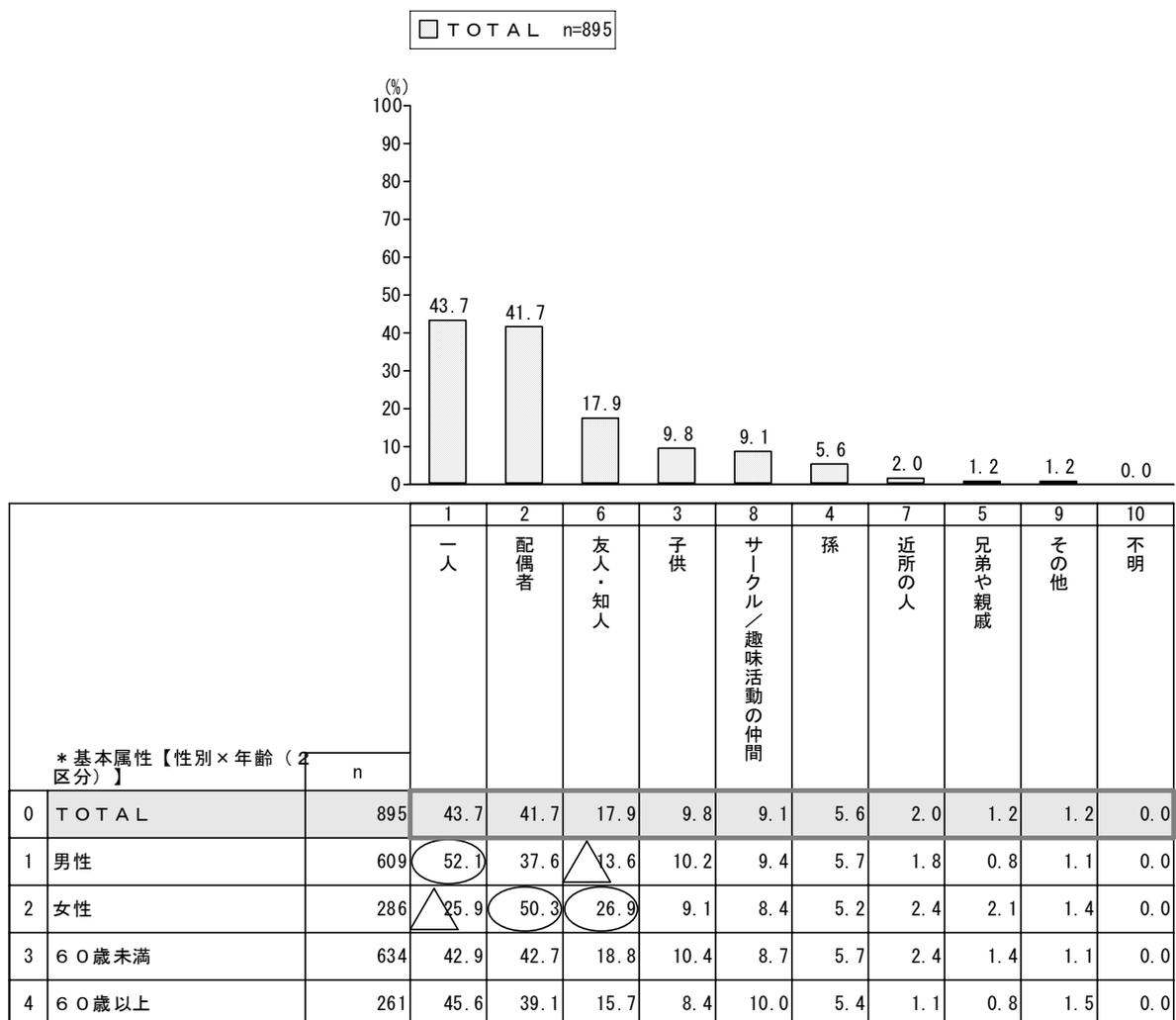
【母数：サイクリング・ツーリングにおける利用頻度を拡大、または新たに開始する人（問 13 参照）】

サイクリング・ツーリングでの自転車利用を新規に開始もしくは使用頻度を増加するという 895 人に、誰と一緒に楽しみたいと思うかを聞いたところ、「一人」（43.7%）と「配偶者」（41.7%）がともに 4 割強で上位を占める。次いで「友人・知人」が 17.9%となっており、「配偶者」と「友人・知人」は、3つの利用目的の中で最も高くなっている。

性別にみると、男性では「一人」（52.1%）が 5 割を超えて顕著に高く、これに「配偶者」（37.6%）が続いており、「友人・知人」（13.6%）は 1 割強にとどまる。一方、女性では「配偶者」（50.3%）が 5 割を超えて顕著に高く、以下「友人・知人」（26.9%）、「一人」（25.9%）となっている。

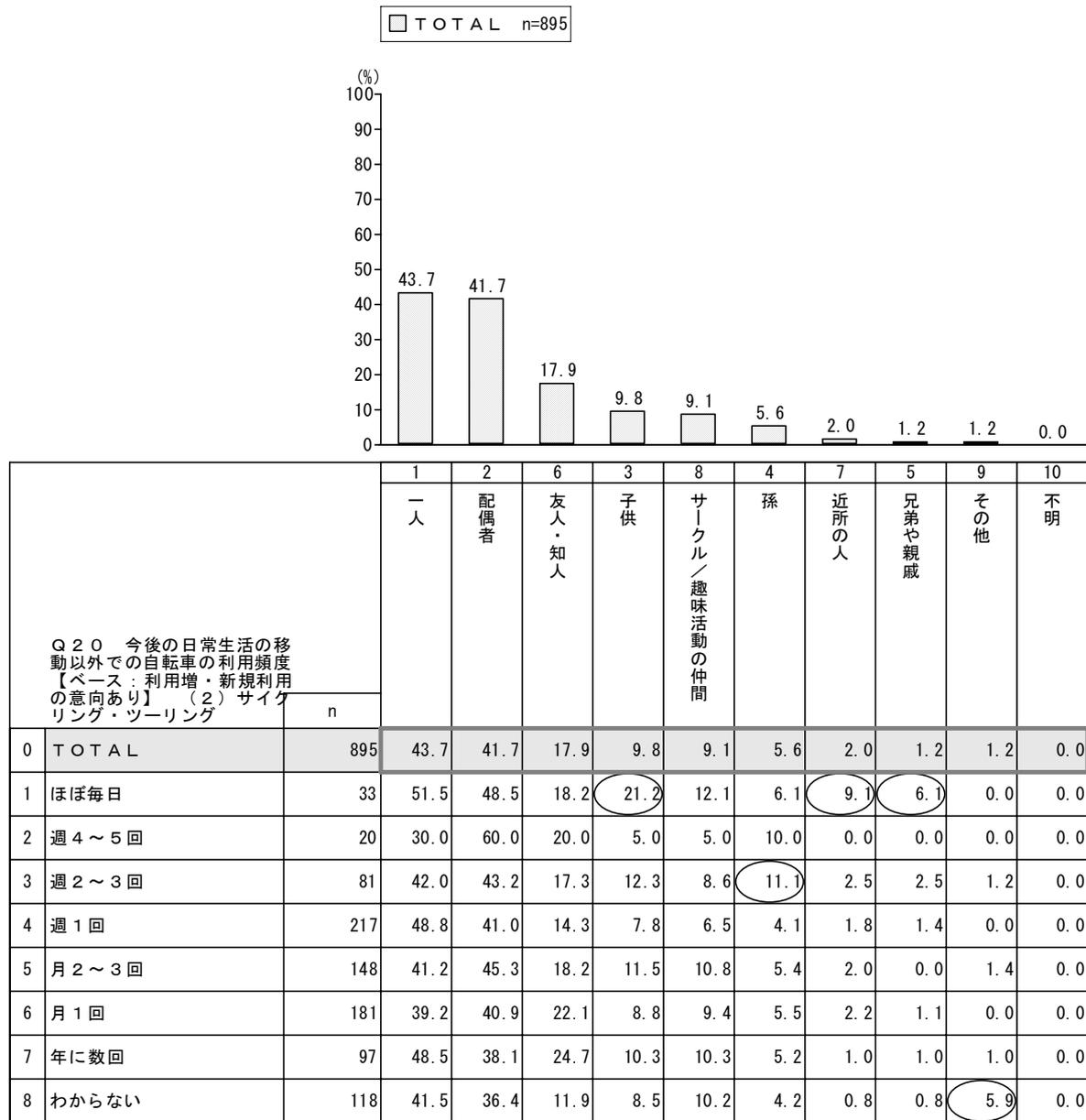
年齢別による顕著な差はみられない。

問 21 サイクリング・ツーリングの同行者（複数回答）＜性別・年齢別＞



今後の利用頻度別（問 20）にみると、〔ほぼ毎日〕利用するという層では「子供」が 21.2%にのぼって「友人・知人」（18.2%）を上回り、3 番目に高くなっている。

問 21 サイクリング・ツーリングの同行者（複数回答）＜問 20 今後の利用頻度別＞



\* 参考：利用目的別にみた同行者

REPORT. NO:0059	TOTAL	1 一人	2 配偶者	6 友人・知人	3 子供	8 サークル／趣味活動の仲間	4 孫	7 近所の人	5 兄弟や親戚	9 その他	10 不明
1 段目 度数											
2 段目 確率%											
0014:Q21 -GT表-											
1) 軽い運動・近所の散歩	2,012 100.0	1,435 71.3	673 33.4	129 6.4	137 6.8	56 2.8	117 5.8	56 2.8	12 0.6	8 0.4	0 0.0
2) サイクリング・ツーリング	895 100.0	391 43.7	373 41.7	160 17.9	88 9.8	81 9.1	50 5.6	18 2.0	11 1.2	11 1.2	0 0.0
3) 本格的なサイクルスポーツ	336 100.0	167 49.7	74 22.0	50 14.9	23 6.8	47 14.0	10 3.0	10 3.0	6 1.8	11 3.3	0 0.0

## (5) 本格的なサイクリスポーツにおける自転車の利用意向の詳細

### 問 13 本格的なサイクリスポーツにおける今後の使用状況

本格的なサイクリスポーツにおいて自転車の「新規使用開始」を想定する人は全体の7.2%、「使用頻度増加」を想定する人は全体の0.2%、「使用頻度変化無し」と想定する人は全体の92.3%を占める。

性別にみると、男性では、「新規使用開始」が9.7%と、全体の約1割の人が新規開始意向を持っている。一方、女性では「使用頻度減・非使用」が95.7%を占める。

年齢別による顕著な差はみられない。

現状における利用頻度別（問6）は下表のとおりであるが、各層のサンプルが少ないため分析からはずしている。

問 13 本格的なサイクリスポーツにおける今後の使用状況  
 <性別・年齢別・問6 利用頻度別>

		1 使用 頻度 変化 無し	2 使用 頻度 増加	3 新 規 使 用 開 始	4 使 用 頻 度 減 ・ 非 使 用	5 不 明	
* 基本属性【性別×年齢（2区分）】		n					
0 TOTAL		4,548	0.3	0.2	7.2	92.3	0.0
<性別・年齢別>	1 男性	2,473	0.5	0.3	9.7	89.4	0.0
	2 女性	2,075	0.1	0.1	4.1	95.7	0.0
	3 60歳未満	3,315	0.3	0.2	6.7	92.8	0.0
	4 60歳以上	1,233	0.3	0.2	8.5	90.9	0.0
0 TOTAL		4,548	0.3	0.2	7.2	92.3	0.0
<自転車の利用頻度別>	1 ほぼ毎日	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	2 週4～5回	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3 週2～3回	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	4 週1回	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	5 月2～3回	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	6 月1回	4	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	7 年に数回	8	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	9 非使用	4,523	0.0	0.0	7.2	92.8	0.0

### 問 19 本格的なサイクリススポーツにおける利用開始の理由（複数回答）

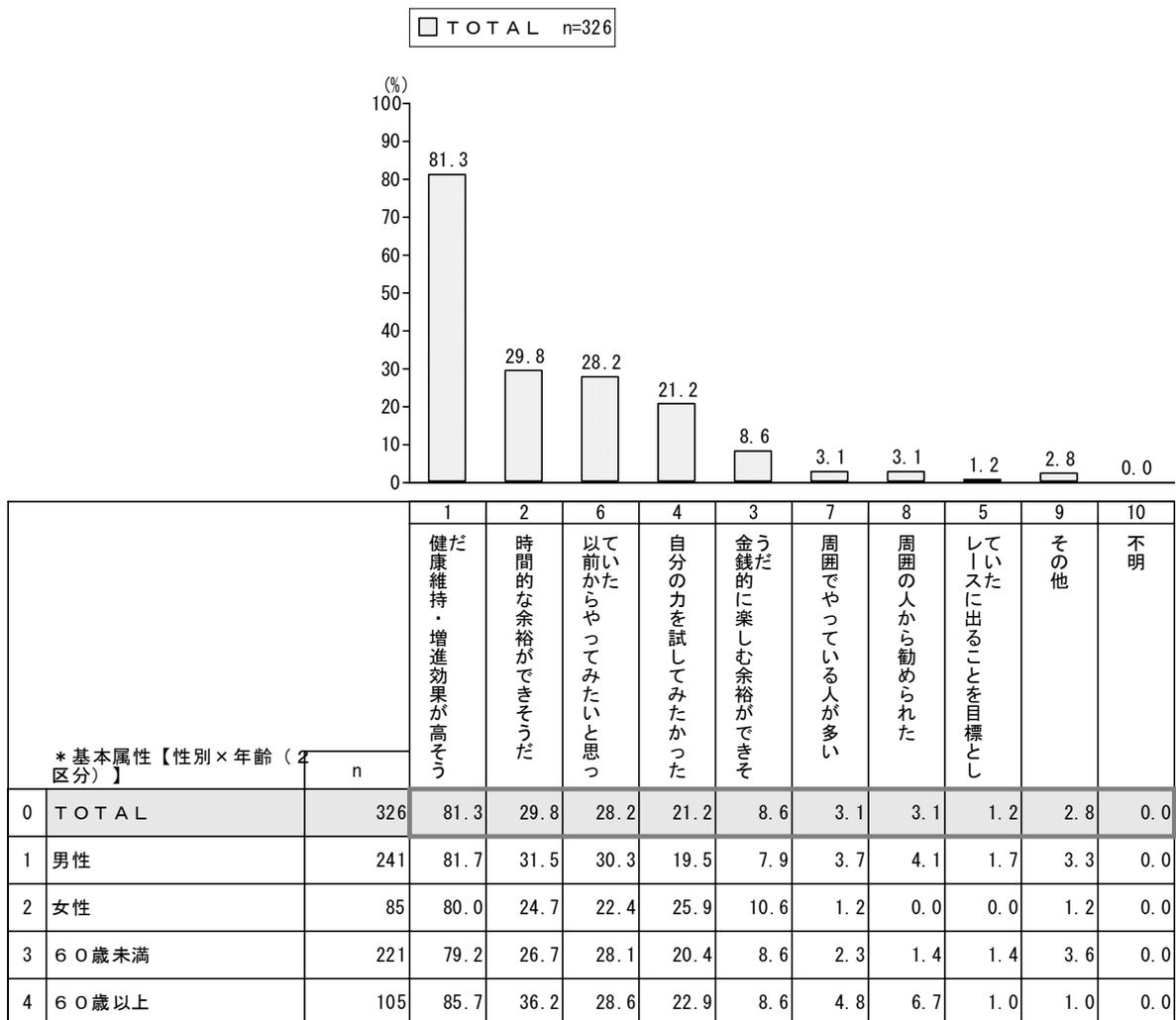
【母数：本格的なサイクリススポーツにおける利用を新たに開始する人（問 13 参照）】

本格的なサイクリススポーツにおける新規利用を希望している 326 人にその理由を聞いた結果、「健康維持・増進効果が高そうだ」が 81.3%で最も高く、以下「時間的な余裕ができそうだ」(29.8%)、「以前からやってみたいと思っていた」(28.2%) が約 3 割で続いている。健康維持・増進のためといった理由だけでなく、趣味として関心を持っている人も多い。

性別にみると、全体で 2 位、3 位の「時間的な余裕ができそうだ」(男性 31.5%、女性:24.7%)、「以前からやってみたいと思っていた」(男性 30.3%、女性：22.4%) は、男性の方が高い。

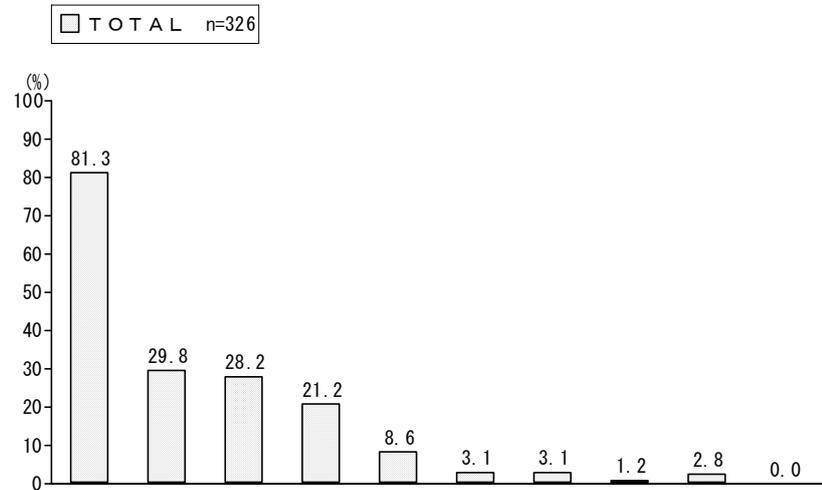
年齢別にみると、60 歳以上では、全体で 2 位の「時間的な余裕ができそうだ」(36.2%) が 60 歳未満に比べて高くなっているほか、「周囲の人から勧められた」(6.7%) や「周囲でやっている人が多い」(4.8%) など、周囲からの影響も 60 歳未満に比べて若干多い。

問 19 本格的なサイクリススポーツにおける利用開始の理由（複数回答）＜性別・年齢別＞



今後の利用頻度別（問 20）は下図のとおりであるが、各層のサンプルが少ないため分析からはずしている。

問 19 本格的なサイクリングスポーツにおける利用開始の理由（複数回答）＜問 20 今後の利用頻度別＞



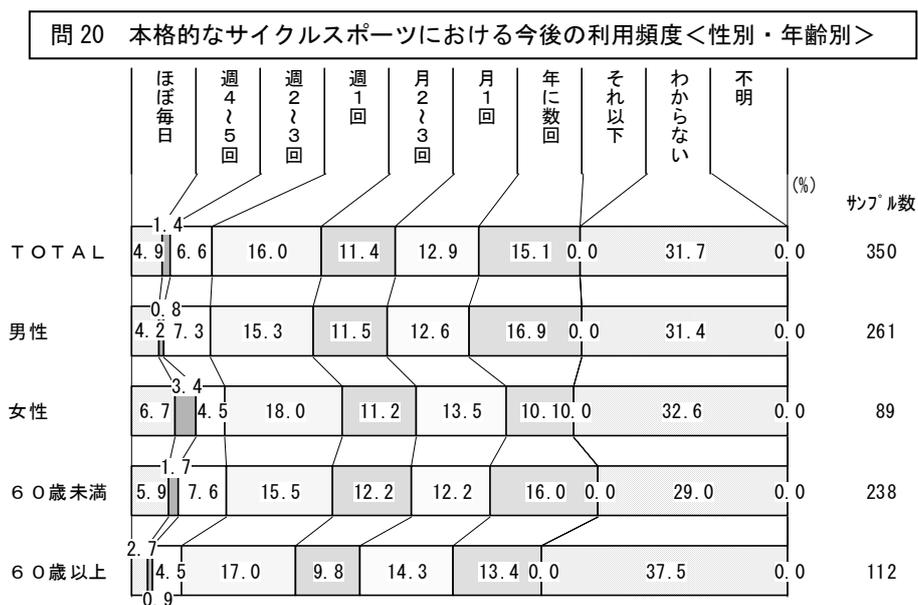
Q 20 今後の日常生活の移動以外での自転車の利用頻度【ベース：利用増・新規利用の意向あり】(3) 本格的なサイクリングスポーツ	n	1	2	6	4	3	7	8	5	9	10
		健康維持・増進効果が高そう	時間的な余裕ができそう	以前からやってみたくて思っ	自分の力を試してみたかった	金銭的に楽しむ余裕ができそう	周囲でやっている人が多い	周囲の人から勧められた	レースに出ることを目標とし	その他	不明
0 TOTAL	326	81.3	29.8	28.2	21.2	8.6	3.1	3.1	1.2	2.8	0.0
1 ほぼ毎日	14	78.6	28.6	28.6	21.4	28.6	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0
2 週4～5回	4	100.0	75.0	25.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3 週2～3回	20	75.0	30.0	15.0	5.0	10.0	5.0	5.0	5.0	10.0	0.0
4 週1回	50	86.0	20.0	24.0	24.0	14.0	2.0	0.0	0.0	2.0	0.0
5 月2～3回	38	71.1	31.6	28.9	23.7	10.5	2.6	2.6	0.0	2.6	0.0
6 月1回	42	73.8	33.3	35.7	33.3	4.8	4.8	4.8	2.4	0.0	0.0
7 年に数回	47	89.4	23.4	31.9	8.5	4.3	2.1	4.3	0.0	0.0	0.0
8 わからない	111	82.9	33.3	27.9	20.7	5.4	2.7	3.6	0.9	4.5	0.0

## 問 20 本格的なサイクリススポーツにおける今後の利用頻度

【母数：本格的なサイクリススポーツにおける利用頻度を拡大・現状維持、新規開始の人（問 13 参照）】

今後、本格的なサイクリススポーツに自転車を利用するという 350 人（新規開始の人、使用頻度増加の人、使用頻度現状維持の人）に今後の利用頻度を聞いた結果、「週 1 回」（16.0%）、「月 2～3 回」（11.4%）、「月 1 回」（12.9%）、「年に数回」（15.1%）などどれも 15%前後で回答が分散しており、現状と同様の傾向がみられる。なお、「わからない」（31.7%）とする人も約 3 割を占める。

性別および年齢別による顕著な差はみられない。



\* 参考：本格的なサイクリススポーツにおける現状の利用頻度（問 6）



## 問 21 本格的なサイクリススポーツの同行者（複数回答）

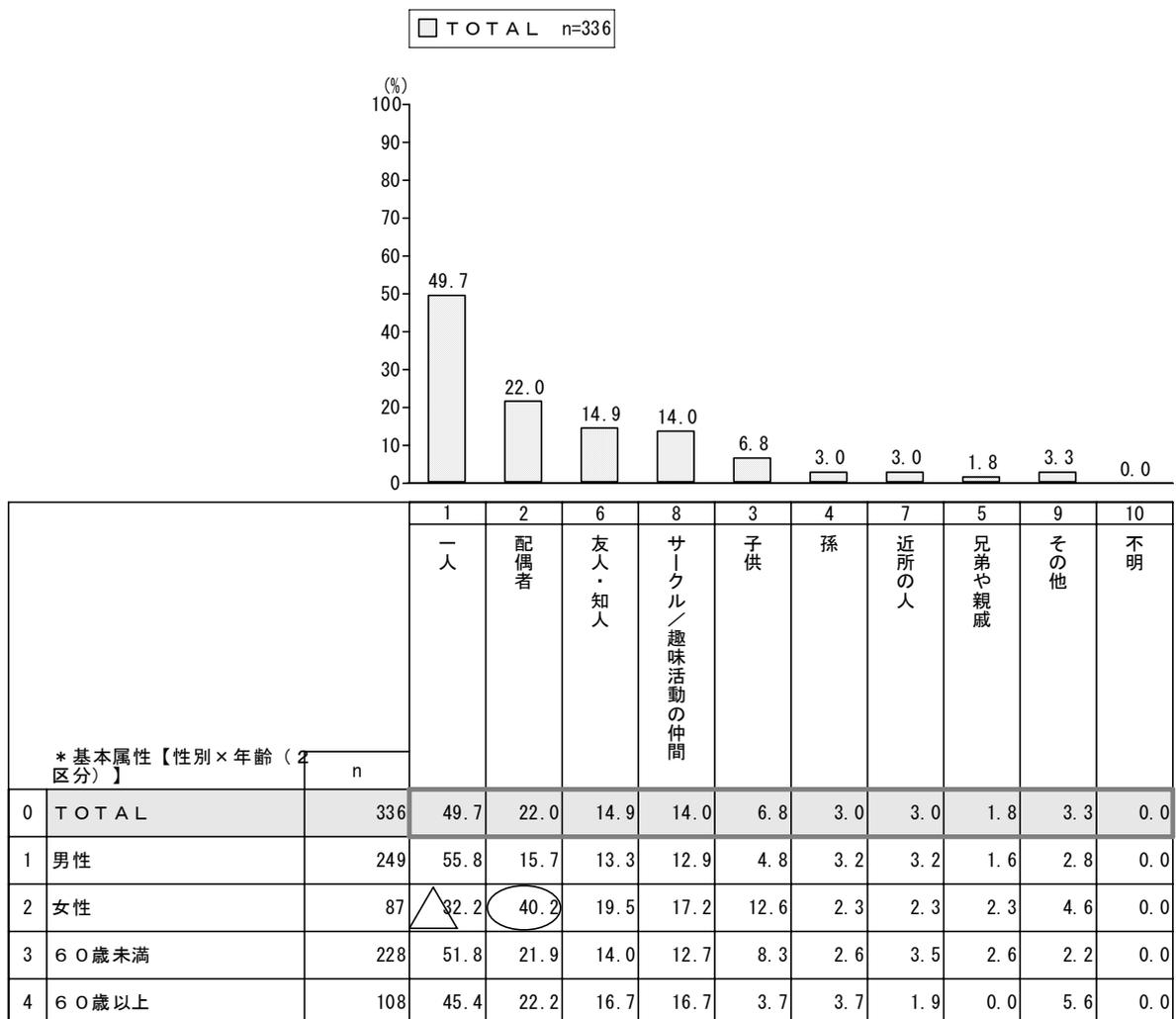
【母数：本格的なサイクリススポーツにおける利用頻度を拡大、または新たに開始する人（問 13 参照）】

本格的なサイクリススポーツでの自転車利用を新規に開始もしくは使用頻度を増加するという 336 人に、誰と一緒に楽しみたいと思うかを聞いたところ、「一人」（49.7%）が約 5 割にのぼって最も多い。以下「配偶者」（22.0%）、「友人・知人」（14.9%）、「サークル・趣味活動の仲間」（14.0%）となっており、3つの利用目的の中で「配偶者」は最も低く、「サークル・趣味活動の仲間」は最も高くなっている。

性別にみると、男性では「一人」（55.8%）が約 6 割を占めて顕著に高く、以下いずれも 2 割未満にとどまっている。一方、女性では「一人」（32.2%）は約 3 割にとどまり、「配偶者」（40.2%）が 4 割を超えているほか、「友人・知人」（19.5%）、「サークル・趣味活動の仲間」（17.2%）、「子供」（12.6%）なども男性に比べて高くなっている。

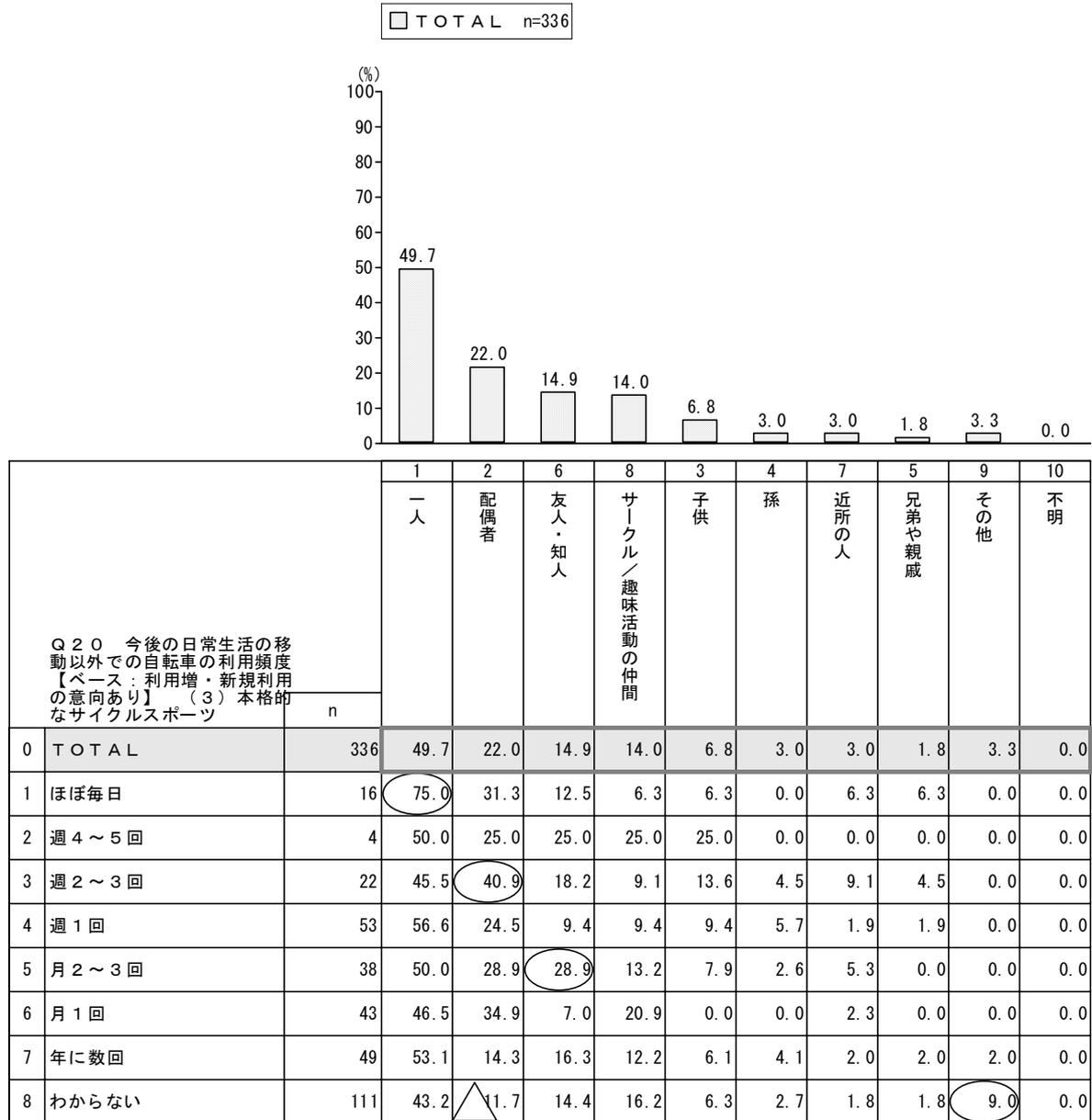
年齢別による顕著な差はみられない。

問 21 本格的なサイクリススポーツの同行者（複数回答）＜性別・年齢別＞



今後の利用頻度別（問 20）では、〔ほぼ毎日〕では「一人」が 75.0%を占める。一方、〔週 2～3 回〕では「配偶者」（40.9%）、〔月 2～3 回〕では「友人・知人」（28.9%）が、それぞれ他の層に比べて高くなっている。

問 21 本格的なサイクリススポーツの同行者（複数回答）＜問 20 今後の利用頻度別＞



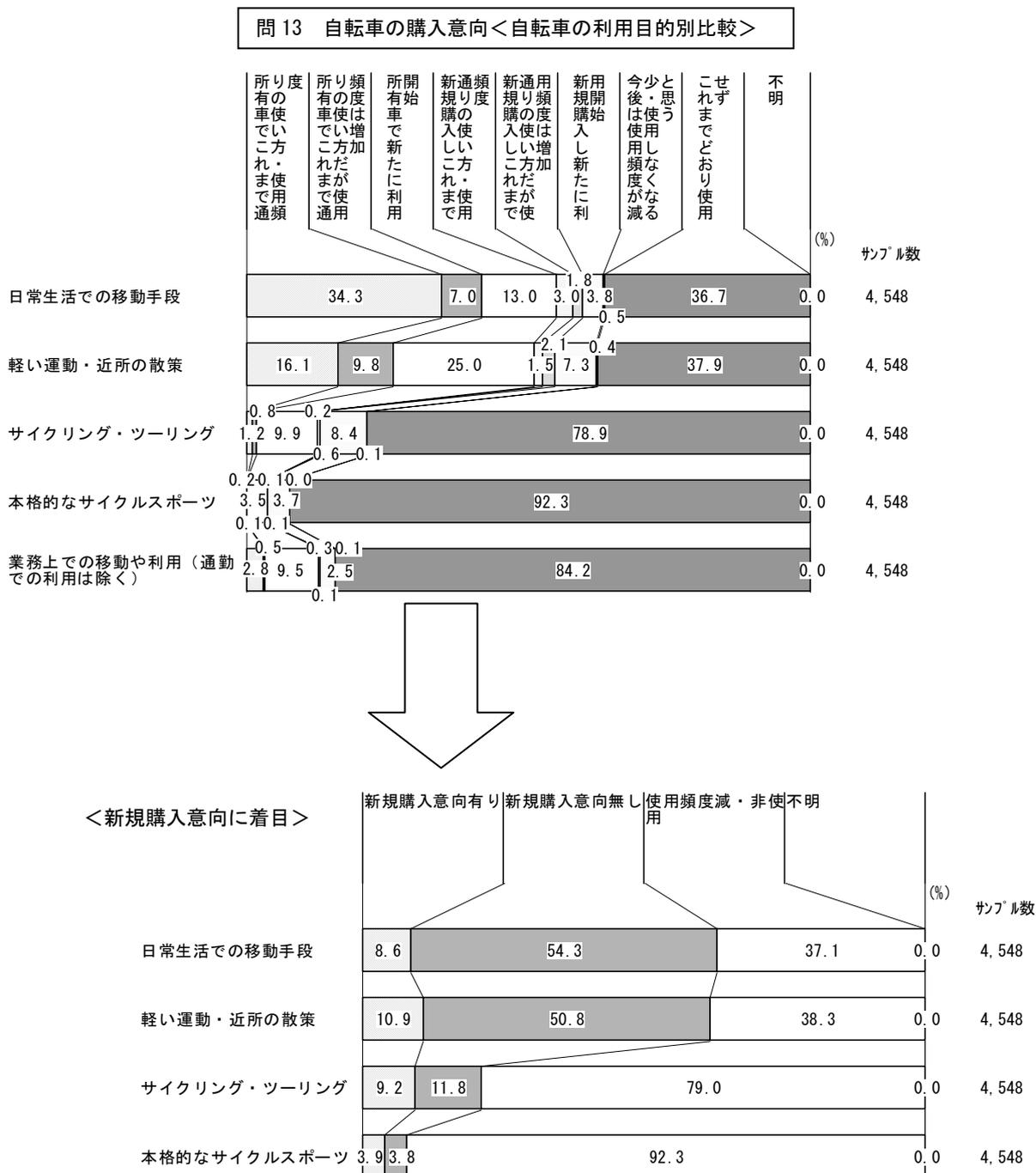
\* 参考：利用目的別にみた同行者

REPORT NO:0059	TOTAL	1 一人	2 配偶者	6 友人・知人	8 サークル/ 趣味活動の 仲間	3 子供	9 その他	4 孫	7 近所の人	5 兄弟や親戚	10 不明
1 段目 度数											
2 段目 率%											
0014: Q 2 1 -G T 表-											
1) 軽い運動・近所の散策	2,012 100.0	1,435 71.3	673 33.4	129 6.4	56 2.8	137 6.8	8 0.4	117 5.8	56 2.8	12 0.6	0 0.0
2) サイクリング・ツーリング	895 100.0	391 43.7	373 41.7	160 17.9	81 9.1	88 9.8	11 1.2	50 5.6	18 2.0	11 1.2	0 0.0
3) 本格的なサイクリススポーツ	336 100.0	167 49.7	74 22.0	50 14.9	47 14.0	23 6.8	11 3.3	10 3.0	10 3.0	6 1.8	0 0.0

## (6) 自転車利用目的別にみた購入意向

### 問 13 自転車の購入意向

自転車の利用目的別に今後の利用意向を尋ねた問 13 で、「新規購入しこれまで通りの使い方・使用頻度」「新規購入しこれまで通りの使い方だが使用頻度は増加」「新規購入し新たに利用開始」への回答に着目した。「新規購入意向有り」が最も高いのは〔軽い運動・近所の散策〕、次いで〔サイクリング・ツーリング〕となっており、いずれも全体の約1割（散策：10.9%、ツーリング：9.2%）の人が自転車の新規購入意向を持っている。なお、現在の利用率が最も高い〔日常生活での移動手段〕における新規購入意向率は全体の8.6%、現在の利用率、今後の利用率ともに最も低い〔本格的なサイクリススポーツ〕における新規購入意向率は全体の3.9%となっている。



次に、新規購入の意向は利用頻度の増加と関係があるかどうかについて、現状における利用者が多い〔日常生活での移動手段〕と〔軽い運動・近所の散策〕で見ると、利用頻度現状維持を予定している人のうち、新規購入の意向がある割合は、〔日常生活での移動手段〕〔軽い運動・近所の散策〕ともに8～9%<sup>\*1</sup>であるのに対し、利用頻度を増大する意向のある人のうち、新規購入意向のある割合は、〔日常生活での移動手段〕〔軽い運動・近所の散策〕ともに18～20%<sup>\*2</sup>と、利用頻度増大層における新規購入意向率は、利用頻度維持層の約2倍となっている。

\*1：「所有車でこれまで通りの使い方・使用頻度」「新規購入しこれまで通りの使い方・使用頻度」の合計に占める「新規購入しこれまで通りの使い方・使用頻度」の割合。

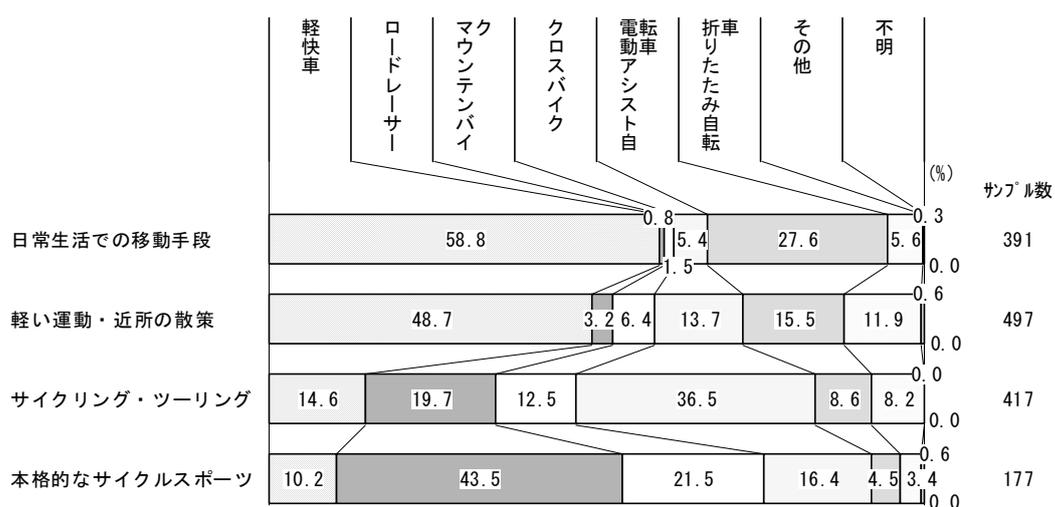
\*2：「所有車でこれまで通りの使い方だが使用頻度は増加」「新規購入しこれまで通りの使い方だが使用頻度は増加」の合計に占める「新規購入しこれまで通りの使い方だが使用頻度は増加」の割合。

## 問 22 購入を希望する自転車の種類

【母数：〔日常生活での移動手段〕〔軽い運動・近所の散策〕〔サイクリング・ツーリング〕〔本格的なサイクリングスポーツ〕を目的とした自転車の新規購入意向を持っている人（問 13 参照）】

自転車の新規購入意向を持っている人に購入希望の自転車の種類を聞いた結果を利用目的別にみると、〔日常生活での移動手段〕と〔軽い運動・近所の散策〕では「軽快車」（日常：58.8%、散策：48.7%）が約5～6割前後を占めて最も高い。これに、〔日常生活での移動手段〕では「電動アシスト自転車」（27.6%）が約3割で続いており、「軽快車」と「電動アシスト自転車」で全体の9割近くを占めるのに対し、〔軽い運動・近所の散策〕では、「電動アシスト自転車」（15.5%）、「クロスバイク」（13.7%）、「折りたたみ自転車」（11.9%）がいずれも10%台で続いており、〔日常生活での移動手段〕に比べて種類が多様となっている。〔サイクリング・ツーリング〕では「クロスバイク」（36.5%）が最も高く、次いで「ロードレーサー」（19.7%）、〔本格的なサイクリングスポーツ〕では「ロードレーサー」（43.5%）が最も高く、次いで「マウンテンバイク」（21.5%）となっている。

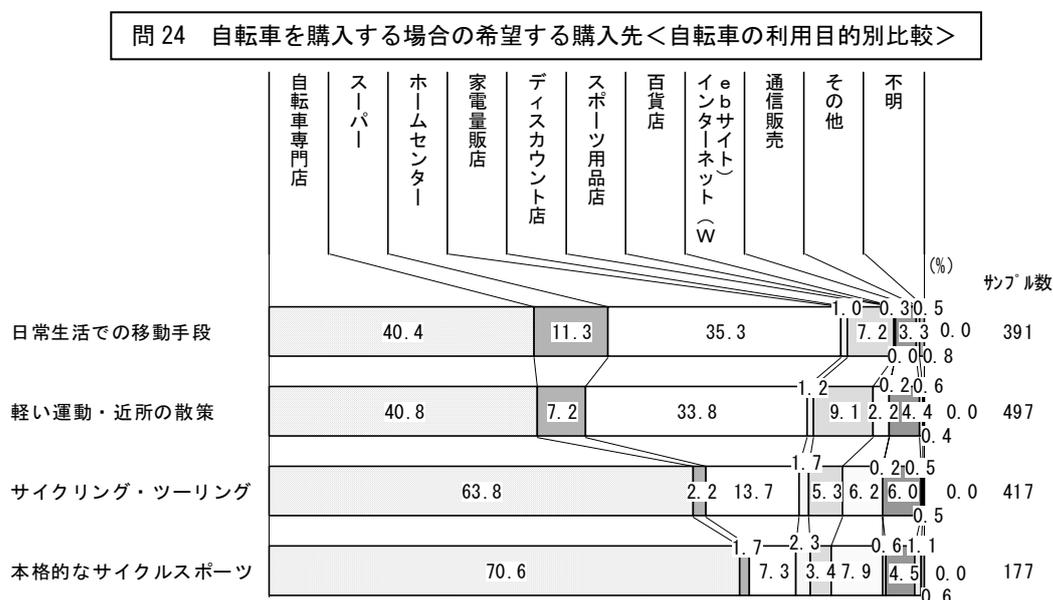
問 22 購入を希望する自転車の種類<自転車の利用目的別比較>



## 問 24 自転車を購入する場合の希望する購入先

【母数：〔日常生活での移動手段〕〔軽い運動・近所の散策〕〔サイクリング・ツーリング〕〔本格的なサイクリングスポーツ〕を目的とした自転車の新規購入意向を持っている人（問 13 参照）】

自転車の新規購入意向を持っている人に希望する自転車の購入先を聞いた結果を利用目的別にみると、〔日常生活での移動手段〕と〔軽い運動・近所の散策〕では「自転車専門店」が約4割（日常：40.4%、散策：40.8%）を占める一方、「ホームセンター」（日常：35.3%、散策：33.8%）とする人も3割以上みられる。「自転車専門店」とする割合は、自転車利用目的にスポーツ的な要素が高まるほど一層高くなっており、〔サイクリング・ツーリング〕や〔本格的なサイクリングスポーツ〕では6～7割（ツーリング：63.8%、サイクリングスポーツ：70.6%）にのぼっており、特に〔本格的なサイクリングスポーツ〕ではそのほかの購入先はいずれも1割未満にとどまる。



## 問 25 自転車を購入する場合の希望する購入時期

【母数：〔日常生活での移動手段〕〔軽い運動・近所の散策〕〔サイクリング・ツーリング〕〔本格的なサイクリングスポーツ〕を目的とした自転車の新規購入意向を持っている人（問 13 参照）】

自転車の新規購入意向を持っている人に希望する自転車の購入時期を聞いた結果を利用目的別にみると、1年以内の購入を希望（「1年以内」「6ヶ月以内」「3ヶ月以内」の合計）する人は、〔日常生活での移動手段〕では約6割（61.9%）にのぼる。短期間での購入希望の割合は、利用目的にスポーツ的な要素が高まるほど顕著に低くなっており、〔本格的なサイクリングスポーツ〕では「それ（3年）以降」が23.7%と、約4分の1にのぼり、これに「2年以内」（18.1%）、「3年以内」（16.9%）を合わせると、1年後以降での購入を希望する人が約6割（58.7%）を占める。

問 25 自転車を購入する場合の希望する購入時期＜自転車の利用目的別比較＞

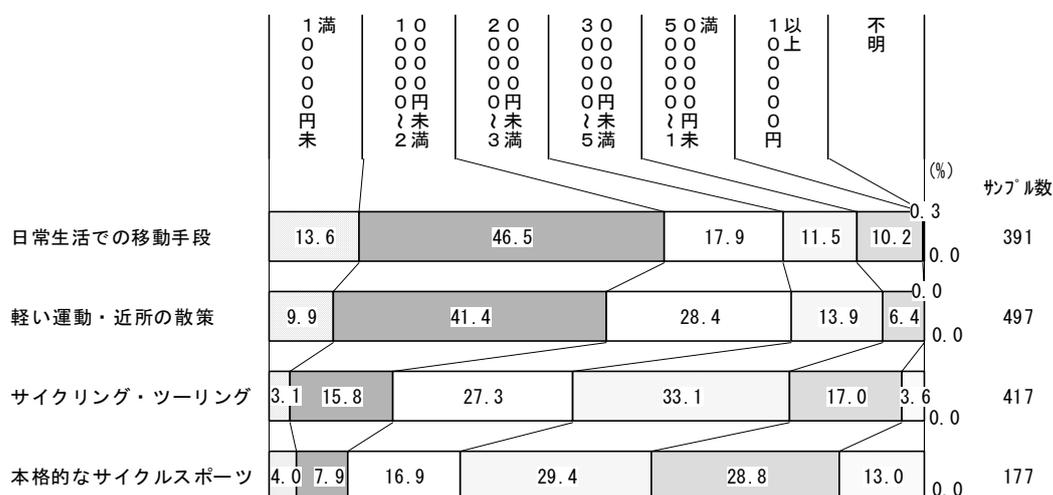
	3 か 月 以 内	6 か 月 以 内	1 年 以 内	2 年 以 内	3 年 以 内	そ れ 以 降	不 明	(%)	サ ン プ ル 数
日常生活での移動手段	8.4	11.8	41.7		13.6	10.5	14.1	0.0	391
軽い運動・近所の散策	5.2	13.3	39.4		15.1	12.1	14.9	0.0	497
サイクリング・ツーリング	2.4	10.6	33.1		21.6	16.3	16.1	0.0	417
本格的なサイクリングスポーツ	2.8	7.9	30.5	18.1	16.9	23.7	0.0		177

## 問 26 自転車を購入する場合の希望する購入金額

【母数：〔日常生活での移動手段〕〔軽い運動・近所の散策〕〔サイクリング・ツーリング〕〔本格的なサイクリングスポーツ〕を目的とした自転車の新規購入意向を持っている人（問 13 参照）】

自転車の新規購入意向を持っている人に希望する自転車の購入金額を聞いた結果を利用目的別にみると、「10,000 円未満」や「10,000～20,000 円未満」とする人は、〔日常生活での移動手段〕では約 6 割（60.1%）を占める。希望する購入金額は、利用目的にスポーツ的な要素が高まるほど顕著に高くなっており、〔サイクリング・ツーリング〕では「30,000～50,000 円未満」が 3 分の 1（33.1%）を占めて最も多く、〔本格的なサイクリングスポーツ〕では「30,000～50,000 円未満」（29.4%）と「50,000～100,000 円未満」（28.8%）がいずれも約 3 割にのぼっているほか、「100,000 円以上」（13.0%）とする人も 1 割を超えている。

問 26 自転車を購入する場合の希望する購入金額＜自転車の利用目的別比較＞



## (7) 日常の移動を目的とした自転車の購入意向の詳細

### 問 13 日常の移動を目的とした自転車の購入意向

日常の移動を目的とした自転車の購入意向について、「新規購入意向有り」は8.6%となっている。

性別及び年齢別では購入意向率において顕著な差はみられない。

現状における利用割合別（問4）にみると、購入意向率の合計は、現状における利用割合の上昇に伴ってわずかに高くなっている。

問 13 日常の移動を目的とした自転車の購入意向  
 <性別・年齢別・問4 自転車の利用割合別>

		1	2	3	4	
		新規購入意向有り	新規購入意向無し	使用頻度減・非使用	不明	
*基本属性【性別×年齢（2区分）】		n				
<性別・年齢別>	0 TOTAL	4,548	8.6	54.3	37.1	0.0
	1 男性	2,473	8.4	55.7	35.9	0.0
	2 女性	2,075	8.9	52.6	38.5	0.0
	3 60歳未満	3,315	8.7	53.4	37.9	0.0
	4 60歳以上	1,233	8.2	56.7	35.1	0.0
<自転車の利用割合別>	0 TOTAL	4,548	8.6	54.3	37.1	0.0
	1 10%未満	407	8.6	90.9	0.5	0.0
	2 10%以上20%未満	512	9.0	89.5	1.6	0.0
	3 20%以上50%未満	693	11.1	87.7	1.2	0.0
	4 50%以上	505	11.9	87.5	0.6	0.0
	5 非利用	2,431	7.1	24.3	68.6	0.0

## 問 22 日常の移動を目的として購入を希望する自転車の種類

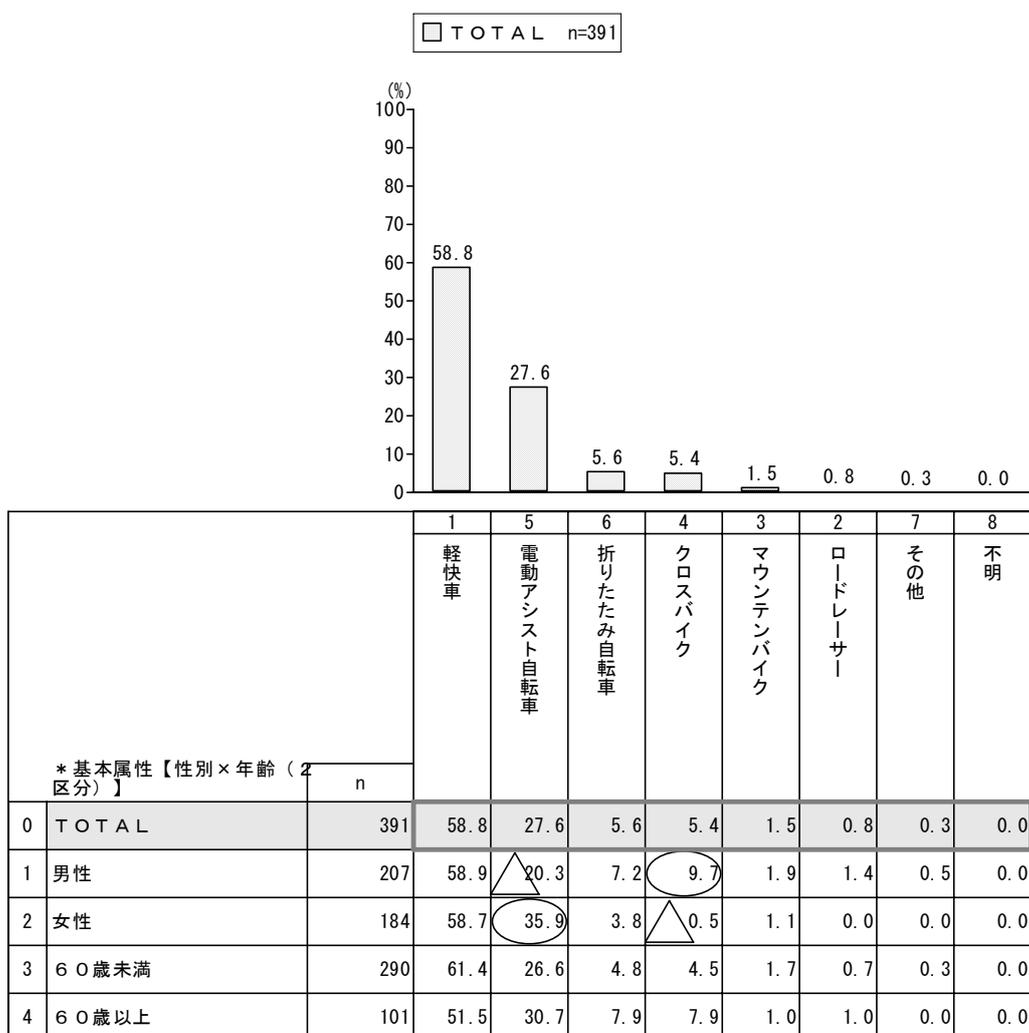
【母数：日常での移動を目的とした自転車の新規購入意向を持っている人（問 13 参照）】

日常の移動を目的とした自転車の新規購入意向を持っている 391 人に希望する自転車の種類を聞いた結果、「軽快車」(58.8%) が約 6 割を占めて最も多く、これに「電動アシスト自転車」(27.6%) が 3 割弱で続いており、両者で 9 割近くを占め、そのほかの種類は合わせても約 1 割にとどまる。

性別にみると、全体で 2 位の「電動アシスト自転車」は女性では 35.9% と、3 分の 1 以上にのぼり、上位 2 種類で全体の 95% 近く (94.6%) を占める。一方、男性では「クロスバイク」(9.7%) や「折りたたみ自転車」(7.2%) が 1 割弱にのぼっているなど、上位 2 種類以外の選択が約 2 割 (20.7%) を占め、女性に比べて選択の幅が広い。

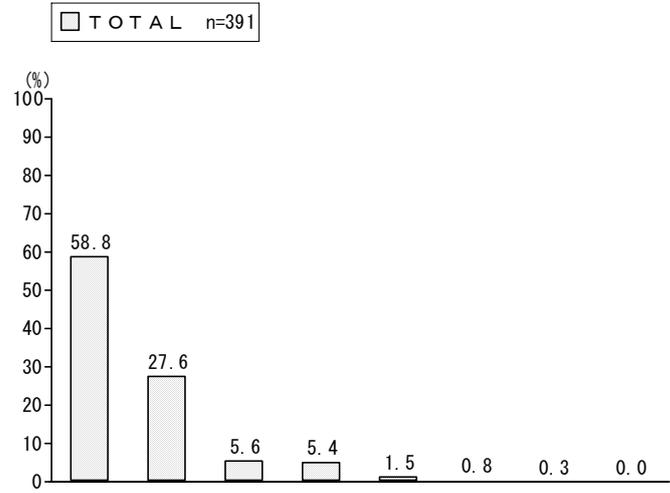
年齢別にみると、60 歳以上では「軽快車」(51.5%) は約 5 割にとどまり、「電動アシスト自転車」(30.7%)、「折りたたみ自転車」「クロスバイク」(ともに 7.9%) といった選択が 60 歳未満に比べて若干多く、選択の幅がやや広がっている。

問 22 日常の移動を目的として購入を希望する自転車の種類<性別・年齢別>



今後の利用割合別（問 15）にみると、〔10%未満〕の層では「折りたたみ自転車」（13.7%）が1割を超え、利用割合10%以上の層に比べて高くなっている。

問 22 日常の移動を目的として購入を希望する自転車の種類<問 15 今後の利用割合別>



* 日常の移動における自転車の利用割合 (2) 今後の意向		n	1	5	6	4	3	2	7	8
			軽快車	電動アシスト自転車	折りたたみ自転車	クロスバイク	マウンテンバイク	ロードレーサー	その他	不明
0	TOTAL	391	58.8	27.6	5.6	5.4	1.5	0.8	0.3	0.0
1	10%未満	51	56.9	25.5	13.7	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0
2	10%以上20%未満	119	55.5	31.9	3.4	6.7	2.5	0.0	0.0	0.0
3	20%以上50%未満	152	61.2	25.7	5.3	5.3	0.7	2.0	0.0	0.0
4	50%以上	69	60.9	26.1	4.3	5.8	1.4	0.0	1.4	0.0

### 問 23 日常の移動を目的として自転車を購入する場合の重視点（3つまでの複数回答）

【母数：日常での移動を目的とした自転車の新規購入意向を持っている人（問 13 参照）】

日常の移動を目的とした自転車の新規購入意向を持っている 391 人に、自転車購入の際に重視する点を3つまで選択してもらった結果、「運転しやすい」（49.4%）が最も高く、全体の約半数が重視している。これに「乗り心地がよい」（42.2%）、「価格が予算内である」（37.1%）が4割前後で続いており、実用性と価格を重視する人が多い。

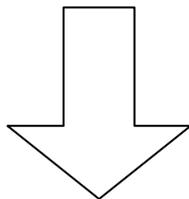
そのうち最も重視する点を1つだけ回答してもらったところ、3分の1近くの人が「運転しやすい」（31.2%）を選択している。以下、「価格が予算内である」（16.1%）、「乗り心地がよい」（13.8%）、「疲れずに長時間乗ることができる」（12.0%）が15%前後で続いており、乗車の際の快適さを最重要視する人が大部分を占める一方、価格を最優先とする人も2割弱みられる。

#### 問 23 日常の移動を目的として自転車を購入する場合の重視点（3つまでの複数回答）

REPORT NO:0067	TOTAL	1	2	19	6	3	4	7	9	8	5	13	12
1 1 項目 度数 2 2 項目 標%		運転しやすい	乗り心地がよい	価格が予算内である	重量が軽い	疲れずに長時間乗ることができる	使いやすい大きさである	長持ちする	デザイン・色がよい	サビに強い	つくりがしっかりしている	修理やメンテナンスが簡単にできる	盗難防止機能が充実している
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】													
0) TOTAL	391 100.0	193 49.4	165 42.2	145 37.1	104 26.6	99 25.3	85 21.7	49 12.5	47 12.0	44 11.3	43 11.0	38 9.7	35 9.0

REPORT NO:0067	TOTAL	10	11	16	14	20	15	17	18	21	22	23
1 1 項目 度数 2 2 項目 標%		荷物をたくさん積むことができる	ライト・反射板などの安全装備が充実している	有名なメーカーの製品である	チューンナップがしやすい	高級感がある	お店の人が推薦している	好きな選手が使用している	レース等で実績がある	アクセサリが豊富である	その他	不明
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】												
0) TOTAL	391 100.0	34 8.7	28 7.2	10 2.6	4 1.0	4 1.0	2 0.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.5	0 0.0



#### 問 23 日常の移動を目的として自転車を購入する場合に最も重視する点

REPORT NO:0068	TOTAL	1	19	2	3	4	6	5	9	7	10	16	11
1 1 項目 度数 2 2 項目 標%		運転しやすい	価格が予算内である	乗り心地がよい	疲れずに長時間乗ることができる	使いやすい大きさである	重量が軽い	つくりがしっかりしている	デザイン・色がよい	長持ちする	荷物をたくさん積むことができる	有名なメーカーの製品である	ライト・反射板などの安全装備が充実している
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】													
0) TOTAL	391 100.0	122 31.2	63 16.1	54 13.8	47 12.0	27 6.9	16 4.1	14 3.6	13 3.3	8 2.0	8 2.0	5 1.3	4 1.0

REPORT NO:0068	TOTAL	8	13	12	20	14	15	17	18	21	22	23
1 1 項目 度数 2 2 項目 標%		サビに強い	修理やメンテナンスが簡単にできる	盗難防止機能が充実している	高級感がある	チューンナップがしやすい	お店の人が推薦している	好きな選手が使用している	レース等で実績がある	アクセサリが豊富である	その他	不明
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】												
0) TOTAL	391 100.0	3 0.8	3 0.8	1 0.3	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.5	0 0.0

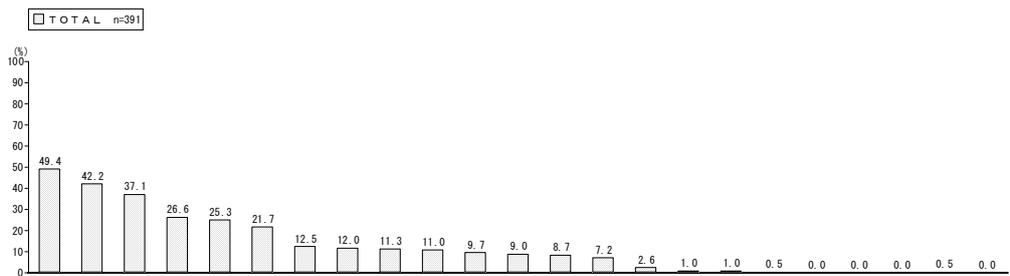
複数回答の結果を性別にみると、女性の方が高いのは、上位2項目の「運転しやすい」(男性：45.9%、女性：53.3%)、「乗り心地がよい」(男性：39.1%、女性：45.7%)や「荷物をたくさん積むことができる」(男性：5.3%、女性：12.5%)で、女性では、乗車の際の快適さを重視する傾向が一層強くなっている。一方、男性の方が高いのは「長持ちする」(男性：15.5%、女性：9.2%)、「サビに強い」(男性：15.0%、女性：7.1%)、「修理やメンテナンスが簡単にできる」(男性：12.1%、女性：7.1%)で、女性に比べて耐久性を重視する傾向がみられる。

年齢別による顕著な差はみられない。

購入希望の自転車の種類別(問22)にみると、「電動アシスト自転車」では、上位3項目に加え、「疲れずに長時間乗ることができる」(38.9%)も約4割にのぼっており、「軽快車」(17.4%)と比べても顕著に高い。そのほか「軽快車」に比べて高いのは、「クロスバイク」における「疲れずに長時間乗ることができる」や「重量が軽い」(いずれも47.6%)、「折りたたみ自転車」における「使いやすい大きさである」(50.0%)、「サビに強い」(27.3%)などである。

問23 日常の移動を目的として自転車を購入する場合の重視点(3つまでの複数回答)  
 <性別・年齢別・問22 購入を希望する自転車の種類別>

<性別・年齢別>



*基本属性【性別×年齢(2区分)】	n	重視点																						
		1	2	19	6	3	4	7	9	8	5	13	12	10	11	16	14	20	15	17	18	21	22	23
0 TOTAL	391	49.4	42.2	37.1	26.6	25.3	21.7	12.5	12.0	11.3	11.0	9.7	9.0	8.7	7.2	2.6	1.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
1 男性	207	45.9	39.1	35.7	28.5	27.1	20.3	15.5	10.6	15.0	11.6	12.1	9.7	5.3	4.8	2.9	1.4	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
2 女性	184	53.3	45.7	38.6	24.5	23.4	23.4	9.2	13.6	7.1	10.3	7.1	8.2	12.5	9.8	2.2	0.5	1.6	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3 60歳未満	290	51.7	42.8	36.9	26.6	24.5	22.8	11.4	12.8	10.7	12.1	8.3	9.3	9.0	6.9	2.4	1.0	1.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
4 60歳以上	101	42.6	40.6	37.6	26.7	27.7	18.8	15.8	9.9	12.9	7.9	13.9	7.9	7.9	7.9	3.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0

<購入を希望する自転車の種類別>

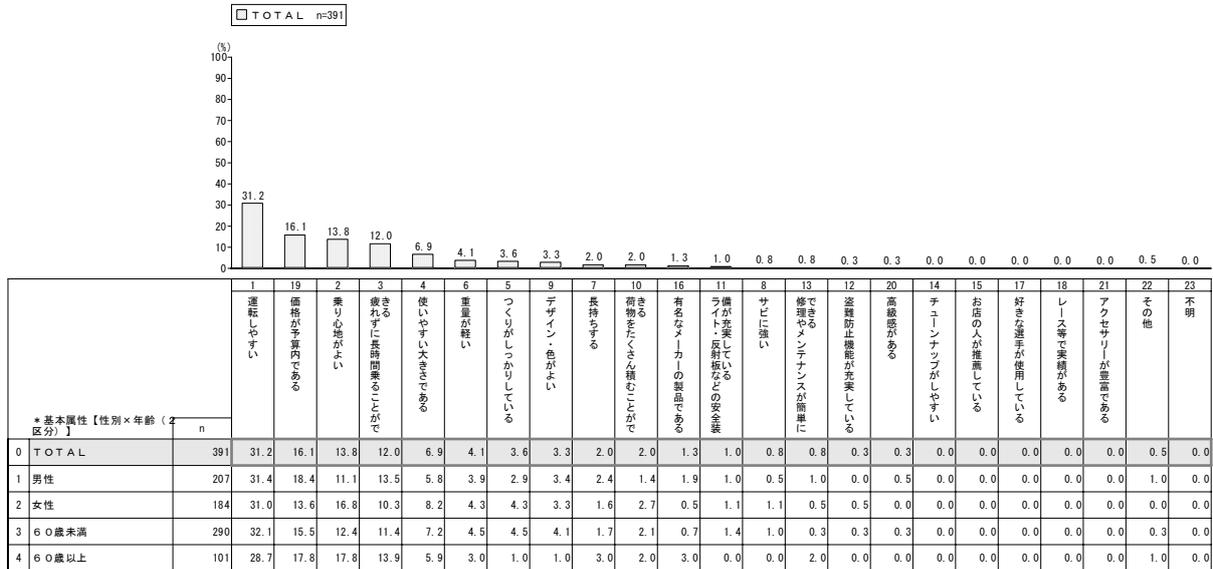
	n	重視点																						
0 TOTAL	391	49.4	42.2	37.1	26.6	25.3	21.7	12.5	12.0	11.3	11.0	9.7	9.0	8.7	7.2	2.6	1.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
1 軽快車	230	54.8	39.6	36.1	23.5	17.4	22.6	12.6	11.7	11.3	12.2	10.9	7.4	12.2	9.1	2.2	1.3	0.9	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0
5 電動アシスト自転車	108	42.6	48.1	38.9	25.0	38.9	18.5	13.9	11.1	10.2	12.0	5.6	15.7	5.6	3.7	0.9	0.9	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6 折りたたみ自転車	22	40.9	36.4	36.4	36.4	18.2	50.0	4.5	18.2	27.3	4.5	9.1	4.5	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0
4 クロスバイク	21	38.1	47.6	47.6	47.6	47.6	0.0	9.5	14.3	4.8	0.0	23.8	0.0	0.0	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3 マウンテンバイク	6	33.3	33.3	16.7	66.7	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2 ロードレーサー	3	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7 その他	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

最も重視する点について性別にみると、2番目に高い項目が異なっており、男性では「価格が予算内である」(18.4%)、女性では「乗り心地がよい」(16.8%)がそれぞれ2位を占めている。年齢別では顕著な違いはみられない。

購入希望の自転車の種類別(問22)にみると、ほとんどの種類において「運転しやすい」が3割前後で最も高くなっている。次いで、「軽快車」や「折りたたみ自転車」では「価格が予算内である」(軽快:17.4%、折り:18.2%)が、「電動アシスト自転車」では「疲れずに長時間乗ることができる」(19.4%)がそれぞれ2位を占めている。

問23 日常の移動を目的として自転車を購入する場合に最も重視する点  
 <性別・年齢別・問22 購入を希望する自転車の種類別>

<性別・年齢別>



<購入を希望する自転車の種類別>

種類	1	19	2	3	4	6	5	9	7	10	16	11	8	13	12	20	14	15	17	18	21	22	23	
TOTAL	391	31.2	16.1	13.8	12.0	6.9	4.1	3.6	3.3	2.0	2.0	1.3	1.0	0.8	0.8	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	
軽快車	230	33.9	17.4	14.8	7.4	6.5	2.2	3.5	2.6	3.0	2.6	1.3	1.3	1.3	1.3	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0
電動アシスト自転車	108	24.1	14.8	13.9	19.4	7.4	7.4	5.6	3.7	0.9	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
折りたたみ自転車	22	36.4	18.2	4.5	9.1	13.6	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0
クロスバイク	21	38.1	14.3	19.0	19.0	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
マウンテンバイク	6	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ロードレーサー	3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 問 24 日常の移動を目的として自転車を購入する場合の希望する購入先

【母数：日常での移動を目的とした自転車の新規購入意向を持っている人（問 13 参照）】

日常の移動を目的とした自転車の新規購入意向を持っている 391 人に希望する自転車の購入先を聞いた結果、「自転車専門店」が 40.4%、次いで「ホームセンター」が 35.3%となっており、両者で全体の 4 分の 3（75.7%）を占める。

性別にみると、男性では「ホームセンター」（40.6%）が最も高いのに対し、女性では「自転車専門店」（46.7%）が 5 割近くを占めて最も高くなっている。

年齢別による顕著な差はみられない。

購入希望の自転車の種類別（問 22）にみると、〔軽快車〕では全体の傾向と同様、「ホームセンター」（40.9%）と「自転車専門店」（35.7%）がそれぞれ 3～4 割を占めている。一方、〔電動アシスト自転車〕や〔クロスバイク〕では「自転車専門店」（電動：52.8%、クロス：57.1%）が 5～6 割を占める。なお、〔折りたたみ自転車〕では「ホームセンター」（59.1%）が 6 割を占めており、全体で 1 位の「自転車専門店」（9.1%）は 1 割未満にとどまり、「インターネット・WEB サイト」（13.6%）が 2 位を占めるなど、他の種類とは異なった傾向がみられる。

問 24 日常の移動を目的として自転車を購入する場合の希望する購入先  
 <性別・年齢別・問 22 購入を希望する自転車の種類別>

<性別・年齢別>

	n	1	3	2	5	8	4	9	6	7	10	11
		自転車専門店	ホームセンター	スーパー	ディスカウント店	インターネット（Webサイト）	家電量販店	通信販売	スポーツ用品店	百貨店	その他	不明
* 基本属性【性別×年齢（2区分）】	n											
0 TOTAL	391	40.4	35.3	11.3	7.2	3.3	1.0	0.5	0.3	0.0	0.8	0.0
1 男性	207	34.8	40.6	12.1	8.7	2.9	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0
2 女性	184	46.7	29.3	10.3	5.4	3.8	2.2	0.5	0.0	0.0	1.6	0.0
3 60歳未満	290	41.0	35.2	11.7	7.2	2.4	1.0	0.3	0.3	0.0	0.7	0.0
4 60歳以上	101	38.6	35.6	9.9	6.9	5.9	1.0	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0

<購入を希望する自転車の種類別>

	n	1	3	2	5	8	4	9	6	7	10	11
		自転車専門店	ホームセンター	スーパー	ディスカウント店	インターネット（Webサイト）	家電量販店	通信販売	スポーツ用品店	百貨店	その他	不明
0 TOTAL	391	40.4	35.3	11.3	7.2	3.3	1.0	0.5	0.3	0.0	0.8	0.0
1 軽快車	230	35.7	40.9	14.3	6.1	1.7	0.4	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0
5 電動アシスト自転車	108	52.8	20.4	5.6	9.3	5.6	2.8	1.9	0.0	0.0	1.9	0.0
6 折りたたみ自転車	22	9.1	59.1	9.1	9.1	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4 クロスバイク	21	57.1	28.6	9.5	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3 マウンテンバイク	6	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2 ロードレーサー	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7 その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 問 25 日常の移動を目的として自転車を購入する場合の希望する購入時期

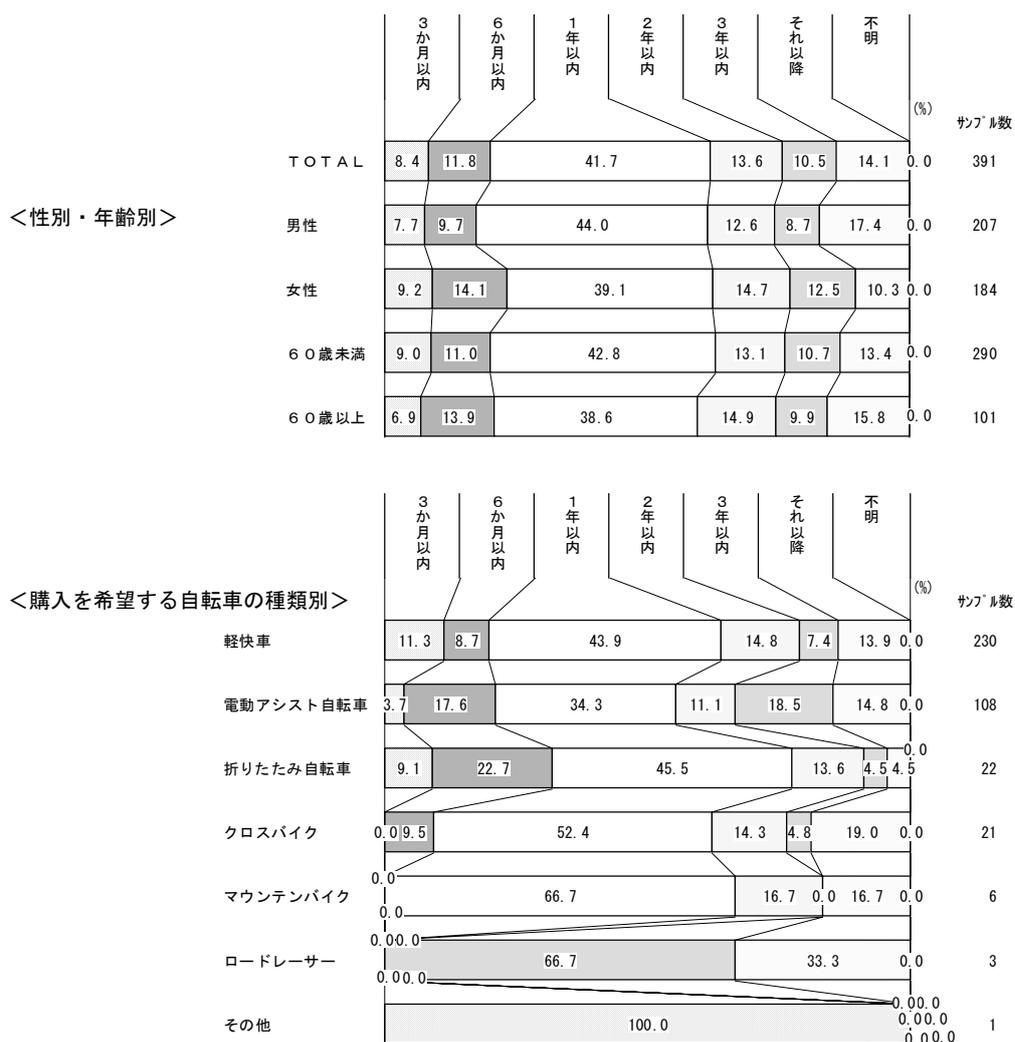
【母数：日常での移動を目的とした自転車の新規購入意向を持っている人（問 13 参照）】

日常の移動を目的とした自転車の新規購入意向を持っている 391 人に希望する自転車の購入時期を聞いた結果、「(6ヶ月以上) 1年以内」(41.7%) が約 4 割を占めて最も多く、これに「3ヶ月以内」(8.4%)、「6ヶ月以内」(11.8%) を合わせると 61.9%と、購入意向のある人のうち約 6 割は 1年以内での購入を希望している。

性別および年齢別による顕著な差はみられない。

購入希望の自転車の種類別(問 22) にみると、〔電動アシスト自転車〕においては、「3年以内」(18.5%) や「それ以降」(14.8%) という回答も 3分 1 (33.3%) を占め、長期での購入意向を持つ人が他の種類に比べて多い。一方、〔折りたたみ自転車〕においては、「3ヶ月以内」(9.1%) や「6ヶ月以内」(22.7%) とする人も約 3 割 (31.8%) みられ、これに「(6ヶ月以上) 1年以内」(45.5%) を合わせると 77.3%と、購入意向のある人のうち 4分の 3 以上が 1年以内での購入を希望している。

問 25 日常の移動を目的として自転車を購入する場合の希望する購入時期  
 <性別・年齢別・問 22 購入を希望する自転車の種類別>



## 問 26 日常の移動を目的として自転車を購入する場合の希望する購入金額

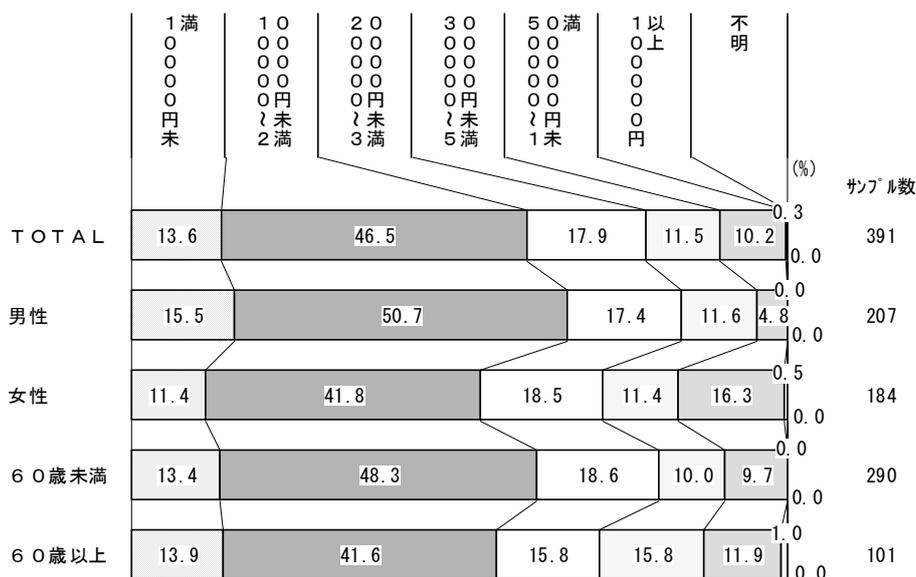
【母数：日常での移動を目的とした自転車の新規購入意向を持っている人（問 13 参照）】

日常の移動を目的とした自転車の新規購入意向を持っている 391 人に希望する自転車の購入金額を聞いた結果、最も多いのは「10,000～20,000 円未満」の 46.5%で、次いで「10,000 円未満」（13.6%）となっており、両者を合わせると 60.1%と、20,000 円未満での購入希望が約 6 割を占める。一方、「50,000～100,000 円未満」（10.2%）や「100,000 円以上」（0.3%）という高額な自転車を希望する人も約 1 割みられる。

性別にみると、「50,000～100,000 円未満」への回答は、男性では 4.8%であるのに対し、女性では 16.3%と、女性の方が多くなっている。これは、女性では購入希望の種類において「電動アシスト自転車」の占める割合が高いことも影響していると推測される。

年齢別による顕著な差はみられない。

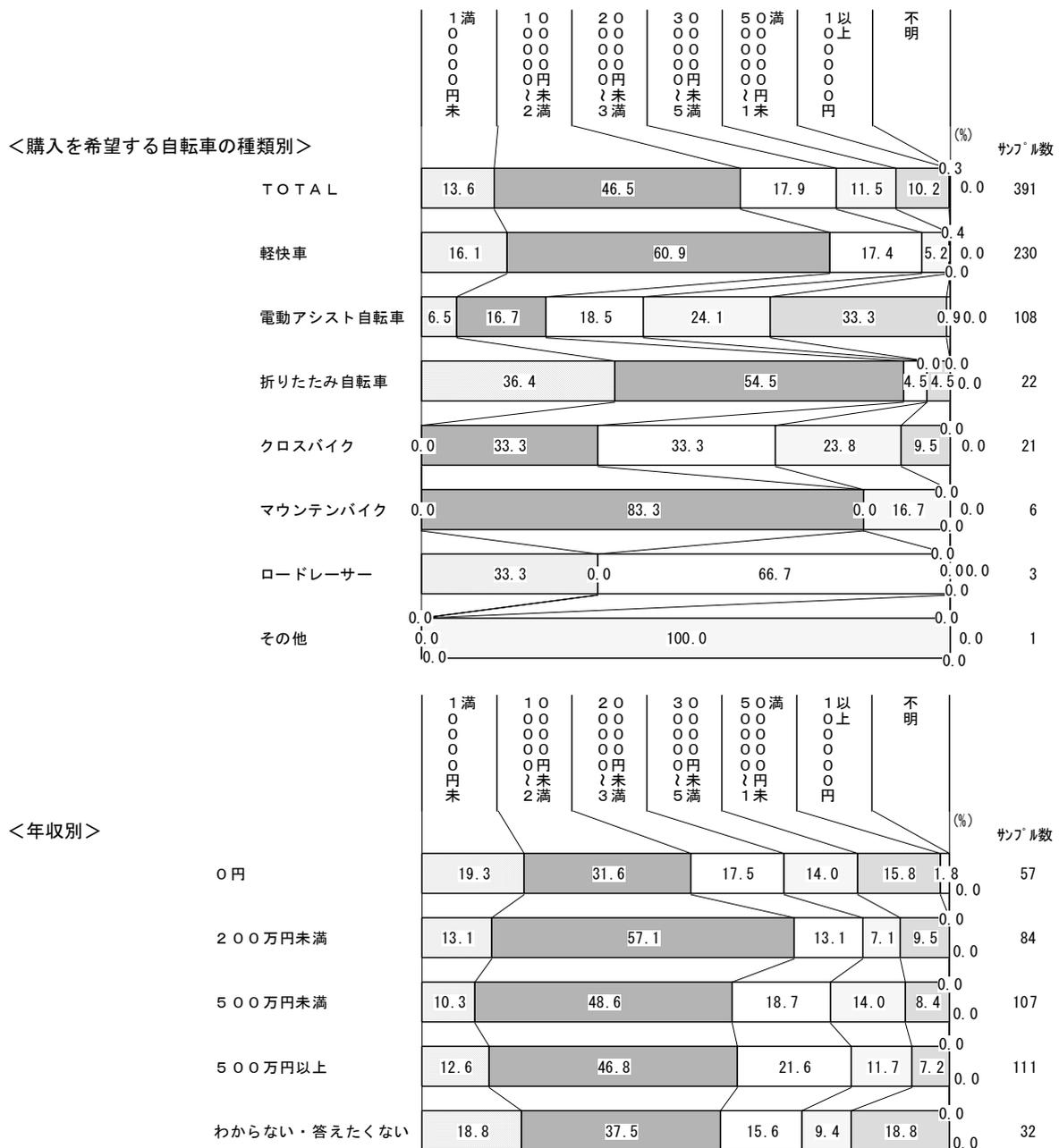
問 26 日常の移動を目的として自転車を購入する場合の希望する購入金額＜性別・年齢別＞



購入希望の自転車の種類別（問 22）にみると、〔電動アシスト自転車〕においては、「50,000～100,000 円未満」（33.3%）が3分1を占め、〔軽快車〕など他の種類に比べて高額での購入を想定する人が多い。一方、〔折りたたみ自転車〕においては、「10,000 円未満」（36.4%）や「10,000～20,000 円未満」（54.5%）が約9割（90.9%）を占め、他の種類に比べて安価での購入が想定されている。

年収別にみると、〔0 円〕の層では「10,000～20,000 円未満」（31.6%）が年収のある層に比べて若干少なく、代わって「10,000 円未満」（19.3%）が若干多くなっている。

問 26 日常の移動を目的として自転車を購入する場合の希望する購入金額  
 <問 22 購入を希望する自転車の種類別・年収別>



(8) 軽い運動・近所の散策を目的とした自転車の購入意向の詳細

問 13 軽い運動・近所の散策を目的とした自転車の購入意向

軽い運動・近所の散策を目的とした自転車の購入意向について、「新規購入意向あり」は10.9%となっている。

性別に購入意向率を比較すると、女性では8.5%にとどまるのに対し、男性では13.0%となっている。

年齢別や現状における利用頻度別（問6）では、購入意向率において顕著な差はみられない。

問 13 軽い移動・近所の散策を目的とした自転車の購入意向  
 <性別・年齢別・問6 自転車の利用頻度別>

			1 新規購入意向有り	2 新規購入意向無し	3 使用頻度減・非使用	4 不明
*基本属性【性別×年齢（2区分）】		n				
<性別・年齢別>	0 TOTAL	4,548	10.9	50.8	38.3	0.0
	1 男性	2,473	13.0	56.3	30.7	0.0
	2 女性	2,075	8.5	44.3	47.2	0.0
	3 60歳未満	3,315	11.3	50.1	38.7	0.0
	4 60歳以上	1,233	10.1	52.8	37.1	0.0

			1 新規購入意向有り	2 新規購入意向無し	3 使用頻度減・非使用	4 不明
<自転車の利用頻度別>	0 TOTAL	4,548	10.9	50.8	38.3	0.0
	1 ほぼ毎日	261	13.0	86.6	0.4	0.0
	2 週4～5回	124	14.5	84.7	0.8	0.0
	3 週2～3回	346	13.6	84.7	1.7	0.0
	4 週1回	293	10.6	89.1	0.3	0.0
	5 月2～3回	202	8.9	89.1	2.0	0.0
	6 月1回	71	14.1	84.5	1.4	0.0
	7 年に数回	54	9.3	85.2	5.6	0.0
	8 それ以下	4	0.0	100.0	0.0	0.0
	9 非使用	3,193	10.5	85.6	54.0	0.0

## 問 22 軽い運動・近所の散策を目的として購入を希望する自転車の種類

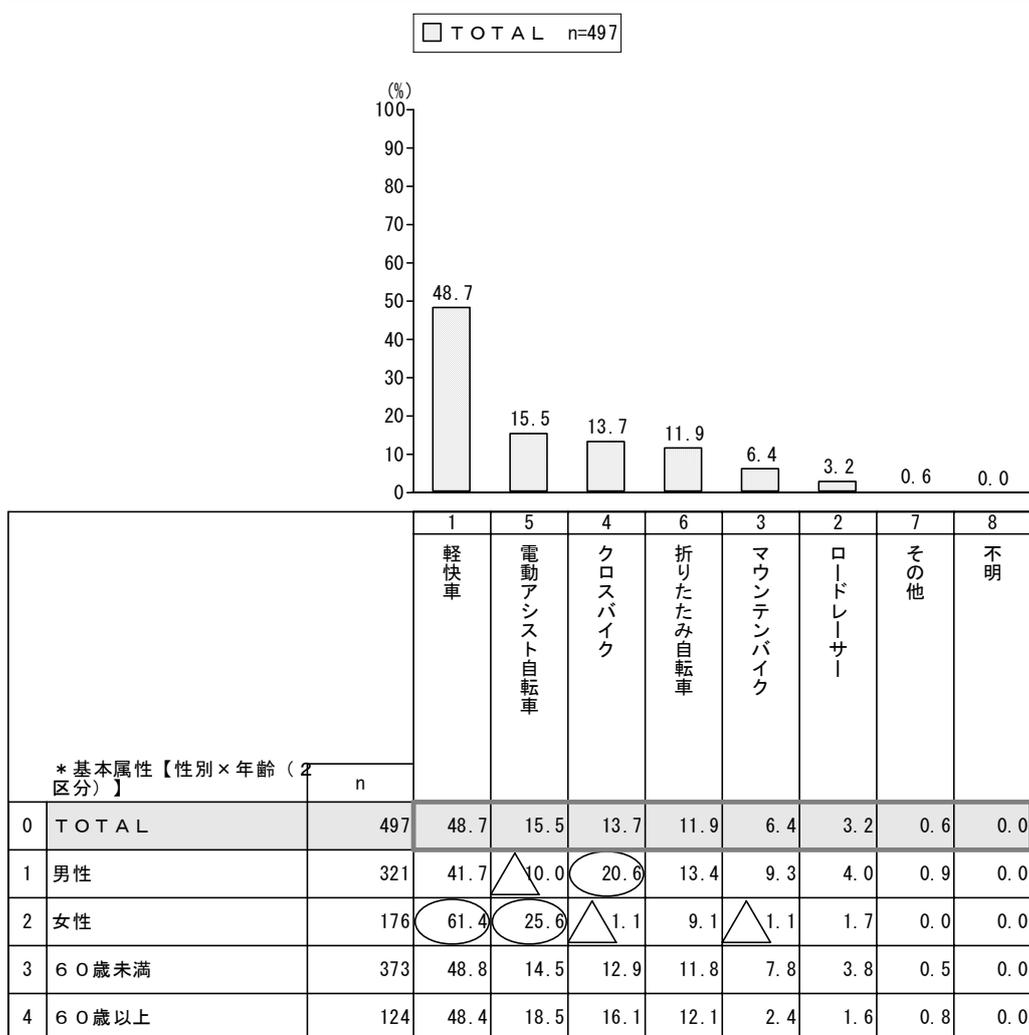
【母数：軽い運動・近所の散策を目的とした自転車の新規購入意向を持っている人（問 13 参照）】

軽い運動・近所の散策を目的とした自転車の新規購入意向を持っている 497 人に希望する自転車の種類を聞いた結果、「軽快車」(48.7%)が約 5 割を占める。以下「電動アシスト自転車」(15.5%)、「クロスバイク」(13.7%)、「折りたたみ自転車」(11.9%) がいずれも 10% 台で続いているなど希望が多岐に渡っており、「軽快車」とそのほかの種類が概ね半々となっている。

性別にみると、女性では、全体で 1 位の「軽快車」が 61.4% と、6 割を占めて一層高く、次いで「電動アシスト自転車」が 25.6% となっており、両方で 9 割近く (87.0%) を占めている。一方、男性では「軽快車」(41.7%) は約 4 割にとどまり、以下「クロスバイク」(20.6%)、「折りたたみ自転車」(13.4%) と続いている。

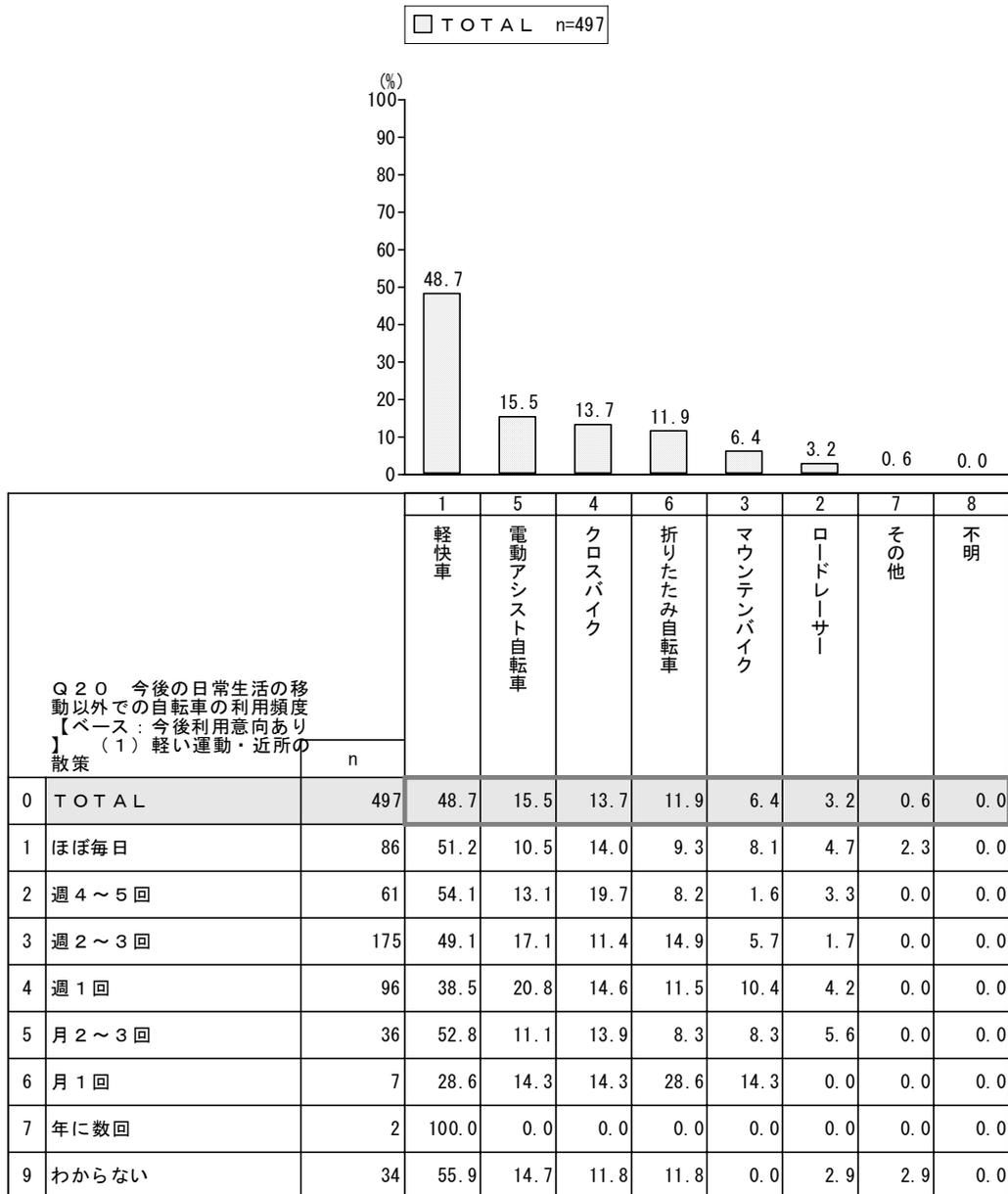
年齢別では顕著な差はみられない。

問 22 軽い運動・近所の散策を目的として購入を希望する自転車の種類<性別・年齢別>



今後の利用頻度別（問 20）においても顕著な差はみられない。

問 22 軽い運動・近所の散策を目的として購入を希望する自転車の種類<問 20 今後の利用頻度別>



問 23 軽い運動・近所の散策を目的として自転車を購入する場合の重視点（3つまでの複数回答）

【母数：軽い運動・近所の散策を目的とした自転車の新規購入意向を持っている人（問 13 参照）】

軽い運動・近所の散策を目的とした自転車の新規購入意向を持っている 497 人に、自転車購入の際に重視する点を3つまで選択してもらった結果、「運転しやすい」（52.7%）と「乗り心地がよい」（51.1%）がいずれも5割を超えて上位を占め、乗車の際の快適さを重視する人が多い。以下「重量が軽い」（31.2%）、「価格が予算内である」（28.8%）、「疲れずに長時間乗ることができる」（27.4%）がいずれも3割前後となっている。

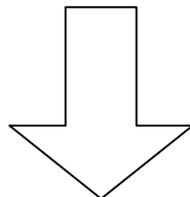
そのうち最も重視する点を1つだけ回答してもらったところ、全体の約3分の1の人が「運転しやすい」（32.6%）を選択している。これに「乗り心地がよい」（19.7%）、「疲れずに長時間乗ることができる」（12.5%）が15%前後で続いており、乗車の際の快適さを重視する傾向が一層顕著になっている。

問 23 軽い運動・近所の散策を目的として自転車を購入する場合の重視点（3つまでの複数回答）

REPORT. NO:0074	TOTAL	1	2	6	19	3	4	8	7	5	9	13	11
1 段目 度数 2 段目 標%		運転しやすい	乗り心地がよい	重量が軽い	価格が予算内である	疲れずに長時間乗ることができる	使いやすい大きさである	サビに強い	長持ちする	つくりがしっかりしている	デザイン・色がよい	修理やメンテナンスが簡単にできる	ライト・反射板などの安全装備が充実している
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】													
0) TOTAL	497 100.0	262 52.7	254 51.1	155 31.2	143 28.8	136 27.4	96 19.3	56 11.3	54 10.9	49 9.9	48 9.7	46 9.3	36 7.2

REPORT. NO:0074	TOTAL	12	10	16	14	20	15	17	18	21	22	23
1 段目 度数 2 段目 標%		盗難防止機能が充実している	荷物をたくさん積むことができる	有名なメーカーの製品である	チェーンナットがしやすい	高級感がある	お店の人が推薦している	好きな選手が使用している	レース等での実績がある	アクセサリが豊富である	その他	不明
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】												
0) TOTAL	497 100.0	32 6.4	21 4.2	11 2.2	7 1.4	4 0.8	3 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.4	0 0.0



問 23 軽い運動・近所の散策を目的として自転車を購入する場合に最も重視する点

REPORT. NO:0075	TOTAL	1	2	3	19	4	6	5	9	10	7	8	11
1 段目 度数 2 段目 標%		運転しやすい	乗り心地がよい	疲れずに長時間乗ることができる	価格が予算内である	使いやすい大きさである	重量が軽い	つくりがしっかりしている	デザイン・色がよい	荷物をたくさん積むことができる	長持ちする	サビに強い	ライト・反射板などの安全装備が充実している
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】													
0) TOTAL	497 100.0	162 32.6	98 19.7	62 12.5	49 9.9	29 5.8	29 5.8	15 3.0	11 2.2	7 1.4	6 1.2	6 1.2	6 1.2

REPORT. NO:0075	TOTAL	12	13	16	20	14	15	17	18	21	22	23
1 段目 度数 2 段目 標%		盗難防止機能が充実している	修理やメンテナンスが簡単にできる	有名なメーカーの製品である	高級感がある	チェーンナットがしやすい	お店の人が推薦している	好きな選手が使用している	レース等での実績がある	アクセサリが豊富である	その他	不明
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】												
0) TOTAL	497 100.0	6 1.2	6 1.2	4 0.8	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

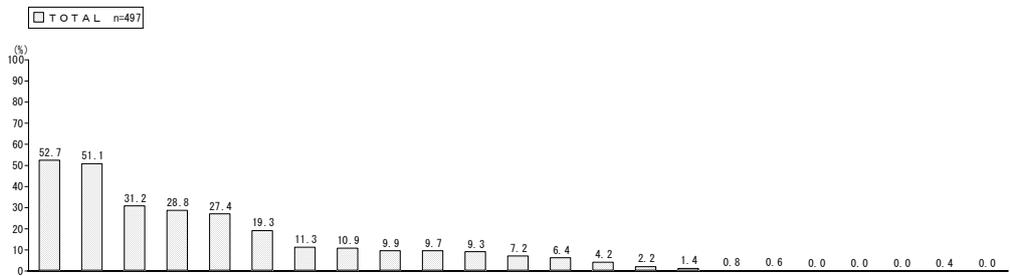
複数回答の結果を性別にみると、上位を占める項目において顕著な差はみられないが、「使いやすい大きさである」は、女性では24.4%と、2割を超え、男性（16.5%）に比べて若干高い。

年齢別にみると、上位を占める項目において顕著な差はみられないが、「サビに強い」は、60歳以上では18.5%と、60歳未満（8.8%）に比べて高い。

購入希望の自転車の種類別（問22）にみると、1位・2位の順序に特徴がみられ、〔軽快車〕〔クロスバイク〕では「運転しやすい」（軽快：56.2%、クロス：52.9%）、「乗り心地がよい」（軽快：52.1%、クロス：47.1%）の順、〔電動アシスト自転車〕〔マウンテンバイク〕では「乗り心地がよい」（電動：57.1%、マウンテン：56.3%）、「運転しやすい」（電動：54.5%、マウンテン：40.6%）の順となっている。また、〔折りたたみ自転車〕では「運転しやすい」（45.8%）に次いで「重量が軽い」（44.1%）が2位を占める。

問23 軽い運動・近所の散策を目的として自転車を購入する場合の重視点（3つまでの複数回答）  
 <性別・年齢別・問22 購入を希望する自転車の種類別>

<性別・年齢別>



* 基本属性【性別×年齢（2区分）】	n	重視点																						
		1	2	6	19	3	4	8	7	5	9	13	11	12	10	16	14	20	15	17	18	21	22	23
0 TOTAL	497	52.7	51.1	31.2	28.8	27.4	19.3	11.3	10.9	9.9	9.7	9.3	7.2	6.4	4.2	2.2	1.4	0.8	0.6	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0
1 男性	321	51.1	51.1	33.3	27.7	26.2	16.5	12.1	11.2	10.0	9.7	10.6	6.2	6.5	3.4	2.2	2.2	1.2	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0
2 女性	176	55.7	51.1	27.3	30.7	29.5	24.4	9.7	10.2	9.7	9.7	6.8	9.1	6.3	5.7	2.3	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3 60歳未満	373	53.9	50.9	32.2	29.2	27.6	18.0	8.8	10.7	11.0	10.2	9.9	6.4	6.4	4.0	2.4	1.1	0.8	0.8	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
4 60歳以上	124	49.2	51.6	28.2	27.4	26.6	23.4	18.5	11.3	6.5	8.1	7.3	9.7	6.5	4.8	1.6	2.4	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0

<購入を希望する自転車の種類別>

	n	1	2	6	19	3	4	8	7	5	9	13	11	12	10	16	14	20	15	17	18	21	22	23
0 TOTAL	497	52.7	51.1	31.2	28.8	27.4	19.3	11.3	10.9	9.9	9.7	9.3	7.2	6.4	4.2	2.2	1.4	0.8	0.6	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0
1 軽快車	242	56.2	52.1	30.6	27.7	22.3	21.9	12.0	11.2	9.9	7.0	8.7	7.0	6.2	6.2	2.1	0.4	0.4	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5 電動アシスト自転車	77	54.5	57.1	20.8	29.9	36.4	18.2	5.2	16.9	6.5	10.4	11.7	10.4	7.8	1.3	2.6	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0
4 クロスバイク	68	52.9	47.1	35.3	29.4	39.7	10.3	5.9	7.4	5.9	16.2	7.4	10.3	7.4	1.5	2.9	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6 折りたたみ自転車	59	45.8	40.7	44.1	40.7	20.3	25.4	18.6	5.1	10.2	11.9	6.8	3.4	5.1	1.7	3.4	1.7	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0
3 マウンテンバイク	32	40.6	56.3	21.9	21.9	25.0	9.4	21.9	9.4	28.1	3.1	15.6	3.1	9.4	9.4	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2 ロードレーサー	16	37.5	50.0	50.0	12.5	43.8	18.8	6.3	18.8	6.3	18.8	12.5	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7 その他	3	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

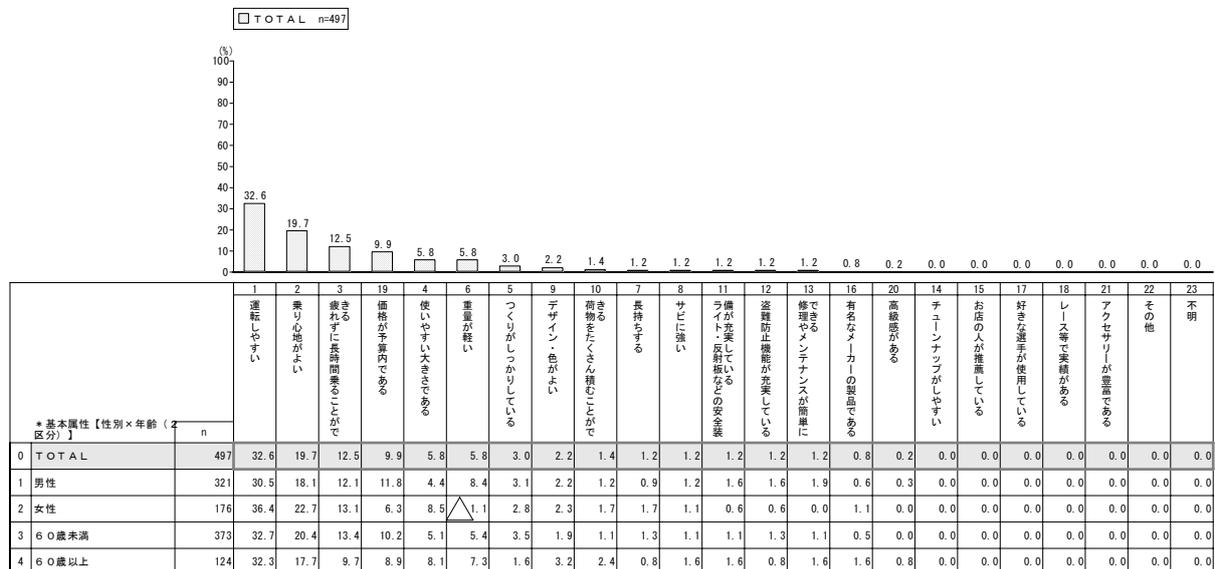
最も重視する点について性別にみると、上位3項目の順位には違いは見られないが、女性では「運転しやすい」(36.4%)、「乗り心地がよい」(22.7%)が一層高く、両者で全体の約6割(59.1%)を占めている。一方、男性では、2位の「乗り心地がよい」は18.1%にとどまる一方、「重量が軽い」(8.4%)や「価格が予算内である」(11.8%)なども1割前後にのぼっている。

年齢別による顕著な差はみられない。

購入希望の自転車の種類別(問22)にみると、ほとんどの種類において「運転しやすい」と「乗り心地がよい」が上位を占め、上位項目において顕著な違いはみられない。なお、[マウンテンバイク]では、「作りがしっかりしている」(12.5%)、「サビに強い」(6.3%)などの耐久性を最重要視する人が他の種類に比べて多くなっている。

問23 軽い運動・近所の散策を目的として自転車を購入する場合に最も重視する点  
 <性別・年齢別・問22 購入を希望する自転車の種類別>

<性別・年齢別>



<購入を希望する自転車の種類別>

種類	n	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	16	20	14	15	17	18	21	22	23
0 TOTAL	497	32.6	19.7	12.5	9.9	5.8	5.8	3.0	2.2	1.4	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	0.8	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1 軽快車	242	38.8	18.6	9.1	8.7	7.0	5.0	2.5	1.7	1.7	1.2	1.2	0.8	0.8	1.7	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5 電動アシスト自転車	77	27.3	22.1	19.5	13.0	2.6	0.0	1.3	2.6	0.0	2.6	0.0	3.9	2.6	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4 クロスバイク	68	32.4	19.1	16.2	11.8	1.5	11.8	0.0	4.4	1.5	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6 折りたたみ自転車	59	25.4	18.6	10.2	13.6	10.2	10.2	6.8	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	1.7	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3 マウンテンバイク	32	21.9	25.0	12.5	6.3	3.1	0.0	12.5	0.0	6.3	3.1	6.3	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2 ロードレーサー	16	12.5	25.0	25.0	0.0	12.5	18.8	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7 その他	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 24 軽い運動・近所の散策を目的として自転車を購入する場合の希望する購入先

【母数：軽い運動・近所の散策を目的とした自転車の新規購入意向を持っている人（問 13 参照）】

軽い運動・近所の散策を目的とした自転車の新規購入意向を持っている 497 人に希望する自転車の購入先を聞いた結果、「自転車専門店」が 40.8%、次いで「ホームセンター」が 33.8%となっており、両者で全体の 4 分の 3（74.6%）を占める。

性別にみると、女性では「自転車専門店」（46.6%）が 5 割近くを占めているのに対し、男性では「自転車専門店」（37.7%）、「ホームセンター」（35.8%）がほぼ同率となっている。

年齢別による顕著な差はみられない。

購入希望の自転車の種類別（問 22）にみると、〔軽快車〕では「自転車専門店」（38.8%）と「ホームセンター」（38.4%）がそれぞれ約 4 割となっている。一方、〔電動アシスト自転車〕〔クロスバイク〕〔マウンテンバイク〕では「自転車専門店」（電動：44.2%、クロス：50.0%、マウンテン：53.1%）が 5 割前後を占めて顕著に高く、〔折りたたみ自転車〕では「ホームセンター」（47.5%）が約 5 割を占めている。

問 24 軽い運動・近所の散策を目的として自転車を購入する場合の希望する購入先  
 <性別・年齢別・問 22 購入を希望する自転車の種類別>

<性別・年齢別>

		1	3	5	2	8	6	4	9	7	10	11	
		自転車専門店	ホームセンター	ディスカウンド店	スーパー	インターネット（Webサイ	スポーツ用品店	家電量販店	通信販売	百貨店	その他	不明	
* 基本属性【性別×年齢（2区分）】		n											
0	TOTAL	497	40.8	33.8	9.1	7.2	4.4	2.2	1.2	0.6	0.2	0.4	0.0
1	男性	321	37.7	35.8	10.9	5.9	5.0	2.5	0.3	0.9	0.3	0.6	0.0
2	女性	176	46.6	30.1	5.7	9.7	3.4	1.7	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0
3	60歳未満	373	41.3	33.5	9.4	7.5	4.3	1.9	0.8	0.8	0.3	0.3	0.0
4	60歳以上	124	39.5	34.7	8.1	6.5	4.8	3.2	2.4	0.0	0.0	0.8	0.0

<購入を希望する自転車の種類別>

0	TOTAL	497	40.8	33.8	9.1	7.2	4.4	2.2	1.2	0.6	0.2	0.4	0.0
1	軽快車	242	38.8	38.4	7.9	10.7	△1.2	1.2	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0
5	電動アシスト自転車	77	44.2	△20.8	15.6	6.5	7.8	1.3	2.6	1.3	0.0	0.0	0.0
4	クロスバイク	68	50.0	27.9	8.8	5.9	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0
6	折りたたみ自転車	59	△23.7	○47.5	10.2	1.7	8.5	3.4	0.0	○3.4	1.7	0.0	0.0
3	マウンテンバイク	32	53.1	28.1	3.1	0.0	○12.5	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	ロードレーサー	16	62.5	18.8	6.3	0.0	0.0	○12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7	その他	3	0.0	0.0	0.0	0.0	○66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	○33.3	0.0

## 問 25 軽い運動・近所の散策を目的として自転車を購入する場合の希望する購入時期

【母数：軽い運動・近所の散策を目的とした自転車の新規購入意向を持っている人（問 13 参照）】

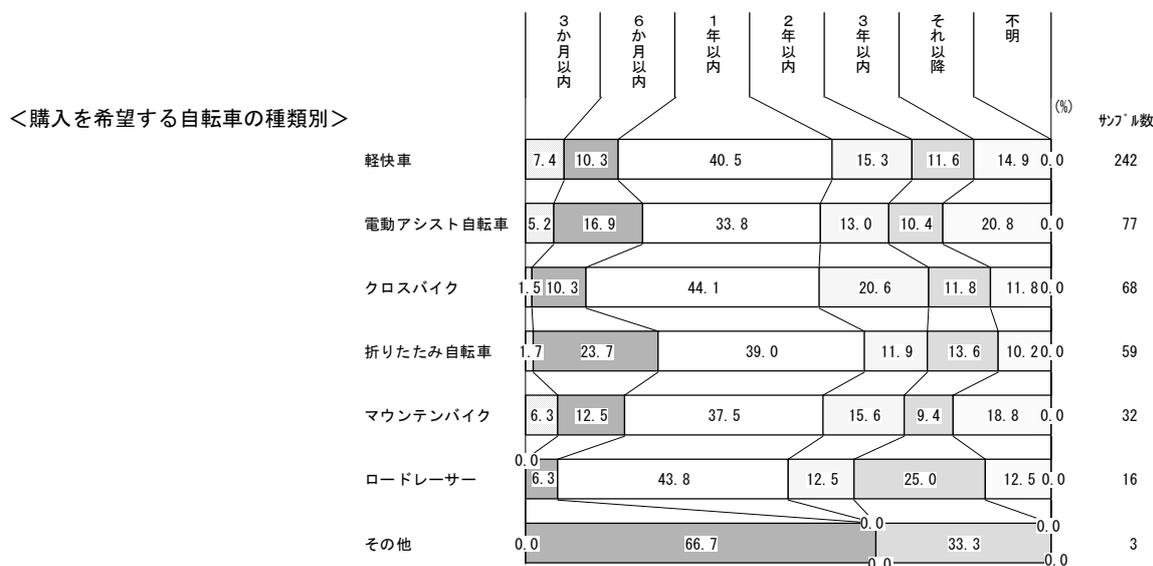
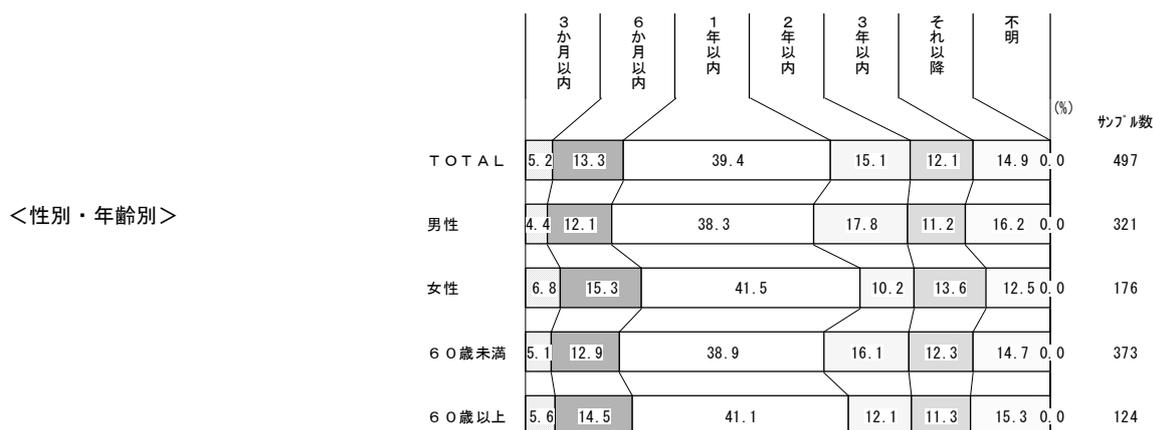
軽い運動・近所の散策を目的とした自転車の新規購入意向を持っている 497 人に希望する自転車の購入時期を聞いた結果、「(6ヶ月以上) 1年以内」(39.4%) が約 4 割を占めて最も多く、これに「3ヶ月以内」(13.3%)、「6ヶ月以内」(5.2%) を合わせると 57.9%と、購入意向のある人のうち 6 割弱は 1 年以内での購入を希望している。

性別にみると、「3ヶ月以内」「6ヶ月以内」「1年以内」を合わせた 1 年以内とする割合は、男性では 54.8%であるのに対し、女性では 63.6%と、女性の方が高い。

年齢別による顕著な差はみられない。

購入希望の自転車の種類別（問 22）にみると、〔折りたたみ自転車〕において「(3ヶ月以上) 6ヶ月以内」(23.7%) とする人が約 4 分の 1 にのぼり若干多くなっているほかは、顕著な差はみられない。

問 25 軽い運動・近所の散策を目的として自転車を購入する場合の希望する購入時期  
 <性別・年齢別・問 22 購入を希望する自転車の種類別>



問 26 軽い運動・近所の散策を目的として自転車を購入する場合の希望する購入金額

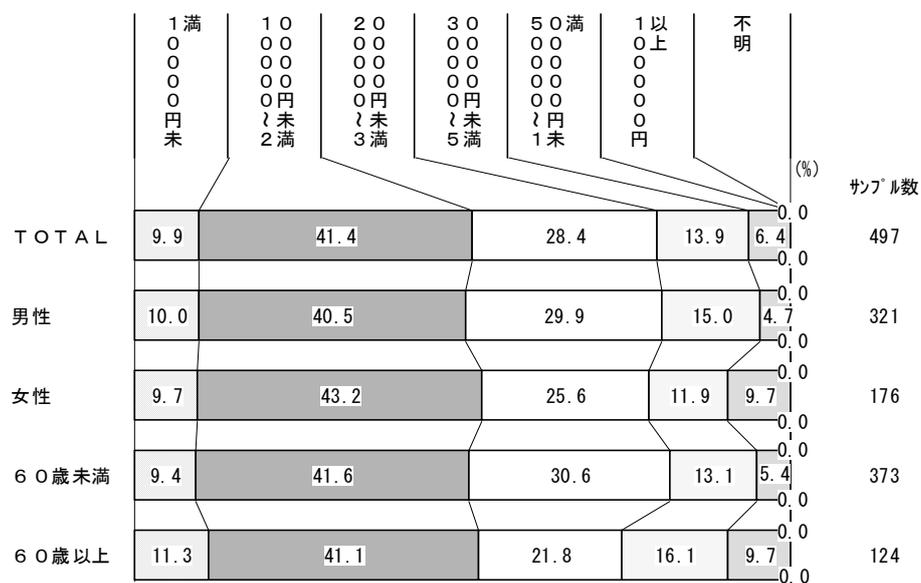
【母数：軽い運動・近所の散策を目的とした自転車の新規購入意向を持っている人（問 13 参照）】

軽い運動・近所の散策を目的とした自転車の新規購入意向を持っている 497 人に希望する自転車の購入金額を聞いた結果、最も多いのは「10,000～20,000 円未満」の 41.4%、以下「20,000～30,000 円未満」（28.4%）、「30,000～50,000 円未満」（13.9%）と続いている。

性別にみると、「50,000～100,000 円未満」への回答は、男性では 4.7%であるのに対し、女性では 9.7%と、女性の方が若干多くなっている。

年齢別による顕著な差はみられない。

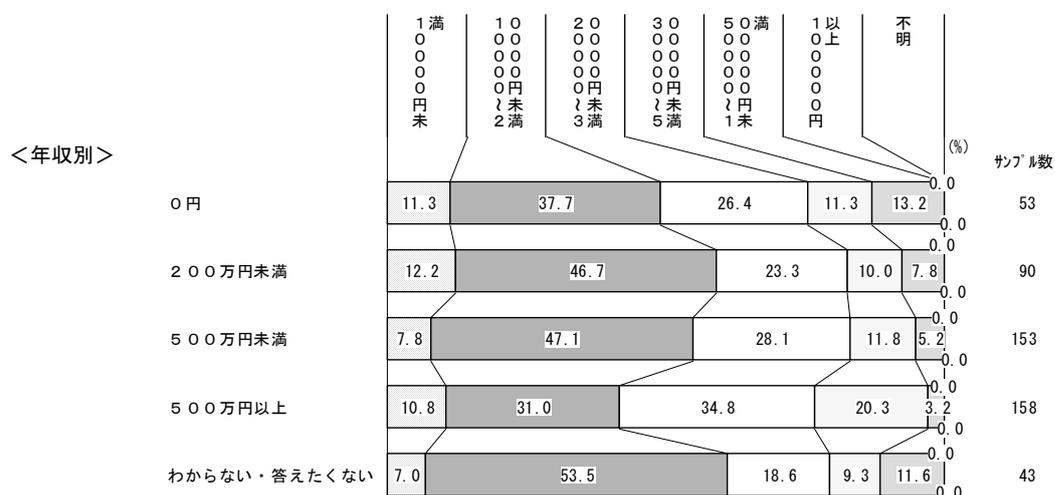
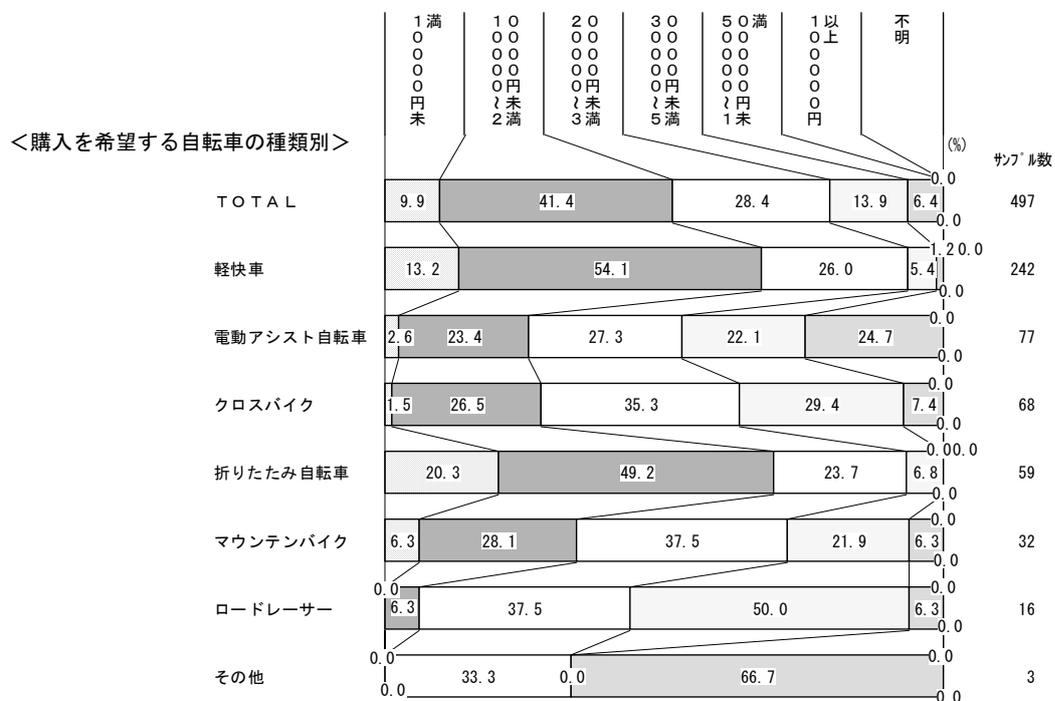
問 26 軽い運動・近所の散策を目的として自転車を購入する場合の希望する購入金額＜性別・年齢別＞



購入希望の自転車の種類別（問 22）にみると、〔軽快車〕と〔折りたたみ自転車〕では「10,000～20,000 円未満」（軽快：54.1%、折り：49.2%）が5割前後を占めて最も多く、これに「10,000 円未満」（軽快：13.2%、折り：20.3%）を合わせると、20,000 円未満が約7割（軽快：67.3%、折り：69.5%）を占め、他の種類に比べて安価の購入を想定している。一方、〔電動アシスト自転車〕〔マウンテンバイク〕〔クロスバイク〕では「20,000～30,000 円未満」（電動：27.3%、マウンテン：37.5%、クロス：35.3%）が最も多く、特に〔電動アシスト自転車〕では30,000 円以上とする人も46.8%と約半数を占め、他の種類に比べて高額の購入を想定している。

年収別にみると、〔500 万円以上〕の層では「20,000～30,000 円未満」（34.8%）や「30,000～50,000 円未満」（20.3%）が他の層に10ポイント程度高く、500 万円未満の層に比べて高額の購入を想定している人が若干多い。

問 26 軽い運動・近所の散策を目的として自転車を購入する場合の希望する購入金額  
 <問 22 購入を希望する自転車の種類別・年収別>



## (9) サイクリング・ツーリングを目的とした自転車の購入意向の詳細

### 問 13 サイクリング・ツーリングを目的とした自転車の購入意向

サイクリング・ツーリングを目的とした自転車の購入意向について、「新規購入意向有り」は9.2%となっている。

性別に購入意向率を比較すると、女性では5.1%にとどまるのに対し、男性では12.6%と、1割を超えている。

年齢別による顕著な差はみられない。

現状における利用頻度別（問6）の結果は下表のとおりであるが、各層のサンプルが少ないため分析からはずしている。

問 13 サイクリング・ツーリングを目的とした自転車の購入意向  
 <性別・年齢別・問6 自転車の利用頻度別>

			1 新規購入意向有り	2 新規購入意向無し	3 使用頻度減・非使用	4 不明
* 基本属性【性別×年齢（2区分）】		n				
<性別・年齢別>	0 TOTAL	4,548	9.2	11.8	79.0	0.0
	1 男性	2,473	12.6	13.8	73.6	0.0
	2 女性	2,075	5.1	9.5	85.4	0.0
	3 60歳未満	3,315	9.1	11.3	79.6	0.0
	4 60歳以上	1,233	9.3	13.4	77.3	0.0

<自転車の利用頻度別>	0 TOTAL	4,548	9.2	11.8	79.0	0.0
	1 ほぼ毎日	10	20.0	80.0	0.0	0.0
	2 週4～5回	2	50.0	50.0	0.0	0.0
	3 週2～3回	15	33.3	66.7	0.0	0.0
	4 週1回	30	23.3	76.7	0.0	0.0
	5 月2～3回	21	38.1	61.9	0.0	0.0
	6 月1回	24	29.2	66.7	4.2	0.0
	7 年に数回	22	13.6	86.4	0.0	0.0
	8 それ以下	4	25.0	0.0	75.0	0.0
	9 非使用	4,420	8.7	10.1	81.2	0.0

## 問 22 サイクリング・ツーリングを目的として購入を希望する自転車の種類

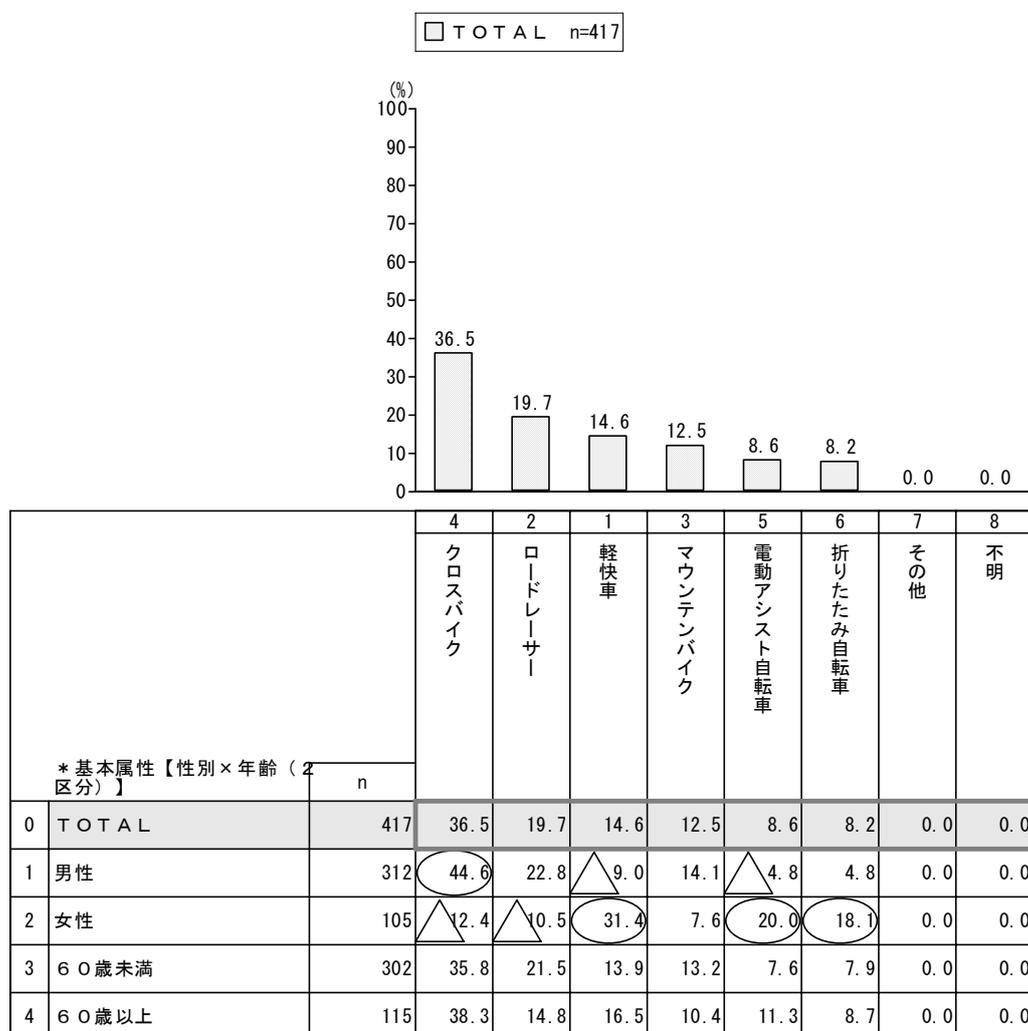
【母数：サイクリング・ツーリングを目的とした自転車の新規購入意向を持っている人（問 13 参照）】

サイクリング・ツーリングを目的とした自転車の新規購入意向を持っている 417 人に希望する自転車の種類を聞いた結果、「クロスバイク」が 36.5% で最も多く、以下「ロードレーサー」(19.7%)、「軽快車」(14.6%)、「マウンテンバイク」(12.5%) がいずれも 10% 台となっている。

性別にみると、男性では「クロスバイク」(44.6%) が最も多く、これに「ロードレーサー」(22.8%) が続いており、両者で全体の 3 分の 2 以上を占めているのに対し、女性では「軽快車」(31.4%) が最も多く、これに「電動アシスト自転車」(20.0%) と「折りたたみ自転車」(18.1%) がいずれも約 2 割で続いており、性別による違いが顕著となっている。

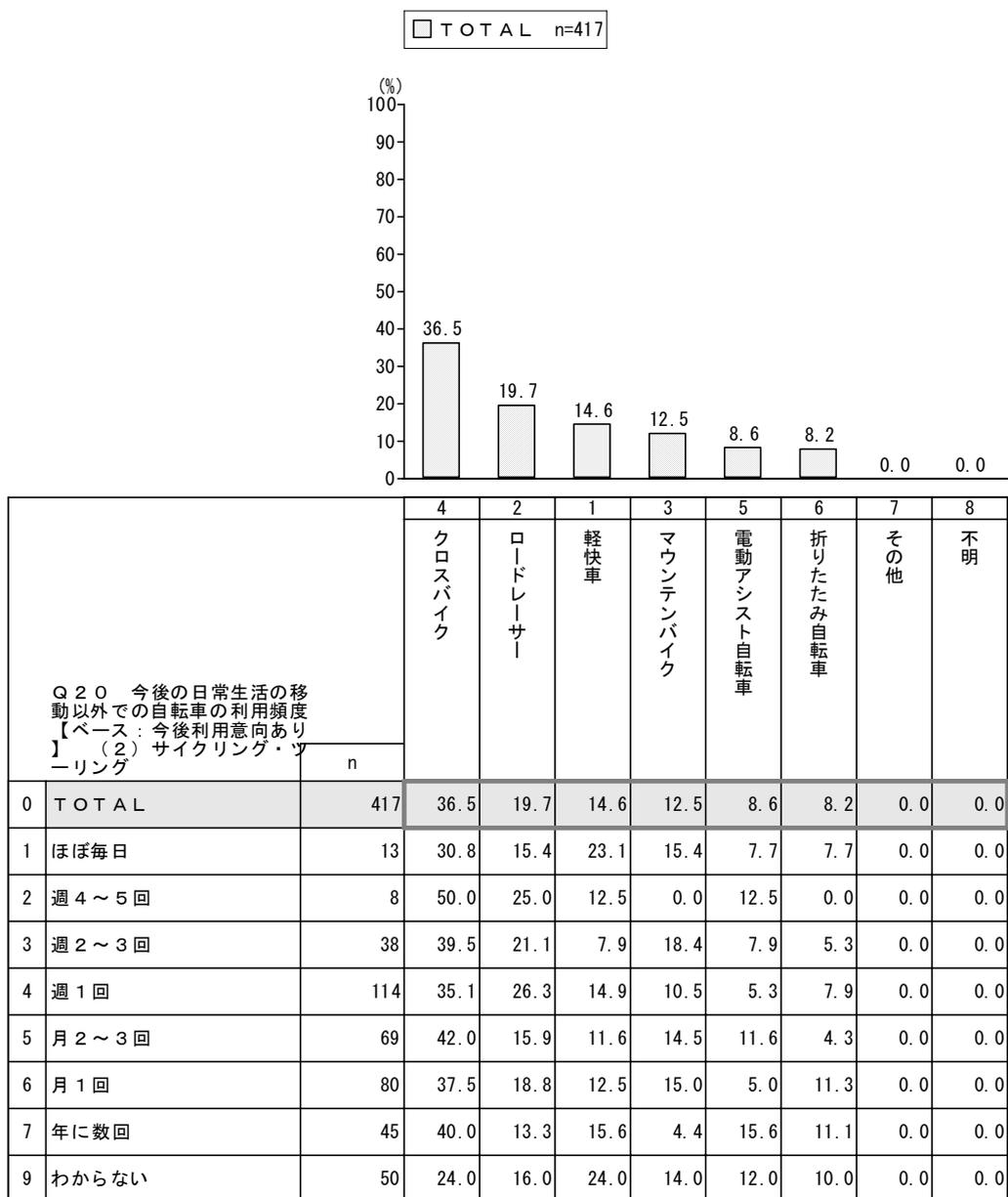
年齢別では顕著な差はみられない。

問 22 サイクリング・ツーリングを目的として購入を希望する自転車の種類＜性別・年齢別＞



今後の利用頻度別（問 20）においても顕著な差はみられない。

問 22 サイクリング・ツーリングを目的として購入を希望する自転車の種類<問 20 今後の利用頻度別>



問 23 サイクリング・ツーリングを目的として自転車を購入する場合の重視点（3つまでの複数回答）

【母数：サイクリング・ツーリングを目的とした自転車の新規購入意向を持っている人（問 13 参照）】

サイクリング・ツーリングを目的とした自転車の新規購入意向を持っている 417 人に、自転車購入の際に重視する点を 3 つまで選択してもらった結果、「疲れずに長時間乗ることができる」が 60.9% で最も高く、以下「運転しやすい」（46.3%）、「乗り心地がよい」（39.6%）、「重量が軽い」（34.5%）と続いている。

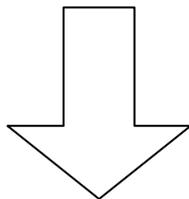
そのうち最も重視する点を 1 つだけ回答してもらったところ、「疲れずに長時間乗ることができる」（30.5%）と「運転しやすい」（26.9%）が上位を占め、これに「乗り心地がよい」（12.0%）が続いており、乗車の際の快適さを重視する傾向が顕著にみられる。

問 23 サイクリング・ツーリングを目的として自転車を購入する場合の重視点（3つまでの複数回答）

REPORT. NO:0081	TOTAL	3	1	2	6	19	13	5	4	7	9	11	8
1 段目 度数 2 段目 標%		疲れずに長時間乗ることができる	運転しやすい	乗り心地がよい	重量が軽い	価格が予算内である	修理やメンテナンスが簡単にできる	つくりがしっかりしている	使いやすい大ききさである	長持ちする	デザイン・色がよい	ライト・反射板などの安全装備が充実している	サビに強い
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】													
0) TOTAL	417 100.0	254 60.9	193 46.3	165 39.6	144 34.5	91 21.8	72 17.3	59 14.1	39 9.4	29 7.0	29 7.0	29 7.0	24 5.8

REPORT. NO:0081	TOTAL	12	14	16	10	15	20	18	17	21	22	23
1 段目 度数 2 段目 標%		盗難防止機能が充実している	チューンナップがしやすい	有名なメーカーの製品である	荷物をたくさん積むことができる	お店の人が推薦している	高級感がある	レース等で実績がある	好きな選手が使用している	アクセサリが豊富である	その他	不明
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】												
0) TOTAL	417 100.0	20 4.8	15 3.6	13 3.1	10 2.4	5 1.2	4 1.0	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0



問 23 サイクリング・ツーリングを目的として自転車を購入場合に最も重視する点

REPORT. NO:0082	TOTAL	3	1	2	19	6	5	4	13	12	9	11	16
1 段目 度数 2 段目 標%		疲れずに長時間乗ることができる	運転しやすい	乗り心地がよい	価格が予算内である	重量が軽い	つくりがしっかりしている	使いやすい大ききさである	修理やメンテナンスが簡単にできる	盗難防止機能が充実している	デザイン・色がよい	ライト・反射板などの安全装備が充実している	有名なメーカーの製品である
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】													
0) TOTAL	417 100.0	127 30.5	112 26.9	50 12.0	36 8.6	30 7.2	19 4.6	13 3.1	9 2.2	5 1.2	4 1.0	3 0.7	3 0.7

REPORT. NO:0082	TOTAL	14	15	8	20	7	10	17	18	21	22	23
1 段目 度数 2 段目 標%		チューンナップがしやすい	お店の人が推薦している	サビに強い	高級感がある	長持ちする	荷物をたくさん積むことができる	好きな選手が使用している	レース等で実績がある	アクセサリが豊富である	その他	不明
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】												
0) TOTAL	417 100.0	2 0.5	2 0.5	1 0.2	1 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

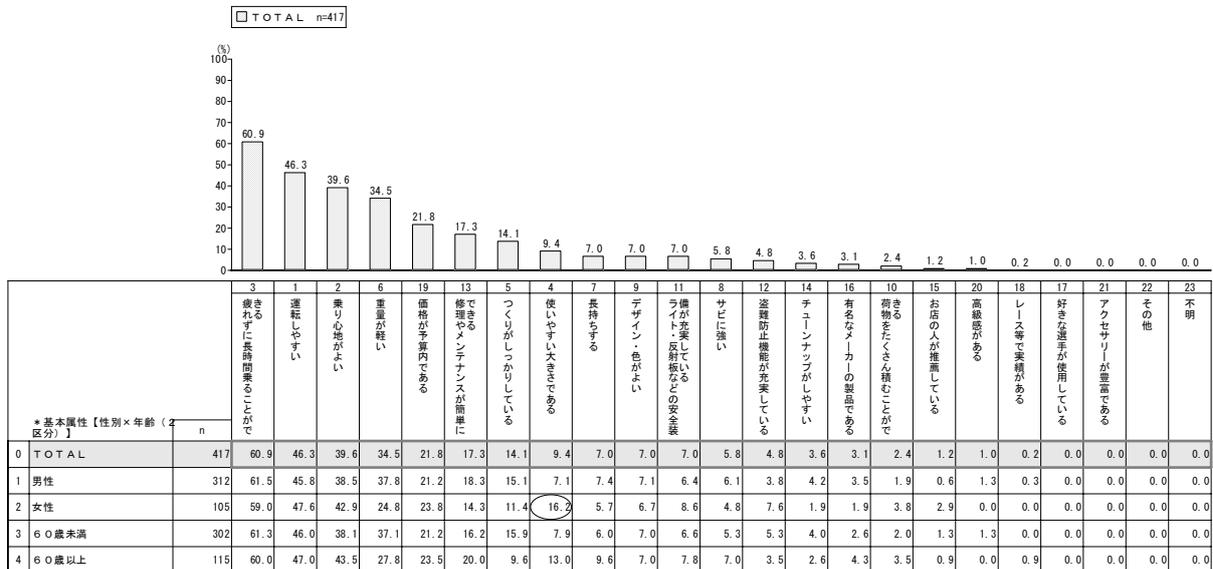
複数回答の結果を性別にみると、女性では「使いやすい大きさである」が16.2%と、男性(7.1%)に比べて高くなっているほかは、上位を占める項目の順位などいずれも顕著な差はみられない。

年齢別による顕著な差はみられない。

購入希望の自転車の種類別(問22)でみると、[軽快車]では「運転しやすい」と「乗り心地がよい」がいずれも60.7%で上位を占めているのに対し、そのほかの種類では、いずれも「疲れずに長時間乗ることができる」が6~7割前後にのぼって1位を占める。なお、[クロスバイク]では「重量が軽い」(40.1%)も4割を超えている。

問23 サイクリング・ツーリングを目的として自転車を購入する場合の重視点(3つまでの複数回答)  
 <性別・年齢別・問22 購入を希望する自転車の種類別>

<性別・年齢別>



<購入を希望する自転車の種類別>

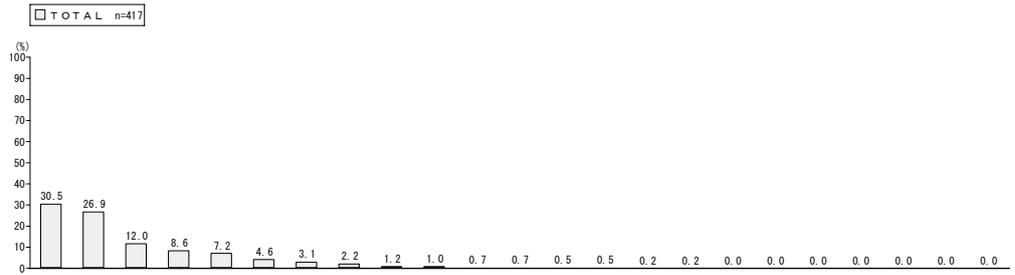
種類	項目	割合 (%)
0 TOTAL	3	60.9
4 クロスバイク	3	63.8
2 ロードレーサー	3	72.0
1 軽快車	3	62.6
3 マウンテンバイク	3	57.7
5 電動アシスト自転車	3	52.8
6 折りたたみ自転車	3	67.6

最も重視する点について性別・年齢別にみても、複数回答と同様、顕著な違いはみられない。

購入希望の自転車の種類別（問 22）にみると〔軽快車〕と〔折りたたみ自転車〕では、「運転しやすい」（軽快車：41.0%、折り：35.3%）が4割前後で最も高いが、そのほかの種類では「疲れずに長時間乗ることができる」が3割前後で1位を占め、次いで「運転しやすい」の順となっている。

問 23 サイクリング・ツーリングを目的として自転車を購入する場合に最も重視する点  
 <性別・年齢別・問 22 購入を希望する自転車の種類別>

<性別・年齢別>



*基本属性【性別×年齢（2区分）】	n	重視する点																						
		3	1	2	19	6	5	4	13	12	9	11	16	14	15	8	20	7	10	17	18	21	22	23
0 TOTAL	417	30.5	26.9	12.0	8.6	7.2	4.6	3.1	2.2	1.2	1.0	0.7	0.7	0.5	0.5	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1 男性	312	30.4	25.6	11.5	9.3	8.3	4.8	2.6	2.2	1.3	1.0	0.6	1.0	0.6	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2 女性	105	30.5	30.5	13.3	6.7	3.8	3.8	4.8	1.9	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3 60歳未満	302	30.8	24.8	11.3	9.3	8.3	5.6	2.6	2.0	1.3	1.3	0.7	0.7	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4 60歳以上	115	29.6	32.2	13.9	7.0	4.3	1.7	4.3	2.6	0.9	0.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

<購入を希望する自転車の種類別>

種類	n	3	1	2	19	6	5	4	13	12	9	11	16	14	15	8	20	7	10	17	18	21	22	23
0 TOTAL	417	30.5	26.9	12.0	8.6	7.2	4.6	3.1	2.2	1.2	1.0	0.7	0.7	0.5	0.5	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4 クロスバイク	152	33.6	23.0	9.2	9.9	11.2	5.9	1.3	2.0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2 ロードレーサー	82	35.4	25.6	12.2	4.9	4.9	3.7	2.4	4.9	1.2	1.2	2.4	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1 軽快車	61	44.8	41.0	14.8	9.8	6.6	1.6	4.9	0.0	1.6	1.6	0.0	1.6	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3 マウンテンバイク	52	34.6	23.1	15.4	9.6	3.8	7.7	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5 電動アシスト自転車	36	27.8	19.4	11.1	11.1	8.3	5.6	2.8	5.6	2.8	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6 折りたたみ自転車	34	29.4	35.3	14.7	5.9	0.0	0.0	8.8	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 問 24 サイクリング・ツーリングを目的として自転車を購入する場合の希望する購入先

【母数：サイクリング・ツーリングを目的とした自転車の新規購入意向を持っている人（問 13 参照）】

サイクリング・ツーリングを目的とした自転車の新規購入意向を持っている 417 人に希望する自転車の購入先を聞いた結果、「自転車専門店」が 63.8%と、3分の2近くを占める。

性別や年齢別による顕著な差はみられない。

購入希望の自転車の種類別（問 22）にみると、すべての種類において「自転車専門店」が半数以上を占めて最も高く、次いで「ホームセンター」が1～2割となっている。特に「自転車専門店」の割合が高いのは〔ロードレーサー〕の74.4%である。

### 問 24 サイクリング・ツーリングを目的として自転車を購入する場合の希望する購入先 ＜性別・年齢別・問 22 購入を希望する自転車の種類別＞

＜性別・年齢別＞

	* 基本属性【性別×年齢（2区分）】	n	1	3	6	8	5	2	4	9	7	10	11
			自転車専門店	ホームセンター	スポーツ用品店	インターネット（Webサイト）	ディスカウント店	スーパー	家電量販店	通信販売	百貨店	その他	不明
0	TOTAL	417	63.8	13.7	6.2	6.0	5.3	2.2	1.7	0.5	0.2	0.5	0.0
1	男性	312	62.5	13.5	6.4	6.4	6.4	1.9	1.6	0.6	0.3	0.3	0.0
2	女性	105	67.6	14.3	5.7	4.8	1.9	2.9	1.9	0.0	0.0	1.0	0.0
3	60歳未満	302	63.9	13.6	5.3	7.3	5.3	1.7	2.0	0.3	0.3	0.3	0.0
4	60歳以上	115	63.5	13.9	8.7	2.6	5.2	3.5	0.9	0.9	0.0	0.9	0.0

＜購入を希望する自転車の種類別＞

	n	1	3	6	8	5	2	4	9	7	10	11	
0	TOTAL	417	63.8	13.7	6.2	6.0	5.3	2.2	1.7	0.5	0.2	0.5	0.0
4	クロスバイク	152	65.1	13.2	5.9	7.9	5.9	0.7	0.7	0.0	0.0	0.7	0.0
2	ロードレーサー	82	74.4	8.5	8.5	2.4	4.9	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0
1	軽快車	61	57.4	16.4	3.3	△0.0	9.8	○8.2	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0
3	マウンテンバイク	52	63.5	9.6	9.6	9.6	1.9	0.0	3.8	1.9	0.0	0.0	0.0
5	電動アシスト自転車	36	50.0	22.2	0.0	11.1	5.6	5.6	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0
6	折りたたみ自転車	34	58.8	20.6	8.8	5.9	0.0	2.9	0.0	0.0	○2.9	0.0	0.0

## 問 25 サイクリング・ツーリングを目的として自転車を購入する場合の希望する購入時期

【母数：サイクリング・ツーリングを目的とした自転車の新規購入意向を持っている人（問 13 参照）】

サイクリング・ツーリングを目的とした自転車の新規購入意向を持っている 417 人に、希望する自転車の購入時期を聞いた結果、「(6ヶ月以上) 1年以内」が 33.1%で最も多い。一方、「(1年以上) 2年以内」(21.6%)、「(2年以上) 3年以内」(16.3%)、「それ以降」(16.1%) がいずれも 2割前後みられ、これらを合わせると 54.0%と、1年後以降での購入を希望している人が半数以上を占める。

性別にみると、男性では「(6ヶ月以上) 1年以内」が 35.3%を占め、これに「3ヶ月以内」「6ヶ月以内」を合わせた1年以内とする人が約5割(48.4%)にのぼり、女性に比べて短期間での購入を希望している人が多い。一方、女性では「それ以降」が 25.7%にのぼるなど、長期間での購入を希望している人が多い。

年齢別による顕著な差はみられない。

購入希望の自転車の種類別（問 22）にみると、購入希望の多い〔クロスバイク〕や〔ロードレーサー〕では「(6ヶ月以上) 1年以内」（クロス：39.5%、ロード：36.6%）が4割近くを占め、これに「3ヶ月以内」「6ヶ月以内」を合わせると、1年以内での購入を希望する人が5割以上（クロス：54.0%、ロード：51.2%）を占める。

問 25 サイクリング・ツーリングを目的として自転車を購入する場合の希望する購入時期  
＜性別・年齢別・問 22 購入を希望する自転車の種類別＞

		3 か 月 以 内	6 か 月 以 内	1 年 以 内	2 年 以 内	3 年 以 内	そ れ 以 降	不 明	(%)	サ ン プ ル 数
＜性別・年齢別＞	TOTAL	2.4	10.6	33.1	21.6	16.3	16.1	0.0		417
	男性	2.2	10.9	35.3	21.8	17.0	12.8	0.0		312
	女性	2.9	9.5	26.7	21.0	14.3	25.7	0.0		105
	60歳未満	1.7	10.3	31.8	23.8	16.2	16.2	0.0		302
	60歳以上	4.3	11.3	36.5	15.7	16.5	15.7	0.0		115
	クロスバイク	1.3	13.2	39.5	22.4	14.5	9.2	0.0		152
ロードレーサー	1.2	13.4	36.6	18.3	20.7	9.8	0.0		82	
軽快車	4.9	4.9	18.0	26.2	13.1	32.8	0.0		61	
マウンテンバイク	3.8	9.6	30.8	19.2	11.5	25.0	0.0		52	
電動アシスト自転車	0.0	8.3	25.0	19.4	30.6	16.7	0.0		36	
折りたたみ自転車	5.9	5.9	35.3	23.5	11.8	17.6	0.0		34	

## 問 26 サイクリング・ツーリングを目的として自転車を購入する場合の希望する購入金額

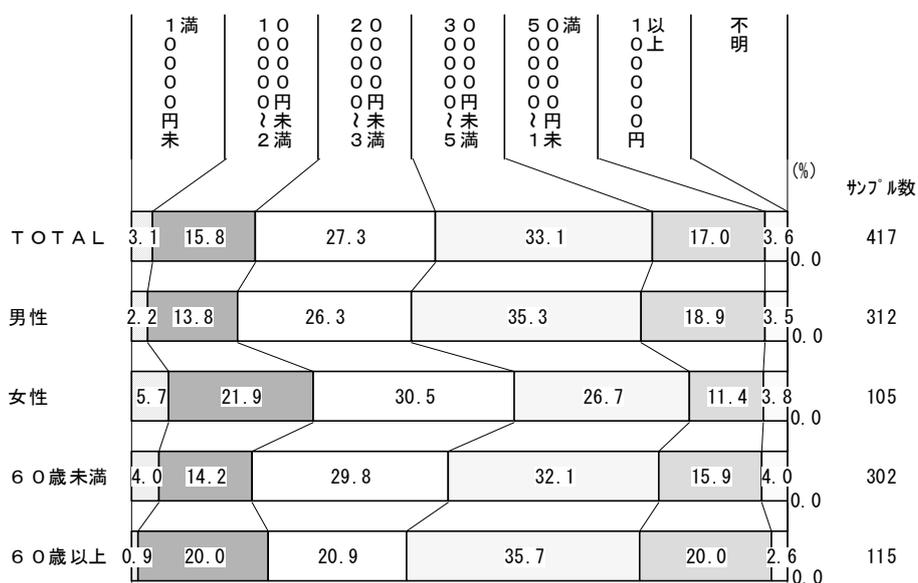
【母数：サイクリング・ツーリングを目的とした自転車の新規購入意向を持っている人（問 13 参照）】

サイクリング・ツーリングを目的とした自転車の新規購入意向を持っている 417 人に希望する自転車の購入金額を聞いた結果、最も多いのは「30,000～50,000 円未満」の 33.1%で、全体の約 3 分の 1 を占める。以下「20,000～30,000 円未満」(27.3%)、「50,000～100,000 円未満」(17.0%)と続いており、30,000 円以上での購入を想定している人が半数以上 (50.1%) を占める。

性別にみると、男性では「30,000～50,000 円未満」(35.3%) や「50,000～100,000 円未満」(18.9%)とする人が女性に比べて多く、30,000 円以上での購入を想定する人が 6 割近く (57.7%) にのぼるなど、女性に比べて高額な購入希望が多い。

年齢別による顕著な差はみられない。

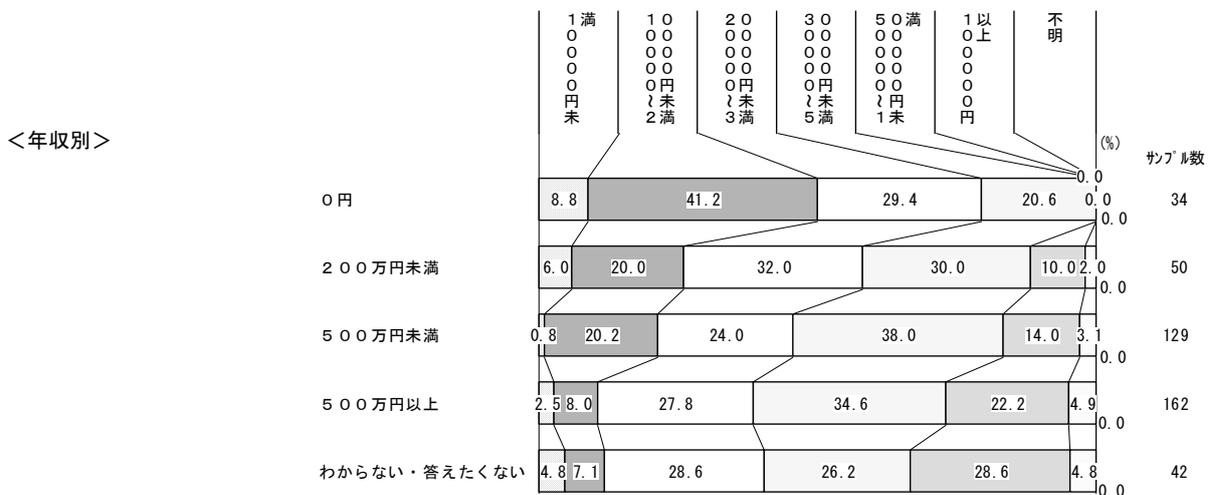
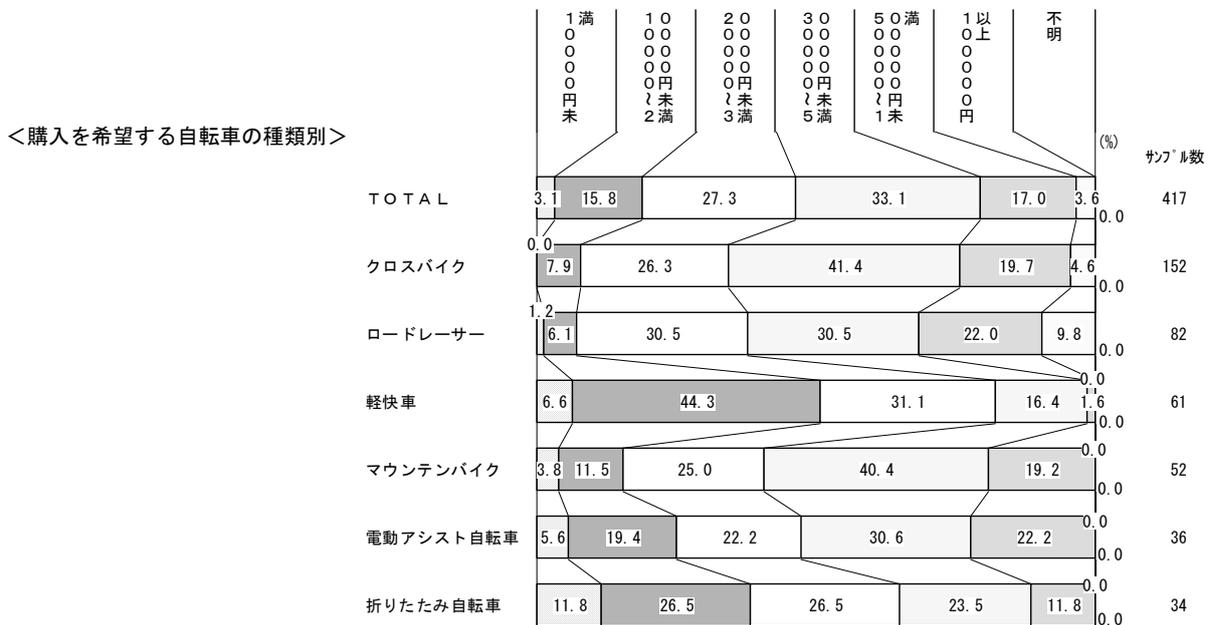
問 26 サイクリング・ツーリングを目的として自転車を購入する場合の希望する購入金額＜性別・年齢別＞



購入希望の自転車の種類別（問 22）にみると、〔クロスバイク〕〔ロードレーサー〕〔マウンテンバイク〕では「30,000～50,000 円未満」（クロス：41.4%、ロード：30.5%、マウンテン：40.4%）が最も多く、これに「50,000～100,000 円未満」、「100,000 円以上」を合わせた、30,000 円以上の購入を想定している人が 6 割前後（クロス：65.7%、ロード：62.3%、マウンテン：59.6%）を占める。

年収別にみると、20,000 円未満を希望する割合は年収が低いほど顕著に増えており、〔0 円〕の層では 50.0%を占める。一方、30,000 円以上を希望する割合は年収が高いほど顕著に増えており、〔500 万円未満〕や〔500 万円以上〕の層では 5 割以上（500 万円未満：55.1%、500 万円以上：61.7%）を占めるなど、年収が多いほど高額購入を検討している割合が顕著に高くなっている。

問 26 サイクリング・ツーリングを目的として自転車を購入する場合の希望する購入金額  
 <問 22 購入を希望する自転車の種類別・年収別>



## (10) 本格的なサイクリングを目的とした自転車の購入意向の詳細

### 問 13 本格的なサイクリングを目的とした自転車の購入意向

本格的なサイクリングを目的とした自転車の購入意向について、「新規購入意向有り」は3.9%となっている。

性別に購入意向率を比較すると、女性では1.9%にとどまるのに対し、男性では5.6%と、5%を超えている。

年齢別による顕著な差はみられない。

現状における利用頻度別（問6）の結果は下表のとおりであるが、各層のサンプルが少ないため分析からはずしている。

問 13 本格的なサイクリングを目的とした自転車の購入意向  
 <性別・年齢別・問6 自転車の利用頻度別>

			1 新規購入意向有り	2 新規購入意向無し	3 使用頻度減・非使用	4 不明
*基本属性【性別×年齢（2区分）】		n				
<性別・年齢別>	0 TOTAL	4,548	3.9	3.8	92.3	0.0
	1 男性	2,473	5.6	5.0	89.4	0.0
	2 女性	2,075	1.9	2.4	95.7	0.0
	3 60歳未満	3,315	3.8	3.4	92.8	0.0
	4 60歳以上	1,233	4.2	4.9	90.9	0.0

<自転車の利用頻度別>	0 TOTAL	4,548	3.9	3.8	92.3	0.0
	1 ほぼ毎日	2	0.0	100.0	0.0	0.0
	2 週4～5回	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	3 週2～3回	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	4 週1回	4	25.0	75.0	0.0	0.0
	5 月2～3回	4	25.0	75.0	0.0	0.0
	6 月1回	4	50.0	25.0	25.0	0.0
	7 年に数回	8	25.0	75.0	0.0	0.0
	9 非使用	4,523	3.7	3.5	92.8	0.0

## 問 22 本格的なサイクリススポーツを目的として購入を希望する自転車の種類

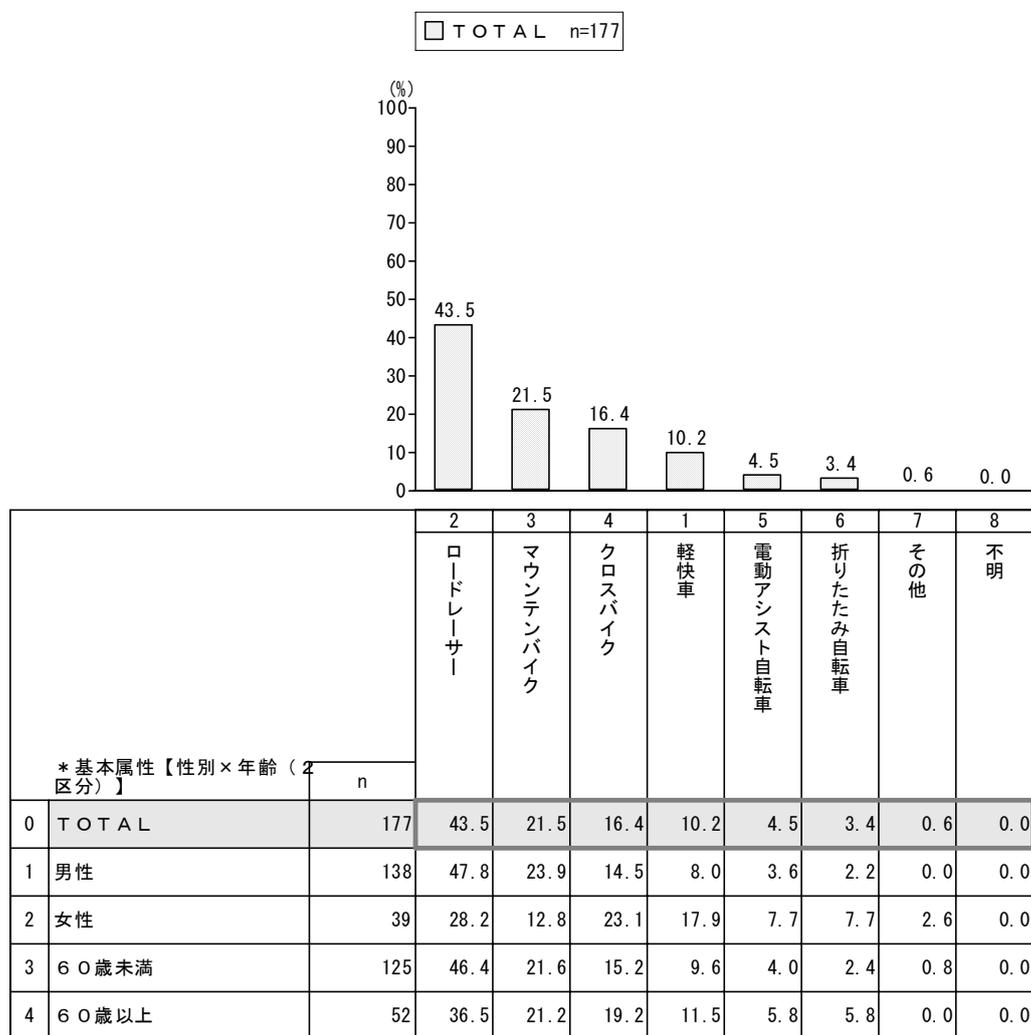
【母数：本格的なサイクリススポーツを目的とした自転車の新規購入意向を持っている人（問 13 参照）】

本格的なサイクリススポーツを目的とした自転車の新規購入意向を持っている 177 人に希望する自転車の種類を聞いた結果、「ロードレーサー」が 43.5%で最も多く、次いで「マウンテンバイク」が 21.5%となっており、両者で全体の約 3 分の 2 を占める。

性別にみると、男性では、「ロードレーサー」（47.8%）が約 5 割を占めて最も多く、これに「マウンテンバイク」（23.9%）が続いている。また、女性では「ロードレーサー」（28.2%）と「クロスバイク」（23.1%）は 2 割を超えている。

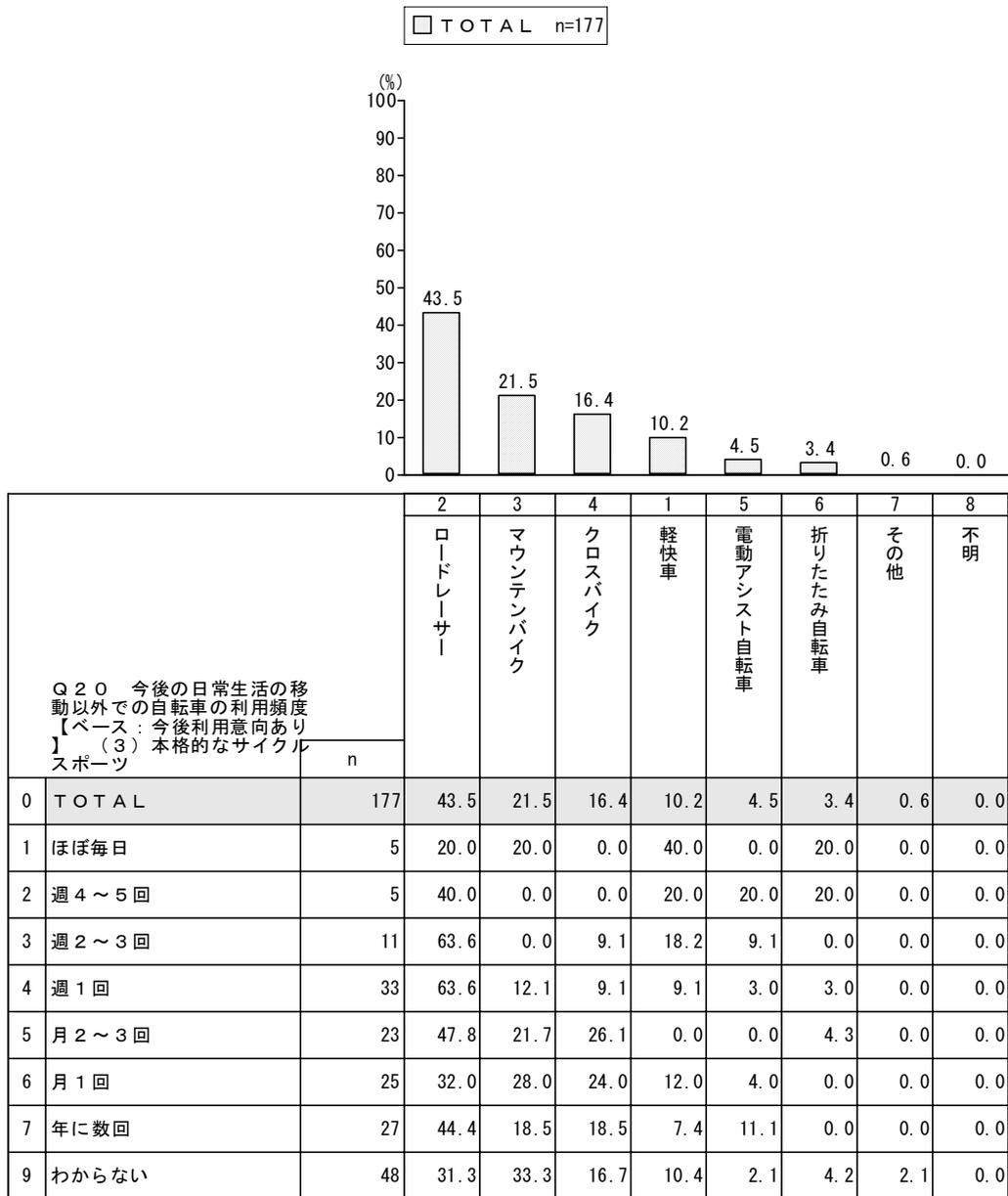
年齢別による顕著な差はみられない。

問 22 本格的なサイクリススポーツを目的として購入を希望する自転車の種類<性別・年齢別>



今後の利用頻度別（問 20）の結果は下図のとおりであるが、各層のサンプルが少ないため分析からはずしている。

問 22 本格的なサイクルスポーツを目的として購入を希望する自転車の種類<問 20 今後の利用頻度別>



問 23 本格的なサイクリススポーツを目的として自転車を購入する場合の重視点（3つまでの複数回答）

【母数：本格的なサイクリススポーツを目的とした自転車の新規購入意向を持っている人（問 13 参照）】

本格的なサイクリススポーツを目的とした自転車の新規購入意向を持っている 177 人に、自転車購入の際に重視する点を 3 つまで選択してもらった結果、「運転しやすい」（49.7%）と「疲れずに長時間乗ることができる」（48.0%）がともに約 5 割で最も高く、これに「乗り心地がよい」（40.1%）と「重量が軽い」（37.3%）が約 4 割で続いている。

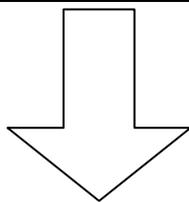
そのうち最も重視する点を 1 つだけ回答してもらったところ、1 位は「運転しやすい」（33.9%）で、「疲れずに長時間乗ることができる」（19.8%）を引き離して全体の 3 分の 1 を占めている。以下、「乗り心地がよい」（10.7%）、「重量が軽い」（9.6%）となっており、複数回答の結果と同様の傾向がみられる。

問 23 本格的なサイクリススポーツを目的として自転車を購入する場合の重視点（3つまでの複数回答）

REPORT. NO:0088	TOTAL	1	3	2	6	19	5	13	14	9	7	4	16
1 段目 度数 2 段目 確率		運転しやすい	疲れずに長時間乗ることができる	乗り心地がよい	重量が軽い	価格が予算内である	つくりがしっかりしている	修理やメンテナンスが簡単にできる	チューンナップがしやすい	デザイン・色がよい	長持ちする	使いやすい大きさである	有名なメーカーの製品である
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】													
0) TOTAL	177 100.0	88 49.7	85 48.0	71 40.1	66 37.3	32 18.1	27 15.3	24 13.6	16 9.0	15 8.5	14 7.9	12 6.8	11 6.2

REPORT. NO:0088	TOTAL	11	18	12	20	15	8	10	17	21	22	23
1 段目 度数 2 段目 確率		ライト・反射板などの安全装備が充実している	レース等で実績がある	盗難防止機能が充実している	高級感がある	お店の人が推薦している	サビに強い	荷物をたくさん積むことができる	好きな選手が使用している	アクセサリが豊富である	その他	不明
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】												
0) TOTAL	177 100.0	8 4.5	7 4.0	6 3.4	6 3.4	4 2.3	3 1.7	2 1.1	0 0.0	0 0.0	2 1.1	0 0.0



問 23 本格的なサイクリススポーツを目的として自転車を購入場合に最も重視する点

REPORT. NO:0089	TOTAL	1	3	2	6	19	5	16	7	9	12	4	
1 段目 度数 2 段目 確率		運転しやすい	疲れずに長時間乗ることができる	乗り心地がよい	重量が軽い	価格が予算内である	つくりがしっかりしている	有名なメーカーの製品である	長持ちする	デザイン・色がよい	盗難防止機能が充実している	修理やメンテナンスが簡単にできる	使いやすい大きさである
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】													
0) TOTAL	177 100.0	60 33.9	35 19.8	19 10.7	17 9.6	13 7.3	8 4.5	4 2.3	3 1.7	3 1.7	3 1.7	3 1.7	

REPORT. NO:0089	TOTAL	8	11	14	15	18	20	10	17	21	22	23
1 段目 度数 2 段目 確率		サビに強い	ライト・反射板などの安全装備が充実している	チューンナップがしやすい	お店の人が推薦している	レース等で実績がある	高級感がある	荷物をたくさん積むことができる	好きな選手が使用している	アクセサリが豊富である	その他	不明
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】												
0) TOTAL	177 100.0	1 0.6	1 0.6	1 0.6	1 0.6	1 0.6	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6	0 0.0

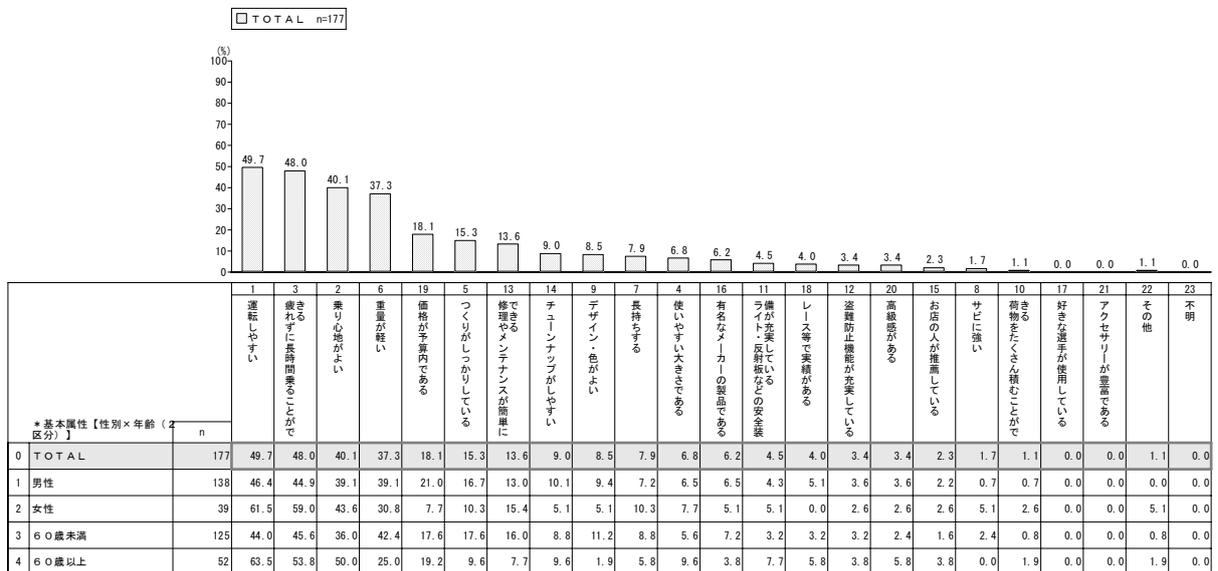
複数回答の結果を性別にみると、上位3項目は女性の方が一層高くなっている。一方、男性では「重量が軽い」(39.1%)、「価格が予算内である」(21.0%)、「つくりがしっかりしている」(16.7%)などの乗車の際の快適さ以外の部分において女性よりも回答が多くなっている。

年齢別にみると、上位3項目は60歳以上の方が一層高くなっている。一方、60歳未満では「重量が軽い」(42.4%)、「つくりがしっかりしている」(17.6%)、「修理やメンテナンスが簡単にできる」(16.0%)などにおいて60歳以上に比べて回答が多くなっている。

購入希望の自転車の種類別(問22)でみると、〔クロスバイク〕と〔ロードレーサー〕では「疲れずに長時間乗ることができる」(クロス:62.1%、ロード:48.1%)が、〔マウンテンバイク〕では「運転しやすい」(55.3%)が、それぞれ最も高くなっている。

問23 本格的なサイクリングを目的として自転車を購入する場合の重視点(3つまでの複数回答)  
 <性別・年齢別・問22 購入を希望する自転車の種類別>

<性別・年齢別>



<購入を希望する自転車の種類別>

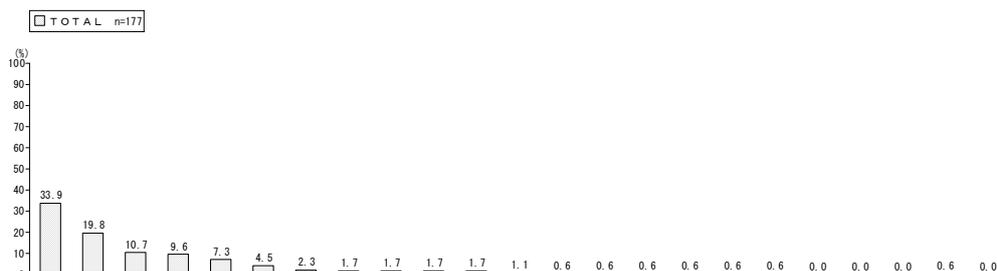
項目	1	3	2	6	19	5	13	14	9	7	4	16	11	18	12	20	15	8	10	17	21	22	23	
TOTAL	49.7	48.0	40.1	37.3	18.1	15.3	13.6	9.0	8.5	7.9	6.8	6.2	4.5	4.0	3.4	3.4	2.3	1.7	1.1	0.0	0.0	1.1	0.0	
2 ロードレーサー	41.6	48.1	27.3	48.1	24.7	14.3	18.2	11.7	13.0	6.5	5.2	11.7	3.9	7.8	1.3	6.5	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3 マウンテンバイク	55.3	42.1	44.7	34.2	15.8	26.3	13.2	13.2	0.0	7.9	13.2	0.0	2.6	2.6	5.3	0.0	5.3	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4 クロスバイク	55.2	62.1	55.2	27.6	17.2	13.8	6.9	6.9	3.4	6.9	3.4	3.4	3.4	0.0	3.4	0.0	3.4	6.9	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1 軽快車	77.3	44.4	61.1	27.8	0.0	5.6	11.1	0.0	5.6	11.1	5.6	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5 電動アシスト自転車	25.0	62.5	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	25.0	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6 折りたたみ自転車	50.0	16.7	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
7 その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

最も重視する点について性別・年齢別にみても、上位を占める項目等において顕著な違いはみられない。

購入希望の自転車の種類別(問 22)にみると、[マウンテンバイク]では「運転しやすい」(42.1%)が約4割を占めて顕著に高いのに対し、[クロスバイク]と[ロードレーサー]では「疲れずに長時間乗ることができる」(クロス:27.6%、ロード:23.4%)と「運転しやすい」(クロス:37.9%、ロード:22.1%)がともに2~4割となっている。

問 23 本格的なサイクリングを目的として自転車を購入する場合に最も重視する点  
 <性別・年齢別・問 22 購入を希望する自転車の種類別>

<性別・年齢別>



* 基本属性【性別×年齢(2区分)】	n	重視する点																						
		1	3	2	6	19	5	16	7	9	12	13	4	8	11	14	15	18	20	10	17	21	22	23
0 TOTAL	177	33.9	19.8	10.7	9.6	7.3	4.5	2.3	1.7	1.7	1.7	1.7	1.1	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0
1 男性	138	31.2	20.3	10.9	10.9	8.7	3.6	2.9	2.2	2.2	1.4	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2 女性	39	43.6	17.9	10.3	5.1	2.6	7.7	0.0	0.0	0.0	2.6	5.1	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6
3 60歳未満	125	31.2	20.0	12.0	10.4	7.2	4.8	2.4	1.6	2.4	2.4	1.6	1.6	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0
4 60歳以上	52	40.4	19.2	7.7	7.7	7.7	3.8	1.9	1.9	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	1.9	1.9	1.9	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

<購入を希望する自転車の種類別>

種類	n	1	3	2	6	19	5	16	7	9	12	13	4	8	11	14	15	18	20	10	17	21	22	23
0 TOTAL	177	33.9	19.8	10.7	9.6	7.3	4.5	2.3	1.7	1.7	1.7	1.7	1.1	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0
2 ロードレーサー	77	22.1	23.4	6.5	14.3	11.7	3.9	5.2	0.0	2.6	1.3	2.6	1.3	0.0	1.3	1.3	0.0	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3 マウンテンバイク	38	42.1	13.2	13.2	7.9	2.6	10.5	0.0	2.6	0.0	0.0	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4 クロスバイク	29	37.9	27.6	10.3	10.3	3.4	3.4	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1 軽快車	18	61.1	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5 電動アシスト自転車	8	25.0	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6 折りたたみ自転車	6	50.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7 その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

## 問 24 本格的なサイクリススポーツを目的として自転車を購入する場合の希望する購入先

【母数：本格的なサイクリススポーツを目的とした自転車の新規購入意向を持っている人（問 13 参照）】

本格的なサイクリススポーツを目的とした自転車の新規購入意向を持っている 177 人に、希望する自転車の購入先を聞いた結果、「自転車専門店」が 70.6%と、3分の2以上を占め、そのほかはいずれも 1割未満にとどまる。

性別による顕著な差はみられない。

年齢別にみると、60歳以上では「スポーツ用品店」が 17.3%と、若干高くなっている。

購入希望の自転車の種類別（問 22）にみると、すべての種類において「自転車専門店」が最も高いが、特に〔ロードレーサー〕では 80.5%と、約8割を占めている。

問 24 本格的なサイクリススポーツを目的として自転車を購入する場合の希望する購入先  
 <性別・年齢別・問 22 購入を希望する自転車の種類別>

<性別・年齢別>

		1	6	3	8	5	4	2	9	7	10	11	
		自転車専門店	スポーツ用品店	ホームセンター	インターネット（Webサイト）	ディスカウント店	家電量販店	スーパー	通信販売	百貨店	その他	不明	
* 基本属性【性別×年齢（2区分）】		n											
0	TOTAL	177	70.6	7.9	7.3	4.5	3.4	2.3	1.7	1.1	0.6	0.6	0.0
1	男性	138	70.3	7.2	7.2	3.6	4.3	2.9	2.2	1.4	0.7	0.0	0.0
2	女性	39	71.8	10.3	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0
3	60歳未満	125	73.6	4.0	8.8	5.6	3.2	1.6	0.8	0.8	0.8	0.8	0.0
4	60歳以上	52	63.5	17.3	3.8	1.9	3.8	3.8	3.8	1.9	0.0	0.0	0.0

<購入を希望する自転車の種類別>

0	TOTAL	177	70.6	7.9	7.3	4.5	3.4	2.3	1.7	1.1	0.6	0.6	0.0
2	ロードレーサー	77	80.5	7.8	3.9	3.9	2.6	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0
3	マウンテンバイク	38	68.4	10.5	2.6	7.9	2.6	5.3	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0
4	クロスバイク	29	72.4	10.3	13.8	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1	軽快車	18	50.0	0.0	16.7	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
5	電動アシスト自転車	8	37.5	12.5	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6	折りたたみ自転車	6	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0
7	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

## 問 25 本格的なサイクリススポーツを目的として自転車を購入する場合の希望する購入時期

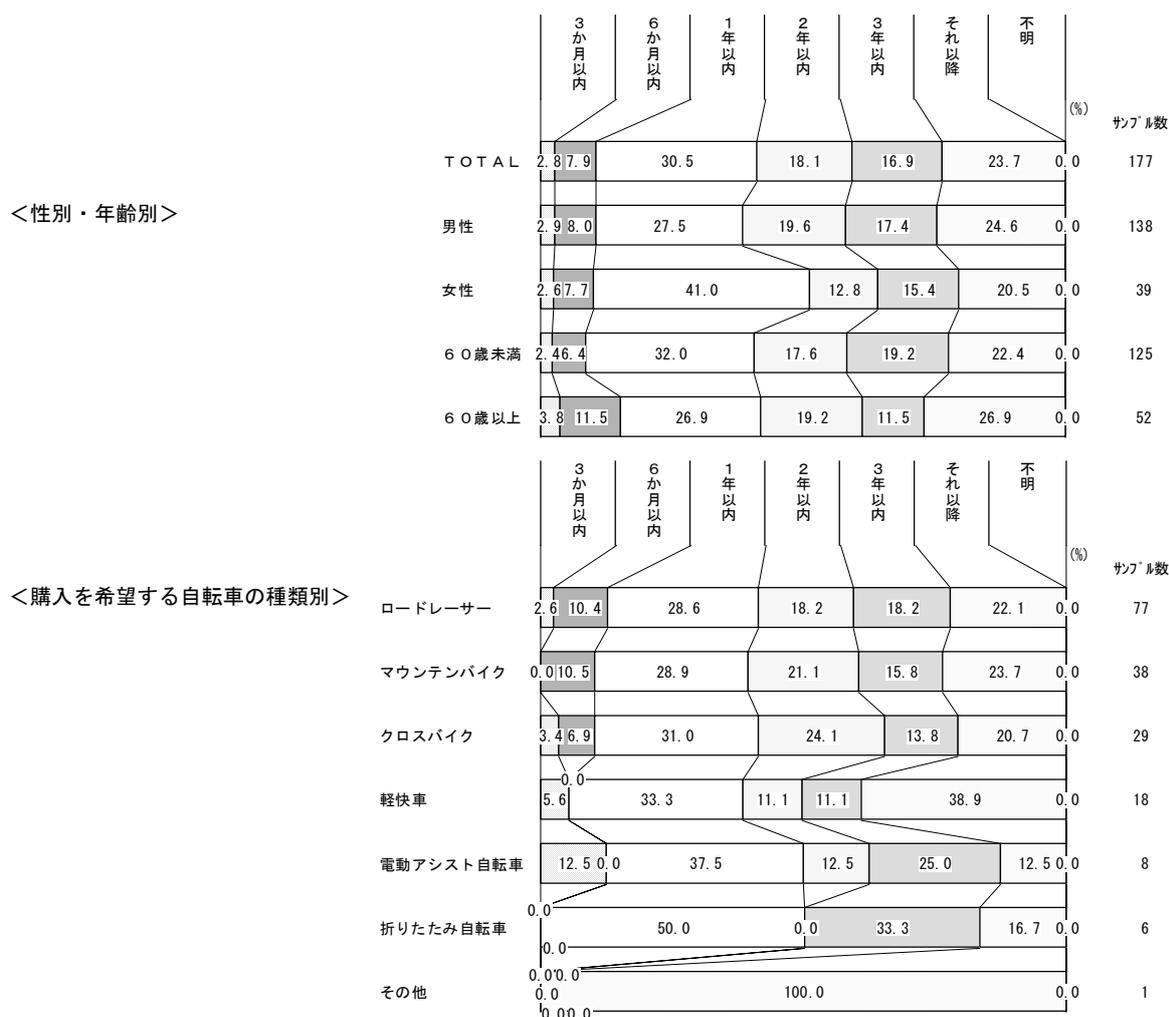
【母数：本格的なサイクリススポーツを目的とした自転車の新規購入意向を持っている人（問 13 参照）】

本格的なサイクリススポーツを目的とした自転車の新規購入意向を持っている 177 人に希望する自転車の購入時期を聞いた結果、「(6 ヶ月以上) 1 年以内」が 30.5%で最も多い。一方、「それ(3 年)以降」(23.7%)、「(1 年以上) 2 年以内」(18.1%)、「(2 年以上) 3 年以内」(16.9%)もそれぞれ 2 割前後となっており、これらをあわせると 58.7%と、2 年以降での購入を希望している人が約 6 割を占める。

性別にみると、女性では「(6 ヶ月以上) 1 年以内」が 41.0%を占め、これに「3 ヶ月以内」「6 ヶ月以内」を合わせた 1 年以内とする人が約 5 割 (51.3%) にのぼり、男性に比べて短期間での購入を希望している人が多い。一方、男性では「それ(3 年)以降」が 24.6%にのぼるなど、購入時期が明確でない場合が女性に比べて多くなっている。

年齢別や購入希望の自転車の種類別（問 22）では顕著な差はみられない。

問 25 本格的なサイクリススポーツを目的として自転車を購入する場合の希望する購入時期  
 <性別・年齢別・問 22 購入を希望する自転車の種類別>



## 問 26 本格的なサイクリススポーツを目的として自転車を購入する場合の希望する購入金額

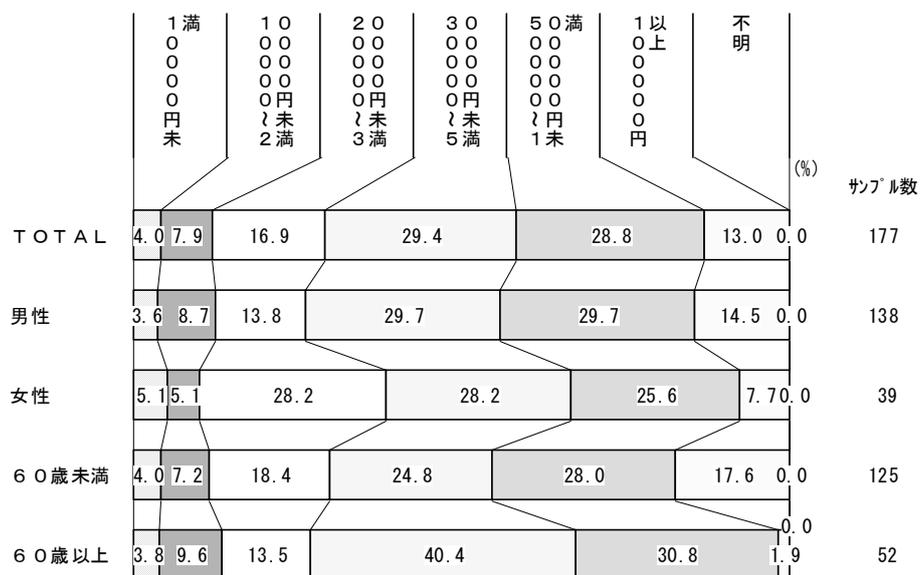
【母数：本格的なサイクリススポーツを目的とした自転車の新規購入意向を持っている人（問 13 参照）】

本格的なサイクリススポーツを目的とした自転車の新規購入意向を持っている 177 人に希望する自転車の購入金額を聞いた結果、最も多いのは「30,000～50,000 円未満」（29.4%）と「50,000～100,000 円未満」（28.8%）で、いずれも約 3 割を占める。これに「100,000 円以上」（13.0%）を合わせると、30,000 円以上での購入が 7 割以上（71.2%）を占め、4 つの利用目的の中で希望購入価格帯が最も高い。

性別にみると、男性では「100,000 円以上」（14.5%）とする人が女性（7.7%）に比べ多く、これに「30,000～50,000 円未満」「50,000～100,000 円未満」を合わせた 30,000 円以上とする人は 73.9%にのぼるなど、高額な購入希望が一層多い。

年齢別による顕著な差はみられない。

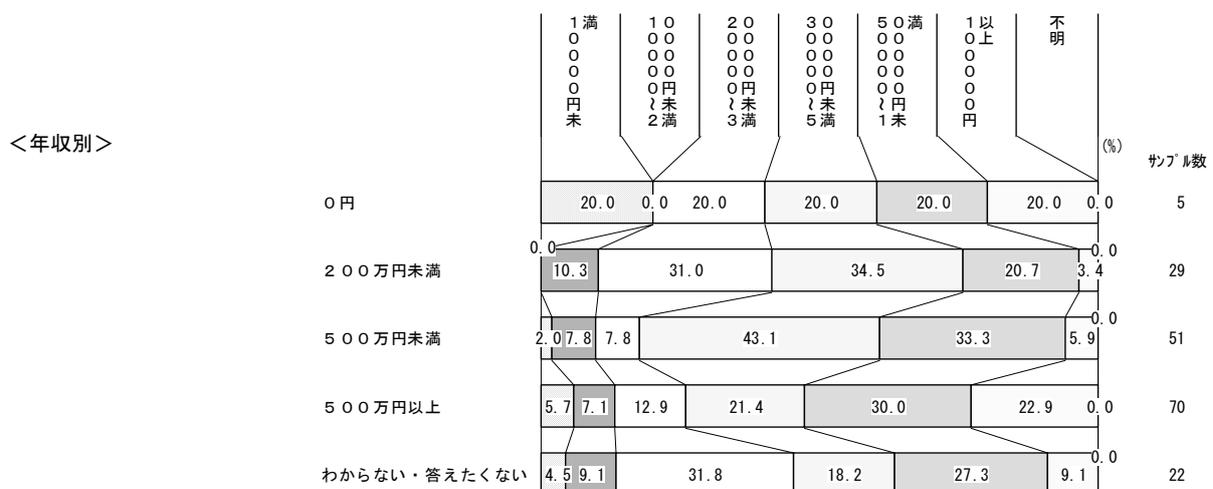
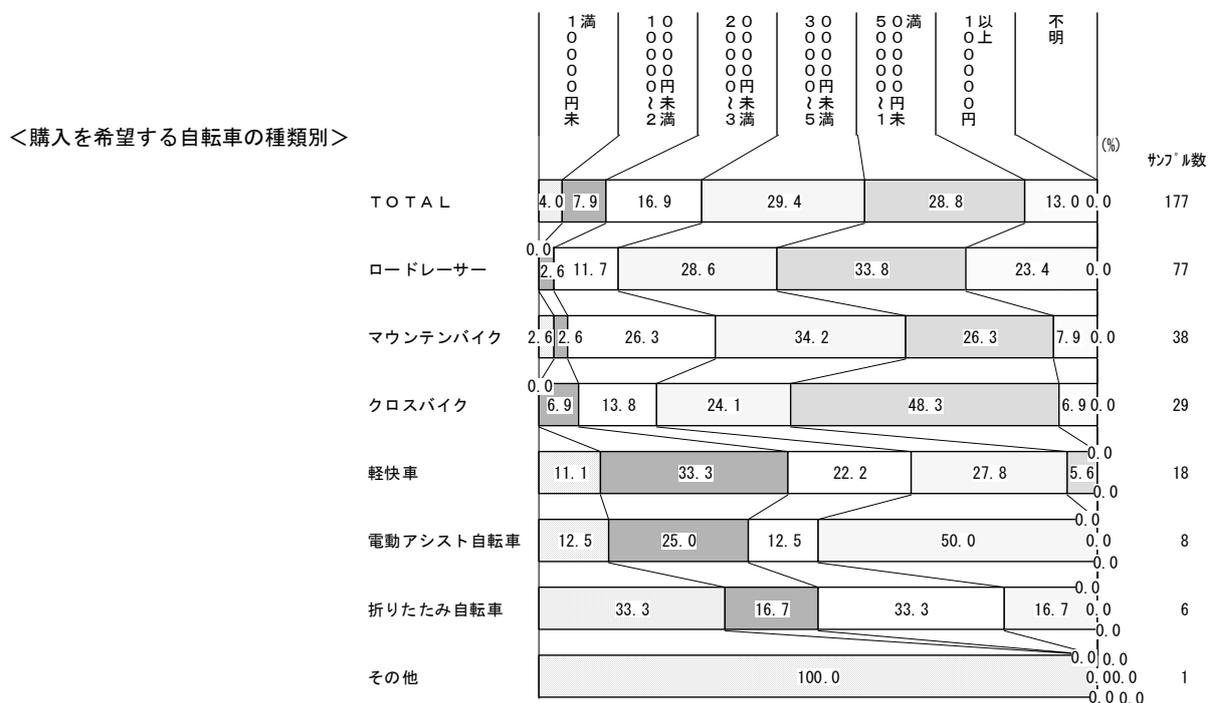
問 26 本格的なサイクリススポーツを目的として自転車を購入する場合の希望する購入金額＜性別・年齢別＞



購入希望の自転車の種類別（問 22）にみると、〔ロードレーサー〕〔クロスバイク〕では「50,000～100,000 円未満」（ロード：33.8%、クロス：48.3%）が最も多く、これに「100,000 円以上」（ロード：23.4%、クロス：6.9%）を合わせると、50,000 円以上での購入を想定している人が 6 割近く（ロード：57.2%、クロス：55.2%）にのぼる。

年収別にみると、〔200 万円未満〕の層では 30,000 円未満が約 4 割（41.3%）を占め、200 万円以上の層に比べて顕著に多い。一方、50,000 円以上を希望する割合は年収の増加とともに顕著に増えており、〔500 万円以上〕の層では 5 割以上（52.9%）を占めるなど、年収が多いほど高額購入を検討している割合が顕著に高くなっている。

問 26 本格的なサイクリングを目的として自転車を購入する場合の希望する購入金額  
 <問 22 購入を希望する自転車の種類別・年収別>



#### 4 団塊の世代の意識・行動・健康状態

##### (1) 団塊の世代の活動状況

###### 問 27 就労以外で今後の希望する活動（3つまでの複数回答）

就労以外のことで、今後積極的に行いたいと思っている活動を3つまで回答してもらった結果、「健康の維持・増進」(61.9%)が6割を超えて最も高い。以下、「趣味活動」(37.9%)と「家族とのかかわり」(34.5%)がいずれも30%台、「生活習慣病予防」(29.2%)、「国内・海外の旅行」(27.7%)、「知人・友人との交流」(23.2%)がいずれも20%台で続いている。

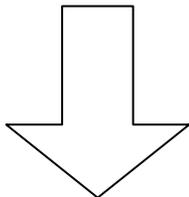
そのうち最も希望する活動を1つだけ選択してもらったところ、「健康の維持・増進」(37.8%)、「家族とのかかわり」(21.3%)、「趣味活動」(10.3%)、「生活習慣病予防」(8.0%)の順となっており、2位と3位が入れ替わっている。健康維持のための活動や家族との交流活動は、趣味や旅行よりも優先度の高いものであると思う人が多い。

問 27 就労以外で今後の希望する活動（複数回答）

REPORT. NO:0093	TOTAL	5 健康の維持・増進	9 趣味活動	1 家族とのかかわり	6 生活習慣病予防	11 国内・海外の旅行	3 知人・友人との交流	8 アウトドア活動	12 ボランティアや社会貢献の活動
1 段目 度数 2 段目 横%									
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】									
0) TOTAL	4,548 100.0	2,816 61.9	1,724 37.9	1,571 34.5	1,330 29.2	1,258 27.7	1,057 23.2	495 10.9	472 10.4

REPORT. NO:0093	TOTAL	7 スポーツの実践	4 近所づきあい	10 語学の学習や資格の取得	2 親戚づきあい	13 その他	14 特に考えていない	15 不明
1 段目 度数 2 段目 横%								
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】								
0) TOTAL	4,548 100.0	438 9.6	287 6.3	218 4.8	132 2.9	18 0.4	283 6.2	0 0.0



問 27 就労以外で今後最も希望する活動

REPORT. NO:0094	TOTAL	5 健康の維持・増進	1 家族とのかかわり	9 趣味活動	6 生活習慣病予防	11 国内・海外の旅行	3 知人・友人との交流	7 スポーツの実践
1 段目 度数 2 段目 横%								
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】								
0) TOTAL	4,265 100.0	1,613 37.8	908 21.3	440 10.3	343 8.0	297 7.0	238 5.6	122 2.9

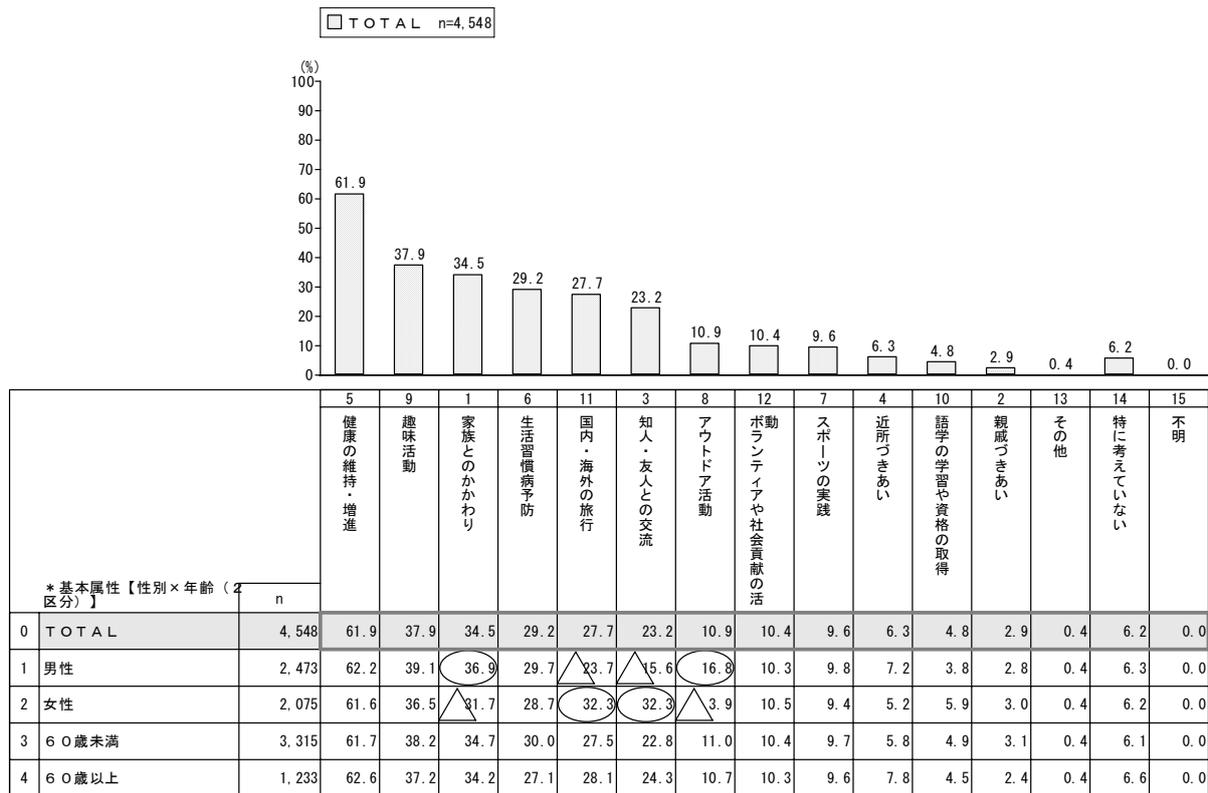
  

REPORT. NO:0094	TOTAL	8 アウトドア活動	12 ボランティアや社会貢献の活動	10 語学の学習や資格の取得	4 近所づきあい	2 親戚づきあい	13 その他	14 不明
1 段目 度数 2 段目 横%								
0001: *基本属性【性別×年齢（2区分）】								
0) TOTAL	4,265 100.0	103 2.4	93 2.2	46 1.1	40 0.9	12 0.3	10 0.2	0 0.0

性別にみると、「健康の維持・増進」や「生活習慣病予防」など健康維持のための活動意向においては性別による差はみられない。また、全体で2位の「趣味活動」に関して性別による顕著な差はみられないが、3位については、男性では「家族とのかかわり」(36.9%)となっているのに対し、女性では「国内・海外の旅行」「知人・友人との交流」(ともに32.3%)と、男女間で違いがみられる。

年齢別にみると、「生活習慣病予防」(60歳未満:30.0%、60歳以上:27.1%)において、60歳未満の方が若干高くなっているほかは、年齢による顕著な差はみられない。

問 27 就労以外で今後の希望する活動(複数回答) <性別・年齢別>



日常生活での移動手段における自転車の今後の利用意向別にみると、〔使用頻度増加〕層では「健康の維持・増進」(75.8%)、「生活習慣病予防」(34.5%)、「アウトドア活動」(14.5%)が、〔新規使用開始〕層では「健康の維持・増進」(68.6%)、「アウトドア活動」(14.9%)が比較的高い。

また、軽い運動・近所の散策における自転車の今後の利用意向別にみると、〔使用頻度増加〕層では「健康の維持・増進」(76.4%)、「生活習慣病予防」(33.9%)、「アウトドア活動」(15.7%)が、〔使用頻度減・非使用〕層では「知人・友人との交流」(25.9%)が比較的高い。

問 27 就労以外で今後の希望する活動（複数回答）＜問 13 今後の利用意向別＞

＜日常生活での移動手段＞

	n	5	9	1	6	11	3	8	12	7	4	10	2	13	14	15
		健康の維持・増進	趣味活動	家族のかかわり	生活習慣病予防	国内・海外の旅行	知人・友人との交流	アウトドア活動	ボランティアや社会貢献の活動	スポーツの実践	近所づきあい	語学の学習や資格の取得	親戚づきあい	その他	特に考えていない	不明
* 今後の自転車の利用意向（使用頻度の変化）(1)日 日常生活での移動手段																
0 TOTAL	4,548	61.9	37.9	34.5	29.2	27.7	23.2	10.9	10.4	9.6	6.3	4.8	2.9	0.4	6.2	0.0
1 使用頻度変化無し	1,696	60.7	36.3	33.8	28.3	29.5	23.9	10.5	10.6	8.9	6.7	5.0	2.9	0.3	7.2	0.0
2 使用頻度増加	400	75.8	36.3	33.0	34.5	25.0	21.3	14.5	11.0	11.0	6.0	4.5	2.8	0.0	2.8	0.0
3 新規使用開始	764	68.6	38.2	34.3	32.6	20.9	20.7	14.9	11.5	8.8	7.7	4.6	3.1	0.7	3.9	0.0
4 使用頻度減・非使用	1,688	56.8	39.8	35.8	27.4	29.4	24.2	8.6	9.5	10.4	5.3	4.8	2.8	0.5	7.1	0.0

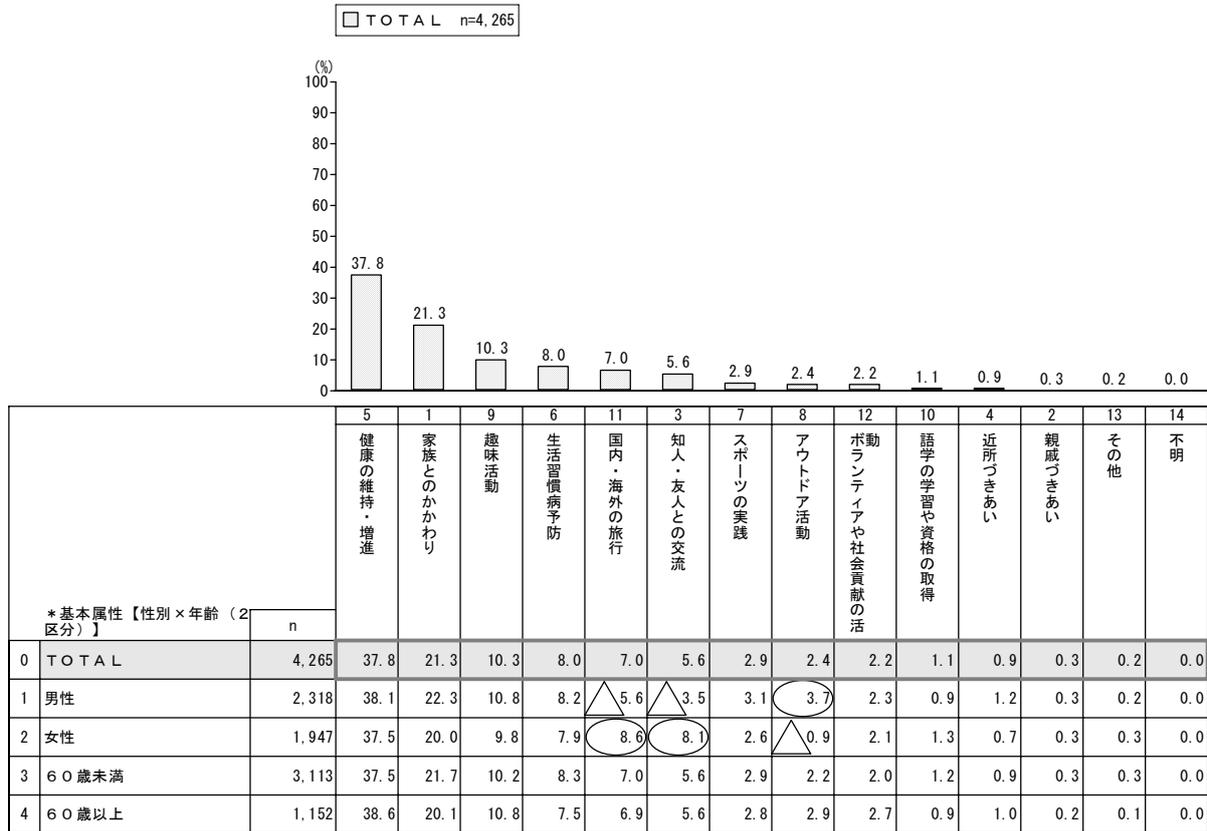
＜軽い運動・近所の散策＞

0 TOTAL	4,548	61.9	37.9	34.5	29.2	27.7	23.2	10.9	10.4	9.6	6.3	4.8	2.9	0.4	6.2	0.0
1 使用頻度変化無し	796	66.0	38.9	34.5	30.3	28.1	22.0	15.8	11.4	11.7	7.2	4.1	3.1	0.6	2.9	0.0
2 使用頻度増加	542	76.4	35.8	38.4	33.9	26.0	18.6	15.7	12.0	10.5	6.3	3.7	3.1	0.2	1.8	0.0
3 新規使用開始	1,470	63.5	38.2	32.9	31.6	25.2	22.4	11.6	10.6	8.2	6.3	5.4	2.5	0.3	5.2	0.0
4 使用頻度減・非使用	1,740	54.3	37.9	34.8	25.3	30.1	25.9	6.5	9.2	9.6	6.0	4.9	3.0	0.5	10.0	0.0

最も希望する活動について性別にみると、複数回答で尋ねたときのように3位の項目に相違はなく、男女とも1位「健康の維持・増進」、2位「家族とのかかわり」、3位「趣味活動」となっている。男性では「アウトドア活動」(3.7%)、女性では「国内・海外の旅行」(8.6%)、「知人・友人との交流」(8.1%)が比較的高い。

年齢別では顕著な差はみられない。

問27 就労以外で今後最も希望する活動<性別・年齢別>



日常生活での移動手段における自転車の今後の利用意向別にみると、〔使用頻度増加〕層では「健康の維持・増進」(49.6%)が、〔新規使用開始〕層では「アウトドア活動」(4.1%)が、〔使用頻度減・非使用〕層では「家族とのかかわり」(23.8%)が比較的高い。

また、軽い運動・近所の散策における自転車の今後の利用意向別にみると、〔使用頻度増加〕層では「健康の維持・増進」(45.9%)が、〔使用頻度減・非使用〕層では「家族とのかかわり」(24.1%)、「国内・海外の旅行」(8.7%)が比較的高い。

問 27 就労以外で今後最も希望する活動<問 13 今後の利用意向別>

<日常生活での移動手段>

		5	1	9	6	11	3	7	8	12	10	4	2	13	14	
		健康の維持・増進	家族とのかかわり	趣味活動	生活習慣病予防	国内・海外の旅行	知人・友人との交流	スポーツの実践	アウトドア活動	ホ動ランテニアや社会貢献の活	語学の学習や資格の取得	近所つきあい	親戚つきあい	その他	不明	
* 今後の自転車の利用意向 (使用頻度の変化) (1) 日常生活での移動手段		n														
0	TOTAL	4,265	37.8	21.3	10.3	8.0	7.0	5.6	2.9	2.4	2.2	1.1	0.9	0.3	0.2	0.0
1	使用頻度変化無し	1,574	38.2	20.6	10.4	8.4	7.4	5.5	2.7	1.7	2.5	1.3	0.8	0.3	0.2	0.0
2	使用頻度増加	389	49.6	18.0	△5.7	5.9	5.1	5.1	2.3	3.9	2.3	1.3	0.5	0.3	0.0	0.0
3	新規使用開始	734	41.6	19.1	9.5	9.0	5.2	4.6	2.2	△4.1	2.2	0.5	1.5	0.3	0.3	0.0
4	使用頻度減・非使用	1,568	△32.7	△23.8	11.8	7.7	7.8	6.3	3.4	2.0	1.8	1.1	1.0	0.3	0.3	0.0

<軽い運動・近所の散策>

0	TOTAL	4,265	37.8	21.3	10.3	8.0	7.0	5.6	2.9	2.4	2.2	1.1	0.9	0.3	0.2	0.0
1	使用頻度変化無し	773	39.2	19.3	8.8	8.2	6.6	5.7	3.8	2.7	△3.6	0.8	0.9	0.1	0.4	0.0
2	使用頻度増加	532	45.9	20.1	△7.5	8.3	5.1	△3.4	2.8	3.4	1.9	0.6	0.6	0.4	0.2	0.0
3	新規使用開始	1,394	39.9	19.7	10.8	9.2	6.0	5.2	1.9	2.5	1.9	1.4	1.1	0.4	0.1	0.0
4	使用頻度減・非使用	1,566	△32.6	△24.1	11.6	6.9	△8.7	6.6	3.3	1.9	1.8	1.1	1.0	0.3	0.3	0.0

最も希望する活動に対して、それを選択した理由についての具体的な記述を項目別に整理し、特徴的な意見をそれぞれまとめた。内容は以下の通り。

「1 家族とのかかわり」を選択した理由－1		
主な内容	性別・年齢	記入例(問27-2 問27の活動を選んだ理由)
今後、時間にゆとりができるから	男性,60歳未満	40年余仕事中心での生活であったので、来年の定年をきっかけに家族、特に妻との時間を大切にしたい。
	男性,60歳未満	いままでは仕事&子育て中心だったが、これからは精神的な余裕(金銭的な余裕はない)がまあまあできたので、特に妻との時間を増やしたい。
	女性,60歳未満	いままで生活のためとはいえ、働くのに夢中だったような気がして、少しゆとりを持って家族のほう目をむけ、かかわっていかうと思っています。
	女性,60歳未満	お互いが家族と向き合える時間がある年代になったので、これからは、家族で仲良くチカラを合わせて生きていきたいと思っています。
	男性,60歳以上	これまで家族を犠牲にして自分中心で生活してきたので、今後は家族優先の生活に切り替えたいと思っています。
	女性,60歳未満	以前は仕事を持っていたので、家族とのかかわりが少なかった。体を壊して初めて、健康のありがたみ、家族の支えを感じた。
	男性,60歳未満	共働き夫婦なので時間が合わずにきたので、定年後は一緒に色々行動したい為と孫と遊びたい為。
	男性,60歳以上	今まで余りかかわってこなかったから。
	男性,60歳未満	今まで家族とのかかわりが少なかったから。
	女性,60歳未満	今家族が離れ離れで暮しているの。
	男性,60歳未満	仕事から離れた時、最も信頼出来るのは家族である。
	男性,60歳未満	仕事ですれ違いがあるため、会話を重視したい。
女性,60歳未満	単身赴任をしている定年になる夫とのかかわり。	
女性,60歳以上	夫が定年退職になった時に、今まで以上にその必要を感じる。	
親が高齢のため、介護のため	女性,60歳未満	88歳の介護認定5の母の介護があるのでそれが今一番です。先の見えない介護ですから一人で抱え込まないでオープンにして介護したい。
	女性,60歳未満	介護を必要としている親がいるので。
	女性,60歳未満	高齢者がいるので、今は介護の必要はないが、ゆくゆくは必ずおきることと思っています。そのとき、家族の協力がなければ、介護する者される者も困ると思うから。日々、気持ちの中、行動の中で培っていきたい。
	女性,60歳未満	親が高齢化したので、かかわりが増える。
	女性,60歳未満	親も高齢になり日常生活に介助が必要なので、家族の連帯と協力を求めていきたい。
女性,60歳以上	母が高齢なため、できるだけ一緒に良い思い出を作りたい。	
家族がともに過ごせる時間が少ないから	男性,60歳未満	単身赴任中で家族とかかわる時間が限られているから。
	男性,60歳未満	各人が社会人になり、すれ違い的生活が多くなった。
	男性,60歳未満	子どもが大きくなってきて家族がそろって家にいるのは数年でなくなりそうだから。
	女性,60歳未満	子供がおおきくなり、それぞれ自分たちの世界ができ、家族と一緒に出かけやすくなりました。
家族の絆を深めたいから	男性,60歳未満	そろそろ大学受験を迎える難しい年頃の娘がいるので、今一度、家族の絆というものについて考えたいと思っている。
	男性,60歳以上	安らぎの場であるから。
	男性,60歳未満	家族とのコミュニケーションを大切にしたいから。
	男性,60歳以上	家族との絆を深めたい。
	男性,60歳未満	核家族化してきている今日この頃、家族は仲良く暮らさなければいけないのではないかと考える今日この頃です。
家族が一番大事、基本単位だから	女性,60歳未満	お金で買えない大切なことだから。
	男性,60歳未満	それが、生活の基本と考えるから。
	女性,60歳未満	なんと言っても家族が一番大切だから。
	女性,60歳未満	まず家族が仲良くすることが大事だと思うので。
	女性,60歳未満	まず家庭が安定していなければ、他のことを成し遂げることはできない。
	男性,60歳以上	やはり、社会的に最小のユニットであり、かつ最大のユニットともいえる「家族」の絆を大事にすることが、自由で平和な社会を維持していく最低のポイントではないでしょうか。
	男性,60歳未満	家族が一番かけがえのない存在だから。
	男性,60歳以上	家族と良好な関係を維持することが、全ての基本になる。
	男性,60歳以上	家族は宝である。
	女性,60歳以上	年齢を重ねるごとに、家族の大事さを一層感じるようになったため。
	女性,60歳未満	家族の幸せがあつての自分であると考えてるので。
	女性,60歳未満	家族の幸せが何より。
男性,60歳未満	家庭内がギクシャクしては何事もつまらなくなる。先ず家族の和を大切に考え、余力で個人の趣味趣向を成就させる。	
健康のため	男性,60歳未満	精神的な安定が得られる。
	女性,60歳以上	まず、家族の健康管理を中心に食事に気をつける事。
	男性,60歳未満	家族で健康な生活を送りたい。
	女性,60歳以上	夫の痴呆症予防。

「1 家族とのかかわり」を選択した理由－2		
主な内容	性別・年齢	記入例(問27-2 問27の活動を選んだ理由)
高齢になってきたため	男性,60歳以上	60歳を過ぎたから。
	女性,60歳未満	お互い定年になるから。
	女性,60歳未満	これから年をとるので子供の世話になることが多くなると思うからです。
	女性,60歳未満	穏やかな老後を過ごしたいから。
	女性,60歳以上	残りの人生を気持ちよく過ごすことができるように、また子供たちとも負担をかけ合わない生活を望んでいるので。
	女性,60歳以上	年をとると、やはり家族の力の必要性を頻繁に感じるようになりました。
	男性,60歳未満	年齢的に高くなり、家族との距離を感じるようになってきた。
子ども、孫、新しい家族との生活が大切だから	女性,60歳未満	配偶者の健康管理のため。
	女性,60歳未満	かわいい孫と遊べるのもそれほど長くはないから。
	女性,60歳未満	家族の大きさを孫に教えたい。
	女性,60歳未満	最近、息子夫婦と同居を始めたのでまず第一に新しい家族づくりに専念したいと思っています。孫も生まれる予定ですので、明るく楽しい家族になれるように……。
	男性,60歳未満	子供がまだ小さいので。
	女性,60歳未満	子供と同居なので必然的に。
	女性,60歳未満	子供達が結婚し近くに住んでいますので、今後子育て等で手助けできることがあればしてあげたい。
楽しくすごしたいから	女性,60歳未満	息子夫婦と同居をしているため。
	女性,60歳未満	孫の世話。
	女性,60歳未満	二世帯で同居しているので、これからも仲良くありたいとおもう。
	女性,60歳未満	離婚して孫二人連れて帰ってきた娘たちとの新しい生活の為。
	女性,60歳未満	ペットも含めて共に生活を楽しまたい。
	女性,60歳未満	何を楽しむにも一人では楽しくないので家族と一緒に楽しみたい。
	男性,60歳以上	家族全員が自転車所有しているため、自宅から約3kmのところにある公園のサイクリングロードで楽しみたい。
夫婦の絆を深めたいから	女性,60歳未満	楽しいから。
	女性,60歳未満	楽しい家庭生活を送りたいから。
	男性,60歳以上	わたしには子どもがいませんので 結婚してからずっと行動を共にしているで妻と一緒にすることを大切にしているから。
	女性,60歳以上	夫婦だけで暮らして居るので仲良くしていきたいです。
	男性,60歳以上	年齢的に子供も独立し、家族関係が希薄になっており、夫婦で老後をどのように生きていくかを考えている。
	男性,60歳以上	今までは、自分一人で行けることが多かったが、孫も大きくなったので、これからは家族とのかかわりを多く持ちたい。
	男性,60歳未満	妻と健康のためにも走りたいたい。
	男性,60歳未満	妻を労わりたい。
	女性,60歳未満	子供が独立し、夫婦だけの生活なので残りの人生をお互いより良いものとしたい。
	男性,60歳以上	熟年離婚を避ける為。
その他	女性,60歳未満	夫あつての私だと思っている。連れ合いのない生活は考えられない。
	女性,60歳未満	老後を円満に仲良く暮らしたい。
	男性,60歳未満	うつ病と精神障害者の子を抱えているから。
	男性,60歳未満	兄弟が現在病氣入院中のため。
	女性,60歳未満	自分の傲慢な姿を改めたい。
	男性,60歳以上	自分自身が孤独だったので、家族には同じ孤独感をあじあわせたくない。
	女性,60歳未満	自分達の老後のことを話し合う。

「2 親戚づきあい」を選択した理由		
主な内容	性別・年齢	記入例(問27-2 問27の活動を選んだ理由)
近所にいるので	男性,60歳以上	比較的近所に集合しているため(2kmくらい)。
子ども世代のため	女性,60歳以上	時間が取れるようになったので、親戚の行事には積極的に出て、子供の代に繋げていきたい。
困ったときに助け合うため	女性,60歳未満	やっぱり親戚が大事、老後のこととか色々あり。
	男性,60歳未満	困ったときに頼れるから。
その他	男性,60歳未満	いままで少しおろそかになっていたから。

「3 知人・友人との交流」を選択した理由		
主な内容	性別・年齢	記入例(問27-2 問27の活動を選んだ理由)
気分転換のため	女性,60歳未満	24時間介護の生活なので、ストレス発散のためにも、自分のためにも。
	女性,60歳以上	家族第一と考えてきたが、視野が狭く、考え方も硬直してきたように感じる。本来の自分を取り戻したいので。
	男性,60歳未満	気心が知れた友人と話したり食事したりすることは、時として生活の行き詰まりを解決したり、日頃の生活の中で精神的な安定をもたらすと考えられるので。
交流が楽しい、好きだから	女性,60歳未満	どちらかと言うと一人で居るのが好きだが、人との交流は大事だと思うから。
	女性,60歳以上	学生時代の友人と交流を深めたい。
	女性,60歳以上	気の合った友人達との食事や会話が一番楽しい。
	女性,60歳未満 男性,60歳未満	子育ても終え、高齢になって、残りの人生を豊かに楽しく過ごしたいから。 人との交流が好きだから。
困ったときに助け合うため	女性,60歳未満	遠くの親戚より近くの他人。
	女性,60歳未満	家族に言えない事や相談など(心配をかけたくない為)友達には話せると思うので。家族とは充分ふれあいがあるので。
	女性,60歳未満	昨夏に、2ヶ月程、原因不明の病気で入院した際に、友人がとても親身になってくれました。遠くの親戚より近くの知人、友人。実感しました。
	女性,60歳未満	年をとってきて、いろいろ頼りになるのは近くの知人だったり、友人だったり。
	女性,60歳未満	年老いて仲間意識が強くなった。
時間にゆとりができるから	男性,60歳以上	3月で定年退職なので、遠くへ会えなかった友人達と交流を深めたい。
	女性,60歳未満	これからは、今までよりも時間の余裕が出来るので、より一層友達との付き合いを増やしていきたいと思っている。
	女性,60歳未満	家事のゆとりが出来る年齢になったから。
	女性,60歳未満	今まで仕事の都合で友人から誘われても断る事が多く、そのうち誰も誘ってくれなくなった。最近 新たに友人が増えてきたので、これからはなるべく断らず、都合をつけて交流に重点をおきたい。
	女性,60歳未満	今までは親の介護で自身のつきあいがなかなか出来なかったが、身軽になったので。
	女性,60歳未満	生活に少しゆとりと時間ができたので、今まであまり時間を取れなかった友人達との交流に時間をもちたい。
自分の時間を楽しみたいから	女性,60歳未満	友達との会話はとても楽しい気持ちさが落ち着くため。
	女性,60歳未満	今までは、家族のために時間を使ってきたが、これからは、自分の楽しみのために時間を使いたい。友人といろいろなことをして楽しみたい。
	女性,60歳未満	設問の中にあつた活動の中で一番楽しいから。
	男性,60歳未満 男性,60歳以上	定年後も楽しい時間をすごしたい。 友人知人に会っている時が楽しい。
情報収集、人脈づくり、世界を広げるため	女性,60歳未満	いろいろな情報も入るし、脳の刺激になる。
	女性,60歳未満	いろんな人と交流することで視野が広がるから。
	女性,60歳未満	老後どうするのか考えている最中なので、友人たちから情報を収集したいので。
	男性,60歳未満	人脈作り。
	男性,60歳以上	青春に戻りたい。
	女性,60歳未満	一人暮らしなのでこれが一番楽しいから。情報を得たり刺激を受けたりする。
退職して人との交流が減ってしまうから	女性,60歳未満	パート以外に出る機会があまりないので、人との出会いが少なくなっているのが昔からの友達を大切にしたいと思います。
	女性,60歳未満	他の人たちとのコミュニケーションのいじのため。
	女性,60歳以上	退職して人との接触が減ったため。
	女性,60歳未満	段々と、外に出るのが億劫になってきているので、少しずつ人との交流を深めていくことの大切さを感じているので。
	男性,60歳未満	会社を早期退職してから地域社会で孤立している状況である。知人・友人との付き合いを重視していきたい。
友人は財産だから	女性,60歳未満	これから年齢を重ねるにつれて友人・知人は大切なかけがえのないものになっていくから。
	女性,60歳未満	兄弟のいない自分にとって一番大切なのは知人、友人とおつき合いだと思っている。
	男性,60歳以上	自分にとって糧となるものだから。
	男性,60歳未満	社会生活を営む上で大事だと考えるから。
	男性,60歳未満	友人知人はお金では得られない財産だから。
老後がさみしくないように	女性,60歳未満	一人では寂しいから。
	女性,60歳未満	高齢化に伴い孤独な老人にならないように、友人との付き合いを大切にしていきたい。
	女性,60歳未満	老後が寂しくないように。
	女性,60歳未満	老後を豊かに。
その他	女性,60歳未満	いつまでも元気であると思わないから。
	男性,60歳未満	だんだん歳をとってくると、知人・友人との交流が疎遠になってくるので。友人は多い方がいい。
	男性,60歳以上	だんだん知人友人が年齢的に亡くなっていくから。
	男性,60歳未満	核家族だから。
	女性,60歳以上	呆けないため。

「4 近所づきあい」を選択した理由		
主な内容	性別・年齢	記入例(問27-2 問27の活動を選んだ理由)
困ったときに助け合うため	男性,60歳未満	一人暮らしの為、何かがあった時に頼りなる。
	女性,60歳未満	①将来年金暮らしになれば、近所づきあいで交流を深めて寂しくない老後にしたい。 ②いつ何事でお世話になるかもしれないので、近所づきあいは大切におかないと困るから。
	男性,60歳以上	お互いに助け合う必要があるから。
地域を知るため	女性,60歳以上	田舎に移転したから。
	男性,60歳以上	地域の事をよく知るため。
	男性,60歳未満	地域活動を行いたいから。
	男性,60歳未満	定年退職で故郷に帰ったため、現在の近隣との付き合いが殆ど無かった。今後は近隣住民との交流を積極的に行い、地域社会にとけ込もうと思う。
	男性,60歳未満	田舎なので行事や自治会の活動が多いから。
定年を迎えるので(自宅にいたることが多くなるから)	女性,60歳以上	加齢とともにあまり遠くに出かけることもなくなると思うから。
	女性,60歳未満	近所の人の方が付き合う機会が多いから。
	男性,60歳未満	今まであまりできなかった。
	男性,60歳以上	退職して家にいることが多くなった。

「5 健康の維持・増進」を選択した理由-1		
主な内容	性別・年齢	記入例(問27-2 問27の活動を選んだ理由)
いつまでも健康で元気にすごしたいので(長生きしたいので)	男性,60歳未満	いつまでも健康でいたいから。
	女性,60歳未満	すでに夫が身障者なので、わたし自身健康でいる必要がある。
	女性,60歳以上	ピンピンコロリを目指したい。
	女性,60歳未満	まだ30年位寿命があるので、最後まで元気であるために。
	男性,60歳未満	健康で長生きしたいから。
	女性,60歳未満	今のうちから足腰を鍛え、子供の世話にならずにいつまでも元気でいたい。
	男性,60歳未満	長生きの基本は健康である、との信念から。
	女性,60歳未満	老後の心配。病気をしてからでは遅いので、今のうちに健康な身体を作っていきたい。
	女性,60歳未満	老後の生活を快適に過ごすため。
	男性,60歳以上	老後の生活安定のため。
	女性,60歳未満	老後も健康で旅行や日常生活をたのしみたいから。
	男性,60歳以上	ぼけ防止と健康維持のため。
	男性,60歳未満	健康に関心があるから。
	男性,60歳未満	健康に不安があるから。
	女性,60歳未満	健康の維持をすれば自然と生活習慣病は減るか、なくなる。
医療費をかけたくないので	男性,60歳以上	医療費が高いから、病気になるように長生きしたい。
	男性,60歳未満	医療費の高騰を考えると、医者知らずになりたいので。
ウォーキングや自転車を利用した運動をする予定だから	男性,60歳以上	1日10km走行を目標に利用。
	女性,60歳未満	1日に30分以上は歩く。
	男性,60歳未満	ウォーキングには適した地域ではないので、自転車で海浜公園のあるところまで行き(約2km)、そこで軽いジョギングやウォーキングをしたい。但し、冬の間は実行は難しいかも。
	女性,60歳未満	シニアになっていくとともに筋肉や運動能力も落ちてくると、健康管理が難しくなり、維持しにくくなるので、手軽に出来る運動としてはもってこいと思います。
	男性,60歳未満	ひざや心臓に負担があまりかからないから。
	女性,60歳未満	健康は足からなのでウォーキングをこころがけている。
	女性,60歳未満	健康維持のため目標を2つ(歩く・自転車に乗る)。一人で歩いているといつも決まった道になってしまうため、自転車だと遠出が出来そう。
	女性,60歳以上	健康維持の為、足腰の強化や全身運動として自転車は無理無くできるので、私には手軽で合っている。
	男性,60歳未満	手軽にできるウォーキングや室内体操。
	男性,60歳未満	足腰が弱ってきている、景色を見ながら手軽な方法で鍛えることができる。
	男性,60歳未満	長年、日常車でばかりの移動でしたので、老後に備え足腰を鍛えたいのと、何よりも燃料費がいらぬのが魅力。
	男性,60歳未満	天気のよい日など近所及び近場を約1~2時間かけてまわると思わぬ発見があるし、ダイエット効果もある。
	男性,60歳未満	排気ガスや二酸化炭素を出さず、健康維持にも役立つように思うので。
	男性,60歳未満	歩くのは辛いけどサイクリングは多少やりやすい。
	女性,60歳未満	有酸素運動に適していると思っているから。

「5 健康の維持・増進」を選択した理由－2		
主な内容	性別・年齢	記入例(問27-2 問27の活動を選んだ理由)
運動不足だから、運動を勧められているから	女性,60歳未満	車に乗っているの、足や腰が弱ってくるのが気になるから。
	男性,60歳未満	医者から運動不足と指摘されたから。
	男性,60歳以上	運動不足、持病があり運動がそれに良いから。
	女性,60歳未満	運動不足が原因で健康をそこなう兆候があるのでウォーキングなどで徐々に運動量を増やして生きたい。
	女性,60歳未満	運動不足でコレステロールが増えて来て、肥り気味なので。
	女性,60歳以上	介護の必要な母が家にいるので適度の運動をして自分の体調を常にベストにしておきたいから。
	男性,60歳以上	今まで運動不足を感じていたがこれからは完全に自由な時間になるので。
	男性,60歳未満	最近歩かなくなってきたので。
	男性,60歳未満	仕事を辞めると運動不足になりがちになるので。
	女性,60歳未満	自営で外に出る機会が少なく、出かける時、車を使うことが、つい、多くなって運動不足を実感しているから。
	男性,60歳未満	年齢が高くなり、運動不足になりがちなので。
男性,60歳未満	普段デスクワークが多いので運動不足のため。	
男性,60歳未満	会社を退職してから外に出る機会がすくなくなったから。	
家族に負担をかけないため	女性,60歳未満	夫婦2人で生活しているのでお互いに迷惑をかけないようにしたいから。
	男性,60歳以上	だんだん歳を取り、人に迷惑をかけないためにも、自分のやりたいことをするにもまず健康の維持が第一であると思う。
	男性,60歳未満	やっかいものになりたくないから。
	女性,60歳未満	家族に迷惑をかけたくない。自分のことは自分でする、したい。
	男性,60歳未満	家庭内の円満を維持するには、家族全員が健康である事。家族の誰か一人が大病に患ったりすると、家の中が暗くなったり、治療費などの出費で家計が苦しくなる。そうならないように、日常生活の健康面に気を配る事が必要。
	男性,60歳未満	健康な身体で家族に迷惑をかけずに社会の役に立ちたい。
	男性,60歳以上	子供たちに迷惑をかけず、自分なりに主体性を持った生活を実践したい。
	女性,60歳未満	自立していきいきと暮らすためには、健康の維持、増進が何より大切と考えているからです。人生も後半に差し掛かっている今、子供たちに迷惑をかけないように、そして元気に年を重ねていければ最高に幸せです。
女性,60歳未満	病気などで周りに迷惑をかけるのは嫌だから。	
健康がすべての基本であり、一番大切だから	女性,60歳未満	60歳になる手前です。これから何を始めるにしても健康でなければ始まりませんので。
	男性,60歳未満	すべての基本だから。
	男性,60歳以上	どんな活動するにも、健康が最優先と思う。
	男性,60歳未満	なんといっても健康あってのことだから。
	男性,60歳未満	何をしても一番の基になる。
	女性,60歳未満	健康が活動する基本と思うから。
	女性,60歳未満	健康が活動の源だから。
	女性,60歳未満	健康でないと自分のやりたい事が何も出来ないとおもう。
	男性,60歳以上	お金より健康でしよう、病気になってから高価な薬を探すような愚かな人間にはなりたくない。
	男性,60歳未満	クオリティーライフはまず健康から。
健康に配慮すべき年齢になったから	男性,60歳以上	55歳位から体調が良くないので健康に気を使っている。
	男性,60歳以上	60才になったので、これからは健康でいられるように。
	女性,60歳未満	あちこち身体の具合が年齢のせいでおかしくなってきたので。
	女性,60歳未満	だんだん年取ってきたから、自分の体は自分で管理しなければならない。
	女性,60歳未満	健康に気をつけたい年になってきたから。
	女性,60歳以上	今年還暦を迎えています。元気なのですがこれからは如何に元気に歳を重ねていくかが今後の課題だと考えております。
	女性,60歳未満	歳を重ね、もうすぐ還暦。自分の人生の折り返し点として考えると、まず、健康でなくっちゃと思います。ぼつぼつ、痛い所や、油の切れた所が体のあちこちに出てきました。頭も回転が衰えてくるし…現状維持ではなく、もう少し若かった頃の軽快な自分を取り戻したいとおもっています。サプリメントのお世話にもなるし、かかりつけのドクターの助けも借りながら、有意義に元気に楽しく生きていきたいと思っています。
	女性,60歳未満	自分の年齢を考えると体力をつけ、健康を保ちたいと考えている。
	女性,60歳未満	年を重ねる事に健康に自信がなくなるから。
コレステロールが高いので	女性,60歳以上	コレステロール値が少し高めなので。
ストレスが多いから	女性,60歳未満	外出することでストレスの軽減になるから。
知人等に健康を害する人がいたから	女性,60歳以上	身近な人が病気で死を迎えたことによる。
	女性,60歳未満	配偶者が亡くなり、健康管理の大切さを実感しているから。
	男性,60歳未満	回りの友人達が最近入院やなくなる人が多いから、真剣に考えている。
	女性,60歳以上	同年代で健康に不安を持っている人が多いので。

「5 健康の維持・増進」を選択した理由-3		
主な内容	性別・年齢	記入例(問27-2 問27の活動を選んだ理由)
体力の衰退を感じるようになったから	男性,60歳未満	50歳過ぎてから体力がだいぶ落ちたような気がします。健康は大事だと思うようになりました。
	男性,60歳以上	60才になり体力の衰えを感じます。健康不安解消の為に自転車で体力を維持したい。
	女性,60歳未満	そろそろ疲れを感じるようになりましたので少しでも、体力を向上させて健康の維持を計りたいと思います。
	男性,60歳未満	健康の衰えを非常に感じるのです。
	男性,60歳未満	足・腰がだんだん弱くなるので徒歩よりも自転車で体力を付けるため。
	男性,60歳未満	体力の低下は必至だが、なんとかそのスピードを遅らせたいから。
	男性,60歳以上	年齢とともに体力の衰えを感じているので。
楽しいから、好きだから	女性,60歳未満	健康的に色々楽しみたいので。
	女性,60歳未満	山に、登ることが好きなので、年齢的健康に注意して山行に参加しています。
	男性,60歳未満	定年退職後の楽しみ。
	男性,60歳以上	適度な疲労感が好きです。
一人暮らしなので	女性,60歳以上	一人暮らしで病気になったらこまる。
肥満解消のため	男性,60歳未満	以前、会社をリストラされて、無職になったとき、家で食っちゃ寝していたら体重が15キロほど増えてしまい、健康診断でも「高脂血症」「脂肪肝」「肥満」と判定され、医者からも適度なダイエットをするように勧められ、そこで、毎日1~2時間のウォーキングをするようになり、今では15キロほど、また、落ちて、脂肪肝や高脂血症も改善されたので、つくづく、健康の維持、増進が大切だと思うようになった。
	女性,60歳未満	すこし肥満ぎみなので運動したい。
	男性,60歳未満	ダイエットのため。
	女性,60歳未満	もちろん脂肪燃焼のため。
	男性,60歳未満	健康診断で健康状態が気になりだしたので、少し体重を減らしたいから。
	男性,60歳未満	最近、太り気味で減量したい。
	女性,60歳未満	太り気味なのでメタボリックシンドロームが心配。
	男性,60歳未満	中性脂肪高め、尿酸値高め、悪玉コレステロール高め。解消しなければ。
	女性,60歳未満	肥満気味のため、スポーツの一環として利用したい。
	男性,60歳以上	肥満対策。
病気予防のため	男性,60歳未満	高齢からくる高血圧や糖尿病などの予防のため。
	男性,60歳以上	成人病予防のため。
	女性,60歳未満	病気にはなりたくない。
病気を持っているから、予備軍だから	男性,60歳未満	7年前に心筋梗塞をわずらい、その後食事等に気を付けてきたが、身体を動かさなくてはいけないと考えたから。
	男性,60歳未満	永年投薬治療している糖尿病が改善しないから。
	女性,60歳未満	血糖値が高くなってきたので毎日の歩きを続けたい。
	男性,60歳未満	現在ガン療養中。体力が衰えたと思えるから。
	男性,60歳未満	現在リュウマチの疑いがあり、定期的に検査をしているから。
	男性,60歳未満	現在肝臓の治療中で、健康の大事さを痛感したので。
	男性,60歳以上	高血圧、高脂肪、糖尿病の数値が危険な数値になってきたので。
	女性,60歳未満	今年は、主人が大病をしたから。
	男性,60歳未満	昨年大病をしたので。
	女性,60歳以上	持病があるので、少なくとも今のレベルは維持したいから。
	男性,60歳未満	心筋梗塞で倒れて以来、食事両方・散歩等で二度と起こさないように気を付けている。
	男性,60歳未満	生活習慣病が出てきたので、運動などをすることにより改善したい。
	女性,60歳以上	定期検診で年々数値が悪くなりつつあるため。
	男性,60歳未満	脳梗塞で倒れましたので、健康の維持が最重要課題です。身体の麻痺には薬が無いとのこと、リハビリを兼ねてと思っています。
老化防止のため	男性,60歳未満	来年9月に定年退職を迎えるので、改めて健康体を維持する為、何かスポーツでもやりたい。また、現在うつ病から回復しつつあるので、それも理由のひとつ。
	男性,60歳以上	高齢となり体力の老化防止を図る為。
	男性,60歳以上	老化の防止。

「6 生活習慣病予防」を選択した理由		
主な内容	性別・年齢	記入例(問27-2 問27の活動を選んだ理由)
運動不足だから・運動を勧められているから	女性,60歳未満	1仕事の関係上、肉体的行動が稀少になった為、運動不足を痛切に感じる。 2特に生活習慣病(総コレステロール値の増加)にともない生活環境を見直したい。 3健康あつての人生 4日本中、いいえ世界中で環境改善も含めて、自転車などの普及がもっともと高まるような環境社会になれば良いと考えている。
	女性,60歳未満	どんな近くでも車で移動しているので運動量が少なく、メタボリック症候群等生活習慣病の心配が考えられるので、自転車や徒歩での移動により運動量を増やしたいと思っているところです。
	女性,60歳未満	運動不足で中性脂肪が多いので。
	男性,60歳未満	血糖値が高く、やや肥満体質だが、自転車は適度な運動量があると聞いたので。
	女性,60歳未満	現在血圧が高めで医者から運動を勧められているので、少々の距離ならなるべく歩くようにしている。
	女性,60歳未満	体調を崩したことがあるので無理をしない運動を考えていきたい。
	女性,60歳未満	糖尿病と診断され運動をすることと食事制限を指示されたため。
衰えを感じているから	女性,60歳以上	年をとると自転車に乗るほうがひざに負担が来ないと聞いたので。
	男性,60歳未満	最近、加齢に応じて体力の衰えを感じているので。
家系に不安があるから	男性,60歳未満	最近体が動かなくなってきたように感じる。
	女性,60歳未満	家系に糖尿病があるので気をつけたい。
加齢に伴う健康への不安があるから	女性,60歳以上	家系に癌がいるし高血圧も糖尿もいるから体質が遺伝してるとおもうので予防したい。
	女性,60歳以上	60歳になったので、健康に注意したいので。
	女性,60歳未満	この年代になると、何をしても健康が一番であるから。
	女性,60歳以上	加齢に伴い健康チェックで要注意の項目が増えてきたので。
	女性,60歳以上	年齢が上がっていくにつれて、健康のことが気になるので。
	女性,60歳未満	年齢的にも生活習慣病が出てくるころなので予防を考えている。
健康が一番大事だから	女性,60歳以上	年齢的にも体質的にも生活習慣病が身近なので、積極的に予防をして楽しい老後を過ごしたいと思っている。
	女性,60歳未満	健康が大切だから。
健康な老後を過ごしたいから	女性,60歳未満	健康が第一だと思うから。
	女性,60歳未満	一人暮らしなので元気でいたいから。
	男性,60歳未満	家族に迷惑・負担をかけたくない。
	女性,60歳以上	元気に老後をむかえたい。
すでに病気があるから、病気の不安があるから。	女性,60歳未満	死ぬ前の日まで元気で自分で動ける体でいたいから。
	女性,60歳未満	コレステロールと中性脂肪の値が高い。
	男性,60歳未満	メタボリックシンドロームそのもの。55歳から10kg増え77kg一向に減らない。
	女性,60歳以上	医師にメタボリックシンドロームに近い症状だと言われたから。
	女性,60歳以上	軽い糖尿病になっている為、これ以上悪くしないで良い方向に向かわせたい。
	女性,60歳未満	血圧が高く、病院で薬をもらって飲んでいる。40代前半より更年期障害でいろんなことを経験しているので。
	男性,60歳未満	血糖値が高いと指摘されたから。
	女性,60歳未満	すでにメタボリックシンドロームの為、タバコを辞めたらもともと肥満体型でしたが3Kg位太ってしまった。運動と食事で体重を減らしたい。
	男性,60歳未満	検査結果から予備軍に近いデータがいくつか見られるようになってきた。
	男性,60歳未満	健康診断でよい結果が出なかつたから。
	男性,60歳未満	高脂血症が治らないから。
女性,60歳未満	主人が脳梗塞になりましたので、もう一度習慣病を見直そうと思いました。	
太り気味だから	女性,60歳以上	夫婦二人暮して二人とも血圧が高めで肥満気味。子供もいないことから、自分たちの体のことがいちばん。
	男性,60歳未満	最近、肥満気味なので解消したい。
	男性,60歳未満	内臓脂肪がつきウエストが85cmを超えたから予防を考えている。
その他	女性,60歳未満	肥満なので歩数計をつけて毎日歩きたい。
	女性,60歳以上	医療費を抑えるため。
女性,60歳未満	食生活の改善。	

「7 スポーツの実践」を選択した理由-1		
主な内容	性別・年齢	記入例(問27-2 問27の活動を選んだ理由)
今しかできないから	男性,60歳以上	できなくなったら人生が終わりのような気がする。
	女性,60歳以上	出来なくなる時が近い将来あるから。
運動不足なので	女性,60歳未満	運動不足を実感している。
	男性,60歳未満	自家用車にて仕事をしているので、運動不足から。

「7 スポーツの実践」を選択した理由-2		
主な内容	性別・年齢	記入例(問27-2 問27の活動を選んだ理由)
健康の維持・増進のため	女性,60歳未満	ジムに通うようになって体の調子もいいので。
	女性,60歳未満	スポーツをすることで健康維持等の増進も図れる。
	男性,60歳以上	ダイエット。
	男性,60歳以上	健康と趣味。
	女性,60歳以上	私の元気の源だから。
	女性,60歳未満	成人病の予防の為スポーツクラブでの運動を積極的に取り入れたいと思っている。
時間にゆとりができたので	男性,60歳未満	時間に余裕が出来る。
スポーツが好きだから、楽しいから	男性,60歳未満	体を動かすことが好き。
	女性,60歳以上	スポーツで身体を動かしたい。
	女性,60歳未満	楽しいから。
	女性,60歳未満	好きなことをしながら、体力作りにもなるから。
	女性,60歳未満	好きなことをもっているほうがよい。
	女性,60歳未満	身体を動かすことが好きだから。楽しくスポーツをしながら友人との交流もあり、ストレスの発散に大いに役立つ。
体力の維持・増進のため	男性,60歳未満	筋肉の衰えを最小限にするため。
	女性,60歳未満	体力が落ちているため。
	女性,60歳未満	体力の維持のため。
付き合い、仲間づくりのため	男性,60歳以上	スポーツをすることで健康の維持又友人との付き合いが出来る。
	男性,60歳以上	週に1回程度テニスをしているが、健康維持に効果がある。また終わってから仲間との飲食が楽しい。
特定のスポーツを継続したい・始めたい	男性,60歳未満	ウォーキング。
	男性,60歳未満	ゴルフを集中的にやって上達したい。色々なスキー場で滑ってみたい。
	男性,60歳未満	テニスをやっているの、今後もう少しやっていきたい。
	男性,60歳以上	もともとロードに乗っていて、レースにも出ている。年取ったからロードをやめた。3台(3種類)のバイクを適当に使って楽しんでいく。
	男性,60歳未満	ライフサイクルにマラソンを実施しているから。
	女性,60歳未満	今 スポーツセンターに通って5年になりますが、出来る限り続けたい。仲間とエアロビやヨガ、ピラティス、水泳などいつまでもやり続けたい。
	男性,60歳未満	今も実践していて、継続していきたい。
	女性,60歳未満	太極拳にはまっています、老後の友と考えています。
	男性,60歳未満	毎日スポーツジムに通うことが生活の一部になりつつある。

「8 アウトドア活動」を選択した理由-1		
主な内容	性別・年齢	記入例(問27-2 問27の活動を選んだ理由)
今しかできないから	男性,60歳未満	山岳登山なので年齢的制約があると思っていますので、今ならこれだと思っています。
	男性,60歳以上	身体が動くうちにいろいろやっておきたい。
	女性,60歳以上	年齢が高くなれば、出来なくなることが出てくるから。
家族交流のため	女性,60歳未満	費用がかからず、家族との交流もでき、健康維持にも効果があるから。
健康の維持・増進のため	女性,60歳以上	楽しみながら健康増進ができるから。
	女性,60歳以上	健康で楽しく暮らしたいので。
	男性,60歳未満	健康管理、友人、知人との交流。
	女性,60歳未満	健康体力維持のため。
	男性,60歳以上	少しでも老化を緩やかにするように、適度の運動に努めたい。
時間にゆとりができたので	男性,60歳以上	過去に旅行や登山をやっていたが、多忙の為中断状態だったが、少しずつ暇を作って遊びたい。
	男性,60歳以上	時間的余裕が出来るから。
自然に親しみたいから	男性,60歳未満	アウトドア活動は必然的に自然の中で体を動かすことになり、運動不足の改善、ストレスの減少など心身に好影響を与えてくれるから。
	女性,60歳未満	永年(30余年)勤務の為に行動など束縛されてきたと思うので、退職をした今ほとんどか外の空気を吸って満喫したいです。趣味とかスポーツ等限定しないで気のむくままに冬は山歩きかハイキング、春から秋にかけては山や海などの自然の中での空気を吸いたい処ですかね。
自転車を活用したいから	男性,60歳以上	バイクでのツーリング、キャンプ等アウトドアの遊びが好きだから。
	女性,60歳以上	外の風景を自転車で楽しむのは、この年齢になってやっと知った楽しみである。もっと早く知ればよかった。
	男性,60歳未満	今までが自動車での職場と自宅の行き来だけだったが、観光地やリゾートの中での移動をと思って。
	男性,60歳未満	今まで以上にレースに参加したい。
	男性,60歳以上	自転車の利用頻度もっと増やし、テント等を持参しキャンプをしながら九州一週をしてみたい。
男性,60歳以上	趣味が「渓流釣り」です、一定の場所迄車で移動し其の先は「自転車」と考える。	

「8 アウトドア活動」を選択した理由-2		
趣味だから・好きだから、今までやってきたから	男性,60歳未満	アウトドアが好きだから。
	男性,60歳未満	すでにやっていてこれからも継続していきたい。
	女性,60歳以上	以前行っていたキャンプ等をもう一度。
	女性,60歳以上	若い頃にワンダーフォーゲル活動をしていたから。
	女性,60歳以上	心身の健康と趣味が合致している。
男性,60歳未満	釣りが趣味だから。	
ストレス解消のため	男性,60歳未満	ストレス解消、健康維持。
その他	男性,60歳未満	家庭菜園の規模を少し増やしたい。
	男性,60歳未満	近所の散策だけでなく、かなり長距離の旅行を考えている。

「9 趣味活動」を選択した理由-1		
主な内容	性別・年齢	記入例(問27-2 問27の活動を選んだ理由)
今までできなかった ので(時間のゆとりが できたから)	女性,60歳未満	今まで出来なかったこと、やりたかったことに積極的にチャレンジし、自分探しをもっとやりたい。
	男性,60歳以上	リタイアして今まで好きなこと出来なかった分、趣味に打ちこもうと思う。
	男性,60歳以上	過去にやりたかったが時間がなく出来なかったり、途中で挫折して後悔した事を、定年を機に本格的に行いたかった。それは自分との戦いであるから第一位にあげた。
	女性,60歳未満	今まで仕事や子育てのためやりたいことがあっても我慢してきたので、今後は是非トライしてみたい。
	男性,60歳以上	働いているときから関心があったが、時間の関係でできなかったため。
	男性,60歳未満	暇が増えてくると思うので、退屈しないように好きなことを重点的に行うようにしたい。
	男性,60歳以上	今までが働きすぎだったから、ゆっくりしたい。
	女性,60歳未満	子育ても終わり、時間に余裕が出来たので色々楽しみたい。
	男性,60歳以上	時間と金銭的に余裕があるので。
	男性,60歳以上	時間は充分あり、時間に追われることなくゆっくり打ち込める趣味を見つけないから。
健康のため、ストレス 解消のため	男性,60歳未満	定年で時間ができるから。
	女性,60歳未満	ストレス解消の為好きなことをしたい。
	男性,60歳未満	趣味の領域内で、健康維持が出来れば良いと思う。
実益を兼ねて	男性,60歳未満	生き甲斐のある生活が自身を高揚させ、健康や家庭の平和に繋がるから。
	男性,60歳以上	前からやっていたが、病気(脳梗塞後の麻痺)で出来なかったことをリハビリと共に復活させる。
	女性,60歳未満	お人形の洋服を作っていますが、とても楽しく、その上それが実益につながるから。
	男性,60歳未満	ボランティアにもなるし。
自分のために時間を 使いたいから、自分 の人生を楽しみたい から	男性,60歳未満	現在の趣味が収入につながってきてるので。
	女性,60歳以上	実益を出せるほどの実力をつけたいから。
	女性,60歳未満	老後を、のんびりと楽しく暮らしたい。畑を購入したので、花づくり、果樹園、野菜づくりを楽しみたい。趣味と実益を兼ねて。
	男性,60歳未満	59才になる現在まで仕事や子育て中心の生活で、自分のしたいことを殆どしなかった。時間と経済的な余裕があれば趣味に充てたい。
	女性,60歳未満	57年間生きてきて、そろそろ気ままで良いのではと考えたから。
	女性,60歳未満	家族の世話で出来なかった趣味を今後はしたいと思っている。
	女性,60歳未満	子育てと親の介護が終わり、自分の時間を十分に持つことができるようになったので、これまでも趣味のガーデニングやデジカメ等をやっていましたが、ゆっくりと時間をとって更に深めていきたいと思っています。
趣味だから・好きだ から、今までやって きたから	女性,60歳未満	自分を高める為。
	女性,60歳未満	趣味にお金や時間を使うのは惜しくないから。
	女性,60歳未満	老後に向けて自分自身のためにいろいろなことをやってみたい。
	女性,60歳以上	ゴルフが好きだから。
	男性,60歳未満	サークルに入って活動中であるため。
	女性,60歳以上	サークル活動しているがさらにレベルアップしたいと思っているから。
	女性,60歳未満	一生涯の趣味としていきたいので。
	女性,60歳未満	好きなことをやっていると、心も体も生き生きするから。
	男性,60歳未満	趣味で始めたスキューバダイビングで1000本(回)を目指しているの。
	女性,60歳未満	趣味を持つことによって心に余裕をもちたいから。
男性,60歳未満	損得抜きでそれに没頭できるから楽しい。	
女性,60歳以上	仲間で趣味を持ち活動したい。	
女性,60歳以上	永年やっている趣味なのでもうしばらく続けたいと思っています。	
男性,60歳以上	今まで趣味としてやって来たものを変えることなく行っていこうと思うから。	

「9 趣味活動」を選択した理由－2		
人との交流機会をつくるため	女性,60歳未満	58才これから友達を作る手段と楽しみのため。
	女性,60歳以上	引越しをするので友達づくりのため。
	女性,60歳未満	趣味のお友達とのつきあい。
	女性,60歳以上	趣味の中でも、ウォーキングは仲間との交流など、話も弾むので楽しいし、健康にもなにかと情報がある。
	男性,60歳以上	趣味を通じて人との出会いを作りいろんな方と輪を作りたい。
	男性,60歳以上	住んでいる地域の事を知りたい。
	女性,60歳未満	多くの人との出会いがあるし、生活上楽しみがある。
一人になってもさみしくないように	男性,60歳未満	友人と一緒にいるので続けていきたい。
	女性,60歳未満	独りだから。
ボケ防止のため	女性,60歳未満	老後の時間が空いたときに寂しくならないために。
	女性,60歳以上	ボケないために好きな事をやってみよう。
	女性,60歳未満	ボケ防止に好奇心いっぱいにして。
	女性,60歳未満	楽器を仲間で作っているから、ボケ防止のためにも続けたい。
	女性,60歳未満	日常生活だけではボケてしまうため、いろいろなことに興味を持ち動くことが大切だと思うから。
豊かな人生のため、人生を楽しむため	男性,60歳未満	日常生活の活性化とボケ防止。
	男性,60歳以上	残り短い人生を有意義に使うにはこれが一番。
	女性,60歳未満	年齢的にこれからの10年が大事だから、悔いの無い生活を送りたいので。
	男性,60歳以上	老いていくなかで夢中になるものに力を注ぎたい。
	女性,60歳未満	これから楽しく生きることを目標にしたいから。
	男性,60歳未満	人生に潤いをもらいたいから。
	男性,60歳未満	人生の終焉を迎えるにあたり、したいことをやりたいと思うから。
	男性,60歳未満	人生はどれだけ楽しめたかでナンボのもの。いつもチャレンジだから。
	男性,60歳以上	生きがいを見つけるため。
	女性,60歳以上	生き生きと生きていくことが家族の幸せにもつながるから。
その他	男性,60歳未満	老後の楽しみを増やす為。
	女性,60歳未満	マウンテンバイクを持っているので活用したい。
	男性,60歳未満	自転車での四国八十八箇所を回りたい。
女性,60歳未満	自転車で国内・海外を回りたい。	

「10 語学の学習や資格の取得」を選択した理由		
主な内容	性別・年齢	記入例(問27-2 問27の活動を選んだ理由)
生きがい、向上心を持ち続けたいから	女性,60歳以上	チャレンジしたい。
	男性,60歳未満	死ぬまで現役という発想。常に向上心を忘れたくないから。
	女性,60歳以上	目的意識を持って残りの人生も生き生きとしていたい。
海外に行きたいから	女性,60歳未満	将来シニア留学をしたいと考えているから。
	男性,60歳未満	老後を海外で過ごしたいから。
外国語を習得したいから	女性,60歳以上	英語会話ができればいいと思う。
	女性,60歳未満	外国に友達がいるので、もっと色々話しがしたい。外国文学を原文で読みたいと思っている。
	男性,60歳未満	外国語を習得し、見聞を広めたいから。
	男性,60歳未満	活動の前提。
趣味と実益のため	女性,60歳未満	語学を学ぶ事は終わりということがなく、いつまでも取り組めて、いろいろな文化を知ったりと、広がりをもてるから。
	男性,60歳以上	仕事にも通じるから。
	女性,60歳以上	現在日本語ボランティア教師をしているので、日本語はもちろん英語なども勉強したい。
老化防止のため	男性,60歳以上	仕事、待遇、転職に有利なため。
	女性,60歳未満	語学の勉強はボケ防止に最適と思うから。

「11 国内・海外の旅行」を選択した理由－1		
主な内容	性別・年齢	記入例(問27-2 問27の活動を選んだ理由)
移住を考えているから	女性,60歳未満	海外旅行が好きなので、ロングステイも考えている。
異文化や歴史を学びたい、見聞を広めたいから	女性,60歳以上	いろいろの国の人と交流したいから。
	女性,60歳未満	まだ知らない国、特に海外の国々に興味を感じているから。
	女性,60歳以上	異文化を知りたい。
	男性,60歳未満	世界を広く見てみたい。
	男性,60歳未満	知識を広めるため。
	男性,60歳未満	知的な刺激と気分転換。
	男性,60歳未満	歴史が好きで、若いときから、仕事を離れたら歴史の地を巡りたいと思っていた。実家からそう遠くない所に歴史の地が沢山ある。

「11 国内・海外の旅行」を選択した理由－2		
主な内容	性別・年齢	記入例(問27-2 問27の活動を選んだ理由)
今まで行ったことがない場所がたくさんあるから	男性,60歳以上	知らないところに行きたいから。
	男性,60歳未満	近いうちに定年を迎え、これまで海外へ何度か行ってきたが、まだ行きたい所は多いし、国内もくまなく回ってみたい。
	男性,60歳以上 女性,60歳未満	今まであまり旅行にいったないから。 自由に出かけられる時間と余裕が少しでもあるうちにいろんなところに行ってみよう。
温泉が好きだから	男性,60歳未満	これまで仕事が忙しくて出来なかった温泉めぐりを家内と実施したい。
	男性,60歳未満	国内の温泉を回って、地場のおいしいものを食べ歩きたいから。
元気が今のうちに旅行したいから	女性,60歳未満	あまり歳をとってからは旅行には歩きたくないから、これから10年位の間に存分に楽しみたいから。
	女性,60歳未満	いくら長生きしても海外旅行にいけるほど元気な時期はあと少ししか残されていないような気がするから、頑張っておちこちに行きたい。
	女性,60歳未満	まだ行っていない所が沢山あるので元気のうちに～と思っています。
	男性,60歳未満	メンタル的にタフなうちに。
	女性,60歳未満	健康なうちにないと旅行ができなくなるから。
	女性,60歳以上	元気で感動できる間に色々な国の生活にふれたい。
	女性,60歳未満	足腰が元気なうちにいろいろな所へ行ってみたい。とくに海外旅行。
	男性,60歳未満	体が動かなくなってきたからあそこにもあそこにも行きたかったと後悔したくないから、行ける間に行きたい所に行っておきたい。
	男性,60歳未満	体力が衰えない間にいろいろなところに行っておきたい。
	女性,60歳未満	旅行は健康に自信があるうちに行こうと思っている。
時間的なゆとりができたので	女性,60歳未満	旅行を楽しめるのは65才と思えるので。
	男性,60歳未満	今まで仕事に追われ時間的に余裕がなかったが、あと、人生の晩年に際し、気ままに過ごしていこうと思う。
	女性,60歳未満	やっと自由になる年代となり、再度見聞を広げるため。
	女性,60歳以上	やっと旅行に行く時間的な余裕が出来るので。
	女性,60歳以上	今までフルタイムの仕事や親の看護で旅行に行けなかった。
	女性,60歳未満	今まで仕事で休暇がとれなかったのでもらいたかった。
	女性,60歳未満	子供が独立したので、ゆとりした時間を持ちたいので。
夫婦共通の趣味として楽しみたいから	女性,60歳未満	平日の時間が旅行に充てられるようになった。
	女性,60歳未満	主人が退職したら大いに旅行をしようとして話合っている。夫婦の共有の楽しみである。
	女性,60歳未満	夫の定年につき、二人であちこちへ行きたい。国内なら折りたたみ自転車を積んで、行った先で楽しみたい。
	男性,60歳以上	夫婦とも元気でいるうちに共通の話題作り。
余暇を楽しみたいから	男性,60歳未満	リタイア後の生活の充実。
	女性,60歳以上	人生を楽しみたいから。
	男性,60歳未満	第二の人生を楽しみ有意義に過ごしたいから。
リフレッシュ、ストレス解消のため	女性,60歳未満	年長的に余暇のたのしみとして。
	男性,60歳未満	ストレス解消。
	女性,60歳未満	のんびり、そして英気を養いたいから・・・。
旅行が好きだから、趣味だから	女性,60歳未満	心身のリフレッシュ、楽しい生き甲斐。
	女性,60歳未満	転地療養気分ですストレス解消になる。
	女性,60歳未満	リラックスし楽しめる。
	女性,60歳以上	家族と一緒に楽しめる趣味だから。
その他	女性,60歳以上	楽しいので。
	女性,60歳未満	旅がとても好きだから。
	男性,60歳以上	風景写真が好きなので、仕事を辞めたら日本中を撮影旅行をしたい。
	女性,60歳未満	海外でのスポーツが好きだから。
	男性,60歳未満	外国に友人がいる。
	男性,60歳未満	紀行文を執筆したい。
女性,60歳未満	前からの夢だから。	
女性,60歳未満	非日常を経験したい。	

「12 ボランティアや社会貢献の活動」を選択した理由－1		
主な内容	性別・年齢	記入例(問27-2 問27の活動を選んだ理由)
生きがいにしたいから	女性,60歳未満	家庭の中だけだと社会から取り残されそうなので、自分で出来ることで役立つ事があればやろうと考えて。
	女性,60歳未満	生きてきた証として、少しでも役に立って死にたいと思う。
	女性,60歳以上	張り合いがあるのでボランティアを行っています。
関心があるから	男性,60歳未満	ボランティアに興味がある。老後として。
	男性,60歳未満	障害者との関わりに関心がある。
	男性,60歳未満	常に社会に関心を持ち続けるため。

「12 ボランティアや社会貢献の活動」を選択した理由-2		
主な内容	性別・年齢	記入例(問27-2 問27の活動を選んだ理由)
現在の活動を継続したいから	女性,60歳未満	今までもやっていたことですが、留学生のサポートは続けていきたい。介護関係のボランティアなども積極的に関わっていきたい。
	男性,60歳未満	今現在やっていて、時間的余裕がまだあるので。
	女性,60歳未満	生活の一部になっているので、今後も続けていきたい。
社会に貢献したいから	男性,60歳以上	人生に於いて今までは自分のため、家族のために全力を尽くしてきましたが、年金をもらえるようになって残された人生は、世のため人のためになる事を多く取り入れたい。
	男性,60歳以上	60歳からの人生は、社会への恩返しの人だと思ふから。
	男性,60歳以上	60歳を契機に何か社会に貢献したいので。
	男性,60歳以上	やはり人は人の為に生きてこそ最も生き甲斐を感じることができると思ふから。
	女性,60歳未満	子育ても終わり人生折り返しを過ぎ、後は少しでも社会に役立ちたい。いい環境・いい人間関係を次の世代に少しでも残せるお手伝いをしたい。
	女性,60歳以上	新しい土地に越してきて、1年半がたち、時間、気持ちなどの余裕ができてきたので、なにか地域に役に立つことをはじめたいと思いました。
地域交流のため	男性,60歳未満	地域に早くとけ込むことができるから。
	女性,60歳以上	長くクラウンパフォーマーとして営業し、第一線からは退く2007年の計画でセカンドハウスに移住して1年、地域の探索などとアシスト車の購入しました。山と海のこの町で生涯学習インストラクターで心機一転スタートです。
	男性,60歳未満	老齢に向かって自分や家族以外の多くの人々と楽しく、喜び合える心豊かな人生をおくりたい。
当然のことだから	女性,60歳以上	人間として生まれたのだから当然のこと。
	女性,60歳未満	人間は他の人のために尽くそうという思いがないと社会が良くなることはないと思ふから。自分も社会の歯車のひとつとして社会が明るく繁栄・発展していくように協力していきたい。
ゆとりができたので	男性,60歳未満	仕事で思うように活動できなかったが、退職し時間的に余裕が出来るのでもっと積極的に関わってきたい。
	女性,60歳未満	生活に余裕ができたから。
	男性,60歳未満	年齢的にそのような時期に来ている。

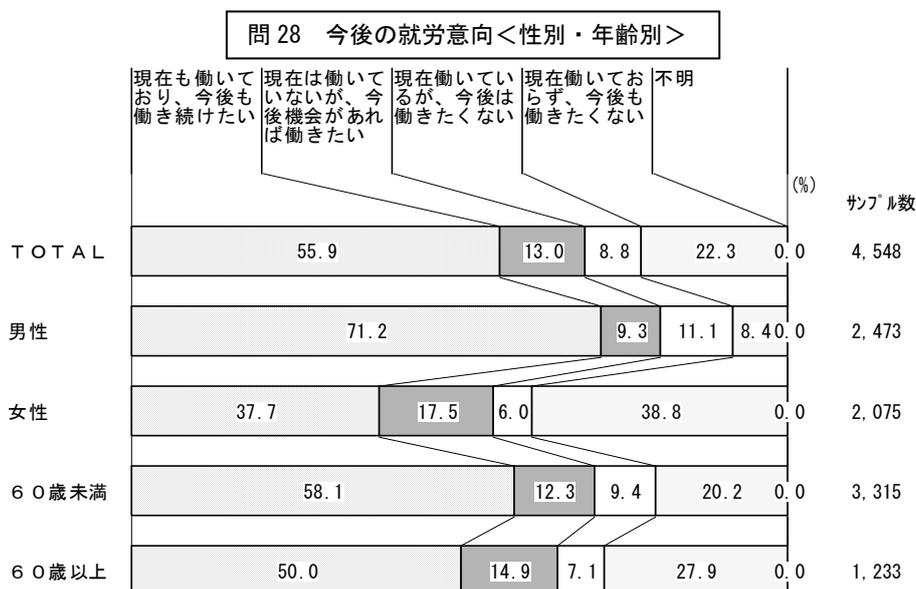
「13 その他」を選択した理由		
主な内容	性別・年齢	記入例(問27-2 問27の活動を選んだ理由)
その他	男性,60歳未満	首都圏に影響する大規模地震は、30年以内に起きる確率70%と言われていています。30年先に70%なのでなく、今70%の確率なのです。早くから啓発・対策を講じることで犠牲になる方々を減らすことが出来ます。そのことは自らを助け、家族・友人・近隣が生き残ることに通じます。災害時には自転車が一番有効な交通手段になるとも言われています。もっとアピールされても良いことだと思いますし、荷物を積める「災害時用自転車」の開発を望みます。

## 問 28 今後の就労意向

今後、働きたいかどうかについては、「現在も働いており、今後も働き続けたい」人が 55.9%で、これに「現在は働いていないが、今後機会があれば働きたい」(13.0%)をあわせると 68.9%と、就労意向を持っている人は全体の約 7 割を占める。また、現在働いている人に着目すると、「現在も働いており、今後も働き続けたい」が 55.9%であるのに対し、「現在働いているが、今後は働きたくない」が 8.8%と、現在働いている人のうち 9 割近くが今後も働き続けたい意向をもっている。

性別にみると、「現在も働いており、今後も働き続けたい」と「現在は働いていないが、今後機会があれば働きたい」を合わせた就労意向のある割合は、男性では約 8 割 (80.5%)、女性では 5 割強 (55.2%) となっている。また、現在働いていない人に着目すると、男性では「現在働いていないが今後機会があれば働きたい」人が 9.3%、「現在働いておらず、今後は働きたくない」人が 8.4%と、現在働いていない人のうち約半数が就労意向を持っているのに対し、女性では「現在は働いていないが、今後機会があれば働きたい」人が 17.5%、「現在働いておらず、今後は働きたくない」人が 38.8%と、現在働いていない人のうち就労意向を持っているのは 3 分の 1 弱となっている。

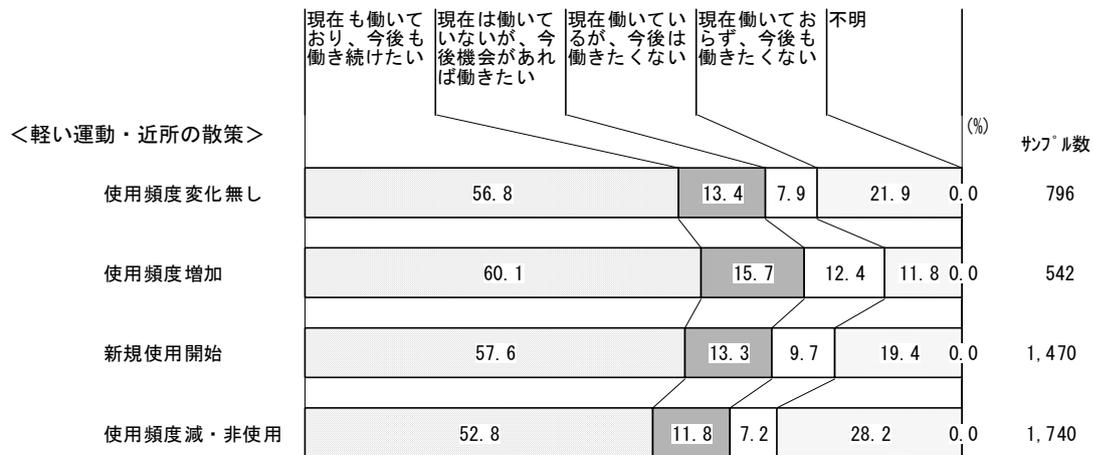
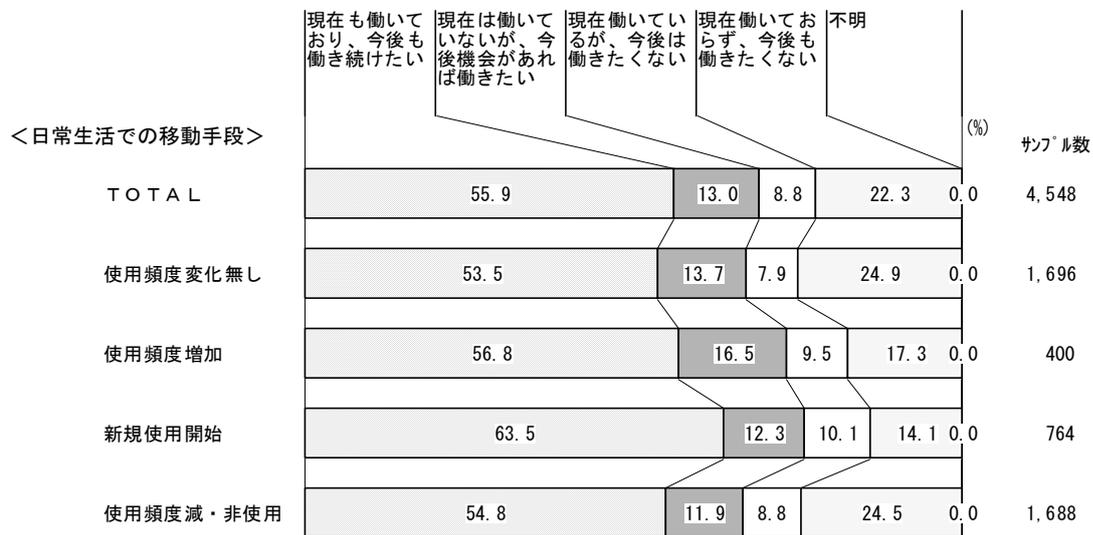
年齢別にみると、「現在も働いており、今後も働き続けたい」と「現在は働いていないが、今後機会があれば働きたい」を合わせた就労意向のある割合は、60 歳未満では 70.4%、60 歳以上では 64.9%となっている。



日常生活での移動手段における自転車の今後の利用意向別にみると、〔新規使用開始〕層では「現在も働いており、今後も働き続けたい」が63.5%と就労意向が他の層よりも比較的高い。

また、軽い運動・近所の散策における自転車の今後の利用意向別にみると、〔使用頻度増加〕層では「現在働いているが、今後は働きたくない」が12.4%と他の層よりも比較的高い。

問 28 今後の就労意向<問 13 今後の利用意向別>



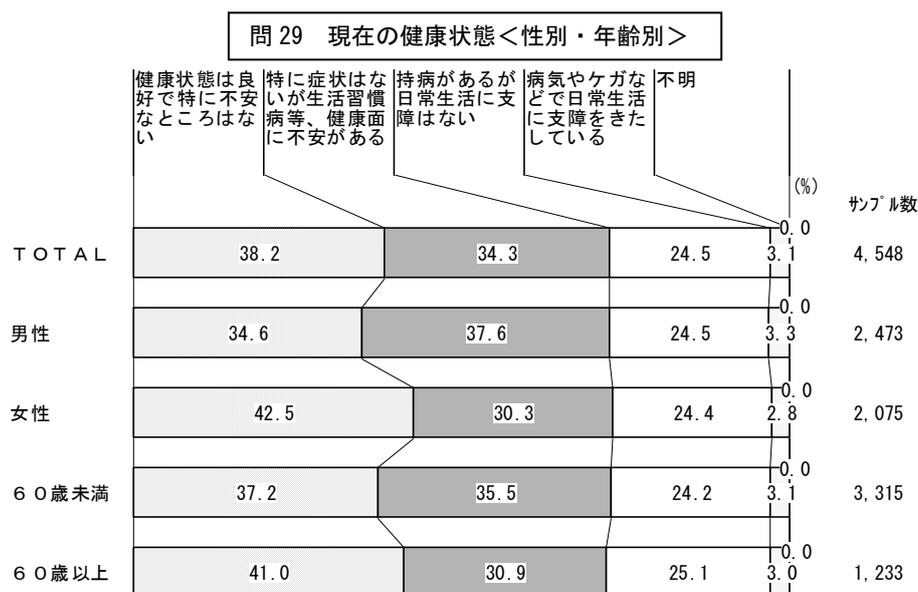
## (2) 団塊の世代の健康状態

### 問 29 現在の健康状態

健康状態については、「健康状態は良好で特に不安なところはない」人は38.2%、「特に症状はないが生活習慣病等、健康面に不安がある」人は34.3%で、全体の約4分の3近く(72.5%)は現状では病気はないが、そのうち約半数は健康面への不安を抱いているという結果となっている。

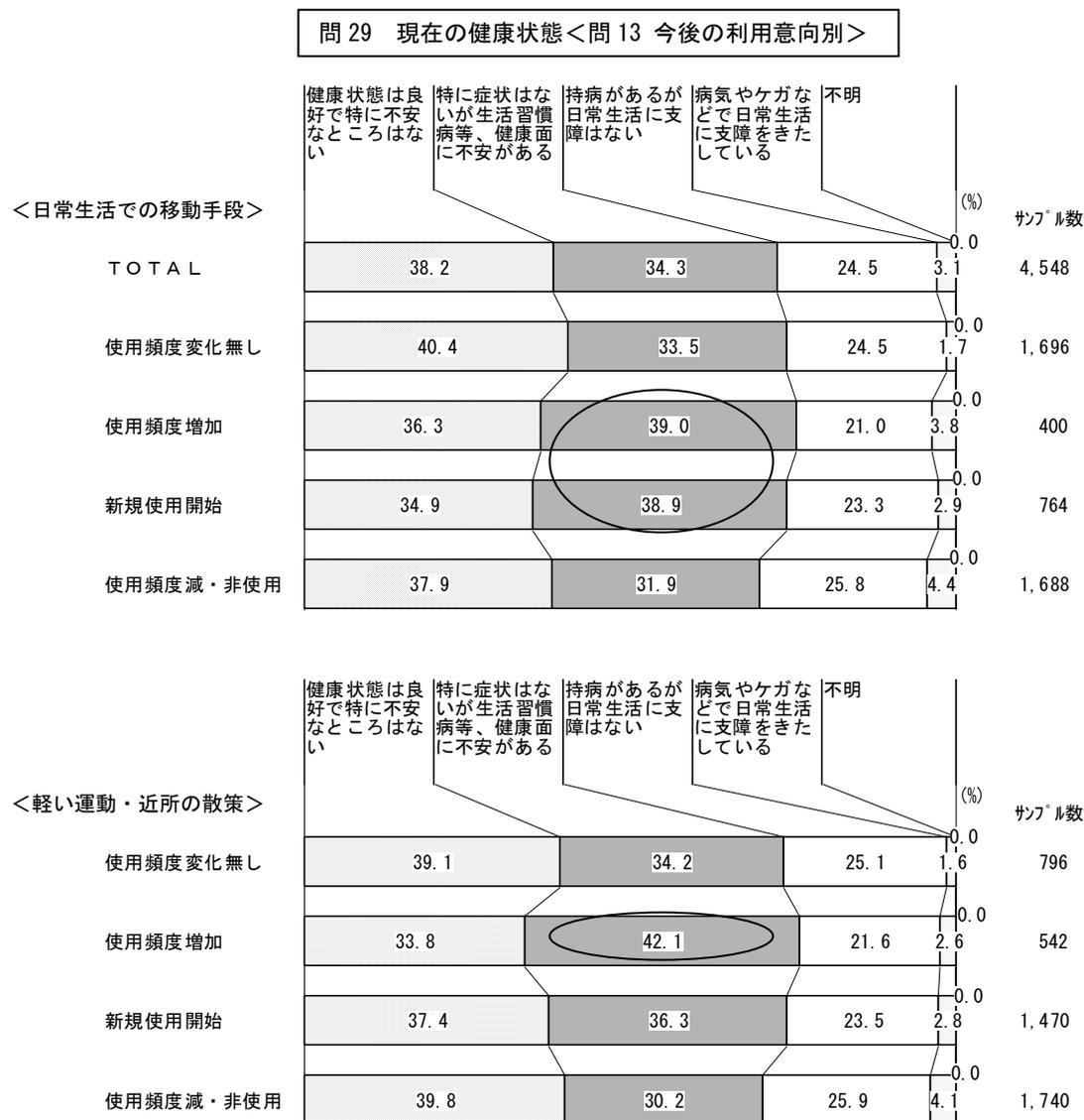
性別にみると、「健康状態は良好で特に不安なところはない」と「特に症状はないが生活習慣病等、健康面に不安がある」をあわせた、現在病気を持っていない割合に違いはみられないが、「健康状態は良好で特に不安なところはない」(男性:34.6%、女性:42.5%)は女性の方が高く、「特に症状はないが生活習慣病等、健康面に不安がある」(男性:37.6%、女性:30.3%)は男性の方が高くなっており、男性の方が、健康に不安を抱く割合は高い。

年齢別にみると、「健康状態は良好で特に不安なところはない」と「特に症状はないが生活習慣病等、健康面に不安がある」をあわせた、現在病気を持っていない割合に違いはみられないが、「健康状態は良好で特に不安なところはない」(60歳未満:37.2%、60歳以上:41.0%)は60歳以上の方が高く、「特に症状はないが生活習慣病等、健康面に不安がある」(60歳未満:35.5%、60歳以上:30.9%)は60歳未満の方が高くなっており、若い方が健康に不安を抱く割合が高い。



日常生活での移動手段における自転車の今後の利用意向別にみると、「特に症状はないが生活習慣病等、健康面に不安がある」が〔使用頻度増加〕層では39.0%、〔新規使用開始〕層では38.9%と比較的高い。

また、軽い運動・近所の散策における自転車の今後の利用意向別にみると、〔使用頻度増加〕層では「特に症状はないが生活習慣病等、健康面に不安がある」が42.1%と他の層よりも比較的高い。

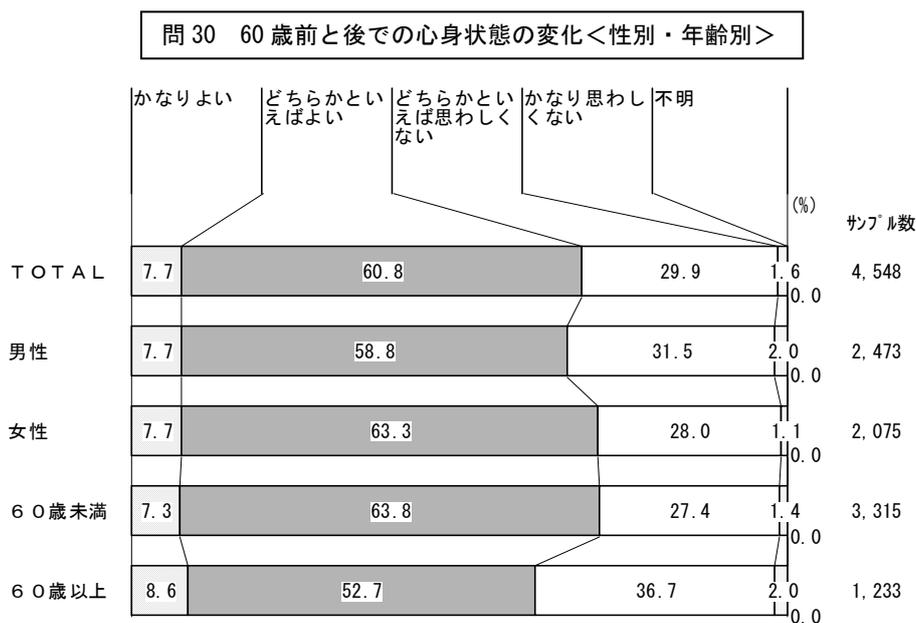


### 問 30 60歳前と後での心身状態の変化

60歳代になったときの心身の状態を含めた生活の様子について、60歳未満の人には「どのようになっていると思うか」、60歳以上の人には「どのようになったか」という尋ね方で聞いた。その結果、「どちらかといえばよい」とする人が60.8%で最も多く、次いで「どちらかといえば思わしくない」が29.9%となっている。なお、「どちらかといえばよい」に「かなりよい」をあわせた『よい』とする割合でみると68.5%と、約7割を占め、『思わしくない』（「どちらかといえば思わしくない」「かなり思わしくない」の合計31.5%）とする人を大きく上回っている。

性別にみると、男性では、女性に比べて「どちらかといえばよい」（男性：58.8%、女性：63.3%）は若干低く、「どちらかといえば思わしくない」（男性：31.5%、女性：28.0%）は若干高くなっており、男性の方が、状態が良くないと感じる人が若干多くなっている。

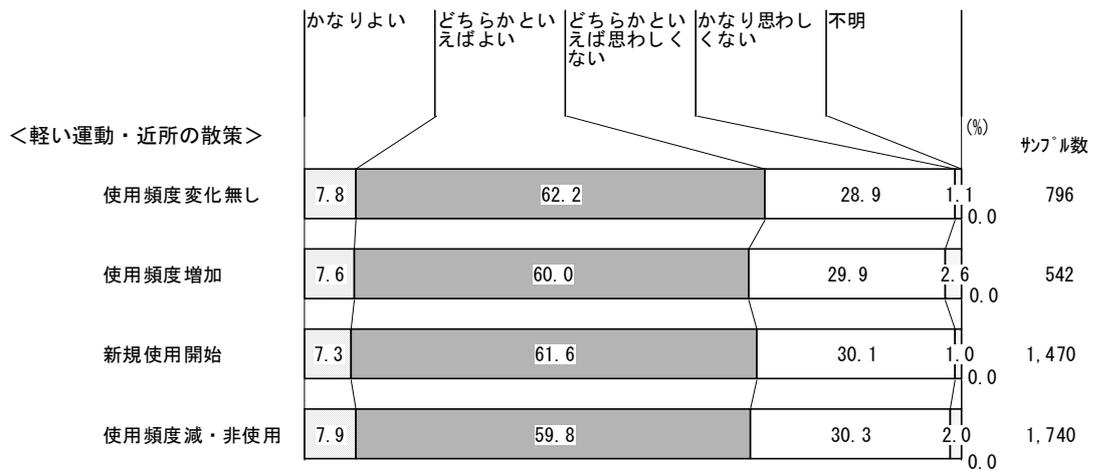
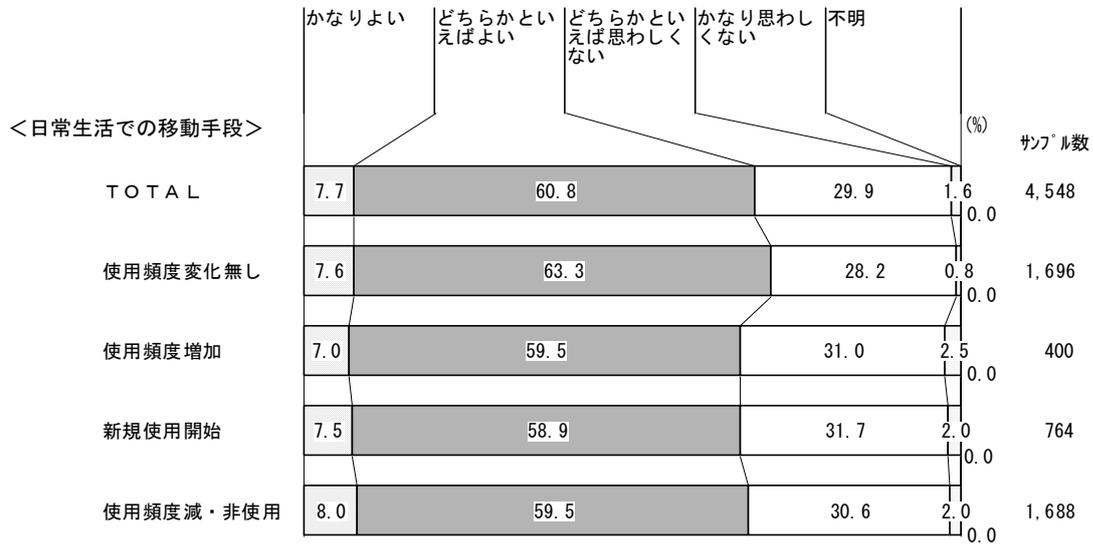
年齢別にみると、60歳未満では、60歳以上に比べて「どちらかといえばよい」（60歳未満：63.8%、60歳以上：52.7%）は高く、「どちらかといえば思わしくない」（60歳未満：27.4%、60歳以上：36.7%）は低くなっている。60歳未満の世代の方が60歳時点での健康状態は良いという結果となっているが、本設問は、60歳未満と60歳以上では問いかけ方に若干の違いもあり、この結果は、60歳を迎える以前での見通しに比べて、実際に60歳を超えてみると、予想ほどは思わしくないといった状況もうかがえる。



日常生活での移動手段における自転車の今後の利用意向別による顕著な差はみられない。

また、軽い運動・近所の散策における自転車の今後の利用意向別によっても顕著な差はみられない。

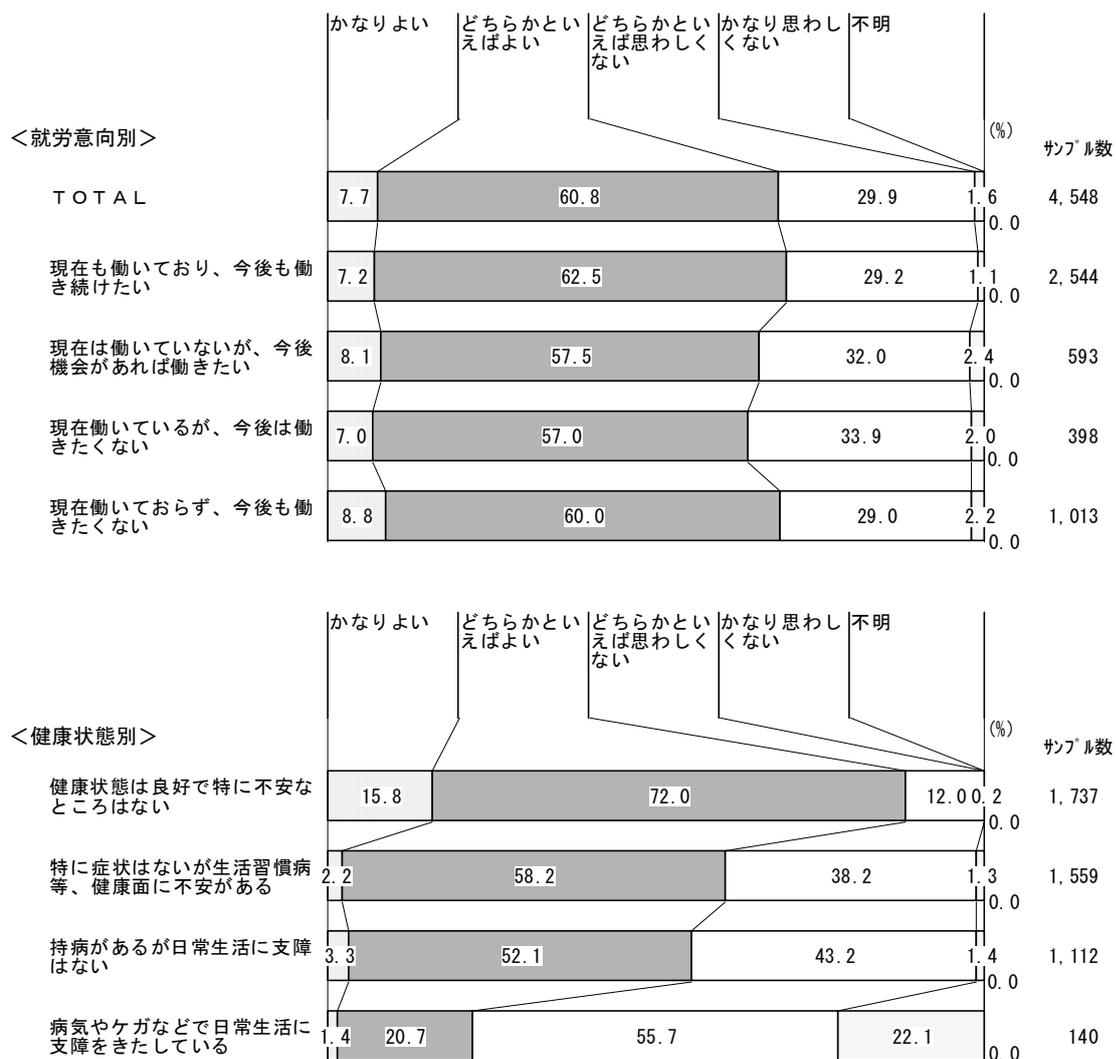
問 30 60歳前と後での心身状態の変化<問 13 今後の利用意向別>



今後の就労意向別（問 28）にみると、「現在も働いており、今後も働きたい」層と「現在働いているが、今後は働きたくない」層は両者とも現状では就労している層であるが、「どちらかといえばよい」（続けたい：62.5%、働きたくない：57.0%）とする割合は前者の方が高く、「どちらかといえば思わしくない」（続けたい：29.2%、働きたくない：33.9%）とする割合は後者の方が高くなっており、60歳前後での心身状態等生活の変化が継続就労意向に若干影響を与えている様子がうかがえる。

現在の健康状態別（問 29）にみると、「健康状態は良好で特に不安なところはない」層では「かなりよい」が15.8%を占め、これに「どちらかといえばよい」（72.0%）をあわせると87.8%と、他の層に比べて良好な状態であるとする人が顕著に多い。一方、「特に症状はないが生活習慣病等、健康面に不安がある」層では「かなりよい」が2.2%、「どちらかといえばよい」が58.2%で、「どちらかといえば思わしくない」（38.2%）が約4割にのぼるなど、「持病があるが日常生活に支障はない」層と類似した結果となっており、現状における健康への不安は、60歳前後での心身状態等生活の変化への影響が大きい様子がうかがえる。

問 30 60歳前と後での心身状態の変化<問 28 今後の就労意向別・問 29 現在の健康状態別>



問 31 60 歳前と後での心身状態の変化の理由（複数回答）

① ポジティブな変化を想定した理由

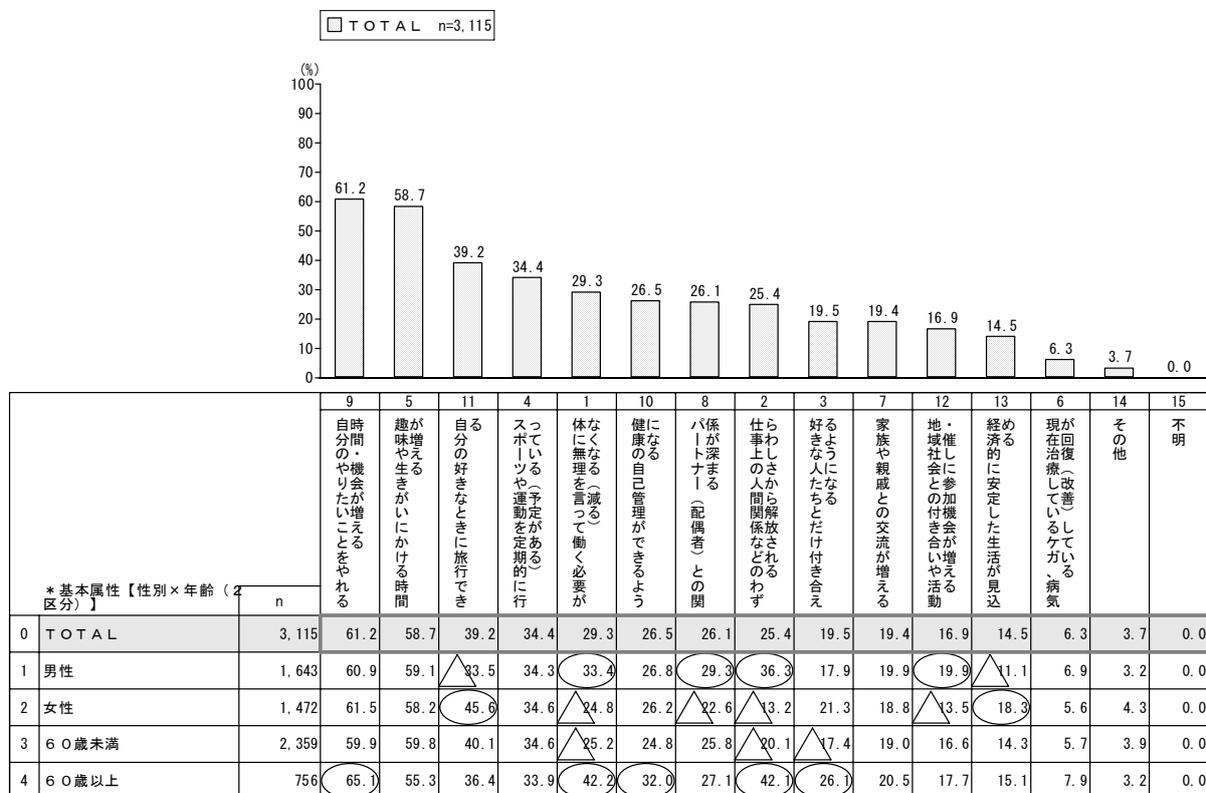
【母数：60 歳後の方が健康状態はよいとした人（問 30 参照）】

問 30 で、60 歳前後での心身状態を含む生活の変化を「かなりよい」「どちらかといえばよい」と回答している 3,115 人に、そのように回答した理由を聞いた。「自分のやりたいことをやれる時間・機会が増える」(61.2%)、「趣味や生きがいにかける時間が増える」(58.7%) がいずれも約 6 割で上位を占め、以下「自分の好きなきときに旅行できる」(39.2%)、「スポーツや運動を定期的に行っている（予定がある）」(34.4%) が 3～4 割で続いており、ポジティブな変化の要因として、時間的なゆとりが特に大きく影響している様子がうかがえる。

性別にみると、男性では「仕事上の人間関係などのわずらわしさから解放される」(36.3%) や「パートナー（配偶者）との関係が深まる」(29.3%)、「体に無理をいって働く必要がなくなる（減る）」(33.4%) など 3 割前後にのぼり、男性では人間関係の変化もポジティブな変化の一要因となっている人が多い。

年齢別にみると、60 歳以上では「仕事上の人間関係などのわずらわしさから解放される」(42.1%) や「体に無理をいって働く必要がなくなる」(42.2%)、「健康の自己管理ができるようになる」(32.0%) など 3 割を超えており、ポジティブな変化の要因として、時間的なゆとりにとどまらず、健康面も同様にその要因として考える人が多くなっている。

問 31 60 歳前と後での心身状態の変化の理由—ポジティブな変化を想定（複数回答）＜性別・年齢別＞



日常生活での移動手段における自転車の今後の利用意向別にみると、〔使用頻度増加〕層では「自分のやりたいことをやれる時間・機会が増える」(67.3%)、「趣味や生きがいにかかる時間が増える」(67.7%)、「スポーツや運動を定期的に行っている(予定がある)」(44.0%)、「健康の自己管理ができるようになる」(38.0%)、「地域社会との付き合いや活動・催しに参加機会が増える」(21.8%)が、〔新規使用開始〕層では「パートナー(配偶者)との関係が深まる」(30.4%)、「仕事上の人間関係などのわずらわしさから解放される」(32.1%)、「地域社会との付き合いや活動・催しに参加機会が増える」(20.9%)が比較的高い。

また、軽い運動・近所の散策における自転車の今後の利用意向別にみると、〔使用変化無し〕層では「趣味や生きがいにかかる時間が増える」(64.8%)、「スポーツや運動を定期的に行っている(予定がある)」(40.6%)、「体に無理を言って働く必要がなくなる(減る)」(34.5%)、「パートナー(配偶者)との関係が深まる」(31.8%)、「仕事上の人間関係などのわずらわしさから解放される」(33.4%)、「好きな人たちとだけ付き合えるようになる」(23.5%)が、〔使用頻度増加〕層では「自分のやりたいことをやれる時間・機会が増える」(69.7%)、「趣味や生きがいにかかる時間が増える」(66.4%)、「自分の好きなときに旅行できる」(45.1%)、「スポーツや運動を定期的に行っている(予定がある)」(44.0%)、「健康の自己管理ができるようになる」(35.8%)、「パートナー(配偶者)との関係が深まる」(32.8%)、「仕事上の人間関係などのわずらわしさから解放される」(30.9%)が比較的高い。

問 31 60歳前と後での心身状態の変化の理由—ポジティブな変化を想定(複数回答)  
 <問 13 今後の利用意向別>

<日常生活での移動手段>

* 今後の自転車の利用意向(使用頻度の変化) (1) 日常生活での移動手段	n	9	5	11	4	1	10	8	2	3	7	12	13	6	14	15
		自時間のやりにたい増える	趣味や生きがいにかかる時間が増える	自分の好きなときに旅行できる	スポーツや運動を定期的に行っている(予定がある)	体に無理を言って働く必要がなくなる(減る)	健康の自己管理ができるようになる	パートナー(配偶者)との関係が深まる	仕事上の人間関係などのわずらわしさから解放される	好きな人たちとだけ付き合えるようになる	家族や親戚との交流が増える	地域社会に参加機会が増える	経済的に安定した生活が見込める	現在が回復(改善)しているケガ、病気が	その他	不明
0 TOTAL	3,115	61.2	58.7	39.2	34.4	29.3	26.5	26.1	25.4	19.5	19.4	16.9	14.5	6.3	3.7	0.0
1 使用頻度変化無し	1,203	61.5	60.3	40.2	35.7	30.0	25.9	25.2	25.4	20.4	19.7	18.3	13.6	5.2	3.4	0.0
2 使用頻度増加	266	67.3	67.7	43.6	44.0	32.0	38.0	30.5	28.9	20.7	19.9	21.8	14.7	9.4	4.1	0.0
3 新規使用開始	507	63.5	58.8	38.5	35.7	31.8	27.4	30.4	32.1	18.7	20.9	20.9	12.2	6.7	2.4	0.0
4 使用頻度減・非使用	1,139	58.4	54.8	37.5	30.4	27.0	24.1	24.2	21.5	18.6	18.3	12.4	16.3	6.5	4.6	0.0

<軽い運動・近所の散策>

0 TOTAL	3,115	61.2	58.7	39.2	34.4	29.3	26.5	26.1	25.4	19.5	19.4	16.9	14.5	6.3	3.7	0.0
1 使用頻度変化無し	557	65.5	64.8	43.3	40.6	34.5	29.6	31.8	33.4	23.5	21.2	19.6	14.0	8.6	3.1	0.0
2 使用頻度増加	366	69.7	66.4	45.1	44.0	30.6	35.8	32.8	30.9	18.3	22.1	23.5	14.2	7.7	3.8	0.0
3 新規使用開始	1,013	60.1	58.9	36.3	33.7	29.7	25.8	24.9	25.4	19.0	19.2	18.0	12.3	4.4	2.8	0.0
4 使用頻度減・非使用	1,179	57.4	53.2	38.0	29.3	26.2	22.8	22.5	19.9	18.5	17.9	12.6	16.6	6.3	4.8	0.0

今後の就労意向別（問 28）にみると、〔現在働いているが、今後は働きたくない〕層では、「自分のやりたいことをやれる時間・機会が増える」「趣味や生きがいにかける時間が増える」（ともに 75.3%）が7割を超えているだけでなく、「仕事上の人間関係などのわずらわしさから解放される」（58.4%）、「自分の好きなときに旅行できる」（54.1%）、「体に無理をいって働く必要がなくなる」（45.9%）なども5割前後にのぼるなど、他の層に比べて高く、ゆとりの時間の増大や人間関係や仕事からの解放など多様なことがらをポジティブな変化に関連づけている。

現在の健康状態別（問 29）にみると、〔病気やケガなどで日常生活に支障をきたしている〕層では、全体では上位を占めるゆとりの時間の創出や生きがい活動等に関わる項目はいずれも5割未満にとどまり、「現在治療しているケガ、病気が回復している（改善している）」が64.5%にのぼって最も高くなっている。

問 31 60歳前と後での心身状態の変化の理由－ポジティブな変化を想定（複数回答）  
 <問 28 今後の就労意向別・問 29 現在の健康状態別>

<就労意向別>

Q 28 今後の就労意向	n	9	5	11	4	1	10	8	2	3	7	12	13	6	14	15
		自分のやりたいことをやれる時間・機会が増える	趣味や生きがいにかける時間が増える	自分の好きなときに旅行できる	スポーツや運動を定期的に行っている（予定がある）	体にならなくなる（減る）に無理を言わずに働く必要がある	健康の自己管理ができるようになる	バトナー（配偶者）との関係が深まる	仕事上の人間関係などから解放される	好きな人たちとだけ付き合い合えるようになる	家族や親戚との交流が増える	地域・社会に参加の機会が増える	経済的に安定した生活が見込める	現在治療（改善）しているケガ、病気が回復している	その他	不明
0 TOTAL	3,115	61.2	58.7	39.2	34.4	29.3	26.5	26.1	25.4	19.5	19.4	16.9	14.5	6.3	3.7	0.0
1 現在も働いており、今後も働き続けたい	1,774	58.3	53.3	32.5	32.9	28.2	25.1	25.0	21.8	15.2	19.2	17.6	11.3	5.7	4.3	0.0
2 現在は働いていないが、今後機会があれば働きたい	389	61.7	62.5	40.6	34.2	27.0	32.9	25.7	28.3	23.9	20.3	20.8	12.1	8.7	3.3	0.0
3 現在働いているが、今後は働きたくない	255	75.3	75.3	54.1	32.5	45.9	28.2	30.2	58.4	27.8	20.4	19.2	15.3	5.9	2.0	0.0
4 現在働いておらず、今後も働きたくない	697	63.1	64.1	50.2	39.3	27.5	25.8	27.8	20.9	25.1	19.1	11.9	23.5	6.3	3.0	0.0

<健康状態別>

	n	9	5	11	4	1	10	8	2	3	7	12	13	6	14	15
0 TOTAL	3,115	61.2	58.7	39.2	34.4	29.3	26.5	26.1	25.4	19.5	19.4	16.9	14.5	6.3	3.7	0.0
1 健康状態は良好で特に不安なところはない	1,525	59.7	57.0	39.4	36.5	26.2	24.7	24.5	22.2	18.4	19.1	15.5	15.5	1.5	4.6	0.0
2 特に症状はないが生活習慣病等、健康面に不安がある	943	64.4	61.8	39.8	32.7	33.0	28.0	27.5	30.5	19.2	20.8	20.0	12.8	5.1	3.2	0.0
3 持病があるが日常生活に支障はない	616	61.2	58.4	38.6	32.8	31.5	28.7	28.7	25.2	22.7	18.2	15.9	14.3	16.9	2.6	0.0
4 病気やケガなどで日常生活に支障をきたしている	31	35.5	48.4	25.8	19.4	32.3	25.8	12.9	32.3	19.4	16.1	3.2	16.1	64.5	0.0	0.0

## ②ネガティブな変化を想定した理由

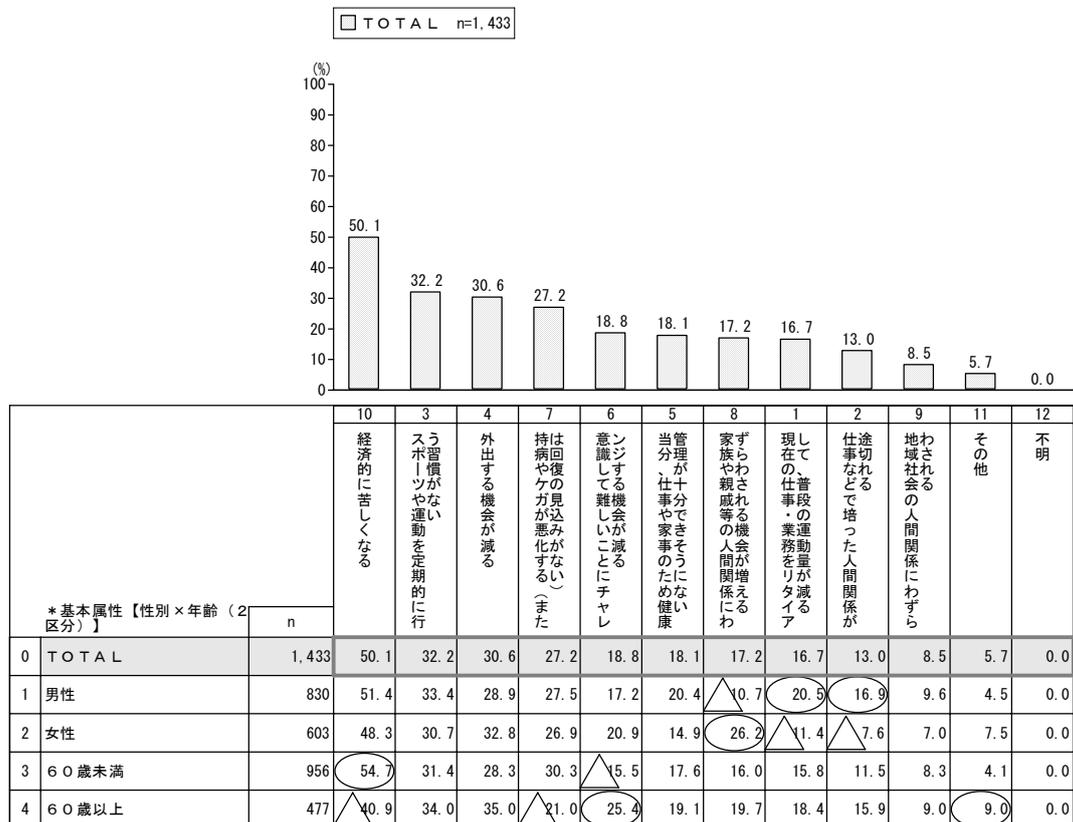
【母数：60歳後の方が健康状態は悪化するとした人（問30参照）】

問30で、60歳前後での心身状態を含む生活の変化を「かなり思わしくない」「どちらかといえ  
ば思わしくない」と回答している1,433人に、そのように回答した理由を聞いた。「経済的に苦し  
くなる」が50.1%と、約半数にのぼって最も高く、これに「スポーツや運動を定期的に行う習慣  
がない」(32.2%)、「外出する機会が減る」(30.6%)が約3割で続いており、ネガティブな変化  
の要因として、経済的なことに加え、運動機会や外界との関わりの欠落等なども影響している様  
子がうかがえる。

性別にみると、男性の方が高いのは、「現在の仕事・業務をリタイアして、普段の運動量が減る」  
(男性：20.5%、女性：11.4%)「仕事などで培った人間関係が途絶える」(男性：16.9%、  
女性：7.6%)など退職に関わる内容である。一方、女性では「家族や親戚等の人間関係にわずら  
わされる機会が増える」(26.2%)が、男性(10.7%)に比べて顕著に高くなっている。

年齢別にみると、60歳未満では「経済的に苦しくなる」が54.7%と、60歳以上(40.9%)に  
比べて顕著に高いほか、「持病やケガが悪化する、または回復の見込みがない」(30.3%)も3割  
を超えて3位を占める。一方、60歳以上では、「経済的に苦しくなる」(40.9%)に続いて「外出  
する機会が減る」(35.0%)、「スポーツや運動を定期的に行う習慣がない」(34.0%)、「意識して  
難しいことにチャレンジする機会が減る」(25.4%)が3割前後にのぼっており、60歳未満では  
生活状況等の悪化がネガティブな変化の主たる理由となっているのに対し、60歳以上では外界と  
の交流や生きがいの欠落等を理由とする人も多い。

問31 60歳前と後での心身状態の変化の理由－ネガティブな変化を想定（複数回答）＜性別・年齢別＞



日常生活での移動手段における自転車の今後の利用意向別にみると、〔使用頻度増加〕層では「経済的に苦しくなる」(59.7%)が、〔新規使用開始〕層では「現在の仕事・業務をリタイヤして、普段の運動量が減る」(23.7%)、「地域社会の人間関係にわずらわされる」(12.8%)が比較的高い。

また、軽い運動・近所の散策における自転車の今後の利用意向別にみると、〔使用頻度増加〕層では「経済的に苦しくなる」(61.4%)、「スポーツや運動を定期的に行う習慣がない」(41.5%)、「外出する機会が減る」(39.2%)、「意識して難しいことにチャレンジする機会が減る」(29.0%)、「仕事などで培った人間関係が途切れる」(21.6%)が他の層よりも比較的高い。

問 31 60歳前と後での心身状態の変化の理由－ネガティブな変化を想定（複数回答）  
 <問 13 今後の利用意向別>

<日常生活での移動手段>

	*今後の自転車の利用意向（使用頻度の変化）(1)日 日常生活での移動手段	n	10	3	4	7	6	5	8	1	2	9	11	12
			経済的に苦しくなる	スポーツ習慣がない 運動を定期的に行	外出する機会が減る	持は回復の見込みがない (また)	意識して難しいことにチャレ	管理が十分できそうにない 健康	家族や親戚等の人間関係にわ	ずらわされる機会が増える	現して、普段の運動量が減る 仕事・業務をリタイヤ	途切れる 仕事などで培った人間関係が	地域社会の人間関係にわずら	その他
0	TOTAL	1,433	50.1	32.2	30.6	27.2	18.8	18.1	17.2	16.7	13.0	8.5	5.7	0.0
1	使用頻度変化無し	493	48.1	32.3	31.4	25.8	18.5	19.1	16.4	17.4	11.8	7.9	5.9	0.0
2	使用頻度増加	134	59.7	35.1	36.6	24.6	22.4	23.9	21.6	20.1	17.9	10.4	5.2	0.0
3	新規使用開始	257	52.1	33.1	35.0	26.8	23.0	19.8	19.8	23.7	17.1	12.8	3.5	0.0
4	使用頻度減・非使用	549	48.6	31.1	26.2	29.3	16.2	14.9	15.7	11.8	10.9	6.6	6.7	0.0

<軽い運動・近所の散策>

0	TOTAL	1,433	50.1	32.2	30.6	27.2	18.8	18.1	17.2	16.7	13.0	8.5	5.7	0.0
1	使用頻度変化無し	239	50.2	32.2	34.7	26.8	20.5	20.1	16.3	21.3	12.6	11.3	6.7	0.0
2	使用頻度増加	176	61.4	41.5	39.2	20.5	29.0	22.2	21.0	22.2	21.6	10.8	3.4	0.0
3	新規使用開始	457	47.7	32.8	30.6	26.0	17.1	19.0	15.5	19.5	13.6	9.2	4.6	0.0
4	使用頻度減・非使用	561	48.5	28.9	26.0	30.5	16.2	15.2	17.8	10.7	10.0	6.1	7.0	0.0

今後の就労意向別（問 28）にみると、「現在は働いていないが、今後機会があれば働きたい」層では、「経済的に苦しくなる」（62.3%）に加えて、「外出する機会が減る」（47.5%）や「意識して難しいことにチャレンジする機会が減る」（25.0%）も他の層に比べて高く、生活の固定化がネガティブな変化につながると考える人が多い。一方、「現在働いておらず、今後も働きたくない」層では、全体で1位の「経済的に苦しくなる」は36.1%と低く、「持病やケガが悪化する、または回復の見込みがない」が34.8%にのぼる。

現在の健康状態別（問 29）にみると、「持病やケガが悪化する、または回復の見込みがない」は、健康度の低い層ほど顕著に高くなっており、「病気やケガなどで日常生活に支障をきたしている」層では73.4%と、「経済的に苦しくなる」（47.7%）を大きく上回っている。また、「特に症状はないが生活習慣病等、健康面に不安がある」層では、「スポーツや運動を定期的に行う習慣がない」（41.9%）が4割を超えており、日常の運動不足をネガティブな変化の要因とする人が一層多くなっている。

問 31 60歳前と後での心身状態の変化の理由－ネガティブな変化を想定（複数回答）  
 <問 28 今後の就労意向別・問 29 現在の健康状態別>

<就労意向別>

		10	3	4	7	6	5	8	1	2	9	11	12	
		経済的に苦しくなる	スポーツや運動を定期的に行う習慣がない	外出する機会が減る	持病やケガが悪化する（または回復の見込みがない）	意識して難しいことにチャレンジする機会が減る	管理が十分できそうにない健康	家族や親戚等の人間関係にわずらわされる機会が増える	現在の仕事・業務をリタイア	途切れるなど培った人間関係が	地域社会の人間関係にわずらわされる	その他	不明	
Q 2 8	今後の就労意向	n												
0	TOTAL	1,433	50.1	32.2	30.6	27.2	18.8	18.1	17.2	16.7	13.0	8.5	5.7	0.0
1	現在も働いており、今後も働きたい	770	50.6	33.6	23.6	24.7	16.8	26.2	13.2	18.1	15.5	9.1	4.7	0.0
2	現在は働いていないが、今後機会があれば働きたい	204	62.3	30.9	47.5	26.5	25.0	7.8	22.5	17.2	18.6	8.3	4.4	0.0
3	現在働いているが、後は働きたくない	143	60.8	29.4	32.2	25.2	13.3	16.8	14.7	25.9	9.1	7.7	6.3	0.0
4	現在働いておらず、今後も働きたくない	316	36.1	31.0	35.8	34.8	22.2	5.4	24.7	8.9	5.1	7.6	8.9	0.0

<健康状態別>

		10	3	4	7	6	5	8	1	2	9	11	12	
		経済的に苦しくなる	スポーツや運動を定期的に行う習慣がない	外出する機会が減る	持病やケガが悪化する（または回復の見込みがない）	意識して難しいことにチャレンジする機会が減る	管理が十分できそうにない健康	家族や親戚等の人間関係にわずらわされる機会が増える	現在の仕事・業務をリタイア	途切れるなど培った人間関係が	地域社会の人間関係にわずらわされる	その他	不明	
Q 2 9	現在の健康状態	n												
0	TOTAL	1,433	50.1	32.2	30.6	27.2	18.8	18.1	17.2	16.7	13.0	8.5	5.7	0.0
1	健康状態は良好で特に不安なところはない	212	51.4	28.3	32.5	4.7	20.3	15.6	20.8	19.3	15.1	7.5	10.8	0.0
2	特に症状はないが生活習慣病等、健康面に不安がある	616	52.4	41.9	33.0	13.1	21.3	22.4	17.9	19.0	14.4	10.1	3.7	0.0
3	持病があるが日常生活に支障はない	496	47.2	25.2	27.8	44.2	16.3	15.5	15.9	14.5	11.7	7.1	6.3	0.0
4	病気やケガなどで日常生活に支障をきたしている	109	47.7	17.4	25.7	73.4	12.8	10.1	12.8	8.3	6.4	8.3	4.6	0.0

### (3) 自転車活用促進のための環境整備

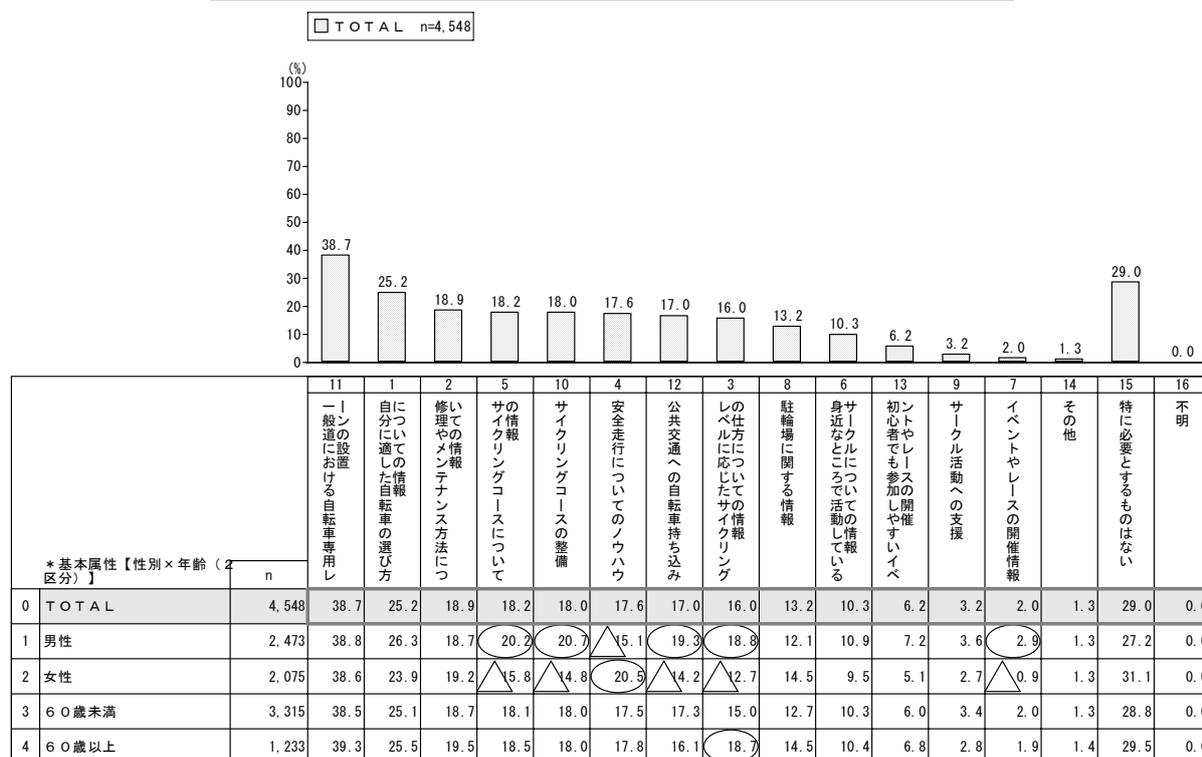
#### 問 32 自転車活用に必要な環境や情報（複数回答）

健康づくりや余暇活動のために自転車を活用するのにどのような環境や情報が必要であるか聞いたところ、「一般道における自転車専用レーンの設置」(38.7%)が約4割にのぼって最も高く、次いで「自分に適した自転車の選び方についての情報」が25.2%となっている。以下、「修理やメンテナンス方法についての情報」(18.9%)、「サイクリングコースについての情報」(18.2%)、「サイクリングコースの整備」(18.0%)などが続いており、自転車道路の整備に関わる内容や適切な自転車の確保と整備に関わる内容が上位に多く見受けられる。

性別にみると、男性では、全体では18%台の「サイクリングコースの整備」(20.7%)と「サイクリングコースについての情報」(20.2%)が2割を超え、3～4位を占めているのに対し、女性では「安全走行についてのノウハウ」(20.5%)が2割を超えて3位を占める。

年齢別では顕著な差はみられない。

問 32 自転車活用に必要な環境や情報（複数回答）＜性別・年齢別＞



日常生活での移動手段における自転車の今後の利用意向別にみると、〔使用頻度変化無し〕層と比較して、〔使用頻度増加〕層では「自分に適した自転車の選び方についての情報」(35.0%)、「修理やメンテナンス方法についての情報」(29.8%)、「サイクリングコースの整備」(24.5%)「安全走行についてのノウハウ」(25.0%)、「公共交通への自転車持ち込み」(24.3%)、「レベルに応じた細工輪舞の仕方についての情報」(23.8%)、「初心者でも参加しやすいイベントやレースの開催」(10.3%)が高く、〔新規使用開始〕層では「駐輪場に関する情報」(11.8%)、〔使用頻度減・非使用〕層では全ての項目で低くなっている。

また、軽い運動・近所の散策における自転車の今後の利用意向別にみると、〔使用頻度変化無し〕層と比較して、〔使用頻度増加〕層では「一般道における自転車専用レーンの設置」(54.6%)、「自分に適した自転車の選び方についての情報」(35.2%)、「修理やメンテナンス方法についての情報」(30.1%)、「サイクリングコースについての情報」(29.7%)、「サイクリングコースの整備」(28.2%)、「レベルに応じたサイクリングの仕方についての情報」(29.7%)、「初心者でも参加しやすいイベントやレースの開催」(12.4%)が高く、〔新規使用開始〕層では「一般道における自転車専用レーンの設置」(42.0%)、「サイクリングコースの整備」(18.5%)、「公共交通への自転車持ち込み」(18.0%)、「イベントやレースの開催情報」(1.8%)、〔使用頻度減・非使用〕層では全ての項目で低くなっている。

問 32 自転車活用に必要環境や情報（複数回答）  
 <問 13 今後の利用意向別>

<日常生活での移動手段>

* 今後の自転車の利用意向（使用頻度の変化） 日常生活での移動手段	n	11	1	2	5	10	4	12	3	8	6	13	9	7	14	15	16
		一般道における自転車専用レーンの設置	自分に適した自転車の選び方	修理やメンテナンス方法についての情報	サイクリングコースについての情報	サイクリングコースの整備	安全走行についてのノウハウ	公共交通への自転車持ち込み	レベルに応じたサイクリング	駐輪場に関する情報	身近なところで活動している	初心者でも参加しやすいイベントやレースの開催	サイクル活動への支援	イベントやレースの開催情報	その他	特に必要とするものはない	不明
0 TOTAL	4,548	38.7	25.2	18.9	18.2	18.0	17.6	17.0	16.0	13.2	10.3	6.2	3.2	2.0	1.3	29.0	0.0
1 使用頻度変化無し	1,696	42.9	28.2	23.2	20.5	18.8	19.9	19.7	16.7	16.3	12.6	7.1	3.7	2.3	0.9	22.3	0.0
2 使用頻度増加	400	47.5	35.0	29.8	23.3	24.5	25.0	24.3	23.8	20.0	16.0	10.3	5.5	4.3	1.3	13.0	0.0
3 新規使用開始	764	46.3	28.4	21.9	21.6	20.2	19.0	19.9	19.1	11.8	11.6	6.5	3.5	1.8	1.0	19.1	0.0
4 使用頻度減・非使用	1,688	29.0	18.4	10.7	13.2	14.7	12.9	11.1	12.1	9.0	6.0	4.2	2.1	1.2	1.8	43.9	0.0

<軽い運動・近所の散策>

0 TOTAL	4,548	38.7	25.2	18.9	18.2	18.0	17.6	17.0	16.0	13.2	10.3	6.2	3.2	2.0	1.3	29.0	0.0
1 使用頻度変化無し	796	46.7	27.6	24.5	23.1	22.6	20.9	23.2	20.0	17.5	13.9	7.7	3.5	3.1	0.9	19.1	0.0
2 使用頻度増加	542	54.6	35.2	30.1	29.7	28.2	24.4	27.7	29.7	14.4	16.1	12.4	4.4	4.4	0.9	9.8	0.0
3 新規使用開始	1,470	42.0	29.7	22.0	21.0	18.5	20.3	18.0	17.1	14.8	12.3	6.5	4.1	1.8	1.0	19.9	0.0
4 使用頻度減・非使用	1,740	27.4	17.1	10.3	9.9	12.2	11.7	9.9	9.0	9.5	5.1	3.4	2.0	0.9	1.9	47.1	0.0

最近の健康状態別（問 29）にみると、〔特に症状はないが生活習慣病等、健康面に不安がある〕層では、「一般道における自転車専用レーンの設置」（42.4%）が4割を超えているほか、多くの項目において他の層に比べて若干高くなっており、自転車道路の整備やサイクリング等に関する情報の必要性を感じている人が多くなっている。

60歳前後での心身状態の変化別（問 30）にみると、「サイクリングコースの整備」「公共交通への自転車持ち込み」「サイクリングコースについての情報」「レベルに応じたサイクリングの仕方についての情報」といったサイクリングに関わる内容は、心身状態が良い層ほど顕著に高くなっている。

問 32 自転車活用に必要環境や情報（複数回答）  
 <問 29 現在の健康状態別・問 30 60歳前後での心身状態の変化別>

<健康状態別>

Q29 最近の健康状態	n	11	1	2	5	10	4	12	3	8	6	13	9	7	14	15	16
		一般道における自転車専用レーンの設置	自分について適した自転車の選び方	修理やメンテナンス方法について	サイクリングコースについて	サイクリングコースの整備	安全走行についてのノウハウ	公共交通への自転車持ち込み	サイクリングコースの整備	レベルに応じたサイクリング	駐輪場に関する情報	身近なところで活動している	初心者でも参加しやすいイベントやレースの開催	サイクリング活動への支援	イベントやレースの開催情報	その他	特に必要とするものはない
0 TOTAL	4,548	38.7	25.2	18.9	18.2	18.0	17.6	17.0	16.0	13.2	10.3	6.2	3.2	2.0	1.3	29.0	0.0
1 健康状態は良好で特に不安なところはない	1,737	36.0	24.2	19.1	18.5	17.8	15.5	17.3	15.0	12.5	9.0	6.3	2.8	2.4	0.9	30.6	0.0
2 特に症状はないが生活習慣病等、健康面に不安がある	1,559	42.4	27.6	19.5	20.0	21.3	19.4	18.0	19.1	13.7	13.3	7.1	3.9	2.4	1.4	24.6	0.0
3 持病があるが日常生活に支障はない	1,112	38.7	24.3	18.4	16.1	14.9	18.7	15.5	13.8	13.9	8.7	5.2	3.1	0.8	1.3	31.5	0.0
4 病气やケガなどで日常生活に支障をきたしている	140	31.4	17.9	14.3	10.0	7.9	14.3	13.6	11.4	9.3	5.7	4.3	2.1	1.4	5.0	37.9	0.0

<心身状態の変化別>

	n	11	1	2	5	10	4	12	3	8	6	13	9	7	14	15	16
0 TOTAL	4,548	38.7	25.2	18.9	18.2	18.0	17.6	17.0	16.0	13.2	10.3	6.2	3.2	2.0	1.3	29.0	0.0
1 かなりよい	349	35.2	25.2	20.3	20.3	21.5	15.8	19.2	14.0	14.0	9.7	7.7	4.0	3.2	3.2	30.9	0.0
2 どちらかといえばよい	2,766	38.3	25.7	20.0	19.3	18.1	17.3	17.2	16.8	12.5	11.0	6.5	3.1	2.1	0.9	28.8	0.0
3 どちらかといえば思わしくない	1,361	41.0	24.4	16.5	15.8	17.4	18.9	16.3	15.1	14.4	9.0	5.3	3.3	1.4	1.6	28.3	0.0
4 かなり思わしくない	72	29.2	22.2	16.7	9.7	6.9	13.9	9.7	13.9	11.1	9.7	6.9	4.2	1.4	1.4	40.3	0.0

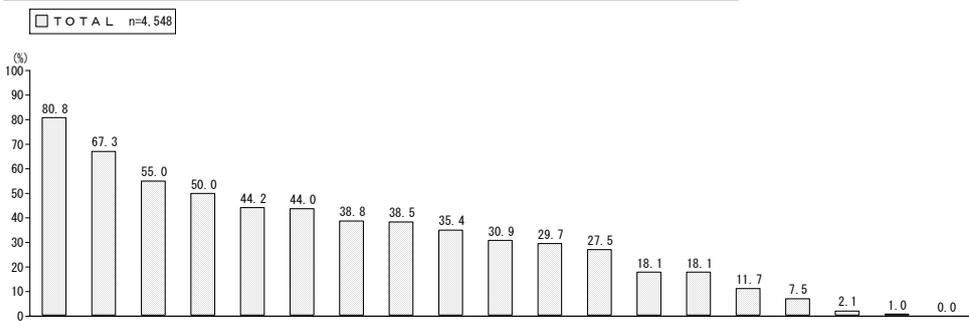
### 問 33 自転車に対するイメージ（複数回答）

自転車に対して抱かれているイメージは、「誰でも手軽に使える」が 80.8%にのぼって最も高い。以下、「健康維持・増進に手ごろな運動である」（67.3%）、「二酸化炭素を出さず環境にやさしい」（55.0%）、「免許もいらず、車やバイクに比べて制限が少ない」（50.0%）がいずれも 5 割を超えて続いており、長所である項目が上位を占めている。なお、短所の中で最も回答が多いのは「車やバイクと走っていると危ないと感じることがある」（44.2%）や「季節や天候によって使えないことが多い」（44.0%）で、いずれも 4 割を超えている。

性別にみると、ほとんどの項目において女性の方が高い。しかし、「健康維持・増進に手ごろな運動である」（男性：69.9%、女性：64.1%）、「自転車に乗っている人は健康的だ」（男性：19.0%、女性：17.1%）、「スポーツとして魅力がある」（男性：14.1%、女性：8.8%）など、健康や体力増進、スポーツをイメージする人は男性の方が多くなっている。

年齢別にみると、「放置自転車など、社会的に迷惑な存在だ」は、60 歳以上では 39.5%と、60 歳未満（33.9%）に比べて高くなっている。

問 33 自転車に対するイメージ（複数回答）＜性別・年齢別＞



*基本属性【性別×年齢（2区分）】	n	イメージ																		
		2	3	5	1	13	10	12	14	16	4	15	11	17	7	6	8	9	18	19
0 TOTAL	4,548	80.8	67.3	55.0	50.0	44.2	44.0	38.8	38.5	35.4	30.9	29.7	27.5	18.1	18.1	11.7	7.5	2.1	1.0	0.0
1 男性	2,473	79.6	69.9	60.4	46.9	41.4	39.7	30.8	37.7	36.8	28.4	26.4	23.7	22.5	19.0	14.1	7.6	1.9	1.3	0.0
2 女性	2,075	82.3	64.1	60.6	53.8	47.5	49.2	48.3	39.3	33.8	33.9	33.6	31.9	24.9	17.1	8.8	7.3	2.4	0.8	0.0
3 60歳未満	3,315	81.1	67.1	55.7	50.7	43.8	44.3	39.9	38.0	33.9	30.8	29.6	28.5	18.6	17.6	11.3	7.6	2.2	1.1	0.0
4 60歳以上	1,233	80.0	67.8	53.3	48.3	45.3	43.3	35.7	39.7	39.3	31.3	30.1	24.6	17.0	19.5	12.7	7.2	1.9	0.9	0.0

日常生活での移動手段における自転車の今後の利用意向別にみると、〔使用頻度変化無し〕層では「誰にでも手軽に仕える」(88.4%)、「CO2を出さず環境にやさしい」(59.4%)、「免許もいらず、車やバイクに比べて制限が少ない」(59.4%)、「乗ると心身ともに爽快になる」(34.7%)が、〔使用頻度増加〕層では「健康維持・増進に手ごろな運動である」(85.3%)、「CO2を出さず環境にやさしい」(66.0%)、「乗ると心身ともに爽快になる」(48.3%)が、〔新規使用開始〕層では「健康維持・増進に手ごろな運動である」(80.5%)、「季節や天候によって使えないことが多い」(48.4%)が比較的高い。

また、軽い運動・近所の散策における自転車の今後の利用意向別にみると、〔使用頻度変化無し〕層では「誰でも手軽に使える」(85.7%)、「健康維持・増進に手ごろな運動である」(79.6%)、「CO2を出さず環境にやさしい」(60.8%)、「免許もいらず、車やバイクに比べて制限が少ない」(58.3%)、「放置自転車など、社会的に迷惑な存在だ」(39.3%)、「乗ると心身ともに爽快になる」(44.5%)が、〔使用頻度増加〕層では「健康維持・増進に手ごろな運動である」(89.5%)、「CO2を出さず環境にやさしい」(63.3%)、「車やバイクと走っていると危ないと感じることがある」(50.4%)、「乗ると心身ともに爽快になる」(49.4%)が、〔新規使用開始〕層では「健康維持・増進に手ごろな運動である」(75.1%)が、〔使用頻度減・非使用〕層では「坂道などが多いと乗りたくない」(46.8%)、「運転マナーの悪い人が多い」(42.0%)、「歩いていると危ないと感じることがある」(34.8%)が比較的高い。

**問 33 自転車に対するイメージ（複数回答）**  
 <問 13 今後の利用意向別>

<日常生活での移動手段>

* 今後の自転車の利用意向（使用頻度の変化）(1)日 日常生活での移動手段	n	2	3	5	1	13	10	12	14	16	4	15	11	17	7	6	8	9	18	19
		誰でも手軽に使える	健康維持・増進に手ごろな運動である	CO2を出さず環境にやさしい	免許もいらず、車やバイクに比べて制限が少ない	車やバイクと走っていると危ないと感じることがある	季節や天候によって使えないことが多い	坂道などが多いと乗りたくない	運転マナーの悪い人が多い	放置自転車など、社会的に迷惑な存在だ	乗ると心身ともに爽快になる	歩いていると危ないと感じることがある	荷物など多く運べない	引っかけや盗難など防犯面に対する心配がある	自転車に乗っている人は健康的だ	スポーツとして魅力がある	自転車に乗っている人は環境に優しい	疲れるのであまり乗りたくない	その他	不明
0 TOTAL	4,548	80.8	67.3	55.0	50.0	44.2	44.0	38.8	38.5	35.4	30.9	29.7	27.5	18.1	18.1	11.7	7.5	2.1	1.0	0.0
1 使用頻度変化無し	1,696	88.4	69.8	59.4	59.4	41.9	40.6	30.7	37.6	37.4	34.7	26.8	25.4	19.0	17.6	11.8	9.1	0.8	0.8	0.0
2 使用頻度増加	400	81.5	85.3	66.0	53.3	47.8	46.5	34.8	38.0	33.3	48.3	27.8	30.5	17.8	26.8	20.5	13.5	0.3	0.5	0.0
3 新規使用開始	764	79.7	80.5	56.9	45.5	45.4	48.4	37.2	37.3	33.8	33.9	27.7	28.9	19.0	19.6	12.7	9.6	1.3	1.0	0.0
4 使用頻度減・非使用	1,688	3.6	4.5	7.2	11.9	45.1	44.8	48.8	39.9	34.6	21.6	34.0	28.1	17.0	15.9	8.9	3.5	4.3	1.4	0.0

<軽い運動・近所の散策>

0 TOTAL	4,548	80.8	67.3	55.0	50.0	44.2	44.0	38.8	38.5	35.4	30.9	29.7	27.5	18.1	18.1	11.7	7.5	2.1	1.0	0.0
1 使用頻度変化無し	796	85.7	79.6	60.8	58.3	44.8	42.0	31.0	39.6	39.3	44.5	28.9	26.5	18.7	24.1	15.3	12.3	0.3	1.1	0.0
2 使用頻度増加	542	80.3	89.5	63.3	49.6	50.4	47.0	32.8	39.1	34.9	49.4	27.9	26.9	19.6	28.0	21.4	15.5	0.2	1.3	0.0
3 新規使用開始	1,470	82.7	75.1	56.9	50.5	42.0	43.3	35.6	33.4	33.1	31.2	24.8	25.3	15.4	16.2	10.9	6.9	1.3	0.5	0.0
4 使用頻度減・非使用	1,740	7.2	8.1	8.3	16.0	43.8	44.6	46.8	42.0	35.7	18.7	34.8	29.9	19.8	13.9	7.6	3.3	4.3	1.4	0.0

最近の健康状態別（問 29）にみると、回答の多い順に関しては顕著な差はみられないが、全体で2位の「健康維持・増進に手ごろな運動である」は、〔特に症状はないが生活習慣病等、健康面に不安がある〕層では72.7%と、若干高くなっている。

60歳前後での心身状態の変化別（問 30）にみると、1～4位の4つの長所に関しては顕著な差はみられない。しかし、以下続く「季節や天候によって使えないことが多い」「坂道などが多いと乗りたくない」「放置自転車など、社会的に迷惑な存在だ」「荷物などを多く運べない」といった短所に関しては、心身状態が悪い層ほど高くなっている。一方、全体では1～3割前後にとどまる「乗ると心身ともに爽快になる」「自転車に乗っている人は健康的だ」「自転車に乗っている人は環境に対する関心が高い」といった長所に関しては、心身状態が良い層ほど高くなっている。

**問 33 自転車に対するイメージ（複数回答）**  
 <問 29 現在の健康状態別・問 30 60歳前後での心身状態の変化別>

<健康状態別>

Q 2 9 最近の健康状態	n	2	3	5	1	13	10	12	14	16	4	15	11	17	7	6	8	9	18	19
		誰でも手軽に使える	健康維持・増進に手ごろな運動である	CいO2を排出せず環境にやさしい	免許も取得が簡単なバイクに比べて制動が弱いバイクに比べて走っていることが危険	季節や天候によって使えない	坂道などが多いと乗りたくない	放置自転車など、社会的に迷惑な存在だ	運転マナーの悪い人が多い	感念な存在だ	乗ると心身ともに爽快になる	歩いていると危ないと感じる	荷物などを多く運べない	引いたくや盗難など防犯面に不安がある	自転車に乗っている人は健康的だ	スポーツとして魅力がある	自転車に乗っている人は健康的だ	乗ると心身ともに爽快になる	乗ると心身ともに爽快になる	乗ると心身ともに爽快になる
0 TOTAL	4,548	80.8	67.3	55.0	50.0	44.2	44.0	38.8	38.5	35.4	30.9	29.7	27.5	18.1	18.1	11.7	7.5	2.1	1.0	0.0
1 健康状態は良好で特に不安なところはない	1,737	81.3	64.0	52.2	49.5	39.9	39.9	33.2	34.3	32.0	30.8	26.8	24.2	15.4	17.6	11.4	7.4	1.4	0.8	0.0
2 特に症状はないが生活習慣病等、健康面に不安がある	1,559	81.1	72.7	57.0	50.7	48.7	46.6	41.6	40.5	38.2	32.7	29.5	29.6	19.6	18.6	12.6	8.6	2.0	1.2	0.0
3 持病があるが日常生活に支障はない	1,112	80.6	65.5	56.6	50.0	44.8	46.5	42.9	40.7	36.3	29.3	33.5	28.9	20.6	18.1	11.1	6.2	3.2	1.2	0.0
4 病氣やケガなどで日常生活に支障をきたしている	140	75.0	61.4	55.7	50.0	42.1	46.4	42.9	50.0	39.3	25.0	37.1	32.9	17.1	19.3	9.3	6.4	4.3	1.4	0.0

<心身状態の変化別>

	n	2	3	5	1	13	10	12	14	16	4	15	11	17	7	6	8	9	18	19
0 TOTAL	4,548	80.8	67.3	55.0	50.0	44.2	44.0	38.8	38.5	35.4	30.9	29.7	27.5	18.1	18.1	11.7	7.5	2.1	1.0	0.0
1 かなりよい	349	76.2	70.8	54.7	51.0	43.3	39.3	31.5	38.4	36.1	39.9	30.4	23.8	18.3	25.5	15.2	11.1	1.7	1.4	0.0
2 どちらかといえばよい	2,766	82.1	66.9	54.7	48.6	42.5	41.6	36.7	36.6	32.9	30.4	28.2	25.3	16.7	17.5	11.8	7.2	1.3	0.8	0.0
3 どちらかといえば思わしくない	1,361	79.9	67.5	56.1	52.4	48.1	49.9	44.9	42.3	39.9	29.9	32.4	31.9	21.2	17.4	10.4	7.0	3.6	1.4	0.0
4 かなり思わしくない	72	72.2	61.1	50.0	56.9	40.3	51.4	44.4	37.5	50.0	26.4	31.9	44.4	13.9	16.7	12.5	6.9	6.9	2.8	0.0

問 34 自転車を利用する上で欲しい機能・サービス等（自由回答）

自転車を利用する上で欲しい機能・サービスやインターネットで提供したほうがよいと思われる情報・アイデアについての具体的な記述を項目別に整理し、特徴的な意見をそれぞれまとめた。内容は以下の通り。

自転車の機能・装備に関することー1		
主な内容	性別・年齢	記入例(問38 自転車の機能やサービスに関する要望・アイデア)
GPS機能(ナビ機能)の装備	女性,60歳以上	自分の所在を示せる手がかりになる何かがあるとよい。
	男性,60歳未満	GPS機能装備が内蔵されたら嬉しい。
	男性,60歳未満	GPSをつかったナビ付き自転車。バッテリーを搭載した電動自転車。
	男性,60歳未満	音声ナビゲーター。
	男性,60歳未満	快適な場所まで車でで行けるシステム。スイスなどは電車で自転車に自転車に快適に乗れて、自転車道も整備されているが、日本も同様になればよい。カーナビが付けば便利。
	女性,60歳未満	使わないときは折りたたんでおける後ろに取り付けるカゴ。カーナビのように地図を乗りながら見ることが出来る機能。
	女性,60歳未満	自歩道の工事状況が分かる方法があれば。年度末は工事の所が多い、その都度警備の人に歩くように言われる。それとカーナビならぬバイクナビがあれば超嬉しいです。
雨の日対策	女性,60歳未満	雨の傘や夏の日傘がさせるような装置があるといいと思います。
	女性,60歳未満	やはり天候によっては危険な時がある。例えば、雨の時は雨合羽を着ると動きが鈍くなったり、フードのかぶり具合によっては前方が見えにくくなったりする。また、風の強い時も転倒の危険がある。何か雨や風に対する良いものがあれば嬉しい。
	女性,60歳未満	以前、傘をつけた自転車をテレビで見たことがあるが、もっと宣伝したら良いと思う。商品化されてるかどうかは知らないですが。
	女性,60歳以上	雨が急に降り出した時などに傘がわりに体を安全にカバーしてくれる機能。
	女性,60歳未満	雨が降ったとき以前風よけフードの様な物を買って重宝しましたが今はどこにも売っていません。片手で傘をさし使用するものですが、荷物とスカートの前がぬれず良かったです。
	女性,60歳未満	雨が降り出したら透明のアクリルのようなガードがさっと出てきて、濡れずにすむ機能。
	女性,60歳未満	雨の日に、レインコートを着ていて足元がぬれるので足元がぬれないように工夫があればいいと思う。
	女性,60歳未満	雨の日に濡れないために、屋根のようなものを取り付けられることが出来るといいな〜って思っています。オープンカーのように屋根を付けたりしまったり…。ピザやさんのバイクのような感じ…。違反になるのでしょうか？
	女性,60歳未満	三輪で荷物が運べてモーターがついている。雨の日に荷物が濡れない鍵のかかる荷物入れ。
	女性,60歳未満	日光湿疹が出来やすいの日よけや雨よけの自転車が欲しいです。今は自動車で活動していますが、よく無灯火の自転車には困りものです。最近の自転車のことはよくわからないのですが、ハンドルにも派手な可愛い反射板等がついていれればいいとか ライトをLEDの電球にするとか 走った距離や消費カロリーが出るといいとか…これからまた自転車にお世話になると思いますので、よろしく願います。
	女性,60歳未満	風よけフード、両手はハンドルを持っていて使える雨よけフード(スポーツカーのように、雨が降り出したら、フードが出せると良いなあ)。
男性,60歳以上	両手をハンドルから離さずに、コウモリ傘がさせるような自転車が良い。	
高齢者・障害者向け機能の充実	女性,60歳未満	年齢にそった自転車があるといいな。体力や身長が違う。乗りやすい、安全な自転車です。自転車にも交通规则があるはずなのに、あぶない走行をしている人が多い。老若男女共です。
	女性,60歳未満	老齢になっても軽快に載れるハンドル操作と安全機能を備えて欲しい。
	男性,60歳未満	下肢機能障害者でも大きく疲労感を軽減できる車体構造。ほとんどの軽快車は、ハンドルの取り付け位置が低すぎて、前傾姿勢をとることに苦痛を感じる。
	女性,60歳未満	年を取ると反射神経が鈍るので、危険を察知して自動で止まる自転車があれば良い。
ウインカー機能の装備	女性,60歳未満	右折や左折をするときに、車のように何か合図を出せるものがついているとよいと思う。
	男性,60歳未満	乾電池を使用しない方向指示器、サドルの座りごちの改善。
	女性,60歳未満	方向指示器のようなものがついてみんなが利用すれば、危険がかなり減少できると思う時があります。
軽く乗れる自転車の改良	女性,60歳以上	方向指示器のようなものがあれば、後ろから来る人に前を走っている人が右に曲がろうとしているのが、左に曲がろうとしているのか、分かるから安全であると思います。
	女性,60歳以上	今迄に買い替えなどで、乗ってみなければ分らず、製造メーカーによって、漕ぐのに軽いものと、ペダルが重く力がかかるものがあるので、軽く漕げる自転車に期待しています。
カロリーメーター・走行距離メーターの装備	女性,60歳未満	カロリー消費量が表示される機能があると、運動の目安になるかと思っています。
	女性,60歳未満	ハンドルのところに、歩数になおして何歩と出たり、消費カロリーが出るといいな。
	男性,60歳未満	ハンドルを握っているだけで、運動時の脈拍等の医学的データが表示できるもの。
	男性,60歳未満	河川敷などを走行するときに、基点となる場所からの距離がわかれば良いと思う。
	男性,60歳未満	自分が自転車に乗った距離と「消費カロリー表示機能」の装着した機械があれば健康促進のため役に立つと思う。
	女性,60歳未満	心拍数が出る自転車もダイエット感覚で面白いですね。消費カロリーが出て良いです。
キーの改良	男性,60歳未満	走行距離計・心拍計・脈拍計が手軽につかえるように装備があればいい。
	女性,60歳未満	ロックの方法で 車のようにキーレスで 直接挿したり回したりしなくても ロック出来たり解除できる機能が有れば良いと思います。
	女性,60歳未満	具体的にどうこういうものはないが今まで何回かカギをなくし苦労したことがあるのでカギに関してなにかいい改良策はないか?できるだけ自転車本体の重さを軽くして欲しい。
	男性,60歳未満	指紋照合キー。
	男性,60歳以上	指紋認証のハンドルと前輪後輪同時ロック機能。
	女性,60歳以上	自転車の前かごに鍵を付ける(引たくり防止)。

自転車の機能・装備に関すること-2		
主な内容	性別・年齢	記入例(問38 自転車の機能やサービスに関する要望・アイデア)
空気入れ作業の簡素化	女性.60歳未満	いつでも持ち運び可能な空気入れ。
	女性.60歳未満	パンクしたときなどの修理に自宅まで来てもらえるとうりがたいのですが。
	男性.60歳未満	パンクした時の対応の仕方。近所にパンク修理場所が全く無いので修理の仕方等提供が欲しい。
	女性.60歳未満	パンクしても、車のように、すぐに空気がぬけないとよい。
	女性.60歳未満	パンクしない自転車があれば少々高くても買う。
	女性.60歳未満	パンクをしなくなり、空気も自動的にタイヤに送り込めると楽だと思います。
	男性.60歳未満	パンク修理がかんたんにできる方法を教えてください
	男性.60歳未満	長距離を走るときはパンクが一番心配である。以前乗っていた自転車には空気入れがついていて、ちょっとした工具とパンク修理のゴムノリ等を携帯すれば、自分で修理することが出来た。今道も良くなりパンクする事も少なくなったが、たまにパンクしたときが大変で、近くに自転車屋さんでもあればいいが最悪自転車を置いて電車で帰り、車で遠くまで取りに行った事もある。パンクしないタイヤ。パンク修理が簡単に出来、空気も入れられる携帯タイプのエアゾール。あるいはJAFのような携帯で電話すれば近くの自転車屋さんが修理に来てくれるシステム。
	女性.60歳未満	タイヤの空気が減りにくい自転車があればよいですね。
	女性.60歳未満	タイヤの空気減りがわかる機能がほしい。
男性.60歳未満	タイヤの空気入れが出来る施設があればいいと思う。	
女性.60歳未満	出先で空気を注いでくれる所があったらいい。	
軽量化、折りたたみ自転車の開発・普及	女性.60歳以上	カラフルな色の自転車、多少風の強い日でも倒れない工夫、ハンドルが折りたためる(収納するときスッキリ)。
	男性.60歳未満	すごく軽い折りたたみ自転車で電動補助付きがあれば良いと思う。
	男性.60歳未満	小さくなって、バッグに入るように、軽くなればよいなあ。
	男性.60歳未満	乗用車のトランク等に簡単に収納できる実用的な自転車欲しい。
	男性.60歳未満	折りたたみ自転車というのはあるが、折りたたんでもかさばるので、何とか、片手でもてるくらいに折りたためるようになれば、持ち運びに便利である。
	男性.60歳未満	徒歩で持ち歩き出来る軽い自転車。
後方確認装置やサイドミラー・バックミラーの装備	男性.60歳未満	バックミラーがあること。昔は大概の自転車に付いていた様に思います。後から自動車 came 場合、音で自動車が近づいている事はある程度判断できますが、最近ではハイブリット車などではエンジン音が静かで、路上では音が聞き取れず、エンジン音で後方から車が近づいているとの判断に難があるため、バックミラーで後方確認ができれば自転車走行の安全の一端を担うと思います。
	男性.60歳以上	後方から近づく自動車など、危険を知らせてくれる音ナビや音声ナビ。サドルに格納される両具。
	女性.60歳未満	バックミラーがついていたら便利だと思う。自転車も凶器になるので、歩道走行のときは時速制限があったほうがいいと思う。
	女性.60歳未満	ほとんどの人が後方の確認無しで乗っているのでたいへん危なく感じる。是非サイドミラーをつけてほしい。
	女性.60歳以上	後方から異常接近してくるひたくりなどを事前に感知してアラームがでる機能。
	女性.60歳未満	私はサイドミラーをつけていますが、つけている人はほとんどみません。後方からどのように車が走ってくるのかわかるのでとても重宝しています。
	女性.60歳未満	車のようにサイドミラーが付いていると便利だと思います。
坂道でも対応可能な自転車の開発	男性.60歳以上	かなり急な坂道を楽に運転できる自転車があればと思います。
	女性.60歳以上	玄関まで段差があるので持ち上げるのに軽い自転車欲しい。坂道を楽に上がれる自転車。
	女性.60歳未満	現状で、坂道の多い所に住んでいるので考えられない。
	男性.60歳以上	坂が簡単にあがれ、下りもブレーキ制御で安心。
	女性.60歳未満	坂道が楽にこげる自転車があると良い。切り替えがあっても急な坂は厳しいので。
	女性.60歳以上	坂道でも楽にのぼれる機能があればいいと思います。電動があるようですが、高価で、重いのが短所だと思います。
サドルの改良	女性.60歳未満	あまりアイデアはないのですが、すわり心地の良い自転車ということでしょうか。
	男性.60歳以上	お尻が痛くならないサドルがあると良い。
	男性.60歳以上	でこぼこ道でも滑らかに乗れるショックアブソーバー付き自転車。
寒さ対策・雪対策	男性.60歳以上	温かい時期は問題ないが、寒くなってきたときに長時間乗るのはつらいので何かいい方法はありますか。
	男性.60歳未満	機能>冬場自転車に乗るのはためらわれる。原因は近くでも手が冷たく自転車用手袋があれば歓迎する。
	男性.60歳以上	車の四駆に似た二輪駆動の自転車の情報を最近見ました。主に積雪地で需要があるようです。
	男性.60歳未満	追い風を利用して走れる。
	男性.60歳未満	あまりにもマナーの悪い人が多すぎるので安全運転講習が是非必要。降雪、凍結期間にも乗れる自転車があれば利用したい。
十分な荷台・かごの工夫	男性.60歳以上	マウンテンバイクに荷物が運べる工夫が欲しい。
	男性.60歳以上	スマートな荷台。
	女性.60歳未満	ひたくりが多いが前かごにカバーとかした方がいいと言われていたが、始めからそういう外からみえない工夫したかごにしたいと思う。
	男性.60歳未満	自転車のカゴに蓋があり、施錠できるようになっていると、荷物をもたずに、自転車から離れられる。また、カゴの大きさを靴がはいるように工夫して欲しい。
	男性.60歳未満	自転車の荷台が固定式でなく、折りたたみ式になるものがあればいいと思う。
	女性.60歳未満	主婦は買い物煩雑にあり量的にも沢山かごに積むので怖いときがある。ハンドルを取られないような設定をして欲しい。
	男性.60歳未満	取り外しの出来る買い物かご。
スピードメーターの設置	女性.60歳未満	スピードが出過ぎたら、自動的にブレーキが掛かるようにして欲しい。
	男性.60歳未満	各種センサー付き自動制御自転車。
	男性.60歳以上	自転車の速度制限装置。
	女性.60歳未満	自動車に乗っているとそばを猛スピードで駆け抜ける人がいるので、スピードメーターを付けて、速度制限をして欲しい。自転車も免許制にして欲しい。交通ルールを教えて自転車を購入させて欲しい。
	男性.60歳未満	自動停止機能。

自転車の機能・装備に関することー3			
主な内容	性別・年齢	記入例(問38 自転車の機能やサービスに関する要望・アイデア)	
太陽熱等の活用	男性,60歳以上	1長時間充電しなくても走行できる電動自転車(一回あたりの充電で100km走行可能・但し充電時間は1時間以内)。 2ソーラー発電で充電できる電動自転車(但し、普通の充電はまったく不要)。	
	男性,60歳未満	下り坂のエネルギーはブレーキで消費するのはもったいない。蓄積したい。	
	男性,60歳以上	現在のジェネレーター式発電機ではなく、太陽光発電機も使えたら、負荷(坂道等)のきついところで楽になるが、...	
	男性,60歳未満	太陽エネルギーを利用した自転車があればいいと思う。坂道などで補助的にモーター等で走行を楽にしてくれる自転車があれば高齢者などでも安心して乗れると思う。	
	女性,60歳未満	電動自転車があるのはわかっていますが、ソーラー自転車はあるのですか。あれば便利です。坂道の多い所では。良いですね。	
	男性,60歳未満	夜間での照明装置、発電機の使用で重くなるので太陽光による蓄電池での照明など、夜間走行での負担の少ない照明方法があればいい。	
デザインの工夫	男性,60歳未満	デザインやカラーが斬新な物が欲しい。	
	女性,60歳未満	個性的(例えば車で云うとクラシックな)な自転車。	
	男性,60歳未満	最近テレビで海外の街頭を四輪の自転車に乗っている場面を見た。格好が良くてさすがにセンスが良いと感心した。自転車の三輪車も海外のものがおしゃれだと思う。二輪に乗れない人に格好の良い三輪・四輪自転車を安価で提供して欲しい。	
	女性,60歳未満	三輪車でももう少しスマートなのがあるとうれしい。	
	女性,60歳未満	年寄りも乗っても楽しくなるような、カラフルな色使いのしてある自転車がほしい。危険防止のためにも。	
	男性,60歳以上	20インチ位の電気アシスト自転車があく手にはいるといいのだが、住んでいるところは山の中腹なので、町まででるのは下りで楽ですが、帰りは地獄です。	
電動自転車の開発・普及	男性,60歳未満	3万円以下の電動アシスト自転車を出して欲しい。	
	男性,60歳未満	お年寄りの乗る3輪自転車にこそ電動アシスト付が有れば良いと思います。	
	男性,60歳以上	コンビニやスーパーに充電器の設置。	
	女性,60歳未満	一時は健康の為に電動自転車とを考えていましたが、重いのと高額なので諦めました。軽くて廉価な物があれば情報がほしいです。	
	女性,60歳未満	家電の様に購入時保障をつけると5年間くらい年に1回くらい定期点検をしてもらえらる。おりたみでもっと簡単にできるもの。	
	男性,60歳未満	軽くて走行距離の長い電動アシスト自転車。	
	女性,60歳未満	後付け電動自転車...今もっている自転車を、電動自転車に改造できる。	
	女性,60歳未満	走行中に充電ができる。充電器を軽くする。	
	男性,60歳未満	長時間走れるバッテリーがほしい。	
	女性,60歳未満	電気自転車がもっと安く買えたら直ぐにでも買いたいと思う。性能のいい電気自転車で価格の安いのを発売して欲しい。	
	男性,60歳未満	電気自転車の高性能化。	
	女性,60歳以上	電動アシスト自転車がもう少し手軽に買える金額になればよい。	
	女性,60歳以上	電動自転車で、バッテリー寿命がなくなった時、交換にかなりの費用がかかりそうなので、その場合は電動機能を簡単に取り外せて、普通の軽快車として使用できるようになればよい。	
	女性,60歳以上	電動自転車のもっと軽いものがほしい。	
	男性,60歳以上	電動自転車の購入には補助金を出して欲しい。	
	女性,60歳以上	電動自転車の充電が面倒なので、もっと手間が省ける方法があつたらいいと思います。	
	転倒しにくい自転車の工夫	男性,60歳未満	車にも有るような衝突や転倒をした時の衝撃を和らげるよう装置。
		女性,60歳未満	フラツキをなくす機能(安定感をたかめる等)。
女性,60歳未満		今私が乗っている自転車はハンドルにストッパーが付いているので、とめたときに前がぐらぐらしないので、とても使いやすいです。近頃の自転車にはあまりついていないので、すべての自転車に付くといいなと思います。とめたときに他の自転車と触れ合う率が少なくなり、ドミノのように倒れにくくなるので。	
男性,60歳以上		ペダルに一番効率的な位置でサドルを合わせてあり、信号などで停止時に一々サドルから降りなければならぬので停車時に車体を支えてくれる装置。極力空気抵抗の少ない雨天用フルカウリング。幹線道路には必ず自転車専用道路が欲しい。	
女性,60歳未満		転倒しにくい安定性(三輪車ではなく)あつたらと思います。年なので。	
女性,60歳未満		転倒防止機能がついていたら安心して乗ることができし事故も少なくなるのではないかな?	
盗難防止機能の装備	男性,60歳未満	風が強いときに止めておくと、いつしか倒れてしまっていることが多いので、そんなときでも倒れにくい工夫をして欲しい。	
	女性,60歳未満	GPSで位置がわかるようになれば盗難防止につながると思う。	
	男性,60歳未満	とにかく何台盗難にあつたか知れない。勝手に動かすとブザーが鳴ったり、光ったりする盗難防止のオプションが欲しい。それと、不測の事態に対応できる各種キットを収納しておく場所を取り付けて欲しい。	
	男性,60歳未満	より高度な盗難防止装置。	
	男性,60歳未満	開錠しないでタイヤを回すとブザーが鳴る防犯装置。路面から離れるとブザーがなる防犯装置。	
	女性,60歳以上	掛け外しが楽で、防犯効果が高い鍵。落としたり、音が出る鍵。持ち主以外が乗ったら、警報がなる自転車。	
	男性,60歳以上	指紋や静脈認証など利用のキーレス盗難防止機能。	
	男性,60歳未満	自転車の盗難予防対策がほしいですね。自転車も登録制にすれば良いのではないのでしょうか。現在の防犯登録ではなく、車輪と同様な登録制と乗る人にも免許制にする。	
	男性,60歳以上	新しい自転車は盗難の対象になるので、いい自転車を買ってもしようがない。	
	女性,60歳未満	身の回りで盗難に会う人が多いので盗難防止の良いアイデアが出ればよいと思います。	
	男性,60歳未満	盗難時の追跡発見サービス。	
男性,60歳未満	盗難時追跡装置GPS付き。		
男性,60歳未満	盗難防止装置(本人以外が触れると『ドロボロ』って大きな音がする)。		
女性,60歳未満	防犯ブザーが付いている自転車が欲しい。		

自転車機能・装備に関することー4		
主な内容	性別・年齢	記入例(問38 自転車機能やサービスに関する要望・アイデア)
ハンドルやブレーキの工夫	男性.60歳以上	右(左)ブレーキが後(前)輪どちらにも切り替えられる機能。左右一方のブレーキで両輪に抑制がかかる機能。
	女性.60歳未満	ハンドルのグラグラ感がこわいので、自分で調節がしやすい自転車がほしい。
	男性.60歳以上	ブレーキの調整法。
ベル音の工夫	女性.60歳未満	ベルをあまり鳴らしたくないのですが、鳴らすならもっといい音がいいですね。今は挑発しているような音です。
	男性.60歳以上	ベルを鳴らさなくても自動的に歩行者に注意を促す機能があればいいと思う。
	女性.60歳未満	歩行者に近づいたら軽いおとがする機能。
	女性.60歳未満	夜、ウォーキングをしています。後ろから自転車か来ているのに気づかず、横をスーと通られるととても怖いので、(ベルをならさない人が多い)人の近くに来たらセンサーでベルがなるような自転車があればいいと思っていますが、聴覚障害の方にはベルは聞こえないので光で知らせるような方法があればもっと良いと思います。
変速ギアの改良	男性.60歳未満	6段とか12段とか内装ギアとかがすぐこわれやすいので、もう少し丈夫に作って欲しい。あと、販売時に、メンテナンス簡単な手入れ方等わかりやすい説明書を添付して欲しい。説明書はついているが、理解しにくいものが多い。
	男性.60歳未満	ギヤの切り替えの簡素化乗りやすさ。
	男性.60歳未満	走行時に適切なギヤを表示する機能を付けたら良いのにな!
ライトの改良・夜間走行への工夫	女性.60歳未満	ご質問と異なるかも知れませんが、自転車のライトを点けると多少重くなるのでその辺の工夫が有ると良いと思います、また、前の籠も深いものだとひとつたりなども取りにくくなるのではないのでしょうか?(もしかしたらすでに有るかも知れませんが・・・)
	男性.60歳以上	ボタン1つでライトが点滅するもの。
	女性.60歳未満	メールを読みながら、携帯電話でしゃべりながら、夜道をライトも点灯させず回りの状況を見ずに、スピードを出して走り抜ける、若い人が多いのがとても気になります。警察はびしり取り締まって欲しいです。ほんとに危ないです。自転車は全部自動点灯にすべきです。小さい大きいににかかわらずです。
	女性.60歳未満	ライトがもっと明るければ運転する側も相手側からも良く見えていいと思う。夜無灯火で走る人も多く見られ、車を運転している時などヒヤッとすることも多く、自転車そのものに自然に発光する何かを工夫されていけば事故も減るのではないかと思います。
	女性.60歳未満	夜ライトを点灯しない人がとても多い。大変危ないです。私もライトを点灯すると、ペダルが重く、音もするので、いやな時があるが、事故に遭うよりはましです。ライトの代わりに前方のどこかに、暗くなると、自動的に発光するものが付いていると良いと思います。道路の段差を上げる時や雨雪の時、キューと滑って転びそうになり、ひやっとなります。それを防ぐようなタイヤがあったらと思います。自転車の色って、なぜか良い色がないですね。
	男性.60歳未満	暗くても無灯火の自転車が、暗くなればペダルを踏まなくても動いている間はライトが点灯し、五分以上停止していれば自動消灯する様な仕組みのライトが欲しい。
	女性.60歳未満	後輪にもライトがついてほしいのにとおもいます。
	女性.60歳未満	車輪や、車輪カバー等に夜走っているときの安全のため反射板や、蛍光色を目立つところに入れてほしい。
	女性.60歳未満	電動アシスト自転車に乗っているのですが、夜間バッテリーが無くなるとライトを点けることが出来ないのが普通の自転車のように点灯できる装置があればいいのと思う。
	女性.60歳未満	無灯火での利用ができない車種の開発。
	男性.60歳以上	無灯火の自転車にビックリする事がある。反射板の工夫を。
	男性.60歳以上	無灯火自転車が余りに多く危ないので、「一定の暗さ」になると自動的に点灯するような仕組みを作り、全自転車に義務付ける。
	女性.60歳未満	夜間のライトが、もっと明るい物に。ハンドルに最初から付いていたら良い。
	女性.60歳未満	シンプルがいい。あまり機能的になっても利用しづらい。
	男性.60歳未満	ハンドルに灰皿があれば、ポイ捨ても減少するかも。
女性.60歳以上	ペダルを回転させて前に進むのではなく、自動車のアクセルのようにペダルを押すと進むとか、4輪の安定した自転車とか。	
男性.60歳未満	犬の散歩でリードが簡単にセット出来る機能があればよいと思う。	
男性.60歳以上	自転車には乗る人の体重制限等があるのか、あれば表示してもらいたい。当方身長・体重とも標準をだいぶオーバーしているので、乗るのが怖い。	
女性.60歳未満	車に対する注意ビームの発信。	
女性.60歳未満	小柄なので足の長さにあった自転車が無い。	
男性.60歳未満	軽く聞くことができる自転車ラジオなどつくるといいですね。	
女性.60歳未満	例えば知らない内に自転車で通ってはいけない所を走行していたらチャイムで知らせてくれる機能があると便利、しかも騒音ではなくて大きい音だけ素敵な音色。	
女性.60歳未満	ジャブジャブ洗えて、錆びないのが良いなあ。	
男性.60歳未満	最近、自転車に乗りながら携帯を使っている子供が多い。自転車にも携帯電話を手にしたなくてもよい機能をつけられないか。	

自転車の販売に関することー1		
主な内容	性別・年齢	記入例(問38 自転車機能やサービスに関する要望・アイデア)
価格の再検討	男性.60歳未満	安値価格情報。
	男性.60歳以上	安物の自転車が氾濫しているが、安全面に不安があるとの情報がある。そここのところのPRを流してほしい。
	女性.60歳未満	電動アシストのように、高齢者への負担が少ない自転車が低価格で購入できるようになること。
	男性.60歳未満	欲しい機能は殆どついている。ただ経済的に購入が難しいだけである。
自転車修理店の拡充	男性.60歳以上	過疎地域に住んでいる為自転車の修理をしてくれる所が無い。何方かが定期的に巡回して修理して欲しい。
	女性.60歳未満	自転車の巡回修理サービスがあれば便利だと思います。
	男性.60歳以上	自転車専門店が少ない。
	女性.60歳未満	最近パンクなど直してもらえない自転車屋さんがないので、自転車マイスターのような制度とお店を知りたい。
	女性.60歳未満	自転車専門店がもっとあればいいと思う。
男性.60歳以上	車ではガソリンスタンドのようにコンビニなどで情報。修理などのサービスが受けやすい施設が欲しい。	

自転車の販売に関すること-2		
主な内容	性別・年齢	記入例(問38 自転車の機能やサービスに関する要望・アイデア)
自転車のメンテナンス情報の提供	男性,60歳未満	修理の際に手軽に頼める販売店が減少しているので、その情報提供をして欲しい。
	女性,60歳未満	現在乗りやすくて評判のいい自転車情報。
	男性,60歳未満	メンテ・修理の分かりやすいサイトの立ち上げ。
	女性,60歳未満	メンテナンスが受けられるお店や場所の情報があれば安心。
	男性,60歳未満	安全用部品の情報。
	女性,60歳未満	自分で出来る簡単な修理の方法情報。
	男性,60歳以上	使用用途に適した自転車の案内。
	男性,60歳未満	部品などの説明とともに、購入が簡単に出来るとうい。また、サイクリングなどの遊び方を色々特集してもらいたい。
	男性,60歳未満	メンテナンスの詳しい方法。
	男性,60歳未満	機能については特にはないが、インターネットで修理や保守についての情報が手早く取得できるようになればいいと思う。
	女性,60歳以上	出先でバンクして困った事があり、修理できる店などの情報が携帯で調べられる。道路標識がまめにあるといい。
	女性,60歳未満	自転車の修理をしてもらえる店のインターネットでの紹介。
男性,60歳未満	自転車屋さんマップ。	
自転車による健康法普及	男性,60歳以上	なるべく体に負担のかからない自転車の開発。自転車に乗ることで体力UPできるようなトレーニング効果のある自転車があったらいいと思います。
	女性,60歳未満	仕事で毎日40分程乗っているが、健康のためにどのように役立っているか知りたい。
修理・点検等アフターケアの充実	男性,60歳未満	自転車利用による効用を広めて欲しい。
	女性,60歳未満	コンビニ感覚でメンテナンスをやってくれるところが欲しい。
	男性,60歳未満	パーツを取り替えられる組立式自転車。
	男性,60歳未満	メンテナンスフリーの自転車。
	女性,60歳以上	自転車の簡単な整備の講習会。
	男性,60歳未満	自転車の整備についてネットで教えてもらえる教室があればうれしく思います。
	女性,60歳以上	自転車は毎日利用している自転車大好き人間です。自動車の車検のような安全点検をしてくれるところがあれば安心して乗れます。気楽に相談できる自転車店が段々少なくなり、修理するのもなかなか難しいのが現状です。修理店の検索や近くのサイクリング情報などがネットで見れると便利です。
	男性,60歳以上	自動車のJASのような機構、突然のバンク修理に便利。
	女性,60歳未満	車のように定期的にメンテナンスのサービスがあれば・・・
	女性,60歳未満	手軽に修理を頼める場所が少ない。近くの自転車専門店に「当店以外で購入した自転車の修理はお断りします」という張り紙があって、がっかりした。
	男性,60歳未満	定期的な整備点検を安価な価格で提供してくれるところ。乗り潰して買い換えるというサイクルをやめたいから。
	男性,60歳以上	マナーの悪い人間の暴走運転取締り、駅前などの放置自転車の徹底的取締りが先ず先決。売ることばかり考えずにこういう公害的なことの解決が先決。売って「後は野となれ山となれ」ではメーカーも無責任。
引き取りサービス	女性,60歳未満	使用しなくなった自転車の処理がもう少し簡単にできるとよい。
	男性,60歳未満	不要になったり、壊れた自転車を引き取るサービス。
	女性,60歳未満	安い自転車にも自動点灯ライトペダルが重くならない 新規購入時にリサイクル代を支払う。そして不要になった時自転車屋に持っていけば処分してくれる。
	男性,60歳未満	中古自転車を新品に買い替える際の下取りサービス。
リサイクルの促進	女性,60歳未満	もっと手軽に買い換えができるように下取りの制度。またリサイクルして手軽に買えれば。
	男性,60歳未満	環境にやさしい自転車。燃やせる、自然に溶ける自転車。もっと持ち運びが簡単な自転車。
	男性,60歳未満	自転車の盗難防止用の器具を安く提供できるようにして欲しい。放置自転車がなくなる理由が解らない。廃車がもっと簡単に出来ると良いのではないか。リサイクルが遅れているのではないか？
	男性,60歳未満	中古の自転車のマーケット。
その他	男性,60歳未満	放置自転車の払い下げ情報。
	男性,60歳未満	新製品情報。
	女性,60歳未満	段階的に増設できるオプション。
	女性,60歳未満	登録番号などが確認できる場所の提供。
	女性,60歳未満	部品や色を自分で選んで組み立ててくれるサービスがあれば、自分好みの自転車が作れていい・・・

自転車利用者の意識に関すること		
主な内容	性別・年齢	記入例(問38 自転車の機能やサービスに関する要望・アイデア)
運転マナー・交通ルールの徹底	女性,60歳未満	違法な乗り方をひろく知られるようにして欲しい。
	男性,60歳未満	自転車は乗れば軽車両、押して歩けば歩行者という意識を植え付ける活動。
	男性,60歳未満	自転車を使っている人に交通マナーの徹底の場合によっては違反者に罰金を科すぐらいにして マナーの向上を。
	女性,60歳以上	自転車講習会を自転車に乗る時は全ての人に受けてもらいたい。
	女性,60歳未満	乗り方を教える場所や機会をもっと増やして、歩行者が優先なのだということを徹底してください。
	女性,60歳未満	自転車に乗る上での違反行為をもっと世の中に広めるべきだと思う。
	男性,60歳以上	歩道を我がもの顔で走らせないようにセンサーの設置。
	男性,60歳以上	横断歩道は自転車は通行禁止なので通ると警報が鳴る装置。
	女性,60歳未満	自転車に乗る上での交通ルールがよく解らないので、もう少し発信して欲しい。
	女性,60歳未満	自転車の正しい乗り方、各自治体で常に開催するようにすれば良い。
	女性,60歳未満	自転車の交通違反などを記述して欲しい。又マナーの悪い人が多いので自転車購入時にマナーの本を渡す。
	女性,60歳未満	自転車の乗るマナーが悪いのでちゃんとCMLしてくれたいと思う。
女性,60歳未満	自転車安全教室みたいな交通マナーをインターネットなどで広く知らせる。自転車での事故の怖さなども知らせる。	
運転免許制度等新たな法的規制の導入	男性,60歳未満	自転車の運転を許可制にするべきだ。無謀運転、危険運転が多すぎる。警察庁の怠慢を感じる。教育も必要だ。
	男性,60歳以上	ルールが守れるシステムが必要だ。
	男性,60歳未満	自転車の防犯登録をICタグにして、かつ車体内に埋め込みとし、盗まれることはもとより放置自転車など自転車を所有していることの自己責任をはっきりさせるべきだと思います。飼犬の首輪にそういうものを埋め込むという記事からヒントを得ました。
	女性,60歳以上	自転車に対する法律を知らない人が多すぎる。自転車による人身事故も増えているようだし、正しい乗り方を啓蒙して欲しい。
	女性,60歳未満	自転車の守らなければならない法令を記載。同時に警察による罰金取締りをして欲しい。
	男性,60歳未満	自転車は免許の必要がない為高齢者が乗っている場合がよく見受けられる道路の中央を我が物顔で通行し他人の迷惑、車の通行の迷惑を考えていないのかと思う。運転教室などを行政が行い、無理な人は乗らせないとか、自分から乗らない宣言等をさせたらどうかと思う。車のように鍵があつたらいいと思う。
	男性,60歳未満	自転車に乗る人も車と同じに、ルールを講習した人に免許を与え、ルール違反した人に、車と同じように罰金制度もあることがわかっていないで乗っている人が多いと思うので、自転車販売する店でルールブック購入時に添付するのが、良いと思う。
	女性,60歳未満	マナーの悪い利用者についての通報があつたら、しかるべき機関で教育をしてほしい。
	女性,60歳未満	無灯火とか雨の日の傘とか車と同じように罰金を取つたら良いと思う。
	女性,60歳未満	お年寄りの中には自転車を、とても危なっかしい乗り方をしている人もいます。車同様に「初心者マーク」や「もみじマーク」みたいな物を付けて、周りの人に注意を促す様にしたらどうでしょうか。たとえばマークの代わりに、ハンドルの色をかえてみるようなことも効果があるのではと思います。
女性,60歳以上	自転車に乗るのは好きだが、駐輪に苦労する。環境を考えるなら、放置自転車を強制撤去する前に放置させない方法を考えるべきだ。国が積極的に買い物や通勤の時気軽に駐輪できる(そこ以外に置いてはいけない)場所を提供する事がもっと大事だ。放置自転車を無くするには、購入時に登録を義務とし無登録自転車は乗ることも駐輪することも禁止して、犯すものには罰金制度を設けると良い。乗らなくなつたらもちろん廃棄も義務付ける事とする。	
その他	女性,60歳未満	以前も市長への投書に書いたが、自転車乗りをぞんざいにあつかいすぎるのではないと思う。足を怪我して、歩くことがままならず、駅まで自転車で乗っていても、止めるところがない。車には手取り足取りの保護をしているのに、自転車と聞くと、ゴキブリを見つけたがごとくに排除される。当然モラルの問題もあるが、どうしても自転車でしか交通手段のない者たちへの配慮があつてもいいのではないか。排ガスもない、健康にもいい、いいこと尽くめの自転車をもう一度目を向けてもらいたい。
	女性,60歳未満	自転車で遠くに旅をしている人のドキュメンタリーなどが見たいです。

自転車利用者への環境整備-1		
主な内容	性別・年齢	記入例(問38 自転車の機能やサービスに関する要望・アイデア)
公共交通機関への持込	男性,60歳以上	サービスとしては、汽車や電車に自転車の持ち込み車両を用意してもらいたい。
	女性,60歳未満	ヨーロッパのように自転車を電車に持ち込めると活動範囲も広がる。日本は自転車のレーンがあるところがほとんどないので、車にじゃまにされて不愉快になる。排気ガスから守られて走れるようにならないか?
	男性,60歳以上	公共交通と自転車の融合(費用がなるべく安く)。
	男性,60歳未満	自転車ごと電車、バス等に乗れるような方法を考えて欲しい。
	男性,60歳未満	多少運賃が高くなっても電車、バスに持ち込めるようにしてほしい。
	女性,60歳未満	地下鉄などの公共乗り物に自転車を積んで移動できれば、郊外で自転車サイクリングを楽しむことができると思う。
	男性,60歳未満	通勤ラッシュの酷い都市部では無理でも、折畳み自転車を電車・バスに持ち込み可能なサービスは今後の課題だと思う。
	男性,60歳以上	電車に手軽に持ち込みたいのでそのサービスに関する情報が知りたい。
サービスステーション(自転車用の駅)の設置	男性,60歳以上	サイクリグの途中で気楽に寄れる、サービスエリア的な存在。
	男性,60歳未満	自転車のための道の駅。

自転車利用者への環境整備－2		
主な内容	性別・年齢	記入例(問38 自転車の機能やサービスに関する要望・アイデア)
自転車専用道路の整備・道路情報の提供	男性,60歳未満	一般道路における歩道と自転車道の整備を推し進める団体が必要。
	男性,60歳未満	一番は安全な自転車道路の確保。老人や子供の運転は不安定で危険なので安定して走れる機能。
	女性,60歳未満	最近 歩道に盲者用の凸凹の誘導線が引かれてあるのですが自転車であの上を通ると(歩道が狭い場合)不安定でとても怖い思いをします(特に雨の日)。
	女性,60歳未満	今の道路では安全に走れる状態では無いと思う。車を運転していると自転車がすごく怖いと思うときがある。まずは道路整備が必要ではないだろうか。
	女性,60歳以上	自転車専用道路があると安全でうれしいです。横断歩道橋なども自転車で昇り下り出来る専用部分があるといいですね。
	女性,60歳以上	自転車専用道路が欲しいです。オランダを参考にした物を取り入れるとよいと思います。自転車に乗る事を積極的に政府も取り入れるべきだと思います。
	女性,60歳未満	自転車専用道路などの情報。
	女性,60歳未満	車道があるように自転車専用道でもなくてよいが自転車道がほしい。
	男性,60歳以上	大規模自転車道の全国的な整備。
自転車の搬送サービス	女性,60歳未満	段差のある道路は多く、車椅子の人のためにせつかく作ったのであろう歩道から車道に移る斜めの一応スロープ式が何の役にも立たない。少しの段差から来る衝撃は結構あるものだが、道路管理者はどう思って作ったのであろうか首を傾げてしまう。段差のない道路情報、危くない道路情報、歩道のない道路情報とかあればいくら遠出が出来て楽しいと思う。
	男性,60歳未満	自転車の宅配(回収)。自宅から行きっぱなしでも自宅まで配送してくれる。-自宅から自転車で出掛けたが帰りは公共交通機関で帰ってこれる。
	男性,60歳未満	自転車の宅配サービス。今もあるかもしれませんが低料金で宅配出来るようなサービス。バイクにもあるが低料金で泊まれるサイクルセンターが欲しい。電車と自転車をセットにして割安でいける青春18キップみたいなもの。
	男性,60歳以上	ある場所へ行くのに片道だけ自転車を利用したい場合、到着場所からその自転車を自宅まで配送してくれるサービス。
自転車利用促進	女性,60歳未満	乗って行って疲れたら送ってもらえる。又は安全に保管してもらえるスーパーの設備があればよいと思う。
	女性,60歳未満	自転車通勤には通勤手当が倍になるとか。
	男性,60歳以上	車を街に乗り込ませないように、自転車通勤などを優遇する政策があると環境にもよいと思う。
	女性,60歳未満	環境に配慮しているの、税金を安く出来る制度があればいいなと思います。自転車専用道路を全国に作って欲しいです。そうならば、いつか全国一周でもしてみたいと思うのですが、まだまだでしょうね?
駐輪場の拡充	男性,60歳未満	安全に乗れる情報を提供して欲しい。
	女性,60歳以上	普通の自転車に乗れないので、自転車の乗り方教室があればよい。
	女性,60歳未満	駅前など短時間預かってくれるシステム。一日なら100円でも納得するが、15分位ならもっと安くともと思うことがある。
	男性,60歳未満	あらゆる場所に自転車置き場は必要。
	男性,60歳未満	スポッ的に駐輪場を設置する。(放置自転車の場にされたら困りますが)
	女性,60歳未満	とにかく置く場所!定期健診!空気を入れてくれたり掃除をしてくれたり。
	男性,60歳未満	バス停に自転車置き場。
	男性,60歳未満	ワイヤー錠で自転車が固定できる駐輪場。
	女性,60歳以上	違法駐輪の対策として駅にある駐輪場を拡大して欲しい。
	女性,60歳以上	無料でおける場所がないと乗っていきにくい。
女性,60歳未満	有料の駐輪場を増やして欲しい。	
女性,60歳未満	駐輪場の確保を増やして欲しい。タイヤの空気入れの手軽な物が欲しい。	
駐輪場検索システム・情報の提供	女性,60歳未満	駐輪場が少なすぎる。路上駐車も迷惑なのはわかるので、車のように有料でいいので駐輪場が駅やデパートや繁華街にあるとみんなが気持ちよく使える。マナーの悪い人が多いし、子供も大勢乗っているのが多いので学校でもルールを教えるべきだ。事故を減らすのなら、やはり自転車も将来免許制度にしてもやむをえないのかとも思う。
	女性,60歳未満	駅や商店での簡単に利用できる駐輪場の情報。
	女性,60歳未満	近くの駐輪場を携帯で探せるサービス。
	女性,60歳以上	自転車に乗っていて一番困ることは駐輪場が無いことです、特にデパートなど駐車場は有るのに無料の駐輪場が無いのは本当に困ります。駐輪場の検索が出来るサービスがあると便利で助かります。
	男性,60歳未満	自転車置き場等沢山の中から自分の自転車が見つかる簡単安価な装置 プザー及び光による発見。
保険の拡充	女性,60歳未満	駐輪場の監視カメラサービス(自分の自転車の様子を携帯電話で見ることが出来る)。
	女性,60歳未満	無料、有料の駐輪場の情報が欲しい。
	女性,60歳以上	ライトをつけても走りにくいライト。情報としては自転車でも死亡事故が起きるレイがあるので車と同じように任意で保険を掛けておくべきだということ。
	男性,60歳以上	車と同様に自賠責が必要。
保険の拡充	男性,60歳以上	衝突事故などの場合、自動車やバイクに比べて保険からの補償条件が格段に悪いと聞く。万が一の場合も想定すると、こういう面でのサポートが欠かせないと思う。
	男性,60歳未満	盗難保険の長期サービス。

自転車利用者への環境整備－3		
主な内容	性別・年齢	記入例(問38 自転車の機能やサービスに関する要望・アイデア)
レンタサイクル・乗り捨て制度の普及	男性,60歳未満	自転車代行。乗り捨てても元の場所へ戻してくれるような。多少放置自転車減るかも。ただし1台100円以内。
	女性,60歳未満	自分の好きなところで乗り捨てられる。
	男性,60歳未満	乗り捨て自転車、目的地まで行って放置。皆さん勝手に乗って下さいみたいなサービス。
	女性,60歳未満	もっと沢山のレンタル基地があれば良いと思う。そして戻ってくるのではなく、返す場所が沢山あれば良いと思う。
	女性,60歳未満	リゾート地の駅前にレンタサイクルがあると便利。
	男性,60歳未満	レンタル自転車に電動アシスト自転車をもっと多く取り入れて行楽地などで提供していただきたい。自動車が多くて交通が麻痺する行楽地などでは、自動車の乗り入れを規制して、電動アシスト自転車のレンタルを大々的に考えてみてはどうか。
	男性,60歳未満	移動の中間に公共交通機関を取り入れたレンタサイクル。
	女性,60歳未満	外国のどちらかでは駅の指定箇所ならこの駅でも、借り・返却が無料で可能なサービスがあり、是非日本でも定着すればと思う。
	女性,60歳未満	観光地にはよく貸自転車があるようですが、街中にもそういったものがあれば、自宅に保管場所がなくても必要なときにだけ利用できるのではないのでしょうか。
	女性,60歳以上	観光地情報に貸し自転車ありと書いてくれていると、旅の計画がそれなりに立てられて便利。旅先で貸し自転車かあることを知る事があるけど、前もって知りたい。
	男性,60歳未満	期間(例えば、半年とか1年)限定のレンタル又はリース。
	男性,60歳以上	事前に気に入った自転車を旅行先の駅にてレンタル出来るシステムがあると旅行が楽しくなりますね。レンタル自転車と言うとママチャリが多いので……
	男性,60歳以上	中古自転車市場の充実レンタサイクル。
男性,60歳未満	放置自転車回収後、コミュニティに預けて、乗り降り自由なシステムを構築したらよい。	
男性,60歳以上	毎日、定期的に使わない人も多い。何台かの自転車何人かの人で共同で利用できるシステムができれば良いと思う。	
男性,60歳未満	有料の会員制でも良いので、JRや地下鉄で乗り捨て可能なレンタルサイクル。	
その他	女性,60歳以上	停止した時に倒れない機能や、ウィンカーがあったらと思います。自転車盗難の被害に遭ったときにインターネットで被害届けを出したり、保管されている自転車の中から探せるサービスを提供できたらと思います。

趣味としての自転車の活用拡大		
主な内容	性別・年齢	記入例(問38 自転車の機能やサービスに関する要望・アイデア)
自転車関連のイベントの開催・情報の提供	女性,60歳未満	あるけ、あるけのような誰でも参加できる会。
	女性,60歳未満	自転車で散歩的なイベントが近くであつたら参加すると思う。
	男性,60歳未満	自転車旅行に関する情報。
	男性,60歳以上	身近などで行われるツーリングなどの情報が得られること。
	男性,60歳未満	簡単に参加出来るトライアスロンの情報。
	女性,60歳未満	自転車専用一周道路 年配の参加できるサイクリングイベントを増やしてほしい。おしりの痛くならないサドルがほしい。カラフル自転車もあるといい。
	男性,60歳未満	9月にハワイで開催されるサイクルツアーのようなものを日本でも開催してほしい。
自転車関連サークル情報の提供	女性,60歳未満	サークル活動があつたら参加したい。
	男性,60歳以上	一緒にサイクリングが出来る仲間を探せる場。
	女性,60歳未満	生活している地域にある自転車サークルの紹介と入会に関する情報提供。
サイクリングコースの整備や紹介	女性,60歳未満	インターネットでサイクリングロードがどこにあるかまとまった情報があればいい。
	女性,60歳未満	サイクリングが手軽にできるところを紹介しているサイト。
	男性,60歳未満	サイクリングコースの情報をもっと提供して欲しい。
	女性,60歳未満	近くに手軽に出来るサイクリングコースがあれば良い。
	女性,60歳未満	近場のサイクリングロードの紹介。
	男性,60歳未満	全国のサイクリングロードマップとお勧めコース。
	男性,60歳以上	地域別のサイクリング情報風景や混雑状況などの実行報告など。
男性,60歳未満	道路に段差があり走りにくい。近くのサイクリングロード紹介サイトがあるとよい。	

 Yahoo!リサーチ[Yahoo! JAPAN](#) - [ヘルプ](#)

## 自転車に関するアンケート

アンケートページにアクセスしていただき、ありがとうございます。  
アンケートにご協力いただける場合は、「開始」ボタンを押してください。

開始

---

アンケートにご回答いただくにあたり、最新の[登録ガイドライン](#)をご確認になり、  
内容を理解し同意の上でご協力をお願いいたします。

[プライバシーの考え方](#) - [利用規約](#) - [登録ガイドライン](#) - [アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.

Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

### Q1 あなたの性別をお答えください。

(回答は1つ)

- 男性  
 女性

### Q2 あなたの年齢をお答えください。

(回答は半角数字で入力)

歳

次のページ

---

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.

Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

### Q3 現在、自転車に乗っている目的をお知らせください。

(回答はいくつでも)

- 日常生活での移動手段
- 軽い運動・近所の散策※1
- サイクリング・ツーリング※2
- 本格的なサイクルスポーツ※3
- 業務上での移動や利用(通勤での利用は除く)
- その他
- 以前は乗っていたが、今は乗っていない
- 自転車には乗ったことがない

※1軽い運動・近所の散策の例:家の近所を歩く感覚で乗る、自転車散歩、自転車を足代わりに近場へ出かける

※2サイクリング・ツーリングの例:長い距離を自転車で走る、自転車旅行、泊りがけで自転車に乗る

※3本格的なサイクルスポーツの例:ロードレース、クロスカントリー、ダウンヒルなど

次のページ

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.

Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

### Q4 日常生活で移動する時間を100%としたとき、各移動手段を利用する割合はそれぞれの程度になりますか。

(回答は半角数字で入力)

\* 利用していないものは0と入力してください。

\* 足して100%になるようにしてください。

\* 0%のつく移動手段があっても構いません。

徒歩	<input type="text"/>	%
自転車	<input type="text"/>	%
スクーター、バイク	<input type="text"/>	%
自動車(自家用車、仕事用の車)	<input type="text"/>	%
公共交通機関(電車、バス、タクシー等)	<input type="text"/>	%
上記以外の移動手段	<input type="text"/>	%

上記で「上記以外の移動手段」とお答えになった方は、内容を具体的にご記入ください。

上記以外の移動手段

次のページ

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

**Q5 日常生活で移動手段として自転車を利用する際、主にどのような目的で利用していますか。**

(回答はいくつでも)

- 通勤(駅までも含む)
- 買い物
- 通院
- 地域の活動や習い事
- 子供や孫の送迎
- その他

次のページ

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

**Q6 自転車に乗る頻度はどのくらいですか。**

(回答は横の行ごとに1つずつ)

	ほぼ毎日	週4   5	週2   3	週1   回	月2   3	月1   回	年に   数回	それ   以下

		回	回	回			
軽い運動・近所の散策※1	<input type="radio"/>						
サイクリング・ツーリング※2	<input type="radio"/>						
本格的なサイクルスポーツ※3	<input type="radio"/>						

※1軽い運動・近所の散策の例：家の近所を歩く感覚で乗る、自転車散歩、自転車を足代わりに近場へ出かける

※2サイクリング・ツーリングの例：長い距離を自転車で走る、自転車旅行、泊りがけで自転車に乗る

※3本格的なサイクルスポーツの例：ロードレース、クロスカントリー、ダウンヒルなど

次のページ

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.

Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

## Q7 あなたがもっともよく利用している自転車はどんな種類のものですか。

(回答は1つ)

<input checked="" type="checkbox"/> 軽快車	<input checked="" type="checkbox"/> クロスバイク
<p><b>軽快車</b>            日常の交通手段（通勤・通学・買物）に用いる            短・中距離で低・中速走行用の自転車。</p>	<p><b>クロスバイク</b>            ロードレーサーとマウンテンバイクの中間に位置し、            両方の車種の良い点を取り入れた自転車。            基本的にロードレーサーより衝撃に強く、マウンテンバイク            よりも街中で走りやすい設計となっているのが特徴。</p>

<input checked="" type="checkbox"/> ロードレーサー	<input checked="" type="checkbox"/> 電動アシスト自転車
<p><b>ロードレーサー</b> 主としてロードレースに使用し、一般舗装路を高速で走行することを主眼において設計されている自転車。</p>	<p><b>電動アシスト自転車</b> 電動式の駆動補助輪の機構を持ち、登坂等の走行が楽にでき、日常及び、レジャー用として使用される自転車。</p>
<input checked="" type="checkbox"/> マウンテンバイク	<input checked="" type="checkbox"/> 折りたたみ自転車
<p><b>マウンテンバイク</b> 主として荒野・山岳地帯での走行・段差越えまたは急坂走行などの広範囲な走行に対して使用することを主眼に設計されている自転車。</p>	<p><b>折りたたみ自転車</b> 折りたたみ機構を持ち、車などで携行して現地で使用したり、自宅内に保管が可能な種類の自転車。</p>

- 軽快車       クロスバイク       その他
- ロードレーサー       電動アシスト自転車
- マウンテンバイク       折りたたみ自転車

次のページ

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q8 そのもっともよく利用している自転車(%%Xq9%%q9x[7]%%)は、どちらで購入されましたか。

(回答は1つ)

- 自転車専門店
- スーパー
- ホームセンター
- 家電量販店
- ディスカウント店
- スポーツ用品店
- 百貨店
- インターネット(Webサイト)
- 通信販売
- その他
- 購入はしていない

次のページ

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q9 そのもっともよく利用している自転車(%%Xq9%%q9x[7]%%)を購入先(%%Xq10%%q10x[10]%%)で購入された主な理由は何ですか。

(回答はいくつでも)

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 家の近くにあるから     | <input type="checkbox"/> 購入後、無料点検サービスがあるから        |
| <input type="checkbox"/> 価格が他店よりも割安だった | <input type="checkbox"/> 出張修理サービスをしてくれたから         |
| <input type="checkbox"/> 品ぞろえが豊富だった    | <input type="checkbox"/> 店に出向く必要がないから             |
| <input type="checkbox"/> 試し乗りをさせてくれた   | <input type="checkbox"/> 人に勧められたり評判がよかったから(口コミ)   |
| <input type="checkbox"/> 店員の対応がよかった    | <input type="checkbox"/> 自分に合った自転車の選び方を相談できたから    |
| <input type="checkbox"/> 店員の知識が豊富だったから | <input type="checkbox"/> 資格をもった店員がいるから            |
| <input type="checkbox"/> 下取りをしてくれた     | <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/> |

- 購入後、修理を頼みやすいから

※「資格を持った店員」の資格の例：自転車組立整備士、自転車技士、自転車安全整備士

次のページ

---

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

**Q10 その自転車 (%%Xq9%%q9x[7]%%) はどのくらい前に購入されましたか。**

(回答は1つ)

- 1年以内
- 3年以内
- 5年以内
- 7年以内
- 10年以内
- 20年以内
- 20年より前
- わからない・覚えていない

次のページ

---

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

**Q11 自転車 (%%Xq9%%q9x[7]%%) の購入価格はいくらくらいでしたか。**

(回答は1つ)

- 10,000円未満
- 10,000～20,000円未満
- 20,000～30,000円未満

- 30,000～50,000円未満
- 50,000～100,000円未満
- 100,000円以上
- 覚えていない

次のページ

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

## Q12 現在、自転車を利用していない理由は何ですか。

(回答はいくつでも)

- もともと乗ることができないので
- 自転車に乗る体力がなくなったので
- けがや病気がきっかけで乗れなくなったので
- 日常生活は歩ける範囲で用が足りるので
- 歩くほうがより健康的なので
- 自転車の距離でもバイクやスクーターを利用しているので
- 自転車の距離でも自家用車を利用するので
- 自転車の距離でもバスなど公共交通機関を利用しているので
- 雨など天候によって乗れなくなることがあるので
- 乗る際に服装に気を使う必要があるので
- 自宅に保管する場所がないので
- 出先で駐輪できる場所が限られてしまうので
- 近場には車やバイクに気をつけなければならない場所が多いので
- 近場には坂道など乗るのが大変な場所が多いので
- 近場には歩行者に気をつけなければならない場所が多いので
- 車やバイクと事故を起こすのが怖い、もしくは起こしたことがあるので
- 歩行者とぶつかって怪我をさせてしまうのが怖い、もしくは怪我をさせたことがあるので
- 盗難されたり壊される恐れがある、もしくはされたことがあるから

手入れをするのが大変なので

その他 \_\_\_\_\_

次のページ

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

**Q13-1 これからの自転車の利用の仕方について、どのようにお考えですか。次の中から、当てはまるものをお選びください。**

(回答は横の行ごとに1つずつ)

	手持ちの自転車で これまでどおりの使い方・使用頻度でよい	手持ちの自転車で これまでどおりの使い方だが・使用頻度を増やしたい	新たに自転車を購入するが これまでどおりの使い方・使用頻度でよい	新たに自転車を購入して これまでどおりの使い方・使用頻度を増やしたい	今後は使用頻度を減らしたい・使用しなくなると思う
日常生活での移動手段	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
軽い運動・近所の散策※1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
サイクリング・ツーリング※2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
本格的なサイクルスポーツ※3	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
業務上での移動や利用(通勤での利用は除く)					

	<input type="radio"/>				
その他 %q3x[6]%%	<input type="radio"/>				

※1軽い運動・近所の散策の例：家の近所を歩く感覚で乗る、自転車散歩、自転車を足代わりに近場へ出かける

※2サイクリング・ツーリングの例：長い距離を自転車で走る、自転車旅行、泊りがけで自転車に乗る

※3本格的なサイクルスポーツの例：ロードレース、クロスカントリー、ダウンヒルなど

次のページ

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.

Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

**Q13-2 これからの自転車の利用の仕方について、どのようにお考えですか。次の中から、当てはまるものをお選びください。**

(回答は横の行ごとに1つずつ)

	手持ちの自転車で新しく利用を始めたい	新たに新しく自転車を購入したい	これまでどおり使用しない
日常生活での移動手段	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
軽い運動・近所の散策※1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
サイクリング・ツーリング※2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
本格的なサイクルスポーツ※3	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
業務上での移動や利用(通勤での利用は除く)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

※1軽い運動・近所の散策の例：家の近所を歩く感覚で乗る、自転車散歩、自転車を足代わりに近場へ出かける

※2サイクリング・ツーリングの例：長い距離を自転車で走る、自転車旅行、泊りがけで自転車に乗る

※3本格的なサイクルスポーツの例：ロードレース、クロスカントリー、ダウンヒルなど

[次のページ](#)[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

## Q14 日常生活での移動手段で、利用頻度を増やしたり新たに始めようと思われた理由は何ですか。

(回答はいくつでも)

- 定期がなくなるなど、これまでの移動手段が使えなくなるので
- 行動範囲が変わって自転車のほうが使いやすくなるので
- 他の移動手段と比べて健康維持・増進効果を期待できるので
- 他の移動手段と比べて環境にやさしいので
- 他の移動手段と比べて手軽に使うことができるので
- 他の移動手段と比べて乗っていて楽しいので
- 他の移動手段と比べてお金がかからないので
- 他の移動手段と比べて時間がかからないので
- その他

[次のページ](#)[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

## Q15 日常生活で移動する時間を100%としたとき、今後、各移動手段を利用する割合はそれぞれの程度になるとお考えですか。

(回答は半角数字で入力)

- \* 利用していないものは0と入力してください。
- \* 足して100%になるようにしてください。
- \* 0%のつく移動手段があっても構いません。
- \* <>内はQ4の回答を表示しています。Q4を回答されていない方は表示されていません。

徒歩  % <現在の割合 %q4[1]%%>

- 自転車  % <現在の割合 %%q4[2]%%%>
- スクーター、バイク  % <現在の割合 %%q4[3]%%%>
- 自動車(自家用車、仕事用の車)  % <現在の割合 %%q4[4]%%%>
- 公共交通機関(電車、バス、タクシー等)  % <現在の割合 %%q4[5]%%%>
- 上記以外の移動手段  % <現在の割合 %%q4[6]%%%>

上記で「上記以外の移動手段」とお答えになった方は、内容を具体的にご記入ください。

上記以外の移動手段

次のページ

---

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

## Q16 今後、主にどのような目的で自転車を利用しようと思いますか。

(回答はいくつでも)

- 通勤(駅までも含む)
- 買い物
- 通院
- 地域の活動や習い事
- 子供や孫の送迎
- その他

次のページ

---

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

**Q17 自転車で軽い運動・近所の散策を始めたいと思われた理由は何ですか。**

(回答はいくつでも)

- 手軽にはじめられそうなので
- 健康維持・増進効果が高そうなので
- 手ごろな運動量なので
- 乗ることが楽しそうなので
- 外出する機会を増やしたいので
- 時間的な余裕ができそうなので
- 金銭的にあまりかからなそうなので
- 周囲でやっている人が多いので
- 周囲の人から勧められたので
- これまで自宅の周囲のことをあまり知らなかったの
- その他

[次のページ](#)[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

**Q18 サイクリング・ツーリングを始めたいと思われた理由は何ですか。**

(回答はいくつでも)

- 手軽にはじめられそうなので
- 健康維持・増進効果が高そうなので
- 乗ることが楽しそうなので
- 外出する機会を増やしたいので
- 時間的な余裕ができそうなので
- 金銭的に楽しむ余裕ができそうなので
- 以前からやってみたいと思っていたので
- 周囲でやっている人が多いので

周囲の人から勧められたので

その他 \_\_\_\_\_

次のページ

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

### Q19 本格的なサイクルスポーツを始めてみたいと思われた理由は何ですか。

(回答はいくつでも)

健康維持・増進効果が高そうなので

時間的な余裕ができそうなので

金銭的に楽しむ余裕ができそうなので

自分の力を試してみたかったので

レースに出ることを目標としていたので

以前からやってみたいと思っていたので

周囲でやっている人が多いので

周囲の人から勧められたので

その他 \_\_\_\_\_

次のページ

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

### Q20 今後、どの程度の頻度で自転車に乗りたいと思っていますか。

(回答は横の行ごとに1つずつ)

	ほ	週	週	週	月	月	年	わ
--	---	---	---	---	---	---	---	---

	ぼ 毎日	4   5 回	2   3 回	1 回	2   3 回	1 回	に 数 回	か ら な い
軽い運動・近所の散策※1	<input type="radio"/>							
サイクリング・ツーリング※2	<input type="radio"/>							
本格的なサイクルスポーツ※3	<input type="radio"/>							

※1軽い運動・近所の散策の例：家の近所を歩く感覚で乗る、自転車散歩、自転車を足代わりに近場へ出かける

※2サイクリング・ツーリングの例：長い距離を自転車で走る、自転車旅行、泊りがけで自転車に乗る

※3本格的なサイクルスポーツの例：ロードレース、クロスカントリー、ダウンヒルなど

次のページ

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.

Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

**Q21 あなたは、次の使用場面で誰と楽しみたいと思いますか。**

(回答は横の行ごとにいくつでも)

	一 人	配 偶 者	子 供	孫	兄 弟 や 親 戚	友 人 ・ 知 人	近 所 の 人	サ ー ク ル / 趣 味 活 動 の 仲 間	そ の 他
軽い運動・近所の散策※1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
サイクリング・ツーリング※2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
本格的なサイクルスポーツ※3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							

※1軽い運動・近所の散策の例：家の近所を歩く感覚で乗る、自転車散歩、自転車を足代わりに近場へ出かける

※2サイクリング・ツーリングの例：長い距離を自転車で走る、自転車旅行、泊りがけで自転車に乗る

※3本格的なサイクルスポーツの例：ロードレース、クロスカントリー、ダウンヒルなど

上記で「その他」とお答えになった方は、内容を具体的にご記入ください。

軽い運動・近所の散策 その他

サイクリング・ツーリング その他

本格的なサイクルスポーツ その他

次のページ

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

<input checked="" type="checkbox"/> 軽快車	<input checked="" type="checkbox"/> クロスバイク
<p><b>軽快車</b> 日常の交通手段（通勤・通学・買物）に用いる 短・中距離で低・中速走行用の自転車。</p>	<p><b>クロスバイク</b> ロードレーサーとマウンテンバイクの中間に位置し、 両方の車種の良い点を取り入れた自転車。 基本的にロードレーサーより衝撃に強く、マウンテンバイク よりも街中で走りやすい設計となっているのが特徴。</p>
<input checked="" type="checkbox"/> ロードレーサー	<input checked="" type="checkbox"/> 電動アシスト自転車
<p><b>ロードレーサー</b></p>	<p><b>電動アシスト自転車</b> 電動式の駆動補助輪の機構を持ち、登坂等の</p>

主としてロードレースに使用し、一般舗装路を高速で走行することを主眼において設計されている自転車。	走行が楽にでき、日常及び、レジャー用として使用される自転車。
<input checked="" type="checkbox"/> マウンテンバイク	<input checked="" type="checkbox"/> 折りたたみ自転車
<p><b>マウンテンバイク</b>                  主として荒野・山岳地帯での走行・段差越えまたは急坂走行などの広範囲な走行に対して使用することを主眼に設計されている自転車。</p>	<p><b>折りたたみ自転車</b>                  折りたたみ機構を持ち、車などで携行して現地で使用したり、自宅内に保管が可能な種類の自転車。</p>

**Q22 それぞれの使用場面で最も購入したいと考えている自転車はどんな種類のものですか。**

(回答は横の行ごとに1つずつ)

	軽快車	ロードレーサー	マウンテンバイク	クロスバイク	電動アシスト自転車	折りたたみ自転車	その他
日常生活での移動手段	<input type="radio"/>						
軽い運動・近所の散策※1	<input type="radio"/>						
サイクリング・ツーリング※2	<input type="radio"/>						
本格的なサイクルスポーツ※3	<input type="radio"/>						

※1軽い運動・近所の散策の例：家の近所を歩く感覚で乗る、自転車散歩、自転車を足代わりに近場へ出かける  
 ※2サイクリング・ツーリングの例：長い距離を自転車で走る、自転車旅行、泊りがけで自転車に乗る  
 ※3本格的なサイクルスポーツの例：ロードレース、クロスカントリー、ダウンヒルなど

上記で「その他」とお答えになった方は、内容を具体的にご記入ください。

日常生活での移動手段 その他 \_\_\_\_\_

軽い運動・近所の散策 その他 \_\_\_\_\_

サイクリング・ツーリング その他 \_\_\_\_\_

本格的なサイクルスポーツ その他

次のページ

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

**Q23-1 日常生活での移動手段において、自転車を購入する際に重視する点は何ですか。3つまで回答してください。**

(回答は3つまで)

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 運転しやすい                | <input type="checkbox"/> 盗難防止機能が充実している     |
| <input type="checkbox"/> 乗り心地がよい               | <input type="checkbox"/> 修理やメンテナンスが簡単にできる  |
| <input type="checkbox"/> 疲れずに長時間乗ることができる       | <input type="checkbox"/> チューンナップがしやすい      |
| <input type="checkbox"/> 使いやすい大きさである           | <input type="checkbox"/> お店の人が推薦している       |
| <input type="checkbox"/> つくりがしっかりしている          | <input type="checkbox"/> 有名なメーカーの製品である     |
| <input type="checkbox"/> 重量が軽い                 | <input type="checkbox"/> 好きな選手が使用している      |
| <input type="checkbox"/> 長持ちする                 | <input type="checkbox"/> レース等で実績がある        |
| <input type="checkbox"/> サビに強い                 | <input type="checkbox"/> 価格が予算内である         |
| <input type="checkbox"/> デザイン・色がよい             | <input type="checkbox"/> 高級感がある            |
| <input type="checkbox"/> 荷物をたくさん積むことができる       | <input type="checkbox"/> アクセサリーが豊富である 具体的に |
| <input type="checkbox"/> ライト・反射板などの安全装備が充実している | <input type="checkbox"/> その他               |

次のページ

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q23-1-1 では、**日常生活での移動手段**において、自転車を購入する際に重視する点のうち、最も重視するものから順に3つまでお答えください。

(回答はそれぞれ1つずつ) ※ 前の問でお答えになったものが1つだけの場合は1位のみ、2つの場合は2位までお選びください。

<1位> ▼下の回答から選んでください。

<2位> ▼下の回答から選んでください。

<3位> ▼下の回答から選んでください。

次のページ

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q23-2 **軽い運動・近所の散策**において、自転車を購入する際に重視する点は何ですか。**3つ**まで回答してください。

(回答は**3つ**まで)

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 運転しやすい                | <input type="checkbox"/> 盗難防止機能が充実している                          |
| <input type="checkbox"/> 乗り心地がよい               | <input type="checkbox"/> 修理やメンテナンスが簡単にできる                       |
| <input type="checkbox"/> 疲れずに長時間乗ることができる       | <input type="checkbox"/> チューンナップがしやすい                           |
| <input type="checkbox"/> 使いやすい大きさである           | <input type="checkbox"/> お店の人が推薦している                            |
| <input type="checkbox"/> つくりがしっかりしている          | <input type="checkbox"/> 有名なメーカーの製品である                          |
| <input type="checkbox"/> 重量が軽い                 | <input type="checkbox"/> 好きな選手が使用している                           |
| <input type="checkbox"/> 長持ちする                 | <input type="checkbox"/> レース等で実績がある                             |
| <input type="checkbox"/> サビに強い                 | <input type="checkbox"/> 価格が予算内である                              |
| <input type="checkbox"/> デザイン・色がよい             | <input type="checkbox"/> 高級感がある                                 |
| <input type="checkbox"/> 荷物をたくさん積むことができる       | <input type="checkbox"/> アクセサリーが豊富である 具体的に <input type="text"/> |
| <input type="checkbox"/> ライト・反射板などの安全装備が充実している | <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/>               |

[次のページ](#)[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q23-2-1 では、**軽い運動・近所の散策**において、自転車を購入する際に重視する点のうち、最も重視するものから順に3つまでお答えください。

(回答はそれぞれ1つずつ) ※ 前の問でお答えになったものが1つだけの場合は1位のみ、2つの場合は2位までお選びください。

<1位>

▼下の回答から選んでください。

<2位>

▼下の回答から選んでください。

<3位>

▼下の回答から選んでください。

[次のページ](#)[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q23-3 **サイクリング・ツーリング**において、自転車を購入する際に重視する点は何ですか。**3つ**まで回答してください。

(回答は**3つ**まで)

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 運転しやすい          | <input type="checkbox"/> 盗難防止機能が充実している    |
| <input type="checkbox"/> 乗り心地がよい         | <input type="checkbox"/> 修理やメンテナンスが簡単にできる |
| <input type="checkbox"/> 疲れずに長時間乗ることができる | <input type="checkbox"/> チューンナップがしやすい     |
| <input type="checkbox"/> 使いやすい大きさである     | <input type="checkbox"/> お店の人が推薦している      |
| <input type="checkbox"/> つくりがしっかりしている    | <input type="checkbox"/> 有名なメーカーの製品である    |

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 重量が軽い                 | <input type="checkbox"/> 好きな選手が使用している            |
| <input type="checkbox"/> 長持ちする                 | <input type="checkbox"/> レース等で実績がある              |
| <input type="checkbox"/> サビに強い                 | <input type="checkbox"/> 価格が予算内である               |
| <input type="checkbox"/> デザイン・色がよい             | <input type="checkbox"/> 高級感がある                  |
| <input type="checkbox"/> 荷物をたくさん積むことができる       | <input type="checkbox"/> アクセサリーが豊富である 具体的に _____ |
| <input type="checkbox"/> ライト・反射板などの安全装備が充実している | <input type="checkbox"/> その他 _____               |

次のページ

---

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q23-3-1 では、**サイクリング・ツーリング**において、自転車を購入する際に重視する点のうち、最も重視するものから順に3つまでお答えください。

(回答はそれぞれ1つずつ) ※ 前の問でお答えになったものが1つだけの場合は1位のみ、2つの場合は2位までお選びください。

<1位>

<2位>

<3位>

次のページ

---

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

**Q23-4 本格的なサイクルスポーツ**において、自転車を購入する際に重視する点は何ですか。**3つ**まで回答してください。

(回答は**3つ**まで)

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 運転しやすい                | <input type="checkbox"/> 盗難防止機能が充実している     |
| <input type="checkbox"/> 乗り心地がよい               | <input type="checkbox"/> 修理やメンテナンスが簡単にできる  |
| <input type="checkbox"/> 疲れずに長時間乗ることができる       | <input type="checkbox"/> チューンナップがしやすい      |
| <input type="checkbox"/> 使いやすい大きさである           | <input type="checkbox"/> お店の人が推薦している       |
| <input type="checkbox"/> つくりがしっかりしている          | <input type="checkbox"/> 有名なメーカーの製品である     |
| <input type="checkbox"/> 重量が軽い                 | <input type="checkbox"/> 好きな選手が使用している      |
| <input type="checkbox"/> 長持ちする                 | <input type="checkbox"/> レース等で実績がある        |
| <input type="checkbox"/> サビに強い                 | <input type="checkbox"/> 価格が予算内である         |
| <input type="checkbox"/> デザイン・色がよい             | <input type="checkbox"/> 高級感がある            |
| <input type="checkbox"/> 荷物をたくさん積むことができる       | <input type="checkbox"/> アクセサリーが豊富である 具体的に |
| <input type="checkbox"/> ライト・反射板などの安全装備が充実している | <input type="checkbox"/> その他               |

次のページ

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

**Q23-4-1** では、**本格的なサイクルスポーツ**において、自転車を購入する際に重視する点のうち、最も重視するものから順に**3つ**までお答えください。

(回答はそれぞれ**1つ**ずつ) ※ 前の問でお答えになったものが**1つ**だけの場合は**1位**のみ、**2つ**の場合は**2位**までお選びください。

<1位>

▼下の回答から選んでください。

<2位>

▼下の回答から選んでください。

<3位>

▼下の回答から選んでください。

次のページ

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

## Q24 それぞれの使用場面で最も購入したいと考えている自転車について、どこで購入したいと考えますか。

(回答は横の行ごとに1つずつ)

	自転車専門店	スーパー	ホームセンター	家電量販店	ディスカウント店	スポーツ用品店	百貨店	インターネットV	通信販売	その他
日常生活での移動手段	<input type="radio"/>									
軽い運動・近所の散策※1	<input type="radio"/>									
サイクリング・ツーリング※2	<input type="radio"/>									
本格的なサイクリススポーツ※3	<input type="radio"/>									

※1軽い運動・近所の散策の例：家の近所を歩く感覚で乗る、自転車散歩、自転車を足代わりに近場へ出かける

※2サイクリング・ツーリングの例：長い距離を自転車で走る、自転車旅行、泊りがけで自転車に乗る

※3本格的なサイクリススポーツの例：ロードレース、クロスカントリー、ダウンヒルなど

上記で「その他」とお答えになった方は、内容を具体的にご記入ください。

日常生活での移動手段 その他

軽い運動・近所の散策 その他

サイクリング・ツーリング その他

本格的なサイクリススポーツ その他

次のページ

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

## Q25 それぞれの使用場面で最も購入したいと考えている自転車について、いつ頃購入しようと考えていますか。

(回答は横の行ごとに1つずつ)

	3 か 月 以 内	6 か 月 以 内	1 年 以 内	2 年 以 内	3 年 以 内	そ れ 以 降
日常生活での移動手段	<input type="radio"/>					
軽い運動・近所の散策※1	<input type="radio"/>					
サイクリング・ツーリング※2	<input type="radio"/>					
本格的なサイクルスポーツ※3	<input type="radio"/>					

※1軽い運動・近所の散策の例：家の近所を歩く感覚で乗る、自転車散歩、自転車を足代わりに近場へ出かける

※2サイクリング・ツーリングの例：長い距離を自転車で走る、自転車旅行、泊りがけで自転車に乗る

※3本格的なサイクルスポーツの例：ロードレース、クロスカントリー、ダウンヒルなど

次のページ

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

## Q26 それぞれの使用場面で最も購入したいと考えている自転車について、どの程度の予算で購入しようと考えていますか。

(回答は横の行ごとに1つずつ)

	10,000 円未満	10,000 ～20,000 円未満	20,000 ～30,000 円未満	30,000 ～50,000 円未満	50,000 ～100,000 円未満	100,000 円以上
日常生活での移動手段	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
軽い運動・近所の散策※1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

サイクリング・ ツーリング※2	<input type="radio"/>					
本格的なサイ クルスポー ツ※3	<input type="radio"/>					

※1軽い運動・近所の散策の例：家の近所を歩く感覚で乗る、自転車散歩、自転車を足代わりに近場へ出かける

※2サイクリング・ツーリングの例：長い距離を自転車で走る、自転車旅行、泊りがけで自転車に乗る

※3本格的なサイクルスポーツの例：ロードレース、クロスカントリー、ダウンヒルなど

**Q26-1 上記で「100,000円以上」とお答えになった方は、具体的な金額をお書きください。**

(回答は半角数字で入力)

日常生活での移動手段  円

軽い運動・近所の散策  円

サイクリング・ツーリング  円

本格的なサイクルスポーツ  円

次のページ

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.

Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

**Q27 あなたは、以下にあげる活動の中で今後積極的に行おうと考えているものは何ですか。3つまで回答してください。**

(回答は3つまで)

- |                                    |   |
|------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 家族とのかかわり  | <input type="checkbox"/> アウトドア活動                  |
| <input type="checkbox"/> 親戚づきあい    | <input type="checkbox"/> 趣味活動                     |
| <input type="checkbox"/> 知人・友人との交流 | <input type="checkbox"/> 語学の学習や資格の取得              |
| <input type="checkbox"/> 近所づきあい    | <input type="checkbox"/> 国内・海外の旅行                 |
| <input type="checkbox"/> 健康の維持・増進  | <input type="checkbox"/> ボランティアや社会貢献の活動           |
| <input type="checkbox"/> 生活習慣病予防   | <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/> |
| <input type="checkbox"/> スポーツの実践   | <input type="checkbox"/> 特に考えていない                 |

[次のページ](#)[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

**Q27-1** では、活動の中で今後積極的に行おうと考えているもののうち、最も重視するから順に3つまでお答えください。

(回答はそれぞれ1つずつ) ※ 前の問でお答えになったものが1つだけの場合は1位のみ、2つの場合は2位までお答えください。

<1位>

▼下の回答から選んでください。

<2位>

▼下の回答から選んでください。

<3位>

▼下の回答から選んでください。

**Q27-2** 活動の中で今後積極的に行おうと考えているもののうち、「上記<1位>」を最も極的に行おうと考えている理由を具体的にお書きください。

[次のページ](#)[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

**Q28** あなたは、今後働きたいですか。(パート・アルバイト含む)

(回答は1つ)

- 現在も働いており、今後も働きたい
- 現在は働いていないが、今後機会があれば働きたい
- 現在働いているが、今後は働きたくない
- 現在働いておらず、今後も働きたくない

次のページ

---

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

## Q29 最近のあなたの健康状態は、いかがですか。

(回答は1つ)

- 健康状態は良好で特に不安なところはない
- 特に症状はないが生活習慣病やメタボリックシンドローム等、健康面に不安がある
- 持病があるが日常生活に支障はない
- 病気やケガなどで日常生活に支障をきたしている

次のページ

---

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

## Q30 自分が60歳代になった時、「こころ」や「からだ」を含めた生活の様子はどのようになっていると思いますか。

(回答は1つ)

## Q30 自分が60歳代になる前と比べ、現在の「こころ」や「からだ」を含めた生活の様子はどのようになりましたか。

(回答は1つ)

かなりよい	どちらかとい えばよい	どちらかとい えば思わしく ない	かなり思わし くない
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次のページ

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

**Q31 自分が60歳代になった時、「こころ」や「からだ」を含めた生活の様子が「%Xq70%」とお答えになった理由は何ですか。**

(回答はいくつでも)

**Q31 自分が60歳代になる前と比べ、現在の「こころ」や「からだ」を含めた生活の様子が「%Xq70%」とお答えになった理由は何ですか。**

(回答はいくつでも)

- 体に無理を言って働く必要がなくなる(減る)
- 仕事上の人間関係などのわずらわしさから解放される
- 好きな人たちとだけ付き合えるようになる
- スポーツや運動を定期的に行っている(または行う予定がある)
- 趣味や生きがいにかかる時間が増える
- 現在治療しているケガ、病気が回復(改善)している
- 家族や親戚との交流が増える
- パートナー(配偶者)との関係が深まる
- 自分のやりたいことをやれる時間・機会が増える
- 健康の自己管理ができるようになる
- 自分の好きなときに旅行できる
- 地域社会との付き合いや活動・催しに参加する機会が増える
- 経済的に安定した生活が見込める

その他 \_\_\_\_\_

次のページ

---

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

**Q31 自分が60歳代になった時、「こころ」や「からだ」を含めた生活の様子が「%  
Xq70%」とお答えになった理由は何ですか。**

(回答はいくつでも)

**Q31 自分が60歳代になる前と比べ、現在の「こころ」や「からだ」を含めた生活の  
様子が「%Xq70%」とお答えになった理由は何ですか。**

(回答はいくつでも)

- 現在の仕事(業務)をリタイアして、ふだんの運動量が減る
- 仕事などで培った人間関係が途切れる
- スポーツや運動を定期的に行う習慣がない
- 外出する機会が減る
- 当分、仕事や家事に追われて健康管理が十分できそうにない
- 意識して難しいことにチャレンジする機会が減る
- 持病やケガが悪化する(または回復の見込みがない)
- 家族や親戚などの人間関係にわずらわされる機会が増える
- 地域社会の人間関係にわずらわされる
- 経済的に苦しくなる
- その他 \_\_\_\_\_

次のページ

---

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

**Q32 あなたは、今後、健康づくりや余暇活動のために自転車を活用する場合、どのような情報、環境が必要ですか。**

(回答はいくつでも)

- 自分に適した自転車の選び方についての情報
- 修理やメンテナンス方法についての情報
- レベルに応じたサイクリングの仕方についての情報
- 安全走行についてのノウハウ
- サイクリングコースについての情報
- 身近なところで活動しているサークルについての情報
- イベントやレースの開催情報
- 駐輪場に関する情報
- サークル活動への支援
- サイクリングコースの整備
- 一般道における自転車専用レーンの設置
- 公共交通への自転車持ち込み
- 初心者でも参加しやすいイベントやレースの開催
- その他
- 特に必要とするものはない

次のページ

---

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

**Q33 あなたは、自転車に対してどのようなイメージを持っていますか。**

(回答はいくつでも)

- 免許もいらず、車やバイクに比べて制限が少ない
- 誰でも手軽に使える

- 健康維持・増進に手ごろな運動である
- 乗ると心身ともに爽快になる
- CO2を出さず環境にやさしい
- スポーツとして魅力がある
- 自転車に乗っている人は健康的だ
- 自転車に乗っている人は環境に対する関心が高い
- 疲れるのであまり乗りたくない
- 季節や天候によって使えないことが多い
- 荷物など多く運べない
- 坂道などが多いと乗りたくない
- 車やバイクと一緒に走っていると危ないと感じることがある
- 運転マナーの悪い人が多い
- 歩いていると危ないと感じることがある
- 放置自転車など、社会的に迷惑な存在だ
- 引ったくりや盗難など防犯面に不安がある
- その他

次のページ

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

### Q34 あなたの職業は。

(回答は1つ)

- |                                     |                                       |
|-------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="radio"/> 会社員(管理職以外の社員) | <input type="radio"/> 会計士、税理士         |
| <input type="radio"/> 会社員(管理職)      | <input type="radio"/> 農林漁業            |
| <input type="radio"/> 会社役員・経営者      | <input type="radio"/> 自営業(農林漁業を除く)    |
| <input type="radio"/> 派遣・契約社員       | <input type="radio"/> SOHO            |
| <input type="radio"/> 公務員・非営利団体職員   | <input type="radio"/> パート・アルバイト・フリーター |
| <input type="radio"/> 教職員講師         | <input type="radio"/> 内職              |

- 開業医、勤務医
- 看護師
- 薬剤師
- その他医療関係者
- 弁護士、弁理士、行政書士
- 専業主婦
- 大学生、大学院生、専門学生、短大生、予備校生
- 無職、定年退職
- その他の職業

次のページ

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

### Q35 あなたが就かれている業種は。

(回答は1つ)

- 土木・建設・不動産・建物サービス
- 飲料
- 食品・食品加工
- 化粧品
- トイレタリー製品・ヘアケア製品
- たばこ
- 繊維・衣類
- 紙・パルプ、木材
- 日用雑貨・文具・事務用品
- 医薬品・健康食品
- 薬品
- 家電製品
- 化学・石油化学
- 鉄鋼・非鉄金属
- 自動車
- その他製造業
- 出版・印刷関連
- 新聞・放送業
- 卸売・商社
- デパート・スーパー
- コンビニエンスストア
- その他小売
- 運輸・倉庫・物流関連
- 電気・ガス・熱供給・水道
- 電気通信業
- ソフトウェア、情報処理、その他の情報サービス業
- マスコミ・広告
- 銀行、信託、信金、信組、政府系金融
- 信販、消費者金融、その他金融
- 証券、商品取引
- 生命保険、損害保険
- レジャー関連サービス
- 外食・飲食サービス
- 教育
- 医療・福祉
- 理容室・美容室
- その他サービス
- 自由業、フリーランス
- その他 \_\_\_\_\_

- 金属・硝子・窯業・土石
- 市場調査

次のページ

---

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

### Q36 あなたの年収(税込)は。

(回答は1つ)

- 0円             800万円未満
- 100万円未満    900万円未満
- 200万円未満    1,000万円未満
- 300万円未満    1,200万円未満
- 400万円未満    1,500万円未満
- 500万円未満    2,000万円未満
- 600万円未満    2,000万円以上
- 700万円未満    わからない・答えたくない

次のページ

---

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

### Q37 以下にあげる運転免許であなたがお持ちのものは。

(回答はいくつでも)

- 自動車
- 自動二輪
- 原付

いずれも持っていない

次のページ

---

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

**Q38** みなさんが自転車をご利用になる上で「こんな機能があったら」「こんなサービスがあったら」と思いつくものを自由にご回答ください。また、インターネットで提供したほうがと思われる情報やアイデアがあれば、それもご回答ください。

---

次のページ

---

[アンケート内容についてのお問い合わせ](#)

Copyright (C) 2006 Intage Interactive Inc. All Rights Reserved.  
Copyright (C) 2006 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

平成 18 年度自転車産業活性化対策研究会  
需要拡大部会 委員名簿

製造メーカー	
渡部 裕雄	ブリヂストンサイクル (株) 経営企画担当 部長
西山 吉信	宮田工業 (株) 自転車事業部 新規事業担当 部長
小林 薫	パナソニック・サイクルテック (株) 営業部 部長
竹内 薫	ホダカ (株) 企画開発部研究開発チームリーダー
小売団体・事業者	
川村 剛彦	青葉自転車 (株) 取締役社長
川崎 辰男	日本自転車軽自動車商協同組合連合会 専務理事
消費者関連	
勝股 美代子	消費生活アドバイザー

(敬称略・順不同)

以 上 7 名